

講義内容 2007

仏教学部

講 義 内 容

目 次

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	9
2	教 養 教 育 科 目	27
(1)	人 文 分 野	27
(2)	社 会 分 野	100
(3)	自 然 分 野	110
(4)	総 合 分 野	145
3	外 国 語 科 目	173
4	保 健 体 育 科 目	315
II	専 門 教 育 科 目	359
III	他 学 部 履 修 科 目	439
IV	「日本語」・「日本事情」科目	515
V	随 意 科 目	543

宗教教育	人文分野	社会分野	自然分野	総合分野
全学共通科目	外国語	保健体育	専門教育	他学部
				履修科目
				「日本語」
				「日本事情」
				随意科目

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	禅1必	通年	4	池田 魯参	9
仏教と人間	仏1必	通年	4	松田 陽志	9
仏教と人間	全学科（フレB除く）234年	通年	4	吉津 宜英	10
仏教と人間	全学科（フレB除く）234年	通年	4	下室 覚道	11
仏教と人間	全学科（フレB除く）234年	通年	4	松田 陽志	11
仏教と人間	全学科（フレB除く）234年	通年	4	晴山 俊英	12
文化と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	通年	4	佐藤 憲昭	13
社会と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	通年	4	矢野 秀武	14
自然と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	通年	4	小川 順敬	14
坐禅	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	半期	2	佐藤 秀孝 熊本 英人	15

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	禅1必				
担当者名	池田 魯参 <small>いけだ ろさん</small>				

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、仏教が現代社会の諸問題に対して如何に関わっているかをできるだけわかりやすく説明してゆきたい。まず、仏教というものを「文明の発展」という脈絡の中で理解し、更に他の宗教、特にキリスト教やイスラム教等との比較の中でその宗教としての特色を浮き彫りにする。そして、現代社会の諸問題、特に「死」を巡る様々な問題に仏教をはじめとする諸宗教がどのように対処しているのかについて検討を加えてゆきたい。その他、「環境問題と仏教」、「仏教にみられる女性差別」等のテーマも扱ってみたい。

履修上の留意点

授業において、小作文を書いてもらうことがある。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	仏1必				
担当者名	松田 陽志 <small>まつだ ようじ</small>				

講義のねらい

本学が建学の理念とする仏教・禅の考え方について講義する。インドに生まれた仏教はアジア各地にさまざまに変容しながら伝えられた。釈尊（釈迦牟尼世尊）の生涯を仏伝（釈尊の伝記）の記述などによってたどりながら、インドのヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の抱えた課題とその説き示した初期仏教の内容を捉えることで、われわれが身近に感ずる仏教の性格との違いについて考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に本学が禅・曹洞宗を母胎として創立されたことを歴史的に概観したあと、釈尊の生涯を仏伝の記述によって理解する。釈尊以後の仏教教団によってまとめられる仏伝が、釈尊の教えの独自性を、釈尊の生涯を記述するなかでどのように表現しようとしたのかを、具体的に検討する。特に釈尊の生きたインドのヒンドゥー教の性格や、その中で釈尊自身が何を求めて出家し、成道において何をきとり、伝道の旅の中で人々に対しておこなった説法の意義について考える。またインドを離れ中国・日本へと伝えられた仏教がどのようにその教えを展開・変容させていったかについても講義する。

履修上の留意点

インドの宗教風土の中で釈尊の求めたものと、現在の日本や中国での仏教（大乘仏教）のとりえ方に違いがあることを踏まえ、講義を通じて自分が考える「仏教」がどのような性格を持っているのかということを考えてもらいたい。

成績評価の方法

毎回の出席点に加えて、前期末のレポートと年度末試験によって評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリントにしたがって講義する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	吉津 宜英 <small>よしず よしひで</small>				

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましよう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましよう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新霊性運動（new spirituality movement）という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法

毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します

参考書等

講義の中で随時参考図書を紹介します。

その他

私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	しもむら <small>かくどう</small> 下室 覚道				

講義のねらい

日本は仏教国といわれるが、どれほどの人が仏教について理解しているであろうか。本講義では、仏教の開祖である釈尊の生涯や基本的な教え、そして仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えていきたい。また、仏教と現代社会のさまざまな問題についても考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教え、仏教の伝播について学んでいく。特に伝播過程において日本の曹洞宗の開祖である道元禪師についてはより細かく取り上げていきたい。また、仏教と現代社会の問題においては、臓器移植や人権の問題に関して随時紹介していきたい。

成績評価の方法

授業の出席状況、レポート、年度末試験により評価する。

教科書

プリントを随時配布する。

参考書等

松尾剛次『仏教入門』（岩波ジュニア新書）
水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	<small>まつた ようし</small> 松田 陽志				

講義のねらい

本学が建学の理念とする仏教・禅の考え方について講義する。インドに生まれた仏教はアジア各地にさまざまに変容しながら伝えられた。釈尊（釈迦牟尼世尊）の生涯を仏伝（釈尊の伝記）の記述などによってたどりながら、インドのヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の抱えた課題とその説き示した初期仏教の内容を捉えることで、われわれが身近に感ずる仏教の性格との違いについて考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に本学が禅・曹洞宗を母胎として創立されたことを歴史的に概観したあと、釈尊の生涯を仏伝の記述によって理解する。釈尊以後の仏教教団によってまとめられる仏伝が、釈尊の教えの独自性を、釈尊の生涯を記述するなかでどのように表現しようとしたのかを、具体的に検討する。特に釈尊の生きたインドのヒンドゥー教の性格や、その中で釈尊自身が何を求めて出家し、成道において何をさとり、伝道の旅の中で人々に対しておこなった説法の意義について考える。またインドを離れ中国・日本へと伝えられた仏教がどのようにその教えを展開・変容させていったのかについても講義する。

履修上の留意点

インドの宗教風土の中で釈尊の求めたものと、現在の日本や中国での仏教（大乘仏教）のとりえ方に違いがあることを踏まえ、講義を通じて自分が考える「仏教」がどのような性格を持っているのかということを考えてもらいたい。

教科書

特に指定しない。配布プリントにしたがって講義する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	はれやま しゆんえい 晴山 俊英				

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

教科書

特になし。板書が中心となる。

参考書等

授業において必要があれば適宜指示する。

その他

試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしません。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

科目名	文化と宗教	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	佐藤 ^{さとう} 憲昭 ^{のりあき}				

講義のねらい

私たちは自分の好みに合わせて、例えば、服装の色を選択しているが、冠婚葬祭などにおいては当該社会に伝承され、社会で期待されている色彩の服装を身につけるのがふつうである。色彩の問題は服装ばかりではなく、多方面に及んでいる。しかも色彩の象徴的意味は、民族が異なると正反対の意味をもつなど、決して人類に普遍的なものではない。この講座では、内外の事例を紹介しながら、カラー・シンボリズムとその周辺の諸問題に焦点を合せて考察し、「文化と宗教」の問題に接近してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

1. 人類学の視点と方法、
2. 文化の概念、
3. 文化の特質と機能、
4. 文化と社会構造、
5. 文化人類学・民俗学における色彩の研究小史、
6. 通過儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題、
7. 仏教儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題、
8. 王権のカラー・シンボリズム、
9. 宗教的職能者のカラー・シンボリズム、
10. 総括。

履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または出席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。なお、不合格の場合には、出席点とレポート点（4年生のみ該当）を加算して最終評価を行う。4年生のみの提出レポートは、次の通りである。【課題】教科書を読み、その感想文を作成する。【字数】2000字。【提出先と時期】12月までの授業時に随時受けつける。【その他】ワープロ作成可。ただし、授業時以外は受理しない。4年生は必ず提出のこと。

教科書

佐々木宏幹『神と仏と日本人――宗教人類学の構想――』（吉川弘文館）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	社会と宗教	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	矢野 ^{やの} 秀武 ^{ひでたけ}				

講義のねらい

宗教は、心の次元の事柄であり、深い精神性に関わり、また言い尽くしがたい個々人の思いや人生と密接なつながりをもっている。しかし、それらの信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域、あるいは性差による違いなど、社会的・文化的な影響を帯びているものでもある。さらに、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はおもに、宗教集団の形成や変容の過程、カルト問題、現代文化における儀礼・祭礼や精霊信仰などをとりあげ、宗教社会学と宗教人類学に関わる基礎知識を学ぶ。後期は、戦争やテロリズムなどの社会的暴力、ナショナリズム、民主主義、法律、教育、福祉活動といったテーマと宗教の接点をとらえ、宗教が私的な信仰心の側面だけではなく、社会一般の制度と関わる公的側面を持っている点について解説する。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	自然と宗教	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	小川 ^{おがわ} 順敬 ^{としゆき}				

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。
この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	坐禅	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	佐藤 秀孝・熊本 英人				

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明がありますので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。事前登録科目ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅一講本一』(更生社) 2,226円

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
文学【9〔外国文学「ラテンアメリカ文学」】】	禅仏選	通年	4	真下祐一	27
歴史学【1〔日本中世史】】	禅仏選	通年	4	栗原修	27
芸術学【1〔日本美術】】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政営A選	通年	4	北野良枝	28
芸術学【2〔西洋美術】】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政営A選	通年	4	矢野陽子	29
芸術学【3〔音楽】】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政営A選	通年	4	浦本裕子	30
哲学【7〔現代文明と人間】】	禅仏国選	通年	4	黒崎剛	31
論理学【2〔科学方法論と現代論理学】】	禅仏国英選	通年	4	山口祐弘	32
論理学【5〔知の技法】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	伊古田理	33
論理学【7〔知の技法】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	植野公稔	34
科学史【2〔近代科学の成立と展開】】	禅仏経A商法A政選	通年	4	高橋秀裕	35
倫理学【1〔人間観】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	古田知章	36
倫理学【2〔応用倫理学】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	黒崎剛	37
倫理学【3〔価値観】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	滝沢正之	38
倫理学【4〔応用倫理学】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	麻生享志	39
倫理学【5〔制度とモラル】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	滝口清栄	40
倫理学【6〔東洋倫理】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	末木恭彦	40
倫理学【7〔応用倫理学】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	黒崎剛	41
宗教学【1〔比較宗教文化】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	池上良正	42
宗教学【2〔聖と俗】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	田中かの子	43
宗教学【3〔世界観と儀礼】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	小川順敬	44
宗教学【4〔日本人の宗教】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	矢野秀武	44
宗教学【5〔生活と宗教】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	菅原壽清	45
宗教学【6〔民俗宗教の諸相】】	全学科（フレB除く）選	通年	4	浅川泰宏	46
人文地理学【1〔風土と文化】】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選	通年	4	山口太郎	47
人文地理学【2〔風土と文化】】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選	通年	4	高橋健太郎	48
人文地理学【3〔空間と行動】】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選	通年	4	伊藤修一	49
人文地理学【4〔空間と行動】】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選	通年	4	伊藤修一	50
教育の思想	禅仏国2選	半期	2	豊田千代子	51
教育の思想	禅仏国英2選	半期	2	北村三子	51
教育と社会	禅仏国2選	半期	2	豊田千代子	52
教育と社会	禅仏国英2選	半期	2	北村三子	52
発達と学習の心理学	禅仏国英2選	半期	2	大浜幾久子	53
発達と学習の心理学	禅仏国英2選	半期	2	角野善司	53
カリキュラムと学習	禅仏国英2選	半期	2	大浜幾久子	54

カリキュラムと学習	禅仏国英2選	半期	2	角野善司	54
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心営A 1選(19年度入学生のみ)	半期	2	萩原義雄	55
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心営A 1選(19年度入学生のみ)	半期	2	佐原作美	56
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心営A 1選(19年度入学生のみ)	半期	2	鈴木裕子	57
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心営A 1選(19年度入学生のみ)	半期	2	坂口博規	58
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心営A 1選(19年度入学生のみ)	半期	2	藺部幹生	59
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心営A 1選(19年度入学生のみ)	半期	2	石割透	60
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心営A 1選(19年度入学生のみ)	半期	2	小林治	61
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心営A 1選(19年度入学生のみ)	半期	2	松田直行	62
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営A 1・2選	半期	2	佐原作美	63
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営A 1・2選	半期	2	鈴木裕子	63
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営A 1・2選	半期	2	坂口博規	64
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営A 1・2選	半期	2	藺部幹生	64
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営A 1・2選	半期	2	石割透	65
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営A 1・2選	半期	2	小林治	66
日本文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営A 1・2選	半期	2	松田直行	67
日本言語文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営A 1・2選	半期	2	萩原義雄	68
日本言語文化基礎	禅仏国英地文環境日外考心政営A 1・2選	半期	2	湯浅陽子	69
日本文化研究 I A	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	佐原作美	70
日本文化研究 I A	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	坂口博規	70
日本文化研究 I A	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	鈴木裕子	71
日本文化研究 I A	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	藺部幹生	72
日本文化研究 I B	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	小林治	73
日本文化研究 I B	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	松田直行	74

日本文化研究ⅠB	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	石割透	75
日本語文化研究Ⅰ	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	萩原義雄	76
日本語文化研究Ⅰ	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A選	通年	4	湯浅陽子	78
日本文化研究ⅡA	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A 2・3・4選	通年	4	佐原作美	79
日本文化研究ⅡA	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A 2・3・4選	通年	4	鈴木裕子	79
日本文化研究ⅡA	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A 2・3・4選	通年	4	坂口博規	80
日本文化研究ⅡA	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A 2・3・4選	通年	4	菌部幹生	81
日本文化研究ⅡB	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A 2・3・4選	通年	4	石割透	82
日本文化研究ⅡB	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A 2・3・4選	通年	4	小林治	83
日本文化研究ⅡB	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A 2・3・4選	通年	4	松田直行	84
日本語文化研究Ⅱ	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A 2・3・4選	通年	4	萩原義雄	85
日本語文化研究Ⅱ	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A 2・3・4選	通年	4	湯浅陽子	87
実務表現	禅仏国英地文環境歴日外考法A 政営A 1・2・3・4選	通年	4	萩原義雄	88
実務表現	禅仏国英地文環境歴日外考法A 政営A 1・2・3・4選	通年	4	湯浅陽子	89
日本文化テーマ研究A	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	半期	2	佐原作美	90
日本文化テーマ研究A	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	半期	2	鈴木裕子	90
日本文化テーマ研究B	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	半期	2	佐原作美	91
日本文化テーマ研究B	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	半期	2	鈴木裕子	91
日本文化テーマ研究C	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	半期	2	坂口博規	92
日本文化テーマ研究C	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	半期	2	菌部幹生	92
日本文化テーマ研究D	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	半期	2	坂口博規	93
日本文化テーマ研究D	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	半期	2	菌部幹生	93
日本文化テーマ研究E	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	半期	2	石割透	94

日本文化テーマ研究E	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	半期	2	小林治	95
日本文化テーマ研究F	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	半期	2	石割透	96
日本文化テーマ研究F	禅仏国英歴日外考政営A選	半期	2	小林治	97
日本文化テーマ研究G	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	夏季集中	2	松田直行	98
日本文化テーマ研究H	禅仏国英地文環境歴日外考政営A 1・2・3・4選	半期	2	松田直行	99

(2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学【2〔現代社会を考える〕】	禅仏国英選	通年	4	呉炳三	100
統計学2〔社会現象の統計的決定〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心法A政選 法B選	通年	4	新行内康慈	101
文化人類学6〔社会変化と価値観〕	禅仏国英地文環境選	通年	4	小川順敬	102
法学・憲法【10〔法と国家〕】	禅仏選	通年	4	織田晃子	103
法学・憲法12〔法と権利〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現政営A放選	夏季集中	4	池田実	104
政治学3〔国際社会と日本〕	禅仏経A経商現選	通年	4	山崎望	105
経済学2〔現代経済と人間〕	禅仏国英選	通年	4	森田成也	106
社会科学論〔社会認識の思想〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	大石雄爾	107
教育学〔デス・エデュケーション〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	柳堀素雅子	108
教育心理大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	石橋達也	109

(3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
生物学3〔生物と環境〕	禅仏国英営A選	通年	4	中村敏枝	110
地球科学1〔地球の素顔と地球環境問題〕	禅仏国選	通年	4	加藤潔	111
自然環境論4〔生命と環境〕	禅仏国選	通年	4	坂野井和代	112
自然環境論9〔生物の集団と環境〕	禅仏国選	通年	4	坂巻義章	113
自然誌1〔現代の自然像〕	禅仏経A経商法A政選	通年	4	清水善和 篠原正雄 山縣毅	114
数学1〔微積分学入門〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選	通年	4	小沢誠	115
数学2〔線型代数学入門〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選	通年	4	小沢誠	116
数学3〔現代数学入門〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選	通年	4	福田賢一	117
情報数学〔情報と論理〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選	通年	4	坂野井和代	118

物理学1〔光と物質〕	禅仏経A経商法A政選	通年	4	篠原正雄	119
化学1〔衣食住の化学〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心営A選	通年	4	牧岡良和	120
宇宙科学1〔星と銀河〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	篠原正雄	120
宇宙科学2〔星と銀河〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	篠原正雄	121
コンピュータ基礎1 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小沢誠	122
コンピュータ基礎2 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	山本博信	123
コンピュータ基礎3 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小川健次郎	123
コンピュータ基礎4 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小沢誠	124
コンピュータ基礎5 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	澤口隆	125
コンピュータ基礎6 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小沢誠	126
コンピュータ基礎7 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	山本博信	127
コンピュータ基礎8 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小川健次郎	128
コンピュータ基礎9 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小沢誠	129
コンピュータ基礎10 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	澤口隆	130
コンピュータ基礎11 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	元木光雄	131
コンピュータ基礎13 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	山本博信	132
コンピュータ基礎14 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	長坂浩史	133
コンピュータ基礎15 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	小川健次郎	134
コンピュータ基礎16 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	小川健次郎	135
コンピュータ基礎17 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	谷本玲大	136
コンピュータ基礎18 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	小沢誠	137
コンピュータ基礎19 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	坂野井和代	138
コンピュータ基礎20 〔コンピュータの実際〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	坂野井和代	139
コンピュータ応用1 〔コンピュータの原理〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	通年	4	坂野井和代	140

コンピュータ応用2 〔コンピュータの原理〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	通年	4	坂野井和代	141
人類学1〔人類の進化〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	篠田謙一	142
人類学2〔人類の進化〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	篠田謙一	143
心理学9〔心を科学する〕	禅仏選	通年	4	高橋良博	143
心理学12〔心を科学する〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政営A選	夏季集中	4	深堀友寛	144

(4) 総合分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
総合Ⅰ1〔仏教と自然〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	四津谷孝道	145
総合Ⅰ2〔仏教と社会〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	熊本英人	146
総合Ⅰ3〔仏教と芸術〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	村松哲文	147
総合Ⅱ1〔駒澤大学の歴史〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	熊本史雄 大城道則 小泉雅弘 佐々木真 杉山清彦 廣瀬良弘	148
総合Ⅱ2〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	清水善和 漆原和子 小沢誠 小高昭一 坂野井和代 桜井邦夫 篠原正雄 柳澤紀夫 山縣毅	149
総合Ⅲ1〔人権と社会問題〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	ピアス, D. M.	150
総合Ⅲ2〔欧米の教育と日本の教育〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	岡崎寿一郎	151
総合Ⅲ3〔フランス現代文化史〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	桑田禮彰	152
総合Ⅳ1〔現代アメリカ事情〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	林明人	152
総合Ⅳ2〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	西村祐子	153
総合Ⅳ3〔ポスト・モダンの世界〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	丸小哲雄	154
総合Ⅴ				休講	

総合Ⅵ1〔民族とは何か〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	大野祐二	155
総合Ⅵ2〔イスラム〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	吉田京子	155
総合Ⅵ3〔フェミニズム・ジェンダー〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	早川紀代	156
総合Ⅶ1〔トラブルと法的解決〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	高橋洋城 川口幸美 竹中智香 原田啓一郎 藤本茂 松村格	157
総合Ⅶ2〔都市論〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	内海麻利 浦田早苗 坂井文 早川純貴 堀内康史	158

科目名	文学【9〔外国文学「ラテンアメリカ文学」〕】	開講	通年	単位	4
担当	禪仏選				
担当者名	ましも ゆういち 真下 祐一				

講義のねらい

アルゼンチンのホルヘ・ルイス・ボルヘス、メキシコのオクタビオ・パス、チリのパブロ・ネルーダといった20世紀のイスペインアメリカ文学を代表する詩人たちの作品、文学論、文化・文明論を中心に現代スペイン語圏の文学を紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主にパス、後期はボルヘスをとりあげます。

履修上の留意点

講義だけでなくグループ発表も行う予定です。

成績評価の方法

授業への出席と試験あるいはレポートによって評価します。

教科書

オクタビオ・パス『弓と豎琴』ちくま学芸文庫

科目名	歴史学【1〔日本中世史〕】	開講	通年	単位	4
担当	禪仏国英選				
担当者名	くりはら おさむ 栗原 修				

講義のねらい

中世社会の歴史について講義します。とくに、古代→中世、中世→近世へという社会の変化をとらえることをねらいとします。そのなかで、中世とはどのような社会であったのか、その特質をみていきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 荘園公領制と幕府
～武士身分の誕生から鎌倉幕府の成立まで～
(後期) 中世社会の特質と近世国家の誕生

履修上の留意点

年表や日本史辞典を用意してほしい。

成績評価の方法

学年末試験の結果及び平常点により総合的に評価します。

教科書

プリントを随時配布します。

科目名	芸術学【1〔日本美術〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選				
担当者名	きたの よしえ 北野 良枝				

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品を映写する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3)～(7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派
 (11) 狩野正信・元信 (12)～(13) 狩野永徳と桃山画壇
 後期 江戸時代の絵画
 (14) 江戸時代の狩野派 (15)～(18) 琳派
 (19)～(20) 浮世絵 (21) 南蘋派
 (22) 文人画 (23) 秋田蘭画と司馬江漢
 (24) 円山四条派 (25) 伊藤若冲と曾我蕭白
 (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

参考書等

映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒沢大学図書館に所蔵されている。

- 『原色日本の美術』(小学館)
- 『日本美術全集』(学習研究社)
- 『日本美術絵画全集』(集英社)
- 『日本美術全集』(講談社)

科目名	芸術学【2〔西洋美術〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選				
担当者名	矢野 <small>やの</small> 陽子 <small>ようこ</small>				

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ16世紀から18世紀まで、つまりルネサンス期から革命期頃までのフランス美術を、絵画を中心に取り上げます。まず美術の主要な流れを把握し、作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期 16世紀および17世紀のフランス美術
後期 18世紀のフランス美術

履修上の留意点

スライドで作品を見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験によって評価する予定です。レポートや試験の形式などは授業中に説明します。

参考書等

授業中に適宜参考文献を紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	芸術学【3〔音楽〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選				
担当者名	浦本 ^{うらもと} 裕子 ^{ゆうこ}				

講義のねらい

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：諸民族の音楽（アジアを中心に）
後期：ヨーロッパの音楽（民族音楽とクラシック音楽）

履修上の留意点

- ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
- ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：レポート
後期：試験

教科書

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）

参考書等

藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）
久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）

科目名	哲学【7〔現代文明と人間〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国選				
担当者名	黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small>				

講義のねらい

近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。

講義の内容・授業スケジュール

以下のテーマを取り上げる予定

1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか
2. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか
3. 近代的自由：自己決定。自律、労働
4. 労働の哲学的意義
5. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか
6. 二十世紀の人間解放論
7. 歴史哲学

履修上の留意点

近代哲学の主要テーマ別にかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。教科書、参考書は教場で紹介する。

科目名	論理学【2〔科学方法論と現代論理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英選				
担当者名	山口 祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>				

講義のねらい

伝統的論理学から現代記号論理学に至る論理思想を学び、正しく考え語るための方法と態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ①論理学とは何か ②思考の基本原則 同一律 ③矛盾律 ④排中律 ⑤充足理由律
 ⑥原因の探求 ⑦帰納と類推 ⑧仮説演繹法 ⑨概念の形成 ⑩カテゴリーと判断
 ⑪演繹推理直接推理 ⑫定言三段論法 ⑬仮言および選言三段論法 ⑭ディレンマとパ
 ドクス
 ⑮中間テスト

後期

- ①記号論理学の発想と起源 ②命題の記号化と論理式 ③真理表とトートロジー
 ④標準形 ⑤公理体系 ⑥定理の演繹 ⑦公理体系の完全性と無矛盾性 ⑧命題論理学の
 限界
 ⑨述語論理学 ⑩公理体系 ⑪伝統論理学の反省 ⑫直接推理の記号論的考察
 ⑬三段論法の記号論的考察 ⑭論理とことば ⑮定期試験

履修上の留意点

講義内容をよく理解し、日常の思考活動を反省しつつ論理的に考える態度を養うこと。

成績評価の方法

中間試験、定期試験の成績による。

教科書

「新しい認識への論理」山下太郎 公論社

参考書等

論理学綱要 三島新吉 内田老圃鶴新社

科目名	論理学【5〔知の技法〕】	開講	通年	単位	4
担当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	<small>いこた まさる</small> 伊古田 理				

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	論理学【7〔知の技法〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	植野 公稔 <small>ういの きみとし</small>				

講義のねらい

いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なのかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいてほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。

履修上の留意点

本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人たちもいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしてしてくれるのならば、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。

成績評価の方法

事項の習熟度を確認するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題（2000字程度）によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。

教科書

野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

科目名	科学史【2〔近代科学の成立と展開〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏経 A 商法 A 政選				
担当者名	たかはし しゅうゆう 高橋 秀裕				

講義のねらい

近年、近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題がしきりに議論されている。本講義では、古代から近代までの科学の歴史的発展を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学ぶことを通して、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解することを目標とする。とりわけ、近代科学が形成された、いわゆる「科学革命」の時代と呼ばれる17世紀西欧に焦点をあて、古代以来の自然認識の枠組がどう変革されたかを探るとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、古代ギリシャの自然哲学や幾何学の話題から出発し、近代科学の成立、発展の歴史を、自然観の変遷、宗教との関係、方法論の確立に注目しながら概観する。後期は、近代科学の成立、発展に積極的な役割を果たした「数学」の歴史的発展について講義する。とりわけ、近代西欧数学に特徴的な代数的思考法の重要な一側面である、代数的論証法の形成過程を、数学外的諸要因をも含めて考察する「総合的数学史」の観点から探る。

履修上の留意点

いわゆる自然科学・数学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法

講義内に課すコメントカード（兼出席票）と随時のレポートおよび定期試験で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の際に適宜紹介する。

その他

講義形式、随時プリント配布

科目名	倫理学【1〔人間観〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	<small>ふるた ともあき</small> 古田 知章				

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―

新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	倫理学【2〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	くろさき つよし 黒崎 剛				

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・
授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理—講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	倫理学【3〔価値観〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	滝沢 <small>たきざわ</small> 正之 <small>まさゆき</small>				

講義のねらい

倫理学の基本的な考え方を紹介する。
 我々はすでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることに気づく。
 そこで、ポイントごとに、それらの問題を考えていくことになる。その際、主に近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を手がかりにするので、これの解説をしつつ、問題に向かうことになる。
 たとえば、道徳的な善し悪しの判断と、個人の趣味はどう関係するのか。不純な動機から（「誉められたい」など）善いことをすることをどう評価するのか。人間を殺してはいけないのに、動物を殺してもいいのか。その他もろもろ。

講義の内容・授業スケジュール

前期にカント倫理学の基本概念を解説する。それを踏まえたうえで、後期には以下のような問題を扱う予定。動物愛護の問題、人間の自由の問題、国家と道徳の問題。
 細かいスケジュールは講義中に示す。

履修上の留意点

特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

適宜プリントを配布する予定。
 また、講義中に適宜指定する。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
 また、講義中に適宜指定する。

科目名	倫理学【4〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	あこお たかし 麻生 享志				

講義のねらい

応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。（これを倫理学・哲学で”実存的”問いと呼んだりする）ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学（理論的倫理学）の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。生命倫理的内容からはじまる応用倫理的話題、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。

履修上の留意点

最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を“楽しんで”もらえたらいいと思います。

成績評価の方法

前期試験（45%）、後期レポート（レポート試験）（55%）
前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3－4枚程度を予定

教科書

久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊（前期試験受験に必須）

参考書等

特になし

その他

初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	倫理学【5〔制度とモラル〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	滝口 清栄				

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。
こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（前期の最終授業時）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	倫理学【6〔東洋倫理〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	末木 恭彦				

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思索は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年は環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐる議論が行われた。その中国古代の環境をめぐる議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。

教科書

浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

科目名	倫理学【7〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small>				

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動ともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理—講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	宗教学【1〔比較宗教文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	いけがみ よしまさ 池上 良正				

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、まず近代的用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験を行なう。

教科書

特に指定しない。

参考書等

『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）。『エリアーデ著作集』（せりか書房）。上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』（筑摩書房）。脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）。ランジュ『ユダヤ教とはなにか』（青土社）。

科目名	宗教学【2〔聖と俗〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	田中 ^{たなか} ^{かのこ} かの子				

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の恐れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート。

教科書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2006年、改版

その他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

科目名	宗教学【3〔世界観と儀礼〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	おがわ としゆき 小川 順敬				

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	宗教学【4〔日本人の宗教〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	やの ひでたけ 矢野 秀武				

講義のねらい

宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前半はおもに、日本の諸宗教の概説、冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教とその変化を中心に取り上げ、宗教人類学・宗教社会学の視点から解説を加える。後半では、宗教の思想的側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	宗教学【5〔生活と宗教〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	菅原 壽清 <small>すがわら としきよ</small>				

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	宗教学【6〔民俗宗教の諸相〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	あさかわ やすひろ 浅川 泰宏				

講義のねらい

宗教は、「人間生活の究極的な意味をあきらかにし、人間の問題の究極的な解決にかかわりをもつと、人々に信じられている営みを中心とした文化現象」（岸本秀夫）と説明されるように、あらゆる社会に存在する普遍的文化であり、同時に人間の根源的思考様式のひとつです。本講義では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

まず現代社会における「宗教」のすがたをデータ等から確認し、続いて、宗教学の基本的な考え方を学びます。その上で、身近な宗教的いとなみである民俗宗教に焦点をあて、「祭り」、「死者供養」、「巡礼」等のトピックを通して、「宗教」という観点から現代社会を考えるための実践的なトレーニングを行います。

履修上の留意点

講義内容についての考察を記入したコメントカードを、毎回提出していただきます。そのため、皆さんには講義を消極的・受動的に「聴く」のではなく、積極的・能動的に「理解」し、「考える」姿勢を求めます。

成績評価の方法

レポート（60点）とコメントカード（40点）によって評価します。
なお、評価にあたっては、理解力、論理的思考力、独創性を重視します。

教科書

指定しません

参考書等

棚次正和・山中弘編 2005 『宗教学入門』 ミネルヴァ書房
関一敏・大塚和夫編 2004 『宗教人類学入門』 弘文堂
井上順孝編 2005 『現代宗教事典』 弘文堂
池上良正他編 2003 『岩波講座 宗教』（全10巻）岩波書店

その他

詳細については、初回授業時のガイダンスで説明します。

科目名	人文地理学【1〔風土と文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選				
担当者名	やまぐち たろう 山口 太郎				

講義のねらい

今年度は、人文地理学の一分野である「文化地理学」を体系的に学習する。ただし、全学共通科目なので、人文地理学の研究対象である地域事象については、あくまで事例として扱い、講義の重点は人文・社会科学に広く適応できる文化論・社会問題の提供に置く。

講義の内容・授業スケジュール

I. イントロダクション

II. 文化地理各論

- ・都市・郊外・レジャーの空間といった地域・場所を対象として、以下の項目を中心に解説する。
- ・若者文化、エスニシティ、階級、世代・ライフコース、ジェンダー・セクシュアリティ、メディア、権力、レジャー、住居、自然

III. 文化地理学の方法論

- ・地域、景観、環境、分布

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

前期・後期試験で評価する。小レポート等の平常点も評価の対象とする。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

中川正・森正人・神田孝治2006『文化地理学ガイダンス』ナカニシヤ出版。
大城直樹・加藤政洋2006『都市空間の地理学』ミネルヴァ書房。

その他

講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。

科目名	人文地理学【2〔風土と文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選				
担当者名	たかはし けんたろう 高橋 健太郎				

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。

具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1) 人文地理学からみた文化、(2) 大衆文化と文化景観、(3) 日本の基層文化の地域性、(4) 照葉樹林文化とブナ帯文化、(5) 環境決定論と環境可能論、(6) 地域文化と観光、(7) 地図、(8) 地名、(9) 空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容(30%)と定期試験の結果(70%)で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり(授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。

高橋伸夫ほか『文化地理学入門』(東洋書林)
鈴木秀夫『風土の構造』、講談社(講談社学術文庫)
佐々木高明『日本文化の基層を探る』(日本放送出版会)
田畑久夫『照葉樹林文化の成立と現在』(古今書院)
市川健夫ほか『日本のブナ帯文化』(朝倉書店)
中島峰広『日本の棚田』(古今書院)
溝尾良隆『観光学』(古今書院)
若林幹夫『地図の想像力』、講談社(講談社選書メチエ)。

その他

この授業では、部活動や就職活動などの理由は、採点の際の参考にしない方針である。

科目名	人文地理学【3〔空間と行動〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選				
担当者名	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>				

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。

(1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校の数学I程度の基礎知識に不安がないことが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価する。

教科書

高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

参考書等

北川建次編『現代都市地理学』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-3044-0
 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-4027-6
 ノックスP.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』（古今書院）6,090円、ISBN4-7722-5103-0

その他

講義ではプリントを随時配布する。

科目名	人文地理学【4〔空間と行動〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選				
担当者名	伊藤 ^{いとう} 修一 ^{しゅういち}				

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。
 (1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校の数学I程度の基礎知識に不安がないことが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価する。

教科書

高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

参考書等

北川建次編『現代都市地理学』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-3044-0
 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-4027-6
 ノックスP.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』（古今書院）6,090円、ISBN4-7722-5103-0
 なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

その他

講義ではプリントを随時配布する。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国234選				
担当者名	豊田 ^{とよた} 千代子 ^{ちよこ}				

講義のねらい

この授業では、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」について、それを「思想として読む」ことをめざす。具体的には、子どもの権利条約の思想的基礎となっている「コルチャック先生」(ヤヌシュ・コルチャック、本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942)の子ども観について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育の振り返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想(子ども観)
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席状況、小レポート、レポートによる。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』(ほるぷ出版)

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英234選				
担当者名	北村 ^{きたむら} 三子 ^{みつこ}				

講義のねらい

日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想をその基礎にある考え方にも注意しながら学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国234選				
担当者名	豊田 <small>とよた ちよこ</small> 千代子				

講義のねらい

教育のあり方は、社会のあり方と関わっている。授業では、自分たちの受けてきた教育をふり返し、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返し
- ・教育をめぐる諸問題
 - ・近代社会と学校教育制度について
 - ・子どもの身体と教育・社会
 - ・その他

(詳細は第1回の授業時に説明する。)

成績評価の方法

出席状況、小レポート、レポートによる。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英234選				
担当者名	北村 <small>きたむら みつこ</small> 三子				

講義のねらい

近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英234選				
担当者名	おおはま きくこ 大浜 幾久子				

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学び、21世紀の新しい教育観を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英234選				
担当者名	すみの ぜんじ 角野 善司				

講義のねらい

教育心理学は、教育場面において、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)教育心理学とは (2・3)発達観の変遷 (4・5)発達の規定因 (6)教育の最適期 (7)発達段階と発達課題 (8)学習への動機づけ (9)内発的動機づけ (10)学習性無力感 (11)原因帰属 (12)学習目標と遂行目標 (13-15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法

免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以上ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英234選				
担当者名	おおはま きくこ 大浜 幾久子				

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英234選				
担当者名	すみの ぜんじ 角野 善司				

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどのように規定し、導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1)カリキュラム（教育課程）とは (2)カリキュラムに関する法制 (3)カリキュラム編成の原則 (4)学習指導要領改訂の歴史 (5-6)平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (7-8)平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (9-10)学習指導要領をめぐるその後の動き (11-13)カリキュラムと教育評価 (14-15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法

免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

追って指示します。講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史日外考心営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>				

講義のねらい

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマンセミナー」だそうだ。日本人である私にとってこのカタカナ文字は刺りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置きする。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどういふものか組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き）
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き）
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合）
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語）
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語）
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことば）
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営していきます。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

随時、講義の前後に報知します。

参考書等

随時、講義の前後に報知します。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	佐原 作美				

講義のねらい

学びのためにある学生生活を送るに当って、学部学科を問わず必要と思われる基礎的な知識や、物事に対する心得や態度など、ごく基本的な事柄について学び、かつその応用力としての考える力や表現力を養うことを目標としていく。

講義の内容・授業スケジュール

学生に求められることはより豊かな感性を磨き持つべく努力することであろう。そのための基本的な方法として文章の読解や表現力あるいは思考力が求められよう。そこで授業では、その方法として古典などの文学作品を素材としてその手懸りとしていきたい。それによってあわせ日本の伝統文化や思想面についても知識が得られるよう考えていきたい。

履修上の留意点

目的意識と向上心を強くもって臨んでほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席（重視）などを見て総合的に評価する。

教科書

当面はプリントの配布をもって行う。

参考書等

必要に応じて授業の中で紹介する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>				

講義のねらい

—自己表現力のためのレッスン—
 自分の考えをわかりやすく主張する力が不足している人、言葉で表現する力を磨いて今の自分を少しでも変えたいと思っている人、そういう人たちのために表現力を養う手助けをする。

講義の内容・
授業スケジュール

自己表現力は、大学での効果的な学びに必要な力の一つである。いろいろな種類の文章を読み、理解する力、自分の意見を筋道立てて説明する力、限られた時間にまとまりのある文章を書く力を、実際の作業を通して養う。なお、授業中に文章を書いてもらう場合と、授業外の時間に課題として書いてもらう場合とがある。教材は、新聞記事、評論、手紙、詩、歌詞など。特に、今日的な問題を提起しているものを多数取り上げる予定。

履修上の留意点

授業では文章を次から次へと読み、課題を書き、報告することが要求される。オーソドックスな講義形式を希望している受講生には不向きなので、履修するときにはその点を留意すること。また、人数は少数が望ましく、希望者は最初の授業から出席すること。

成績評価の方法

提出物、授業中の発言内容、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）から総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心管A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	さかぐち ひろき 坂口 博規				

講義のねらい

平成18年度より、入学初年度に受講する科目として開設されたもので、大学生生活を有意義に送ってもらうことをねらいとしています。

殆どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的・能動的に過ごしてほしいと考えています。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるところ大です。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるように、言葉の伝達（日本語表現）の大切さを自覚してほしいものです。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的に立って、毎時間テーマを設定して講義し、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます（1～5）。講義中心ですが、受講生の人数や教場の形態などの条件によって、作文の添削や討論会の設定なども工夫したい。特にコミュニケーション論の一端として、言語断絶の疎外状況を物語る「変身譚」について考えてみたい（6～10）。また日本語表現の特質なども考えてみたい（11～13）。

履修上の留意点

「自己表現」の大切さを学んでほしい。言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしいと思います。

成績評価の方法

授業の最終日に提出のレポートの成績評価。レポートは同じ題目にて2種（1つは要旨）提出してもらいます。また授業の折々に課題を出して小レポートも提出してもらいます。出席状況も参考にして、総合的に評価します。

教科書

授業の折々にプリントを配布します。

参考書等

授業において紹介します。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	<small>そのへん みきお</small> 菌部 幹生				

講義のねらい

大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2～4 大学と大学生生活。5～7 キャリアデザインとライフスタイル。8～11 表現法とレポートの書き方。12 レポート提出。13 まとめ。
 ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。

履修上の留意点

本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。

成績評価の方法

出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	いしわり 石割 透 <small>とほろ</small>				

講義のねらい

日本文化に特色があるとすれば、それはどのようなものなのか。この授業では、近代になり西洋世界との接触が次第に深まるにつれて、西洋から訪れた人たちに日本がどのように見られ、記述されたのか。それによって、日本の文化の特徴を検討し、国際化の進む状況の中で歩むべき方向を考えていこうと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には、主に小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）『日本瞥見記』、ヴェンセスラウ・デ・モラエスの『日本精神』などを読み、彼等に日本人の宗教・住居・風景・生活習慣・芸術などがいかに見られたかを述べ、近代の西洋世界との接触の深まりの中で、喪なわれたもの、得られたものを考え、そのことの意味に触れたいと思います。

履修上の留意点

小泉八雲、モラエスのみならず、16世紀に訪れた西洋人より現在に至るまで、西洋人の日本について記した文献は数えきれない程多数あります。できるだけ多くの書物に触れ、その見方も西洋の諸国、時代によっていかに異なっていかも考えてほしいと思います。また、東洋、南洋の国々からいかに見られてきたかも、同時に考え、西洋人のまなざしを相対化することも試みて下さい。

成績評価の方法

1、2回のレポートの提出。出席状況を重視し、成績評価に加味する。

教科書

小泉八雲『日本瞥見記上・下』（恒文社）、モラエス『日本精神』（彩流社）など。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で授業を進め、必要に応じてプリントなどを準備する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>				

講義のねらい

山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ（第一作は1969年公開）とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』、『故郷』、『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』、『遙かなる山の呼び声』である。これらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真ただ中において、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廃墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。

 講義の内容・
授業スケジュール

上記した映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに迫ってみたい。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	松田 <small>まつだ なおゆき</small> 直行				

講義のねらい

大学の授業から最大限のものを得たいと真剣に考えている新入生を対象に、大学での学業の基本を講義する。レポートの書き方や図書館・パソコンの活用法など実務的な事項を確認しながら、教科書を使用して「教養とは何か」を考え、「学ぶ態度」の基本を身につけていただきたい。また数名ずつのグループを編成して作業を行い、コミュニケーションについて体験的に学ぶ機会も設ける。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 変わる大学 (2) 教養とは何か (3) 地域と大学 (4) 論理的な思考と表現
(5) コミュニケーションについて (6) 図書館とパソコンの活用法 (7) レポートの書き方

履修上の留意点

大学生活を始めるにあたって授業にしっかり出席する習慣を身につけていただくためにも、2/3よりは多い出席を必須とし、遅刻は認めない(途中入室を許可しない)ので注意すること。図書館でのガイダンス、パソコン教場の使用、世田谷保存住宅見学など、通常の教場以外で授業を行う場合がある。予定は随時授業の中で指示するが、欠席の場合はインターネット Komsyの詳細情報表示で確認すること。

成績評価の方法

前期定期試験期間中にレポートを提出していただくが、出席状況や、授業の中で求める様々な課題の提出状況を加味した上で採点する。

教科書

村上陽一郎『やりなおし教養講座』、NTT出版、1,680円。

参考書等

竹内洋『教養主義の没落』、中公新書1704、819円。阿部謹也『「教養」とは何か』、講談社現代新書1358、735円。筒井清忠『新しい教養を求めて』、中央公論新社、1,680円。

その他

初回の授業でガイダンスを行う。なお後期科目の「日本文化基礎(松田)」はこの授業とは別の科目であり、必ずしも両方を履修する必要はない(してもよい)が、後期科目は履修登録の前にガイダンスを行う機会がないので、そのガイダンスもこの前期授業の初回にあわせて行う。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	佐原 作美 <small>さきはら さくみ</small>				

講義のねらい 日本文化とは何か、をテーマとしていきたい。そこでそれを考えていくその方法の一つとして日本の古典文学、特に『古事記』や『万葉集』や『風土記』など、古代文学をもとにそれらを読みながら考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、古代の日本人の精神文化の要素として、
 (1)呪的(物)信仰について
 (2)言霊信仰について
 (3)夢信仰について
 の三つをテーマとしてあげ、それらが古典文学の中でどのように展開しているかを見ることによって前述のテーマに迫りたい。また、それらが古代人のみならず、現代人においての有りようをもあわせて考えていきたい。

履修上の留意点 素朴な問題意識と各自の感性を磨く意欲をもって臨んでほしい。

成績評価の方法 折々の提出物や試験や出席(重視)などを見て総合的に評価する。

教科書 プリントの配布をもって行う。

参考書等 必要に応じ授業の中で紹介する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>				

講義のねらい 一〈家族〉の文学史……描かれた古代の女と男一
 古代の文学作品を中心に取り上げ、それらに描かれた古代の人々の生活を見ていきたい。例えば、良妻／悪妻とはどのような妻か、あるいは悪母／慈母とは何か、男女の関係や親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなど、実際に古典の一節を読みながら考える。

講義の内容・授業スケジュール 取り上げる作品は『日本霊異記』や『今昔物語集』などの説話文学や、『蜻蛉日記』などの日記文学、『源氏物語』などの物語である。描かれている記事の歴史的社会的な背景が理解できるように、周辺の資料も読みながら、現代につながる人間の問題をさぐってみたい。併せて古典文学のおもしろさが味わえるとよい。

履修上の留意点 授業は主としてプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法 期末に行う試験(日時・論題等は授業時に提示)・授業態度(欠席・遅刻をしないことは前提)・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 プリント教材。

参考書等 参考書は、授業中に指示する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろ規</small>				

講義のねらい

日本文学は社会や風土と深く関わり合い、複雑多様で豊かな展開を示している。時代時代において様々な思想の推移において美意識の変遷が見られる。その全ては現代に至るまで日本文化の特質を示すものであり、長く伝統を形成している。それら各時代の文学に表われた美的理念をたどり、日本的な美意識の流れを考える。

講義の内容・授業スケジュール

古代から近世までの、主として古典文学に現れた美的理念を概説する。古代の「まこと(明・浄・直)」(1～3)、平安期の「あはれ」「をかし」「はかなし」(4～7)、中世の「無常」「幽玄」「妖艶」(8～10)、近世の「粹・通・意気」「滑稽」(11～13)等々を取り上げ解説する。

履修上の留意点

授業はプリント教材を用いて講義形式で行うので、出席に努めてほしい。

成績評価の方法

定期試験時のレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜紹介する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	園部 幹生 <small>そのべ ますき</small>				

講義のねらい

真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的事象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4 自己認識の文化。5 食文化。6 住まいの文化。7 服飾文化。8 宗教文化。9 テレビゲームの可能性と文化的展望。10 文化史としての日本文学。11 伝承文芸。12 教場試験。13 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、12月の最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達(該当者・テーマ・提出期限等)を行うので必ず出席すること。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	いしわり とおる 石割 透				

講義のねらい

日本の戦争及び戦後のことを考えることは極めて重要な課題であるが、戦後の風景を検討するに際して、この授業では、昭和27年に放送劇として始まり、その人気ゆえに映画、歌謡、小説など、多くのジャンルにまたがって、大きな人気を博したメロドラマ、「君の名は」について、その人気を博した理由を考え、戦後の1時期における戦中観を検討してみたい、あわせて、日本のメロドラマの系譜を概観することで、日本の戦後の文化の一端を考察してみたい。

 講義の内容・
授業スケジュール

「君の名は」は、放送劇であるがゆえに、現在はその台本でしか、その内容に触れることができない。小説も、全国の幾つかの図書館でしか、現在では見ることはできない。(河出書房の文庫本も、現在では絶版である。) わずかに、映画全三部作がビデオなどで見ることができのみである。レンタルビデオなどで、あらかじめ、その物語に触れていただければ、幸いである。

履修上の留意点

「君の名は」の内容にこだわらず、この時間には、放送劇、映画、絵画などの分野にも拮げ、その特徴、歴史などにも触れる予定である。メロドラマ、歌謡曲、大衆小説などにも関心をもって授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

出席を重視する。戦後文化についてのレポートを提出。それらによって評価する。

教科書

特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。

参考書等

その都度、授業中に紹介する。

その他

映画などは、ビデオで見せることを考えています。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	こばやし おさむ 小林 治				

講義のねらい

宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわられてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類無き想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。

講義の内容・授業スケジュール

上記の賢治作品の実相を、生前発表作品である『氷河鼠の毛皮』、『シグナルとシグナレス』、およびその生前に唯一出版された童話集『注文の多い料理店』所収の作品などにみていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

宮澤賢治『宮澤賢治全集第8巻』（ちくま文庫）
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

講義のねらい	講義タイトルは「流行歌の近代史～J-POPへの道程」。明治維新から現代までの流行歌を通して、①世相風俗とメディア史を中心とした近現代史、②伝統音楽・西洋音楽・ジャズの3要素の交錯と融合による現代音楽史、③西洋音楽に日本語をのせる歌詞の問題、の3つを並行して考える。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 音の科学 (2) 基本の楽理 (3) 明治における西洋音楽の移入 (4) 浅草オペラとモダニズム (5) 流行歌の誕生 (6) 戦後の歌謡曲 (7) ビートルズとロックの時代 (8) 歌謡曲からJ-POPへ
履修上の留意点	新入生と2年次生を対象として、各自の興味・関心をもとに真剣に授業に取り組む学習姿勢を身につけること自体も目的としているので、基本的に毎回出席する姿勢が求められ、遅刻しての入室は禁じる。
成績評価の方法	定期試験期間中に筆記試験を行う。授業で指示する提出物や出席状況も考慮して採点する。
教科書	指定しない。授業で毎回プリントを配布する。
参考書等	佐藤良明『J-pop 進化論』平凡社新書、¥725。
その他	後期科目だが、希望者には4月の履修登録前にガイダンスを行う。前期科目の「フレッシュマンセミナー(松田)」の講義内容を参照。前期科目はこの授業とは別であり、必ずしも両方を履修する必要はない(してもよい)が、前期授業の初回にこの授業のガイダンスもあわせて行う。

科目名	日本語文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	萩原 義雄 <small>はきはら よしお</small>				

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
(中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど)
- 05の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1(中国と日本)
- 06の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2(朝鮮半島と日本)
- 07の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3(モンゴルと日本)
- 08の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4(ベトナムと日本)
- 09の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5(タイと日本)
- 10の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6(インドネシアと日本)
- 11の講義内容 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に)
- 12の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その1(ギリシャ&トルコと日本)
- 13の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その2(イタリアと日本)
- 14の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その3(英国・米国・豪国と日本)
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてきたりした場合は、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

期末にレポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

随時、講義の前後にて報知します。

参考書等

随時、講義の前後にて報知します。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	日本語文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>				

講義のねらい

今やパソコンは使えて当たり前前の時代ですが、使いこなしているでしょうか？この授業では、使いこなす上で必要な表現力（大学生として恥ずかしくない日本語能力・文章力、色彩および図解能力）を強化します。

日本語能力は、語彙を増やし、読み仮名や漢字の間違いを減らすことに重点を置きます。また、社会生活で必要な慣用句やことわざの意味、敬語の基本を確認して、活用できるかどうかをチェックします。

文章力は、簡潔でわかりやすい実用文の書き方のポイントと、説得力のある文章の構成方法を学び、小論文などを実習します。

色彩及び図解能力では、色彩の基本と表や図形を書くときの注意点を学び、図解の基本的な作成方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 情報利活用における表現力の位置づけ
- 第2回 語彙を増やす（送り仮名・同音異義語）
- 第3回 語彙を増やす（慣用句）
- 第4回 語彙を増やす（ことわざ・敬語）、練習1
- 第5回 良い文のポイント、練習2
- 第6回 文章の構成（要素と構成方法・要約・見出し）、練習3&4
- 第7回 さまざまなビジネス文書、練習5
- 第8回 小論文の構成、引用の提示方法、エントリーシート、練習6&7
- 第9回 色彩と図解の基礎知識、練習8&9
- 第10回 グラフを作る、練習10
- 第11回 グラフや図解でものを考える、練習11
- 第12回 Drill
- 第13回 予備日

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の授業で定員を超えた場合は、2回目の授業時に抽選を行ない、履修登録許可書を発行します。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回講義のあとに練習問題を課します。その課題の提出は翌週までにメールに添付して提出します。評価は出席点・課題提出点・および授業内試験による総合評価です。

教科書

自作教材

参考書等

必要時に、適宜指示します。

その他

「基本が大切」とは、よく言われることですが、パソコン操作も基本が大切なことになり変わりはありません。パソコン操作の基本とは、すなわちキーボード操作です。Windowsの出現以来、専門家や一部の愛好者ばかりでなく、誰もが触れるようになったパソコンですが、マウスの操作だけではパソコンの機能のうち、ほんのわずかなことしかできません。

ワープロによる文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心であり、現在専門家としてパソコンを操作している人も初めはキーボードの入力から覚えていったのです。初心者にとっては、大きなハードルとなるキーボードですが、情報化がすすむ社会では不可欠の技能と言えます。総合情報センター内のコンピュータに入っているタッチタイピングソフトの「Type Quick」で入力のスキルアップを図ってください。

科目名	日本文化研究IA	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>				

講義のねらい

授業では『万葉集』の講読を中心に進める。『万葉集』は承知の如くわが国最古の大歌集であり、約4500首もの和歌を取める国民的古典である。授業ではその中から特に特色ある歌人として知られる山上憶良の作品を中心に読んでいくと共に、作者憶良の人間像を探求することを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

憶良を理解するにはその作品を精読することが第一であり、それにあわせその時代や社会などとの関わりをも視野に入れる必要がある。授業では、憶良の全作品を創作年代順に追いながら、その全体像の把握につとめながら共に読んでいきたい。

履修上の留意点

授業は単に出席して講義を聞けばいいというものではない。自ら積極的に作品を読み、考え、味わうことが大切である。作品は人間から生れた文学芸術であることを忘れずに、意欲的に立ち向かうようにしてほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席などを見て総合的に評価する。

教科書

土橋 寛編『作者別万葉集』（おうふう）2,000円

参考書等

授業時に必要に応じてその都度紹介する。

科目名	日本文化研究IA	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small>				

講義のねらい

鎌倉時代初期に成立した私家集（＝個人歌集）『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛娘徳子（安徳天皇母）の宮廷に女房として仕えた、「右京大夫」と称した女性の歌集である。他人詠も含めて361首の歌が、全体ほぼ年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学に指摘される自照精神を問うこともできる。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋に陥り、以後平家一門の都落ちに伴う資盛の流転、壇の浦での死去を体験し、その追想の日々を過ごす。その戦乱期に運命を翻弄された作者の人生を、散文（＝詞書）と韻文（＝和歌）が見事に融合したと評価される作品を通して考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時（1・2）は、女性の手になる自照文学の流れを概観し『平家物語』の裏面史とも言うべき本作品を理解するため『平家物語』の女人哀話を紹介（3）、前期は平資盛との交渉を中心に作品を講読する（4～13）。後期は似絵（肖像画）の名手であり歌人でもあった藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩するが、その交渉を伝える和歌を中心に作品を読み進め（14～25）、和歌文学の魅力を考える（26）。作品研究という形で本文を読みたい。

履修上の留意点

和歌の魅力を感じてもらうように、いくつかの作品を分析的に読解してみるが、まず作品の成立した平家全盛の時代、そしてその滅亡の歴史的背景について研究してほしい。なお宮廷社会について考察してほしい。

成績評価の方法

授業内試験の成績に、平素の出席状況や授業への取組みを参考にして評価する。

教科書

久富高文編『建礼門院右京大夫集』（おうふう）1,890円

科目名	日本文化研究ⅠA	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>				

講義のねらい

『源氏物語』入門……禁忌と夢を中心にー
 日本文化の基底をなす文芸の一つとして、古代より人々によって読み継がれ、受け継がれてきた古典文学『源氏物語』を取り上げる。文学作品としての価値はどのようなところにあるのか、またその享受のあり方は時代の流れにともなってどう変わってきたか、実際に作品世界の一端に触れつつ考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、『源氏物語』の中核となっている、光源氏と藤壺の禁忌の恋の物語を取り上げて物語世界での位置付けや注釈の歴史をたどりつつ読み解く。後期は、『源氏物語』において夢がどのように描かれ、物語の展開に関わっていくか、明石の一族の物語を中心に読み解く。

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式を基本とするが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

半期毎に行うレポート試験、提出物（授業中に短い作文の提出を求めることがある）、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）等から総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

『ビギナーズ・クラシック源氏物語』角川ソフィア文庫（角川書店）、その他プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

科目名	日本文化研究IA	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政管A選				
担当者名	<small>そのへ</small> 菌部 <small>みきお</small> 幹生				

講義のねらい

日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6・7 宇治拾遺物語の特徴。8～18 編者論。19～24 作品論。25 教場試験。26 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫

参考書等

『駒澤短大國文』36号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

科目名	日本文化研究I B	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	<small>こばやし おさむ</small> 小林 治				

講義のねらい

現代文学の作家と映画との関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げて、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についてもいくつか取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。

履修上の留意点

授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と併行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。

教科書

安部公房『砂の女』（新潮文庫）400円
 安部公房『他人の顔』（新潮文庫）450円
 その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化研究I B	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

講義のねらい

近代以降の日本における演劇と芸能の諸相を、多角的に考察する。西洋近代劇の移入に始まる演劇史を中心としながら、浅草オペラや宝塚、ミュージカルなどの音楽劇、寄席の芸能や大道芸に至るまでを広い視野でとらえ、ジャンルの枠を超えた発想から近代日本におけるライブ・パフォーマンスの全体像を見つめる。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 芸能とは何か (2) 現代日本の芸能と演劇の実情 (3) 歌舞伎開化から新派へ
(4) リアリズム演劇の理念 (5) 近代演劇の移入と新劇 (6) 帝劇と宝塚 (7) 浅草オペラとエノケン (8) 漫才と喜劇 (9) 大道芸と見世物 (10) 近代戯曲を読む－イブセン「人形の家」と岸田国士「紙風船」

履修上の留意点

できる限りの映像資料を使って芸能や演劇に触れてほしいと思っているが、それは単なる映像に過ぎないことも事実である。授業時間以外に自分で様々な芸能や演劇の場に足を運び、レポートとして報告する課題を出す。機会があれば希望者を募っての観劇会も企画したい。

成績評価の方法

出席状況を重視するが、学年末の定期試験期間中に筆記試験を行い、またそれとは別に前期・後期それぞれにレポートの提出を求め、総合的に評価する。

教科書

指定しない。随時教場でプリントを配布する。

その他

この授業で扱う内容からさらに専門性を深め、自分の興味にしたがって各自が研究し発表する演習形式に近い形態を取り入れた「日本文化研究IIB (松田)」を今年度から開講する。こちらのIBを先に履修してから、翌年度以降さらに興味があればIIBを履修していただきたい。

科目名	日本文化研究IB	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	いしわり とおる 石割 透				

講義のねらい

1910年から20年代にかけての日本の、主に短篇小説を読む。
 主に大正時代の文壇の中心にいた作家――芥川龍之介・志賀直哉・谷崎潤一郎・菊池寛・江戸川乱歩ら――の作品を読みそれぞれの作家の特質、作家の生きた時代の社会的、文化的状況を検討する。大正期には、それぞれの個性が開花し、現代に通じるさまざまな表現方法が見出され、生きるうえでの課題が生まれたが、代表的な短篇小説を扱うことで、そのようなテーマを検討していく。とりあげる作品は、芥川龍之介「芋粥」「舞踏会」「雛」、谷崎潤一郎「白昼鬼語」「小さな王国」「春琴抄」「痴人の愛」、志賀直哉「小僧の神様」「焚火」、菊池寛「屋上の狂人」「父帰る」「海の勇者」「入れ札」「真珠夫人」、江戸川乱歩「人間椅子」「芋蟲」など。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作品を読み、それぞれの作品にひそむ課題、表現方法、社会的背景などを検討していく。大体、前期、後期、4、5つの作品をとりあげる予定である。

履修上の留意点

授業に際して、各々の作品を前もって十分に読んでおくことが望ましい。各作品に絡めて言及する作品についても、すぐに図書館にでも行き、読んでほしい。短篇小説だから、すぐに読める筈である。

成績評価の方法

年度2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。

教科書

特に指示しないが、扱う作品は、主要な文庫本などで比較的容易に読むことが可能である。例えば谷崎潤一郎「美食倶楽部」(ちくま文庫)、江戸川乱歩「江戸川乱歩傑作選」(新潮文庫)、芥川龍之介「芥川龍之介全集I～VI」(ちくま文庫)、谷崎潤一郎「痴人の愛」(新潮文庫)など。年表の会編『近代文学年表』(双文社)。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義を中心に進行する。授業に必要なコピーなどを、その都度準備する。

科目名	日本語文化研究I	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	萩原 義雄 <small>はきはら よしお</small>				

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する紙面日本語資料の実態についてその保管現況の把握が第一義となります。これをどう時代区分しているのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化研究としてどのような重要性を有し、どのように発展研究していくのかを各で認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
日本文化の未来と古代をつなぐ
- 02の講義内容 五十音圖のはなしと音訓について
文字資料(漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字)から日本語学資料へ
- 03の講義内容 「いろはうた」と「あめつちのうた」そして「たゐにのうた」
- 04の講義内容 『伊勢物語』第九段 「東下り」を読む
- 05の講義内容 『野馬臺詩』をめぐる説話譚 —『吉備大臣入唐絵巻』— PDF版
- 06の講義内容 「落書」 PDF版
- 07の講義内容 「手紙」失われた文字 PDF版
- 08の講義内容 文字の修得と習学 PDF版 かなについて 貴族階級とことば教育 佛教界とことば教育
- 09の講義内容 文字の運びと流れ PDF版 カタカナ文献資料について— 『古今和歌集』(旧伏見宮家藏)一二〇六年寫 —
- 10の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その1 PDF版 — 『今昔物語集』(京都大学附属図書館蔵国宝、鈴鹿本)—
- 11の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その2 PDF版 — 鈴鹿本『今昔物語集』から古辞書利用へ—
- 12の講義内容 連綿連続にみる日本語の抑揚階調表現 PDF版 — 徳川本・五島本『源氏物語繪巻』のかな書き「ひ」文字 —
夏季課題提出(後期講義に向けてその方向性と準備を説明)
- 13の講義内容 『作庭記』について PDF版
- 14の講義内容 梅沢本『古本説話集』にみる疊字踊り字「／＼」 PDF版
- 15の講義内容 延慶本『平家物語』について PDF版
- 16の講義内容 鴨長明自筆『方丈記』について PDF版
- 17の講義内容 細川三斎忠興筆『徒然草』について PDF版
- 18の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について PDF版
- 19の講義内容 『太平記』について PDF版
- 20の講義内容 中世藝術論〔謡曲・能・狂言〕の言語文化についてPDF版
- 21の講義内容 天草版(キリシタン)資料 PDF版
- 22の講義内容 往来物『庭訓往来』について PDF版
- 23の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』PDF版
- 24の講義内容 『仮名手本忠臣蔵』 PDF版
- 25の講義内容 町人文化とことば 十返舎一九編『東海道中膝栗毛』 PDF版
- 26の講義内容 樋口一葉『たけくらべ』—雑誌「文學界」と「文藝俱樂部」所載直筆原稿—
—冬季課題の提出

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添

成績評価の方法

えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書

紀田順一郎著『日本の書物』[勉誠出版、3000円(税別)]

インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazawa.-u.ac.jp/~hagi>]

参考書等

今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】(笠間書院) 3,800円(税別)
ISBN4-305-70307-6

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	日本語文化研究I	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政宮A選				
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>				

講義のねらい

近頃いろいろな場面で若者のコミュニケーション能力に不安があるという声を耳にします。コミュニケーション能力には、相手の話を聞くこと、意見の主張、説明、プレゼンテーションなどの能力が含まれます。コミュニケーション能力は、相手に効果的に働きかけることのできる「表現力」を身につけることで高めることができます。

本講義では、文章技法からプレゼンの実施までを体験しながら方法論を学び、総合的な表現力を身につける手助けをします。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 知っておきたい日本語の知識
- 第2回 知っておきたい敬語の知識
- 第3回 日本語表現の基礎レッスン—ことばに変える（声を文字に、絵をことばに）
- 第4回 情報を要約する
- 第5回 情報の探し方
- 第6回 アカデミック・ライティング—正確な表現(何を書くか：マッピングで頭の中を取材)
- 第7回 電子ツールによるマッピングの方法
- 第8回 問いの立て方、根拠に支えられた意見提示
- 第9回 論理力トレーニング—紙上ディベート
- 第10回 小論文の構成（構成ノートにしたがって）
- 第11回 文章を書く技法—パラグラフ・ライティング
- 第12回 推敲のしかた（校正記号）

- 第13回 レポートから論文へ（作成の手順と方法）
- 第14回 電子ツールによるアウトライン作成
- 第15回 論文のスタイル、卒業論文の構成
- 第16回 電子ツールによる推敲、コメント機能、編集作業
- 第17回 テクニカル・ライティング—わかりやすい表現
- 第18回 ライティング技法
- 第19回 マニュアル制作（携帯電話の活用方法）
- 第20回 マニュアル制作（携帯電話コミュニケーション術）
- 第21回 スライド作成（1年間を振り返って）
- 第22回 スライド作成
- 第23回 プレゼンテーションの実践（発表会）
- 第24回 プレゼンテーションの実践（発表会）

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の受講者数が定員を超えている場合は、第2回目の授業時に抽選を行ない、受講者を決定します。

成績評価の方法

出席を重視します。殆ど毎回アクティビティーがあり、それに伴う課題提出があり、それも評価の対象になります。課題提出は、次回の授業時まで、添付ファイルでメールにより提出します。最終プレゼン（発表）の良し悪しも評価され、出席・課題・発表の総合評価です。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

コンピュータに慣れていない人は、総合情報センターのトップページから「e-Learning」に入り、Web上PC講習（学内のみ）にて練習してください。

科目名	日本文化研究II A	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>				

講義のねらい

平安朝の末期に成立したわが国最大の説話集である『今昔物語』を通じて、社会の下層に位置する人々が、日々何を願い何を求めて生きていたか、その心性と思想と行動の有りようを探っていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、『今昔物語集』の「本朝仏法」部（巻十一～巻二十）の中から、特に観音や地藏や阿弥陀などの諸仏への信仰をはじめ、興味ひかれる説話を選んで読みながら見つめていきたい。

履修上の留意点

自発的に取り組むことと、何度も繰り返し読んで味読してほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席（重視）などを見て総合的に評価する。

教科書

佐藤謙三校注 『今昔物語集』本朝仏法部、上・下巻（上巻903円、下巻735円）・角川ソフィア文庫（角川書店刊）

参考書等

必要に応じ授業の中で紹介する。

科目名	日本文化研究II A	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>				

講義のねらい

—和歌で読む『源氏物語』—
古典の物語では和歌は重要な役割を果たす。和歌を読み解くことで、作中人物の状況や心情、あるいは無意識の深層まで探れることがある。今回は、特に日本文化の基底をなす文芸の一つ『源氏物語』を取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

精選した場面を原文で読み、和歌の機能について理解を深める。第一部、第二部の物語世界から、藤壺や六条御息所、紫の上の歌などを取り上げる予定。古典和歌になじみのない人も現代語訳の『源氏物語』で和歌がどう扱われているかを確認しつつ物語のおもしろさを発見して欲しい。

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式が基本となるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

前期・後期にそれぞれ一度ずつ行うレポート試験（論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、俵万智『愛する源氏物語』（文藝春秋社）、鈴木裕子『『源氏物語』を〈母と子〉から読み解く』（角川叢書・角川書店）その他、授業中に指示する。

科目名	日本文化研究II A	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	さかくち ひろき 坂口 博規				

講義のねらい

古代の『古事記』『日本書紀』『風土記』等の歌謡を考える。古代の「ウタ」の発生の問題や、「ウタ」の役割（＝古代的意義）を考えるとともに、作品中に登場する歌謡が、その物語の中でどのような役割（＝文学性）を担っているか等を考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめ「ウタ」の発生について考察し（1～3）、次いで古代歌謡の種類（4～6）や形態（7・8）や表現様式・歌体（9～13）などを、『古事記』や『日本書紀』『風土記』の物語を含めて解説する。後期に入り、歌謡が物語にいかなる役割を以って挿入されているかを理解してもらうために、ヤマトタケル物語を『古事記』と『日本書紀』の両方で読む。この二つのヤマトタケル物語は内容を大きく変えており、その違い、『古事記』と『日本書紀』の政治的主張の差などに由来することから、まず『古事記』と『日本書紀』の成立について考察（14～17）、その上でヤマトタケル物語を読み解きたい（18～25）。

履修上の留意点

古代の文学・歴史書たる『古事記』『日本書紀』『風土記』は、その表現や内容上難解な点が多いので、是非注釈書などに目を通してほしい。本文読解を中心に行うことはしないので作品の理解は現代語訳でもよい。

成績評価の方法

定期試験時におけるレポートの評価による。出席状況も参考にする。

教科書

授業時に適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名	日本文化研究II A	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	<small>そのへ みきお</small> 藺部 幹生				

講義のねらい

同じ担当者（藺部幹生）の日本文化研究IAを履修済みという前提で講義を行う。すなわち、『宇治拾遺物語』の編者が文章博士・藤原経範であるという前提に立てば、『宇治拾遺物語』をどのように読むことができるか、という点を最大のテーマとする。恣意的な読み方によらずに、どのように読むべきかという作品研究の立場に立った方法を実践したい。

 講義の内容・
授業スケジュール

1 ガイダンス。2 説話文学の盛衰。3 編者論。4～13作中人物論。14～24作品論。25教場試験。26まとめ。

履修上の留意点

日本文化研究IAを履修済みであることが望ましい。できれば同一担当者の日本文化研究IAを単位修得してから履修することが望ましいが、そうでない場合は、必ず最初の授業時にその旨を相談すること。

また、毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう（試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可）。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫

参考書等

『駒澤短大國文』25号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

科目名	日本文化研究II B	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	いしわり とおる 石割 透				

講義のねらい

日本近代文学と〈京都〉——そうだ、京都。学ぼう。
 京都は平安時代から、政治、文化の中心としてあり、近代においても首都東京と対照的な際だった性格をもつ場所として文学の世界でも表象されてきた。現在でも多くの人たちが訪づれる国際的な都市でもある。日本の文化の本質とも深く関わる、こうした〈京都〉という場所は、どのような空間に位置し、いかなる歴史、文化とかがかかわってきたか。この授業では、京都という地の性格を概観し、それが日本近代文学でいかに表象されてきたかを検討しようとする授業です。文学作品としてとりあげるのは、与謝野晶子「みだれ髪」、吉井勇「祇園歌集」、長田幹彦、夏目漱石「虞美人草」、近松秋江「黒髪」、川端康成「古都」、高浜虚子「俳諧師」、谷崎潤一郎「蓼喰ふ虫」「陰翳礼讃」、三島由紀夫「金閣寺」、大仏次郎「帰郷」など。他に映画、絵画もとりあげたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は京都の歴史的・地理的特色を述べ、京都の町的特色を概観する。それぞれの場所、事象、行事がいかに古典などに表象されてきたかを簡単に説明し、それを基にして、近代文学と京都、について、各テキストに基づいて考えていく。及んでは、それによって、日本近代の特質、日本文化の諸問題を浮きあがらせていく。

履修上の留意点

各授業に先だち、各テキストを読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

年間に2、3回のレポートの提出。出席を重視して、成績評価に加味する。

教科書

特に指示しない。授業時にコピー、印刷物を配布する。

参考書等

授業時に指示する。京都を表象したテキストに注目しておくように。

その他

講義を中心として進行する。

科目名	日本文化研究II B	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	こばやし おさむ 小林 治				

講義のねらい

戦後における文学の第一声ともされる同人誌『近代文学』に依る本多秋五や荒正人の評論から始めて、野間宏、椎名麟三などの第一次戦後派から、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄を経て、小島信夫、庄野潤三などの第三の新人に至るまでの戦後日本文学の軌跡を、それぞれの作家の作品を読むという形で辿ってみたい。そうすることで、敗戦までの日本近代文学の陥穽に対峙することから、その表現の独自性を確立しようとした戦後日本文学の可能性と限界を探りたい。

同時に受講生において、個々に自分にとって文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むという行為がどのような意義を持つのかということをおぼろげにあらためて対象化して考える出発点としていきたい。

 講義の内容・
授業スケジュール

第二次大戦直後の戦後文学の出発期から第三の新人が出揃った昭和三十年代に至るまでの戦後日本文学の軌跡がいかなるものであったのか、その概論を講義形式でおこなうと同時に、個々の作家の重要な作品については、逐次たどちどって具体的にテキストを用意してじっくりと講読する予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

野間宏『暗い絵・顔の中の赤い月』（講談社文芸文庫）
安部公房『飢餓同盟』（新潮文庫）
その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化研究II B	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

講義のねらい

昨年度の「日本文化研究IB（松田）」で概説した演劇・芸能の中から受講者の興味関心に応じたテーマを選び、受講者が分担して調査研究した内容を発表する演習形式に近い要素も取り入れながら、より深い理解を目指す。ビデオによる作品研究も行うが、必要に応じて実際の演劇や芸能を授業時間以外に見に行くこともある。演技の実技は行わない（日本文化テーマ研究Gで行う）。

講義の内容・授業スケジュール

「日本文化研究IB（松田）」で触れた主なテーマとしては、（1）演劇におけるリアルとは何か （2）鴻上尚史の演劇 （3）浅草オペラとエノケン （4）宝塚とミュージカル （5）漫才と喜劇 （6）大道芸と見世物 などがある。ほかに受講者の希望があれば、できる限り応じたい。

履修上の留意点

基本的には昨年度の「日本文化研究IB（松田）」の受講者を対象としているので、それを受講していない場合はまずIBから履修していただきたい。初回の授業でガイダンスを行い、履修に関する質問等を受けつける。

成績評価の方法

筆記試験は行わない。学年末の定期試験期間中にレポート提出を求めるが、それまでも授業中で随時、発表や小レポートの提出などを求め、出席状況や授業に参加する姿勢も含めて総合的に判定する。

教科書

「演劇におけるリアルとは何か」を考えるためのテキストとして、平田オリザ「演劇入門」講談社現代新書1422、¥735を使用する。

その他

本年度から開設する科目なので、受講者の様子を見ながら、授業の進め方はその都度柔軟に対応するつもりである。

科目名	日本語文化研究II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>				

講義のねらい

日本語文化研究Iの日本語歴史で取り扱ってきた作品資料には、多くの注釈書類が編纂されてきている。これらの注釈書類に焦点を当ててみることで、作品の有する特徴並びに享受者側の学習教養の度合いを検証していくこととする。例えば、『古今和歌集』には『古今集註』、『伊勢物語』には『和語知頭集』『神風知顯正義集』『伊勢物語惟清抄』など、『源氏物語』には『源氏物語抄』『河海抄』など、『枕草子』には『春曙抄』、『徒然草』には『徒然草寿命院抄』といった具合に枚挙なき注釈書が存在している。これらの注釈書類を以て、日本語文化研究において国語資料としての位置づけを探ってみることをめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
古典作品に於ける「古注釈」研究の領域とは
- 02の講義内容 『万葉集』の注釈書『万葉集略解』『万葉代匠記』
- 03の講義内容 『古事記』の注釈書『古事記伝』
- 04の講義内容 『日本書紀』の注釈書『日本書紀抄』
- 05の講義内容 文献資料の蒐集方法とその取り扱い
- 07の講義内容 字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその方法
- 08の講義内容 『伊勢物語』の注釈書『和語知頭集』『神風知顯正義集』『伊勢物語惟清抄』
- 09の講義内容 『古今和歌集』の注釈書『古今集註』
- 10の講義内容 『枕草子』には『春曙抄』
- 11の講義内容 『源氏物語』の注釈書『源氏物語抄』『河海抄』
- 12の講義内容 文献素材の入手及びデータ入力作業
- 13の講義内容 『和漢朗詠集』の注釈書『和漢朗詠集註』『和漢朗詠集聞書』
- 14の講義内容 『平家物語』の注釈書『平家物語繪抄』
- 15の講義内容 『徒然草』の注釈書『徒然草寿命院抄』
- 16の講義内容 『太平記』の注釈書『太平記賢愚抄』『太平記音義』
- 17の講義内容 『庭訓往來』の注釈書『庭訓往來註』『庭訓往來抄』
- 18の講義内容 難字・異体字の処理及び修飾文字の利用(「今昔文字鏡」等)
- 19の講義内容 図画・図表の処理(データ加工)→機器スキャナーに依る取り込み
- 20の講義内容 注釈書類の引用文献その1 漢詩・漢籍資料
- 21の講義内容 注釈書類の引用文献その2 和歌資料
- 22の講義内容 注釈書類の引用文献その3 和文資料
- 23の講義内容 注釈書類の引用文献その4 記録類資料
- 24の講義内容 注釈書類の引用文献その5 字書・辞書類資料
- 25の講義内容 解説資料の整理記述
- 26の講義内容 資料公開とその注釈語の分析結果報告

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。
 ※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可とします。

成績評価の方法

月毎に注釈書取載のことは群から説明語彙を選択し、上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。解答の数を最低20としてこの一問一答ずつの提出物を高く評価していきます。
 提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。
 ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。
 また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承

成績評価の方法

知願います。

教科書

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	日本語文化研究II	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>				

講義のねらい

相手に効果的に働きかけることのできる「表現力」を身につけることでコミュニケーション能力を高めるレッスン第2弾です。日本語文化研究Iとはちょっと視点を変え、表現する自分自身を主題にした文章、ことばの持つ音感やイメージを生かした表現のレッスンを行ないます。

自己をくぐった表現は強く、また鮮やかなイメージやエピソードは表現に深さや広がりを生むものです。論理だけでなく、感性や想像力も鍛え、強い表現力を支えます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション（自分史、俳句に挑戦する）
- 第2回 自分史のサンプルから学ぶ①
- 第3回 自分史のサンプルから学ぶ②
- 第4回 自分史を作る準備（立案・計画・素材集め・書き方のルール）
- 第5回 ブロック方式の構成
- 第6回 自分史年表＋エピソード方式の構成
- 第7回 本文入力①
- 第8回 本文入力②
- 第9回 本文入力③
- 第10回 レイアウト編集
- 第11回 印刷
- 第12回 まとめ

- 第13回 モノ語りーモノを通して自分を表現する
- 第14回 資料集め①
- 第15回 資料集め②
- 第16回 本文入力①
- 第17回 本文入力②
- 第18回 レイアウト編集
- 第19回 俳句をつくる
- 第20回 題材探し
- 第21回 自由に俳句
- 第22回 レイアウト編集
- 第23回 作品公開①（発表会）
- 第24回 作品公開②（発表会）

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の受講者数が定員を超えている場合は、第2回目の授業時に抽選を行ない、受講者を決定します。

成績評価の方法

出席を重視します。殆ど毎回アクティビティーがあり、それに伴う課題提出があり、それも評価の対象になります。課題提出は、次回の授業時まで、添付ファイルでメールにより提出します。最終プレゼン（発表）の良し悪しも評価され、出席・課題・発表の総合評価です。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

Wordを使って作成していきますので、ある程度の入力レベルを必要とします。無理なく作業できるよう、自習室のパソコンに入っている Type Quick の入力練習ソフトでタッチタイピングに励んでください。

科目名	実務表現	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考法A政営A1234選				
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>				

講義のねらい

広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の教養をより高めていくことを目標に進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
書く技術 原稿用紙縦書きの意味
02の講義内容 出版社はなぜ400字詰めの原稿用紙を用いないのか？
03の講義内容 800字の文章は、こうして書く。
04の講義内容 原稿用紙7枚半(3000字)の文章の書き方
05の講義内容 漢和辞典を繙く
07の講義内容 国語辞典を繙く
08の講義内容 類語辞典を活用してみよう
09の講義内容 話題のエピソードを導入部で使おう
10の講義内容 人物はどのように描けるか
11の講義内容 自然景物をどう活写するか
12の講義内容 時代小説家は何に留意して作品を構築しているのか
13の講義内容 推理小説は、種明かしの部分をどこにしているか
14の講義内容 「パロディ」な文章を書いてみよう
15の講義内容 絵本を書いてみよう
16の講義内容 漫画・アニメにみることば表現を使えるか
17の講義内容 手書き文字はどうすれば巧く書けるようになるのか？そのコツ
18の講義内容 詩や短歌を用いてことば遊び(回文・逆きことば・しりとり等)を学ぼう
19の講義内容 かな文字だけの文章
20の講義内容 ローマ字だけの文章
21の講義内容 文法は、グラグラだ！どうすりゃいいの？
22の講義内容 文章の修辞法を知ろう
23の講義内容 音の響きと弾みから学ぶオノマトペアの活用法
24の講義内容 生活に根ざした方言で書く文章
25の講義内容 句読点はどう用いてきたか
26の講義内容 言語生活からみた新聞論評・コラム
27の講義内容 愈々、独り立ち！個性ある書き手をめぎそう。

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法

週毎に上記項目を常にふまえた上で、提出作文を書いてもらいます。個人が年間提出する上記作文は添削を受けながら再度提出を求めています。その仕上がりが度合いを許しに評価を五段階にして提示します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

その他

情報機器及び文書編集ソフト「一太郎2007」を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	実務表現	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考法A政営A1234選				
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあき ようこ</small>				

講義のねらい

社会のあらゆる分野で、情報ネットワークの利活用が基盤となる本格的なネット社会を迎えた今日、インターネットおよびパソコン等の情報機器の活用は、企業はもとより個人の社会生活においても不可欠になっています。

こうしたなか、企業実務においては、パソコンソフト等によるビジネス文書の作成能力や業務データの処理・分析能力、さらには情報機器およびこれに繋がるネットワークの利活用による事務能力や情報収集・発信能力が極めて重要な能力として求められています。

特に、ネット社会のビジネスにおいては、電子メールに代表されるように、これまで以上に文字によるコミュニケーションの機会が増え、ビジネス文書の作成能力が要求されることとなりました。

本講義では、文書作成の実習を通して、世の中の動きに即対応できる文書表現力を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：日商PC検定試験3級（日本商工会議所）「文書作成」対応の講義・実習
ビジネス文書検定試験3級（実務検定協会）対応の講義・実習

後期：日商PC検定試験2級（日本商工会議所）「文書作成」対応の講義・実習
ビジネス文書検定試験2級（実務検定協会）対応の講義・実習

履修上の留意点

コンピュータを使用します。（ビジネス文書検定試験はコンピュータを使用しない試験ですが、「実務技能」分野の練習に敢えてパソコンを使用します。）

コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の授業で定員を超えた場合は、2回目の授業時に抽選を行ない、履修登録許可書を発行します。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回講義のあとに練習問題を課します。その課題の提出は翌週までにメールに添付して提出します。評価は出席点・課題提出点・および授業内試験による総合評価です。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

Wordを使って作成していきますので、ある程度の入力レベルを必要とします。無理なく作業できるよう、自習室のパソコンに入っているType Quickの入力練習ソフトでタッチタイピングに励んでください。

科目名	日本文化テーマ研究 A	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政管A1234選				
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>				

- 講義のねらい** わが国において、古代から口承によって伝えられて来たいわゆる「伝承文学」を読みながら、古代の日本人における精神世界とその有りようを探っていききたい。あわせてわれわれ現代人との関連性の上からも見ていきたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 古くから人々の間によく知られている「国産み神話」や「羽衣伝説」をはじめ、その他の古伝承を『古事記』や『万葉集』や『風土記』の中から選び出し、読解と鑑賞をもとに上記の点について考察していく。
- 履修上の留意点** 素朴な気持と自分の感性を大切にすることを心掛けてほしい。
- 成績評価の方法** 折々の提出物や試験や出席などをもって総合的に評価する。
- 教科書** プリントの配布をもって行う。
- 参考書等** 必要に応じて紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究 A	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政管A選				
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>				

- 講義のねらい** —日本古典文学と〈異界〉……神話や伝説を読む—
古代の文学作品や歴史書、地誌などを取り上げて、古代の人々が〈異界〉をどのように考え、語っているかを解説する。実際に原文に触れて古典を読む楽しさを体験して欲しい。
- 講義の内容・授業スケジュール** どのような人が〈異界〉から訪れ、あるいは〈異界〉への旅をしたか、『古事記』や『日本書紀』、『風土記』などの神話や『万葉集』に歌われている伝説を読み解きながら、古代の人々の死生観について考える。
- 履修上の留意点** 授業は主としてプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。
- 成績評価の方法** 期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
- 教科書** プリント教材。
- 参考書等** 参考書は、授業中に指示する。

科目名	日本文化テーマ研究 B	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選				
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>				

講義のねらい 奈良時代の社会と当時の人々の生活と行動を描いて成る、わが国最初の仏教説話集である『日本霊異記』をもとに、古代社会の底辺に生きた人々は何を求め、何を願っていたか、また、その願いは何に向けられていたかなど、その心のありようを諸仏への信仰を中心とする説話から探っていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、作中に見られる観音や弥勒や薬師などの諸仏への信仰のほか、行動としての善悪のありようなどを見せる説話を選んで読んでいく。また、『今昔物語集』など後世の作品との関連性も考えていきたい。

履修上の留意点 文学は味読することが大切なので、何度も繰り返して読んでほしい。

成績評価の方法 折々の提出物や試験や出席などを見て総合的に評価する。

教科書 当面はプリントの配布をもって行う。

参考書等 必要に応じて紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究 B	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A 選				
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>				

講義のねらい 一日本古典文学と〈あづま・みちのく〉……物語や説話を読む—
古代から中世の文学作品を取り上げて、平安京という都市空間を生きた古代の人々における〈あづま・みちのく〉の意味を考える。実際に原文に触れて古典を読む楽しさを体験して欲しい。

講義の内容・授業スケジュール 『万葉集』におさめられている東国の歌や『伊勢物語』、『大和物語』などの歌物語、『更級日記』、『宇治拾遺物語』などの文学作品の一節を読みながらどのように〈あづま・みちのく〉という地域が古代の人々に把握されてきたかを読み取り、併せて作品に内在する問題について考えてみたい。

履修上の留意点 授業は主としてプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法 期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 プリント教材。

参考書等 参考書は、授業中に指示する。

科目名	日本文化テーマ研究C	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選				
担当者名	さかぐち ひろき 坂口 博規				

講義のねらい

日本文化の一つとして、昔話・民謡と称される伝承がある。本年度はその伝承の中でも「異類怪婚譚」の諸相について考える。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して人間と結婚するという伝承であり、特に異類房譚を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

異類女房譚は、その異類の郷土を基礎として大きく三つの系統があり、A「空」を郷土とする羽衣伝説の例、B「海」を郷土とする浦島伝説の例、C「陸地（森林・山野）」を郷土とする狐女房伝説の例などである。半期科目なので、今年度は羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説（1）、次いで日本の古代の伝承から講じてゆく（2～6）。平安時代成立の『竹取物語』も羽衣伝説の系譜に立つ物語であり、また「鶴の恩返し」で有名な鶴女房の話もA系統に属する伝承であり、これらについても考察する（7～11）。更にB・Cの系統についても言及したい（12・13）。

履修上の留意点

異類怪婚譚は室町時代物語草子（御伽草子）の中に多く登場し、その考察は「テーマ研究II I・日本文化テーマ研究D」で行うので、併せて履修して下さい。なお本時の内容は、平成18年度「日本文化基礎」で行ったものであり、昨年「日本文化基礎」を履修した受講生も「日本文化テーマ研究D」を履修していただくと幸いである。

成績評価の方法

授業の最終日に提出してもらったレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書

授業において適宜プリント教材を配布する。

参考書等

授業において適宜紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究C	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A選				
担当者名	そのべ みきお 蘭部 幹生				

講義のねらい

日本文化における事項のうちから、「失われた文化」をテーマとする。日本文学の中で現存しない作品は多いが、そのうち、説話文学史上に多大の影響を与えた（散佚）『宇治大納言物語』をとりあげる。諸書に紹介される記事や引用されて残る佚文を読み、その実態を探る試みを通して、失われた文化の持っていた意味や役割を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 作品の文学史的意義。3～6 他文献の記事。7～10 他文献の受容。11 実態と散佚に関する推定。12 教場試験。13 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めらるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究D	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選				
担当者名	さかくち ひろき 坂口 博規				

講義のねらい

室町時代物語草子（御伽草子）群には「異類怪婚物語（人間と人間以外の鳥獣・魚虫・植物等の変身した者との不思議な結婚の物語）」が多く存在する。それらの作品を取り上げ考察すると共に、受講生にはそうした作品から希望する作品を各自選んでもらい、研究レポートを作成してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

室町時代物語草子のうち、江戸時代に23篇の作品が「御伽草子」と題して出版された。その中から異類怪婚物語を取り上げて解説する。まず古典文学における物語史を講じて室町時代物語草子の文学的意義を考察（1～5）、更に23篇の中より異類怪婚物語として『浦島太郎』（6～8）・『本幡狐』（9・10）を取り上げて読解する。折々にレポート作成の指導をするが、最後に「御伽草子」23篇以外の『雁の草子』を例に作品研究の実際を学んでもらう（11～13）。

履修上の留意点

「異類怪婚物語」については、「羽衣伝説」を中心に「テーマ研究III・日本文化テーマ研究C」で講義し、室町時代物語草子の作品例として『鶴の草子』を解説するので、こちらも受講してくれると幸いである。

成績評価の方法

授業の最終日に提出してもらうレポートは原稿用紙10～20枚程度（400字詰）を考えている。その成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書

授業時にプリント教材を配布する。

参考書等

授業時に、レポート作成のための文献等の紹介をする。

科目名	日本文化テーマ研究D	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A選				
担当者名	そのべ みきお 蘭部 幹生				

講義のねらい

日本文化における事項のうちから、「歌徳説話」をテーマとする。「徳」は「得」を意味し、「歌徳説話」とは歌を詠むことによって得をした話であるが、そのような話がどのようにして形成されていったのか、精神的背景にどのようなことがあるのかを顕かにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 歌徳説話の意味。2 典型的な歌徳説話について。3～5 歌徳説話の形成。6～7 歌徳説話の精神的背景。8～11 亜流の歌徳説話。12 教場試験。13 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めするので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究 E	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政管A1234選				
担当者名	いしわり とおる 石割 透				

講義のねらい

スポーツと文化・権力—例えば<ボクシング>を例として。
 スポーツは現在多くの人に、実際にプレーしたり、見ることを通して親しまれている。しかし、時代を超越して存在しているようなスポーツにも、権力や文化と深く介在し、時代状況と深く関係している。この授業ではスポーツを、文学・映画・テレビ映像がいかに表象されてきたかを検討し、そうした問題を考えていこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、昭和三十年代に日本でブームともなったボクシングは、それまでいかに表象され、時代・権力と関わってきたかを考えていきます。昭和三十年に<太陽族>という流行語を生み出した石原慎太郎「太陽の季節」から、三島由紀夫、大江健三郎らの文学作品、日活アクション映画、60年安保条約からベトナム戦争に関わるテレビ・ニュース映像、などから高森・ちばの「あしたのジョー」までを実際のボクシングの試合も絡めて、検討していきます。

履修上の留意点

スポーツを愉しんだり、見たりする際にも、そのスポーツの歩んできた歴史を一応考えてのぞむ。授業時に扱う作品などを、読んだり見たりして授業にのぞむこと。

成績評価の方法

スポーツが芸術作品にいかに表象され、それがいかなる意味をもっているのか、などについて、レポートを提出すること。出席状況を重視して、成績評価に加味する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で授業を進行させる。プリントなど、必要に応じて配布する。

科目名	日本文化テーマ研究 E	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A 選				
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>				

講義のねらい

宮澤賢治の生前未発表童話を読む。賢治が書いた散文作品は、童話としては難解すぎ、またその法華経文学としての宗教性からも、児童文学としては適当ではないのではないかなど様々な議論がこれまであった。しかし賢治童話は、たとえ難解ではあったとしても、「純真な心意の所有者たち」（『注文の多い料理店』広告文）へ与えられるべき「すぎとほつたほんたうのたべもの」（『注文の多い料理店』序）であることを願って書かれていることに異を唱える者はいだろう。「卑怯な成人たちに畢竟不可解な」（『注文の多い料理店』広告文）「純真な心意」とは何かを賢治作品の読解を通じて考え、そのような物語を求める賢治の精神のありようについて考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には上記のテーマ等の考察を、『なめとこ山の熊』、『セロ弾きのゴーシュ』などの短編や、『ボラーノの広場』、『風の又三郎』など比較的長い生前未発表作品の初期形から最終形までの生成の過程の中にみていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』（ちくま文庫）
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化テーマ研究F	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選				
担当者名	いしわり とおる 石割 透				

講義のねらい

日本近代美術に描かれてきた女性
 絵画の世界では、江戸時代においては、女性は美人画の分野でもっぱら扱われてきたようであるが、近代の西洋画の流入に伴ない、さまざまな女性の姿が描かれるようになった。その意味を時代の流れに即して検討していく。

講義の内容・
授業スケジュール

近代に至り写真にも刺激されて出現する肖像画、裸体画、農婦など働く婦人、家庭における婦人など、生活の中での女性が描かれていく。その画題の移り行きを、文学作品などを絡めあわせ、その意味を検討していきたい。それは、社会における女性の地位と関わることになると思う。

履修上の留意点

美術館の展示会に足を運んだり、美術の書物によって、明治期・大正期の絵画に注目しておくこと。

成績評価の方法

1、2回のレポート提出による。出席状況を重視する。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で進める。プリントを必要に応じて配布する。

科目名	日本文化テーマ研究 F	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考政管 A 選				
担当者名	こばやし おさむ 小林 治				

講義のねらい

異貌の作家・深沢七郎の小説を精読する。深沢は、昭和三十一年（1956年）、四十二歳で総合誌「中央公論」に創設されたばかりの「中央公論新人賞」に応募し、第一回の入賞者となって作家デビューを果たしている。それ以前は、戦前からギターのリサイタルを継続的に開いたり、旅まわりのバンドにいたり、日劇ミュージックホールにスカウトされて出演したりなど一風変わった風来坊的な生活を送っていた。このような書齋で思考する知識人作家的なタイプとは無縁の、文学同人やサークルからも孤立したその来歴からもうかがえるように、その作品においては、およそ日本の近代文学の正統からはずれて、ヒューマンイズムの規範による人間中心主義的な価値観を徹底して排除したすこぶる実存的な土着の庶民的世界が展開している。既成の価値観をあざ笑うかの如きその突出したアンチヒューマンイズムぶりをその作品世界において、検証してみたい。

 講義の内容・
授業スケジュール

具体的には上記の深沢の作家としての特徴を、『楢山節考』、『笛吹川』『甲州子守歌』などの代表的作品の読解によって明らかにしていきたい。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

深沢七郎『楢山節考』（新潮文庫）
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化テーマ研究G	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

講義のねらい

「演劇ワークショップ」の実技体験を行う夏季集中授業。これは即興演技の訓練法から生まれたもので、コミュニケーションに関する様々な要素（表情と体の動き、話し方、感情表現、グループの人間関係など）を体験的に学ぶとともに、状況に応じて臨機応変に対処する「インプロ」の技術を身につけることを目的とする。台本を使って演技をする演劇の訓練とは異なり、誰にでも簡単にできる「シアターゲーム」と呼ばれる体を動かすゲームをグループごとに繰り返しながら、最終的には台本も打合わせもなしでストーリーを生み出すことを目指す。人間関係を学ぶとともに、本番に実力を発揮する能力を身につけるものとして、企業の社員研修などでも取り入れられているものである。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 基本講義：ワークショップとは何か？ (2) 講義：心と体はつながっている
(3) 実技：シアターゲーム (4) 実技：インプロの練習 (5) 実技：インプロのグループ発表 (6) まとめとレポート試験

履修上の留意点

集中授業なので基本的に4日間全ての出席を必要とする。軽い運動をすることができる動きやすい服装（靴はスニーカーなど）で出席すること。演劇の実習ではないので、演技の経験はまったく必要としない。むしろ人前で自分を表現することが苦手な方にこそ受講していただきたい。ただしグループでの練習に積極的に参加する協力的な姿勢は必要となる。

成績評価の方法

授業への参加状況、「インプロ」のグループ発表の結果、および最終日に教場で書いていただくレポート試験の結果を総合して算出する。

教科書

指定しない。

参考書等

絹川友梨『インプロゲームー身体表現の即興ワークショップ』、晩成書房、3,150円。池上奈生美・秋山桃里『インプロであなとも「本番に強い人」になれる』、フォレスト出版、1,365円。

その他

授業日程：7月31日の2～4限と、8月1日～8月3日の2～5限。合計4日間の15時限授業。予備日は8月6日の2～5限。

科目名	日本文化テーマ研究H	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政管A1234選				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

講義のねらい

講義タイトルは「映画の近代史」。19世紀末の発明である映画は、20世紀を「映像の世紀」と言わしめるほど近代という時代と深くかかわってきた。いま、映画というメディアが近代において果たした役割を歴史的に振り返り、映画とはどのような表現なのかをあらためて考える。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 映画とは何か (2) 映画の技術と歴史 (3) 映画の文法 (4) 映画の記号論
(5) 日本のモダニズム映画 (6) シナリオの構造

履修上の留意点

実際に映像作品を授業で見させていただくことになるので、欠席すると内容がわからなくなる。上映予定の作品は、マック・セネットの無声映画、「戦艦ポチョムキン」、「市民ケーン」、「マダムと女房」、「カルメン故郷に帰る」、「東京物語」など。現代のいわゆる娯楽映画作品とは異なるので、その点は承知しておくように。

成績評価の方法

授業で随時小レポートの提出を求めるほか、授業期間中に教科書持込可の筆記試験を行って成績を評価する。試験の日は授業で伝達する。定期試験期間中ではないので注意すること。

教科書

ジェイムズ・モナコ『映画の教科書—どのように映画を読むか』、フィルムアート社、3,675円。

科目名	社会学【2〔現代社会を考える〕】	開講	通年	単位	4
担当	禪仏国英選				
担当者名	お びんさん 呉 炳三				

社会分野

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)社会学の基礎概念：
はじめに—社会学とは—(1)
I 行為論：(2)社会学における行為、(3)行為者としての個人、(4)社会化と人間形成、(5)日本の行為論
II 集団論：(6)集団の概念、(7)官僚制理論、(8)小集団論、(9)集団の類型、(10)日本の集団論

(後期)現代社会の特徴的な諸相：
(11)家族、(12)恋愛、(13)結婚、(14)若者・IT文化、(15)少年犯罪、(16)自殺、(17)ジェンダー、(18)少子・高齢、(19)アダルトチルドレン、摂食障害、(20)就職、転職、リストラ、(21)フリーター、ニート、引きこもり、(22)性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参することと、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	統計学【2〔社会現象の統計的決定〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政選 法B選				
担当者名	<small>しんぎようち こうじ</small> 新行内 康慈				

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
 (4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
 (7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
 (10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表 (12) 演習 (13) まとめ
 (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定 (16) 母平均・母分散の推定
 (17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の検定 (19) 母平均の差の推定・検定
 (20) 母比率の推定・検定 (21) その他の推定・検定 (22) 演習
 (23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書
 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版
 永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版
 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	文化人類学【6〔社会変化と価値観〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境選				
担当者名	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>				

講義のねらい

文化人類学（以下、人類学）とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。

人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思います。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書560番 中央公論社）

参考書等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科目名	法学・憲法【10〔法と国家〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅伝選				
担当者名	織田 ^{おだ} 晃子 ^{てるこ}				

講義のねらい 法とは何かに始まり、日本国憲法と人権、法と国家について判例を多く使って講義する。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 法とは何か
 - (1) 法と道徳
 - (2) 法の解釈
 - 2 日本国憲法と人権
 - (1) 人権の主体
 - (2) 私法関係と人権
 - (3) 生命・自由および幸福追求権
 - (4) 法の下での平等
 - (5) 精神的自由権
 - (6) 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由
 - (7) 経済的自由権
 - (8) 社会権
 - (9) 人身の自由・裁判手続の保障
 - (10) 新しい人権
 - 3 法と国家
 - (1) 日本における近代憲法の成立
 - (2) 日本国憲法の統治原理
 - (3) 司法権とその限界
 - (4) 平和主義と戦争の放棄

履修上の留意点 授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法 期末試験の成績による。

教科書 『判例法学』（有斐閣ブックス）、『コンパクト六法』（岩波）

その他 プリント配布

科目名	法学・憲法【12〔法と権利〕】	開講	夏季集中	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現政党A放選				
担当者名	いけだ みのる 池田 実				

社会分野

講義のねらい

家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。
政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにしていれば、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2)
(4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念
(7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党
(11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政
(16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1)
(19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2)
(22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1)
(26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2)
(30) 憲法改正

成績評価の方法

出席および授業時間内に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法』(嵯峨野書院) 2,700円+税
ISBN 4-7823-0424-2

その他

授業日程：7月31～8月3日・6日・7日、1～5時限

科目名	政治学【3〔国際社会と日本〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏経A経商現選				
担当者名	やまさきのぞむ 山崎 望				

講義のねらい

本講義の副題は「国際社会と日本」です。国内政治と国際政治の相違、そしてグローバル化に伴う世界秩序の再編について、基礎的な理論や考えを学ぶことが本講義の狙いです。特に後半では日本に焦点をあてることになります。

講義の内容・授業スケジュール

前期は国内政治と国際政治の相違点と類似点を扱います。具体的には国内政治では主権国家、政治体制、政治と経済、福祉、政治過程と政党といったテーマについて、国際政治では主権国家システムの成立、国民国家と植民地、世界大戦と冷戦、冷戦の終焉などについて扱います。

後期は国内政治と国際政治の垣根を越えるグローバル化がはらむ問題について扱います。アメリカの帝国化、グローバル・ガバナンス、テロのグローバル化、福祉国家の再編と新自由主義の拡大、ネオ・ナショナリズム、市民社会と参加民主主義、EUや南米の地域主義といったテーマを扱います。そして各々のテーマについて日本がグローバル化に連関していかなる変化にさらされているのか、米軍再編、格差社会化、治安・管理社会化、閉塞感の増大、日本の近年のナショナリズム、住民投票といった個別的なテーマについて論じる予定です。

履修上の留意点

新聞や本を読み、インターネットなどで情報を集め、問題意識をもって出席してください。

成績評価の方法

年度末の試験。

教科書

加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦1998『現代政治学』有斐閣アルマ
ISBN 4-641-12168

参考書等

講義中に適宜指摘します。

その他

講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定です。
講義の後半10分にカードを配るので、質問や感想を書いてください。

科目名	経済学【2〔現代経済と人間〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英選				
担当者名	もりた せいや 森田 成也				

講義のねらい

人間の社会はきわめて複雑な構造をなしており、その解明は決して容易なものではありません。しかし、そうした人間社会の土台となっているのは、人々の実際の生活（およびそれに必要な物やサービス）を生産し再生産する経済的な過程です。したがって、経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学は決して、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、社会全体に占める経済の位置、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本の条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）基礎的な経済理論を学ぶ

- (1) はじめに (2) 社会と経済 (3,4) 商品・貨幣 (5,6,7,8) 資本と剰余価値
(9) 賃金 (10,11) 資本の蓄積 (12) 利潤と利潤率
(13) 利子生み資本と株式資本

(14,15) 独占資本、国家、外国貿易

(16) 世界市場と帝国主義日本経済の基本構造を学ぶ

(17,18) 戦前の日本と戦後日本経済の出発 (19,20) 現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 (21,22) 企業社会の形成と日本的働き方の確立 (23) 低成長期以降の企業社会の肥大化 (24) 企業社会と女性

(25,26) 経済大国日本とバブル経済

(27,28) 長期不況と構造改革下の日本経済

履修上の留意点

ノートをがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です

教科書

教科書はとくにありません

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）

科目名	社会科学論【〔社会認識の思想〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾				

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく「複合不況」とよばれる経済スランプから抜け出しつつあります。しかし、アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も安定的とはいえません。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホブズとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。

履修上の留意点

1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

科目名	教育学【〔デス・エデュケーション〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	柳堀 素雅子 <small>やなぎほり すかこ</small>				

講義のねらい

デス・エデュケーションの始まりはベトナム戦争当時のアメリカにある。デス・エデュケーションの1つの流れは戦争で傷ついたベトナム帰還兵の心をどのように癒すかにあった。これは現在のトラウマの問題とその治療につながっていく。デス・エデュケーションのもう1つの流れは、治らない病気、すなわち死にゆく患者との対話の中から生まれた。キューブラー・ロスを中心に、精神科医や宗教者が死にゆく患者との対話を重ねた中から新しい視点が注目されるようになった。死を考えることはやがて死後の世界まで考えることになり、昨今是一種のブームになっているようである。デス・エデュケーションの1の流れと2の流れの両方を取り扱う予定である。アメリカでの取り組みを中心に説明していくが、欧米の文化や思想も合わせて解説していく。幅広い知識と視野をもっていないと、講義の内容はあらゆる方向に拡大していくので理解していくのに労力を要することになるだろう。デス・エデュケーションの欧米での取り組みを紹介すると同時に、日本でのデス・エデュケーションの状況も紹介する。戦争の問題と医療の問題の両方の内容にまたがっているので、両方に興味がある人が履修することが望ましいだろう。

講義の内容・授業スケジュール

- ①デス・エデュケーションの1の流れ②デス・エデュケーションの2の流れ
- ①と②の内容の概略を説明して具体的な内容に入っていく。

履修上の留意点

授業中に絶対に私語をしないようにすること。基本的に遅刻は認めない。出席は毎回とる。授業中に出入りしたり、飲食したりしないこと。

成績評価の方法

レポート提出（内容に点数をつける）。出席回数。その他総合的な視点から評価する

教科書

なし

参考書等

授業中に紹介する

その他

講義に必要な資料はコピーして配布する。

科目名	教育心理【大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	石橋 ^{いしばし} 達也 ^{たつや}				

講義のねらい

本授業では今日の社会的状況における、大学生を中心とした青年期の心の在り方の特徴や問題点およびその課題について、教育心理学や教育臨床の立場から探っていきます。前期の授業では、生涯発達の観点から青年期の位置づけやその発達課題について学び、現代社会における青年期の延長の様子やアイデンティティの問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題について具体的に取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴やその社会的な背景要因などについて検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。

- ・人の生涯と発達区分
- ・青年期とその発達課題
- ・アイデンティティとモラトリアム
- ・現代社会と青年期の延長
- ・青年期の心の問題とその要因
- ・大学生の学業と学生生活
- ・大学生の就職と将来設計
- ・大学生の人間関係と恋愛など。

履修上の留意点

履修する学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は期末試験の得点を中心にして、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書

使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。

参考書等

授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。

その他

受講学生には「学ぶ意欲」をしっかりとって、積極的に取り組むことを望みます。

科目名	生物学【3〔生物と環境〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英営A選				
担当者名	なかむら としえ 中村 敏枝				

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至った。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題をとりあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかし、その負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 生物の生活

- (1) 地球の歴史と生命の起源
 - ・最初の生命
 - ・地球の歴史
 - ・極限環境生物
- (2) 生命誕生
 - ・いまここにいる奇跡
 - ・受精と発生
- (3) 生命の維持
 - ・なぜ食べるか
 - ・消化と吸収
 - ・排泄物のゆくえ
 - ・植物の光合成
- (4) 生態系の物質循環とエネルギーの流れ
 - ・陸と海をめぐるといのちの輪

(後期) 化学物質の功罪

- (1) ゴミ処理とダイオキシン汚染
 - ・ゴミ焼却とダイオキシン
 - ・ゴミの減量 Reduce Reuse Recycle
 - ・ゼロエミッションという考え方
- (2) 人工化学物質の功罪
 - ・内分泌かく乱化学物質 — 環境ホルモン
- (3) 人工放射性核種
 - ・原発は温暖化を防ぐ救世主か
 - ・JCO 臨界事故
- (4) まとめ 自然とともに生きる

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	地球科学【1〔地球の素顔と地球環境問題〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国選				
担当者名	かとう きよし 加藤 潔				

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、プルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に3回ぐらいずつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

教科書

特に定めない。適宜プリントを配布。

参考書等

『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

その他

プロジェクター、ビデオ等を使用します。

科目名	自然環境論【4〔生命と環境〕】	開講	通年	単位	4
担当	禪仏国選				
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small>				

講義のねらい

人間が普段活動している地球環境（陸地、大気、海洋）の基礎的な構造や原理を学ぶと共に、現在話題になっている地球温暖化等の環境問題について知る。また、近年人類が活動するようになった地球近傍の宇宙環境（地球磁気圏、太陽系の惑星など）についても触れ、地球環境システムを総合的に理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

主に地球の大気環境（気候、気象、超高層大気）と地球近傍の宇宙環境について触れる。

1. 地球環境システムの構造と原理（個体地球、大気・海洋、地球磁気圏）
2. 地球と太陽系惑星との比較（地球磁気圏、太陽、太陽系）
3. 地球の気候と気象
4. 地球環境問題（地球温暖化、オゾン層破壊）
5. 地球近傍の宇宙環境（宇宙天気予報、人工衛星観測、太陽系惑星探査）
6. その他、トピックス

履修上の留意点

なるべく一つ、一つ説明はしますが、中学・高校の基礎的な数学・理科を理解する程度の知識や能力は必要です。講義の進度や話題は、受講人数やその時期の状況に応じて、適宜調節します。人数によってはレポート発表形式の講義も検討します。レポート形式の場合、詳細は講義で説明します。内容は決して簡単ではありませんので、興味およびやる気のある学生を求めます。

成績評価の方法

評価は授業時間中および期末に出題する課題および試験またはレポート（口頭）によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	自然環境論【9〔生物の集団と環境〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国選				
担当者名	<small>さかまき よしあき</small> 坂巻 義章				

講義のねらい

地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。

 講義の内容・
授業スケジュール

前期 (1,2)地球 (3) 環境とは何か (4) 生物とは何か (5,6)生物の歴史と環境 (7,8)生物の進化 (9,10)生物の分布 (11,12)環境への適応 (13)前期のまとめと試験
 後期 (14,15)食物連鎖とエネルギー流 (16)生態ピラミッド (17)個体群 (18)出生と死亡 (19)競争と住み分け (20)捕食 (21)共生と寄生 (22)土壌と分解者 (23)物質循環 (24)里山の生態系 (25)人口問題と環境問題 (26)まとめと試験

履修上の留意点

スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。

成績評価の方法

出席点と筆記試験で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。

教科書

指定しない

参考書等

指定しない。必要な場合にプリントを配布することがある。

その他

講義形式の授業とする。

科目名	自然誌【1〔現代の自然像〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏経A 商経法A 政選				
担当者名	清水 ^{しみず} 善和 ^{よしかず} ・篠原 ^{しのはら} 正雄 ^{まさお} ・山縣 ^{やまがた} 毅 ^{たけし}				

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは次の通りである。すなわち、我々は、100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのない存在である。一方で、科学技術の発展は、人類を育ててきた地球の自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえず、社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けたいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 銀河の起源と進化（宇宙の大規模構造、ダークマター、銀河）
- (3) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (4) 太陽系の起源（太陽系起源仮説、太陽系外惑星、宇宙の有機化合物）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽の進化、太陽放射の変動、地球軌道、隕石、銀河系）

第2講 地球の進化 山縣毅

- (1) 大陸と海洋の形成（海の誕生、地球の内部構造の変化）
- (2) 大陸の漂流（大陸移動説、プレートテクトニクス、プレュームテクトニクス）
- (3) 変動する地球（巨大山脈の形成、火山、地震）
- (4) 地球と生命の共進化（地球表層の環境変遷、生物の進化・大量絶滅）

第3講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- (5) 人類と地球環境（生態系、食物連鎖、物質の循環、地球温暖化）

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

教員ごとに小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価を受けること。

教科書

特になし。教員ごとにプリント等を配布する。

参考書等

各教員がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	数学【1〔微積分学入門〕	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微分積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 集合と写像
2. 数列
3. 連続関数
4. 1変数関数の微分
5. 多変数関数の微分
6. 積分

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書

沢田賢／渡辺展也／安原晃 共著『大学で学ぶ 微分積分』サイエンス社
1050円（税込）ISBN4-7819-1082-3

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	数学【2〔線形代数学入門〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

自然分野

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 文字の使用について
2. 行列
3. 連立一次方程式
4. ベクトル空間
5. 線形写像
6. 行列式
7. 固有値・固有空間

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書

沢田賢／渡辺展也／安原晃 共著『大学で学ぶ 線形代数』（サイエンス社）
1050円（税込）ISBN4-7819-1092-0

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	数学【3〔現代数学入門〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	ふくだ けんいち 福田 賢一				

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。
本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理分野を充実させる。時間に余裕があれば、経済工学・金融工学の数理的基礎にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、論理設計・論理回路、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理、線型代数とその応用。
後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、保険の数理、微積分とその応用、交通・運輸の数理、経済・経営の数理基礎。

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。また、内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。

参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に明示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。
可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

科目名	情報数学【(情報と論理)】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	坂野井 和代				

自然分野

講義のねらい	情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れる講義を目指す。
履修上の留意点	予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解いているものとする。つまり、レポートは講義に出席していないと解答することは難しい。
成績評価の方法	評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。その他、講義時間中の発言も評価に含める。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円

科目名	物理学【1〔光と物質〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏経A 経商法A 政選				
担当者名	<small>しのぼり まさお</small> 篠原 正雄				

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

波としての光

光線 影 鏡 屈折 屈折楼 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色
 波動 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 電波 X線とガンマ線
 光子 原子構造と光 電磁波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学的な予備知識はいらない。

成績評価の方法

期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。しかし、期末試験の比重は15%程度であり、数回のテストを含む平常点を中心に評価する。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円＋税

参考書等

講義の中で適宜紹介する。

その他

理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらう。

科目名	化学【1〔衣食住の化学〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A選				
担当者名	まさおか よしかず 牧岡 良和				

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、化学物質の生体・環境への作用を理解するために必要な化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1)有機化学・無機化学の導入 (2)物質の成り立ち (3)水の性質 (4)有機化学の基礎 (5)合成繊維 (6)染料 (7)合成洗剤と水質汚濁
後期 (8)太陽光発電 (9)遺伝子 (10)燃料電池 (11)バイオ燃料 (12)食品の安全性 (13)住環境と化学物質

履修上の留意点

上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。なお、授業中の私語・飲食・講義と無関係な用途での携帯電話の使用は禁止。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	宇宙科学【1〔星と銀河〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	しのはら まさお 篠原 正雄				

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされた。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進める。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげる。
観測：望遠鏡 スペクトル 年周視差と距離
太陽：構造 エネルギー源
恒星：恒星の分類 連星 変光星 恒星の質量 恒星の進化
後期は銀河をとりあげる。
銀河系：星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質
銀河：銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙：宇宙膨張 暗黒エネルギー ビッグ・バン

成績評価の方法

中間試験および学年末に行う筆記試験の結果により評価する。平常点も考慮する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円＋税

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

科目名	宇宙科学【2〔星と銀河〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	篠原 ^{しのはら} 正雄 ^{まさお}				

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされた。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進める。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげる。
観測：望遠鏡 スペクトル 年周視差と距離
太陽：構造 エネルギー源
恒星：恒星の分類 連星 変光星 恒星の質量 恒星の進化
後期は銀河をとりあげる。
銀河系：星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質
銀河：銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙：宇宙膨張 暗黒エネルギー ビッグ・バン

成績評価の方法

中間試験および学年末に行う筆記試験の結果により評価する。平常点も考慮する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円＋税

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

科目名	コンピュータ基礎【1〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科目名	コンピュータ基礎【2〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	やまもと ひろのぶ 山本 博信				

講義のねらい

問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎としてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

・パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集（コーディングについて）。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。半期の授業です。

成績評価の方法

- ・課題 10%
- ・授業最終日に実施する確認試験 25%
- ・定期試験 35%
- ・出席状況 30%

教科書

『新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890（ISBN4407301147）

参考書等

『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）237P、¥1680（ISBN4894717220）

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつでもやって登録するか1回目の授業で補足説明します。

科目名	コンピュータ基礎【3〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おがわ けんじろう 小川 健次郎				

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。センテンスからパラグラフへの運用能力向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの順番にそって、まずは英文を読み、その英文を利用して、語のならばかえ、作文を行なう。

履修上の留意点

授業は予習をしてこること。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Major Countries in the World -世界の主要国-』（鳳書房）1,800円

科目名	コンピュータ基礎【4〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おさわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。

科目名	コンピュータ基礎【5〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	さわぐち たかし 澤口 隆				

講義のねらい

DTP (Desk Top Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを用い、アプリケーションはAdobe Photoshopを使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windowsの基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	コンピュータ基礎【6〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科目名	コンピュータ基礎【7〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	やまもと ひろのぶ 山本 博信				

講義のねらい

問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

・パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集（コーディングについて）。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。半期の授業です。特段の事情で休むことが当初から予想される学生は、その期の授業の履修申請はしないこと。

成績評価の方法

- ・課題 10%
- ・授業最終日に実施する確認試験 25%
- ・定期試験 35%
- ・出席状況 30%

教科書

『新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890（ISBN4407301147）

参考書等

『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）237P、¥1680（ISBN4894717220）

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアカウントの取得が必須です。いつどうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。

科目名	コンピュータ基礎【8〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	小川 健次郎				

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	コンピュータ基礎【9〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。

科目名	コンピュータ基礎【10〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	さわぐち たかし 澤口 隆				

講義のねらい

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを用い、アプリケーションはAdobe Photoshopを使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windowsの基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上。

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	コンピュータ基礎【11〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	もとき みつお 元木 光雄				

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスをとりあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

また、Web ページを記述するHTMLの基本を通して、論理的構造を持った文書とは何かを学ぶ。

- 7/31 コンピュータの基本構造と Windows の基本操作
- 8/1,2 インターネットの原理と実際の利用
- 8/3,6 論理的構造を持った文書のHTMLによる記述

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：7月31日～8月3日・6日の1～3時限
予備日：8月7日の1～3時限

自然分野

科目名	コンピュータ基礎【13〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	やまもと ひろのぶ 山本 博信				

講義のねらい

問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

・パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集（コーディングについて）。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法

- ・課題 30%
- ・授業最終日に実施する確認試験 40%
- ・出席状況 30%

教科書

新基礎コンピュータ演習、山本誠次郎・井内善臣、実教出版、(151P、¥1890) ISBN4407301147

参考書等

ITリテラシーへの招待、大田幸雄、パーソナルユーザ利用出版社、(237P、¥1680)、ISBN 4894717220

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアカウントの取得が必須です。いつどうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。

授業日程：7月31日～8月3日・6日の4～6時限

予備日：8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【14〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	ながさか ひろふみ 長坂 浩史				

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

総合情報センターのパソコン（OSは Windows）を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用（電子メール、WWW）等を一通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。（課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持っていることが前提である。そうでなければ、初日・2日目はMOディスクまたはフロッピーディスクを持参すること。）

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思ってよい。
逆に、1日でも休むと全課題の提出は困難になるので、特別な事情がない限り毎回出席すること。

教科書

使用しない。教材・資料・編集素材は、ファイルの形で配布する。

参考書等

同上

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日の1～3時限
予備日：8月7日の1～3時限

科目名	コンピュータ基礎【15〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おがわ けんじろう 小川 健次郎				

自然分野

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請しておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：(15) 7月31日～8月3日・6日、1～3時限

：(16) 7月31日～8月3日・6日、4～6時限

予備日：(15) 8月7日の1～3時限

(16) 8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【16〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	小川 健次郎 <small>おかわ けんじろう</small>				

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・ 授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

自然分野

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：(15) 7月31日～8月3日・6日、1～3時限

：(16) 7月31日～8月3日・6日、4～6時限

予備日：(15) 8月7日の1～3時限

(16) 8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【17〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	たにもと さちひろ 谷本 玲大				

自然分野

講義のねらい

課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

7/31 4限 ガイダンス 5～6限 情報検索・メール
 8/1 Word
 8/2 Word・画像処理
 8/3 } Excel
 8/6 }

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初級向け。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

成績評価の方法

初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。申請が遅れたり、失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教科書

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』
 (講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN:4-061496034

その他

授業日程: 7月31日～8月3日・6日 4～6時限
 予備日: 8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【18〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。

授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、4～6時限

予備日：8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【19〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずと</small>				

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールやWWWといったサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する2～3回程度の課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	コンピュータ基礎【20〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	坂野井 <small>さかのい かずよ</small> 和代				

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールやWWWといったサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出题する2～3回程度の課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	コンピュータ応用【1〔コンピュータの原理〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small>				

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円
ISBN4-88135-718-2
瀬戸遥著『10日でおぼえる Excel VBA 入門教室』（翔泳社）2,800円
ISBN4-7981-0773-5

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	コンピュータ応用【2〔コンピュータの原理〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small>				

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

講義の内容・授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円
ISBN4-88135-718-2
瀬戸遥著『10日でおぼえる Excel VBA 入門教室』（翔泳社）2,800円
ISBN4-7981-0773-5

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

自然分野

科目名	人類学【1〔人類の進化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	しのだ けんいち 篠田 謙一				

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思いますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	人類学【2〔人類の進化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	しのだ けんいち 篠田 謙一				

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話を聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	心理学【9〔心を科学する〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏選				
担当者名	たかはし よしひろ 高橋 良博				

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概念的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

履修上の留意点

履修者は、受講中は私語をつつしみ静粛を保つこと。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別

参考書等

講義中に指示する。

科目名	心理学【12〔心を科学する〕】	開講	夏季集中	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	ふかほり ともなり 深堀 友覚				

講義のねらい

身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的（心理的）な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。

本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

履修上の留意点

短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしか参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

成績評価の方法

講義最終日に行われる筆記試験と、出席率による総合評価。

教科書

特に指定しない。

参考書等

重野純『キーワードコレクション 心理学』（新曜社）1994年
中村昭二『心理学概説』（八千代出版）1982年

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、1～5時限

科目名	総合I【1〔仏教と自然〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	四津谷 孝道				

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、具体的テーマに焦点をしばりながら、「仏教と自然」に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、「肉食と菜食主義」というテーマを、仏教を中心としたインド思想全体の中で検討する。授業は、以下のようなテーマの下で進めていく。

インドの宗教（バラモン教）の基本的な理解
 インドの宗教（仏教・ジャイナ教）の基本的な理解
 肉食と菜食主義（概観）
 ヴェーダ時代の肉食思想と菜食主義
 祭式にみる肉食思想と菜食主義
 バラモン教にみる肉食思想と菜食主義
 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（1）
 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（2）
 インドの法典に示された肉食と菜食主義
 パーリ仏教聖典に示された肉食と菜食主義
 三種浄肉（1）
 三種浄肉（2）
 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（1）
 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（2）
 植物は生き物か（1）
 植物は生き物か（2）
 大乘仏教における非肉食思想（1）
 大乘経典における非肉食思想（2）
 如来蔵・仏性思想と非肉食思想
 慈悲と菜食主義
 宮沢賢治（1）
 宮沢賢治（2）
 聖なる牛と不浄なる豚
 ディープ・エコロジー（1）
 ディープ・エコロジー（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

授業において適宜に配付する。

参考書等

必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	総合I【2〔仏教と社会〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	くまもと えいじん 熊本 英人				

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・
授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	総合I【3〔仏教と芸術〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	むらまつ てつふみ 村松 哲文				

講義のねらい

本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕
 仏教美術の世界（1～2）
 インドの仏教美術（3～5）
 西域の仏教美術（6～8）
 初期の敦煌石窟（9～11）
 後期の敦煌石窟（12～15）

〔後期〕
 炳靈寺石窟（16～17）
 麦積山石窟（18～20）
 雲岡石窟（21～23）
 龍門石窟（24～27）
 朝鮮三国の仏教美術（28～30）

以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。

履修上の留意点

博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。

成績評価の方法

出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義中に適宜参考書を紹介する。

科目名	総合Ⅱ【1〔駒澤大学の歴史〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	<small>くまもと ふみお おおしろ みちのり こいずみ まさひろ ささき まこと すぎやま きよひこ ひろせ りょうこう</small> 熊本 史雄・大城 道則・小泉 雅弘・佐々木 真・杉山 清彦・廣瀬 良弘				

講義のねらい

本講義では、スライドや写真資料などを豊富に織り交ぜながら、駒澤大学の歴史につき概述します。

駒澤大学は、平成14年（2002）に「開学120周年」を迎えました。これは、駒澤大学の前身・曹洞宗大学林専門学本校が設置された、明治15年（1882）を起点としたものです。しかし、駒澤大学の起源は遠く戦国時代の終わり、文禄元年（1592）にまでさかのぼることができます。その年、曹洞禅の研究と漢学の振興を目的として、「学林」が開かれました。実に415年前の話になります。“日本一古い大学”と形容される所以です。最近では、駅伝や野球、サッカー、空手と、スポーツ部門でもその名を轟かせている駒澤大学ですが、こうした古くからの伝統と学風も、現在の駒澤大学に受け継がれている大事な要素です。

本講義を通じて、駒澤大学の歴史を学ぶとともに、“駒澤スピリット”を感じ取り、“駒澤アイデンティティ”を形成して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：1. 授業計画とガイダンス
 2. 道元と曹洞宗
 3. 永平寺と総持寺
 4. 吉祥寺施檀林の誕生
 5. 学寮での厳しい修行
 6. 学寮から学校へ
 7. 明治政府の宗教・教育政策
 8. 曹洞宗大学の発足
 9. 日ヶ窪から駒沢へ
 10. 大学令と「駒澤大学」の誕生
 11. 「大正教養主義」と駒大生
 12. 「禅文化歴史博物館」の見学
- 後期：13. 「郊外」の誕生と駒大 ～玉電の開通と世田谷の発展～
 14. 戦時下の駒大 ～学徒動員と学徒出陣～
 15. 世界の大学との比較① ～古代エジプトの教育～
 16. 世界の大学との比較② ～ヨーロッパの大学 宗教機関から世俗機関へ～
 17. 世界の大学との比較③ ～中国における科挙制度～
 18. 世界の大学との比較④ ～中国の近代化構想と教育～
 19. 占領政策と新制大学の設立
 20. 東京オリンピックと駒大
 21. 駒大の名物教授／駒大図書館所蔵の貴重書・稀覯本
 22. 学生運動／部活動
 23. スポーツにみる駒大の躍進 ～駅伝・野球・サッカー～
 24. 国際交流における駒澤大学 ～留学・学術交流～

履修上の留意点

4年間を過ごすことになる駒澤大学のことを、広く、深く知って下さい。駒澤大学に対する理解と愛着が深まることを願っています。

成績評価の方法

学年末の期末試験。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	総合II【2〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	<small>しみず よしかず うるしほら かずこ おざわ まこと おたか しやういち さかのい かずよ さくらい くにお のほら まさお</small> 清水 善和・漆原 和子・小沢 誠・小高 昭一・坂野井 和代・桜井 邦夫・篠原 正雄・ <small>やなぎさわ のりお やまがた たけし</small> 柳澤 紀夫・山縣 毅				

総合分野

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は、生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然である。ある地域の自然を総合的に理解するためには、自然をめぐる歴史的、地理的な背景を知る必要がある。本科目では、まず、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法を紹介する。一部の講義では大学キャンパスや駒沢公園を利用した実習も行う。次に、夏休み中（7月下旬）に房総半島の富浦にある駒澤大学富浦セミナーハウスにて、4泊5日の泊り込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。夜には天体望遠鏡を用いて天体観測の実習も行う。これらの講義や実習を通して、自然の見方、接し方、自然科学的な考え方の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と夏休みの富浦での実習を行う。内容に応じて9名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。なお、後期の講義はない。

- 前期（半期）：本校での講義（一部実習を含む）
 - (1) ガイダンス（抽選）、(2) 自然観察の方法、(3) 植物の観察1、(4) 植物の観察2、(5) バードウォッチング1、(6) バードウォッチング2、(7) 地球科学的な見方1、(8) 地球科学的な見方2、(9) 地球環境の見方1、(10) 地球環境の見方2、(11) 天体観測の方法1、(12) 天体観測の方法2、(13) 富浦実習に向けて
- 富浦での講義と実習：7月16日（月）午後～20日（金）午前（4泊5日）
午前の講義、午後の実習（植物、地形・地質、地理・歴史）、夜の天体観測など。

履修上の留意点

- 前期半期の講義と夏休み中の実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦の実習に参加できない人は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休み中の実習に参加する人のみ履修すること。また、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。
- 富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費（1泊4000円×4日）は学生の自己負担とする。
- 実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイダンスを行い、履修希望者が定員を越える場合には、その場で抽選を行うので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

合計9名の教員が分担して講義と実習を行うので、各教員が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価点と出席点とを合算して最終的な成績の判定を行う。なお、科目の性格上、追試は行わない。

教科書

特になし。各教員が必要に応じてプリント等を配布する。

参考書等

各教員が必要に応じて紹介する。

その他

定員30名を越える希望者がある場合は抽選を行うので、履修希望者は必ず4月の初回講義に出席すること。

科目名	総合Ⅲ【1〔人権と社会問題〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad; it should provide an approximate experience of what it is like to attend a university-level course in a foreign country. Students will not study English, but study something else in English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, controversial, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1 rights	CLASS 16 abortion
CLASS 2 rights	CLASS 17 abortion
CLASS 3 rights	CLASS 18 abortion
CLASS 4 income	CLASS 19 racism
CLASS 5 income	CLASS 20 racism
CLASS 6 income	CLASS 21 racism
CLASS 7 income	CLASS 22 racism
CLASS 8 feminism	CLASS 23 suicide
CLASS 9 feminism	CLASS 24 suicide
CLASS 10 feminism	CLASS 25 suicide
CLASS 11 feminism	CLASS 26 suicide
CLASS 12 euthanasia	CLASS 27 war
CLASS 13 euthanasia	CLASS 28 war
CLASS 14 euthanasia	CLASS 29 war
CLASS 15 euthanasia	CLASS 30 war

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are vital; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, TAKE SOME OTHER COURSE. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance. Attendance is extremely important, whereas examinations have minor effect on the final grade. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because final grade is relative to his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science,

教科書

Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	総合Ⅲ【2〔欧米の教育と日本の教育〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	おかざき としいちろう 岡崎 寿一郎				

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって変更されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	総合III【3〔フランス現代文化史〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	桑田 禮彰 <small>くわた のりあき</small>				

講義のねらい

フランスにおける現代（特に第2次大戦後）の文化の歴史を概観します。

講義の内容・授業スケジュール

ここで扱う「文化」とは、文学（バタイユ、ブランショ他）、演劇（アルトー、ジュネ、イヨネスコ他）、美術（ピカソ、セザンヌ、ジャコメッティ、スタール他）、音楽（ブーレーズ他）、映画（ゴダール他）などの芸術にとどまらず、哲学（サルトル、メルロ＝ポンティ、フーコー、ドゥルーズ他）、精神分析（ラカン他）、人類学（レヴィ＝ストロース他）、歴史学（ブローデル他）、社会学（バルト他）などの学問も含みます。

講義では、時の流れに沿って過去から現在へ向かいながら、こうした文化界における重要な具体的事件（哲学書出版、芝居公演、美術展など）を取り上げ、当時の政治・社会的背景の上に位置付けてみます。一方では個々の文化的事件をできるかぎり具体的に追いつつ、他方ではフランス現代文化全体を大きな流れとして提示し、そこから「知識人」「戦争」「消費社会」「芸術と政治」「ニヒリズム」などの問題を考えて行きます。

もちろん「フランス現代」という時空枠は暫定的なもので、講義はこの枠をはみ出します。たとえば、この時代のフランス文化はドイツ文化の大きな影響のもとにありましたが、現代の「知識人」のフランス的性格を考えるためには歴史を遡る必要もあります。

尚、この講義は、Jean-Paul Aron, Les modernes, Gallimard, 1984を下敷にします。

履修上の留意点

履修者にフランス語の知識は必要ありません。

成績評価の方法

学年末試験

教科書

特に指定しません。

参考書等

講義で指示します。

科目名	総合IV【1〔現代アメリカ事情〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	林 明人 <small>はやし あきと</small>				

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

プリントを配布します。

科目名	総合IV【2〔シアトル市のNPOとまちづくり〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい

前期はアメリカのシアトルを中心にNPO,NGO（非営利組織）におけるまちづくり（コミュニティビルディング）、後期の前半は日本の神奈川県を中心に発達しつつあるNPO間のネットワークについて考察する。後期後半はインドにおけるNGO,NPOについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとNPO
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
 アメリカにおける移民とNPO
 自治体とNPOの協働について：日本との比較
 神戸市・横浜市、川崎市などの事例研究
 後期：日本のNPO,インドのNPO,NGO
 日本のまちづくり政策とNPO
 世田谷区のまちづくりとNPO
 まちづくり協議会とNPO
 神奈川県・横浜市におけるNPOと外国人労働者
 インド社会概観
 インド社会とNGO
 南インドのNGOとコミュニティビルディング
 行政とNPO,NGOのかかわり：タミルナードゥ州、ケーララ州などを事例として。

総合分野

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』（勁草（けいそう）書房）、その他。

参考書等

教場で指定（インターネットサイトなど。）

その他

ゲストレクチャーを後期に2回予定している。

科目名	総合IV【3〔ポスト・モダンの世界〕】	開講	通年	単位	4
担当	禪仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	まるこ てつお 丸小 哲雄				

講義のねらい

本講座は、総合科目と専門科目の「あいまいな」通路を拓き、連動していくことが狙いである。「いい大学を出て、大企業に就職する」という「幸福な方程式」から絶対に避けることのできない遇有的な不確実性にどうのように対応するかという「人生の方程式」に向けて講義してゆく。そこで「いま・ここ」における社会現象に向き遇って問題意識を高めてもらうために、「生活知」（人間の時間）と「世界知」（科学の時間）を、つまり「熱い知」と「冷たい知」を結び付けて、その中間にあるあいまいな生の「遇有性」（不確実の時代）のダイナミズムを自分の主体的な「生活知」のなかで生かせるように講義を進める。

講義の狙いは、「近代化とは何か」を問うために、「ポストモダンの世界」を開き、モダン近代化批判する主体的な能力を育むことで現代文明の本質を捉え直すことにある。ここには近代化批判による現代文明論と主体性の確立という二つの大きな特徴がある。一つ目の特徴は、近代化における科学観・社会観・人間観を構造的・思想的に見直しするために、近代知の権力の座（特権化された場）を移動・転倒させ、固定概念の構造をこじ開けることである。二つ目の特徴は、聴講生自らが近代知批判の複眼的な思考や答えに逢着する過程のなかで、自ら置かれていた現状を対象化（＝他者）して、日常世界にそれを重ね合わせて、「自分の居場所探し」（主体性の確立）を確保することである。

講義の内容・授業スケジュール

社会的な問題（現象）を取り上げてコメントし、問題点を指摘して、モダン（近代史）とポストモダン（現代史）のズレとその課題を認識するために、クラス外では文庫本・新書版の読書課題もありますが、本講義の骨子は以下の通りです。

- 1) 総合IVの性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方
- 3) 「プリモダン」・「モダン」と「ポストモダン」という言葉の定義と時代認識の問題
- 4) ルネッサンス以後の人間観・宇宙観・社会観の思想的な変遷
- 5) 言語の恣意性：ラングとパロール（ソシュールの言語観など）
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の変遷：建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など。
- 7) 理性批判の整理：思想史の観点（ポストモダン）からモダン批判
 - ① プレモダン・モダンという近代史（ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクスなど）
 - ② モダン思想的批判の源泉（ニーチェ・フランクフルト学派・ハイデガーなど）
 - ③ 合理性と非合理性理の問題（マックス・ヴェーバーなど）
 - ④ モダン批判：外部の力と内部の力（ミッシェル・フーコーなど）
- 8) ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題
- 9) レビュー：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

参考書等

講義のときに、随時指示します。

科目名	総合VI【1〔民族とは何か〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	おおの ゆうじ 大野 祐二				

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）
李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

科目名	総合VI【2〔イスラム〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	よしだ きょうこ 吉田 京子				

講義のねらい

本講義は、イスラームの基本的理念、信仰上の儀礼、日常の規定、宗教思想などについて、概論的講義を行い、初歩的なイスラームの知識を提供するものである。

講義の内容・授業スケジュール

- ①イスラームの預言者ムハンマド
 - ②イスラームの啓典クルアーン
 - ③イスラームの世界観
 - ④イスラームの実践
 - ⑤イスラームの分派
 - ⑥イスラーム神秘主義
- これらの項目を各2～3回ずつ行う予定。

履修上の留意点

授業中の疑問点やコメント回答を毎回提出してもらい、それらに対する返答を習週行う。

成績評価の方法

毎回提出のコメント用紙を出席表とする。出席率（3分の2以上）と試験による総合評価。

科目名	総合VI【3〔フェミニズム・ジェンダー〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	はやかわ のりよ 早川 紀代				

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいきいきとすることができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- a. ジェンダーってなに？
フェミニズムやジェンダーという考え方がうまれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。
- b. 労働とジェンダー
企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

- c. 家族とジェンダー
皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。
- d. セクシュアリティとジェンダー
今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いてもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

資料を随時配布する。

その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名	総合VII【1〔トラブルと法的解決〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	高橋 ^{たかはし} 洋城 ^{ひろき} ・川口 ^{かわぐち} 幸美 ^{ゆきみ} ・竹中 ^{たけなか} 智香 ^{ちか} ・原田 ^{はらだ} 啓一郎 ^{けいいちろう} ・藤本 ^{ふじもと} 茂 ^{しげる} ・松村 ^{まつむら} 格 ^{いたる}				

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 高橋 洋城 トラブルが法の問題になるとき
- 2 川口 幸美 現代社会と商法
- 3 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
- 4 原田啓一郎 大学生活と社会保障の法的トラブル
- 5 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 6 松村 格 刑事事件と法定手続

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験（担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある）の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

担当教員が実施する試験を2回以上欠席（不受験）した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。追試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名	総合VII【2〔都市論〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商法A 政営A 選				
担当者名	内海 麻利・浦田 早苗・坂井 文・早川 純貴・堀内 康史				

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々4回又は6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

- 内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）
- 内海麻利「都市計画制度とその動向」（4回：4月・5月）
都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ着目すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。
- 早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：5月・6月）
いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じて、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。
- 浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：6月・7月）
イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。
- 堀内康史「都市とコミュニティ」（6回：9月・10月）
都市を社会学的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心に見ていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバリゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。
- 坂井 文「都市を公共空間から読む」（6回：11月・12月）
都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にもなって、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

3. 外国語科目

3. 外国語科目

《必修・選択必修科目》

〔英語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語IA	火3	禅1必	通年	2	伊勢村 定雄	173
英語IA	火3	禅1必	通年	2	吉江 正雄	174
英語IA	火3	禅1必	通年	2	近藤 真彰	174
英語IA	火1	仏1必	通年	2	伊勢村 定雄	175
英語IA	火1	仏1必	通年	2	牧野 正秀	176
英語IA	火1	仏1必	通年	2	牧野 輝良	176
英語IA〔基礎英語特別クラス〕	木5	禅仏国英地文環境日外考1必	通年	2	大庭 直樹	177
英語IB	金3	禅1必	通年	2	吉川 直澄	178
英語IB	金3	禅1必	通年	2	鈴木 美貴子	178
英語IB	金3	禅1必	通年	2	大淵 利春	179
英語IB	金2	仏1必	通年	2	尾形 重政 田中 保	179
英語IB	金2	仏1必	通年	2	大淵 利春	180
英語IB	金2	仏1必	通年	2	吉川 直澄	180
英語IB〔基礎英語特別クラス〕	金2	禅仏1年	通年	2	吉沢 栄治郎	181
英語IIA	月5	禅2年	通年	2	太田 美智子	182
英語IIA	月5	禅2年	通年	2	大淵 利春	182
英語IIA	月5	仏2年	通年	2	矢島 直子	183
英語IIA	月5	仏2年	通年	2	江田 幸子	183
英語IIA	月5	仏2年	通年	2	佐藤 アヤ子	184
英語IIB	木1	禅2年	通年	2	丸小 哲雄	185
英語IIB	木1	禅2年	通年	2	太田 由紀子	186
英語IIB	木2	仏2年	通年	2	太田 由紀子	187
英語IIB	木2	仏2年	通年	2	高野 秀夫	187
英語IIB	木2	仏2年	通年	2	前田 脩	188

外国語

〔ドイツ語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ドイツ語IA	火4	禅1年 仏1年	通年	2	杉本 正俊	189
ドイツ語IB	土1	禅1年 仏1年	通年	2	藪下 紘一	189
ドイツ語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	柴野 博子	190
ドイツ語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	本橋 右京	190
ドイツ語IIB	月4	禅仏経A法A2年	通年	2	飯塚 公夫	191

〔フランス語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
フランス語IA	火4	禅1年 仏1年	通年	2	芦原 眷	192

フランス語IB	土1	禪1年 仏1年	通年	2	浜崎 設夫	192
フランス語IIA	水3	禪仏英経A法A2年	通年	2	小玉 齊夫	193
フランス語IIA	水3	禪仏英経A法A2年	通年	2	遠山 博雄	193
フランス語IIB	月4	禪仏経A法A2年	通年	2	菅谷 暁	193

〔中国語〕

科目名	曜日・時限	担当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
中国語IA	火4	禪1年 仏1年	通年	2	布施 直子	195
中国語IB	土1	禪1年 仏1年	通年	2	下出 宣子	
中国語IA	火4	禪1年 仏1年	通年	2	本間 由香利	196
中国語IB	土1	禪1年 仏1年	通年	2	本間 由香利	
中国語IA	火4	禪1年 仏1年	通年	2	工藤 早恵	196
中国語IB	土1	禪1年 仏1年	通年	2	張 渭涛	
中国語IA	火4	禪1年 仏1年	通年	2	小栗山 恵	197
中国語IB	土1	禪1年 仏1年	通年	2	徳間 佳信	
中国語IA	火4	禪1年 仏1年	通年	2	佐藤 普美子	197
中国語IB	土1	禪1年 仏1年	通年	2	佐藤 普美子	
中国語IA	火4	禪1年 仏1年	通年	2	塩旗 伸一郎	198
中国語IB	土1	禪1年 仏1年	通年	2	塩旗 伸一郎	
中国語IIA	水3	禪仏英経A法A2年	通年	2	秋元 翼	198
中国語IIA	水3	禪仏英経A法A2年	通年	2	児島 弘一郎	199
中国語IIA	水3	禪仏英経A法A2年	通年	2	李 雲	199
中国語IIA	水3	禪仏英経A法A2年	通年	2	岩崎 皇	200
中国語IIB	月4	禪仏経A法A2年	通年	2	橋本 幸枝	200
中国語IIB	月4	禪仏経A法A2年	通年	2	梅田 雅子	201
中国語IIB	月4	禪仏経A法A2年	通年	2	弘兼 加奈子	201

〔スペイン語〕

科目名	曜日・時限	担当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
スペイン語IA	火4	禪1年 仏1年	通年	2	亀山 晃一	202
スペイン語IB	土1	禪1年 仏1年	通年	2	萩野 雅司	202
スペイン語IIA	水3	禪仏英経A法A2年	通年	2	大岩 功	203
スペイン語IIA	水3	禪仏英経A法A2年	通年	2	真下 祐一	203

スペイン語IIB	月4	禅仏経A法A2年	通年	2	大岩 功	204
----------	----	----------	----	---	------	-----

〔ロシア語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ロシア語IA	火4	禅1年 仏1年	通年	2	佐野 朝子	206
ロシア語IB	土1	禅1年 仏1年	通年	2	廣田 英靖	207
ロシア語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	杉山 秀子 佐藤 和子	207
ロシア語IIB	月4	禅仏経A法A2年	通年	2	木村 英明	208

《再履修クラス》

〔英 語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語IA〔再クラス〕	月1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	濱口 真木	262
英語IA〔再クラス〕	月1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	松堂 啓子	262
英語IA〔再クラス〕	月2	全学科(フレB除く)234年	通年	2	岩井 洋美	263
英語IA〔再クラス〕	月2	全学科(フレB除く)234年	通年	2	牧野 輝良	263
英語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	熊沢 和明	264
英語IA〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	埜 美智子	264
英語IA〔再クラス〕	木2	全学科(フレB除く)234年	通年	2	丸小 哲雄	265
英語IA〔再クラス〕	木3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	近藤 真彫	265
英語IA〔再クラス〕	土1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	岡本 誠	266
英語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	岩原 康夫	266
英語IA〔再クラス〕	土2	全学科(フレB除く)234年	通年	2	熊沢 和明	267
英語IB〔再クラス〕	月1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	高見 陽子	267
英語IB〔再クラス〕	月4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	菅原 典子	268
英語IB〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	佐藤 江里子	268
英語IB〔再クラス〕	水1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	落合 和昭	269
英語IB〔再クラス〕	木2	全学科(フレB除く)234年	通年	2	高柳 文江	269
英語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	山岸 二郎	270
英語IB〔再クラス〕	木3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	太田 由紀子	270
英語IIA〔再クラス〕	月4	全学科(フレB除く)34年	通年	2	竹村 恵都子	271
英語IIA〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)34年	通年	2	山口 晃	271
英語IIA〔再クラス〕	火4	全学科(フレB除く)34年	通年	2	三幣 友行	272
英語IIA〔再クラス〕	火4	全学科(フレB除く)34年	通年	2	澤田 真弓	272
英語IIA〔再クラス〕	水1	全学科(フレB除く)34年	通年	2	前田 脩	273
英語IIA〔再クラス〕	木2	全学科(フレB除く)34年	通年	2	外池 一子	273
英語IIA〔再クラス〕	木3	全学科(フレB除く)34年	通年	2	古富 猛	274
英語IIA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)34年	通年	2	飯沼 好永	274
英語IIB〔再クラス〕	月4	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年	通年	2	岡崎 寿一郎	275
英語IIB〔再クラス〕	月4	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年	通年	2	大淵 利春	275
英語IIB〔再クラス〕	月4	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年	通年	2	佐藤 アヤ子	276
英語IIB〔再クラス〕	月5	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年	通年	2	安齋 薫	276
英語IIB〔再クラス〕	月5	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年	通年	2	芝田 興太郎	276
英語IIB〔再クラス〕	水1	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年	通年	2	矢島 直子	277
英語IIB〔再クラス〕	水1	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年	通年	2	相馬 美明	277
英語IIB〔再クラス〕	土3	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年	通年	2	本間 俊一	278

英語II B〔再クラス〕	土3	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年	通年	2	手島 敬子	278
--------------	----	-------------------	----	---	-------	-----

〔ドイツ語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ドイツ語IA〔再クラス〕	水5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	本橋 右京	279
ドイツ語IA〔再クラス〕	木1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	志真 斗美恵	279
ドイツ語IA〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	南 はるつ	280
ドイツ語IA〔再クラス〕	金4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	井村 行子	280
ドイツ語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	杉本 正俊	281
ドイツ語IB〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	飯塚 公夫	281
ドイツ語IB〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	岡本 時子	282
ドイツ語IB〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	杉本 正俊	282
ドイツ語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	岡本 時子	283
ドイツ語IIA〔再クラス〕	水1	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年	通年	2	森 公成	283
ドイツ語IIB〔再クラス〕	水1	禅仏国歴日外考経商現法A政34年	通年	2	森 公成	
ドイツ語IIA〔再クラス〕	水4	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年	通年	2	本橋 右京	284
ドイツ語IIB〔再クラス〕	水4	禅仏国歴日外考経商現法A政34年	通年	2	本橋 右京	
ドイツ語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年	通年	2	南 はるつ	284
ドイツ語IIB〔再クラス〕	土3	禅仏国歴日外考経商現法A政34年	通年	2	南 はるつ	

外国語

〔フランス語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
フランス語IA〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	前田 祝一	285
フランス語IA〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	芦原 眷	285
フランス語IA〔再クラス〕	木1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	小玉 齊夫	286
フランス語IA〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	菅原 猛	286
フランス語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	谷川 かおる	287
フランス語IB〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	菅谷 暁	287
フランス語IB〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	今関 アン	288
フランス語IB〔再クラス〕	木5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	伊藤 なお	288
フランス語IB〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	谷川 かおる	289
フランス語IIA〔再クラス〕	水1	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年	通年	2	畑中 千晶	289
フランス語IIB〔再クラス〕	水1	禅仏国歴日外考経商現法A政34年	通年	2	畑中 千晶	
フランス語IIA〔再クラス〕	水4	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年	通年	2	沼倉 広子	290
フランス語IIB〔再クラス〕	水4	禅仏国歴日外考経商現法A政34年	通年	2	沼倉 広子	

フランス語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	前田 祝一	290
フランス語IIB〔再クラス〕	土3	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	前田 祝一	

〔中国語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
中国語IA〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	児島 弘一郎	291
中国語IB〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	児島 弘一郎	
中国語IA〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	本間 由香利	291
中国語IB〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	本間 由香利	
中国語IA〔再クラス〕	木1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	天野 節	292
中国語IB〔再クラス〕	木1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	天野 節	
中国語IA〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	児島 弘一郎	292
中国語IB〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	児島 弘一郎	
中国語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	張 渭涛	293
中国語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	張 渭涛	
中国語IA〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	弘兼 加奈子	293
中国語IB〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	弘兼 加奈子	
中国語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	蘭 明	293
中国語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	蘭 明	
中国語IIA〔再クラス〕	月5	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	梅田 雅子	294
中国語IIA〔再クラス〕	木5	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	岩崎 皇	294
中国語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	大久保 明男	295
中国語IIB〔再クラス〕	水4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	李 雲	295
中国語IIB〔再クラス〕	水5	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	李 雲	296
中国語IIB〔再クラス〕	土4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	蘭 明	296

〔スペイン語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
スペイン語IA〔再クラス〕	水5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	297
スペイン語IB〔再クラス〕	水5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	
スペイン語IA〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	齋藤 明美	297
スペイン語IB〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	齋藤 明美	
スペイン語IA〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	亀山 晃一	298
スペイン語IB〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	亀山 晃一	
スペイン語IA〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	298
スペイン語IB〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	
スペイン語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	荻野 恵	299
スペイン語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	荻野 恵	
スペイン語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	佐藤 麻里乃	299
スペイン語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	佐藤 麻里乃	

スペイン語IIA〔再クラス〕	水1	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	齋藤 明美	299
スペイン語IIB〔再クラス〕	水1	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	齋藤 明美	
スペイン語IIA〔再クラス〕	水4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	大岩 功	300
スペイン語IIB〔再クラス〕	水4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	大岩 功	
スペイン語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	亀山 晃一	300
スペイン語IIB〔再クラス〕	土3	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	亀山 晃一	

〔ロシア語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ロシア語IA〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	301
ロシア語IB〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	
ロシア語IA〔再クラス〕	水1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	佐野 朝子	301
ロシア語IB〔再クラス〕	水1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	佐野 朝子	
ロシア語IA〔再クラス〕	金1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	木村 英明	302
ロシア語IB〔再クラス〕	金1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	木村 英明	
ロシア語IA〔再クラス〕	土4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	安徳 ニーナ	302
ロシア語IB〔再クラス〕	土4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	安徳 ニーナ	
ロシア語IIA〔再クラス〕	火4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	クロチコフ、 Y.	303
ロシア語IIB〔再クラス〕	火4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	クロチコフ、 Y.	
ロシア語IIA〔再クラス〕	木5	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	大須賀 史和	303
ロシア語IIB〔再クラス〕	木5	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	大須賀 史和	
ロシア語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	安徳 ニーナ	304
ロシア語IIB〔再クラス〕	土3	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	安徳 ニーナ	

《選 択 科 目》

科 目 名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英文講読	水 1	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	林 明人	209
英文講読	水 2	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	矢島 直子	209
英文講読	水 1	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	牧野 輝良	210
時事英語研究	月 4	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	高野 秀夫	210
時事英語研究	火 2	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	林 明人	211
時事英語研究	火 2	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	岸本 茂和	211
時事英語研究	月 4	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	落合 和昭	212
時事英語研究	月 4	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	矢島 直子	212
マルチ・メディア	火 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	落合 和昭	213
マルチ・メディア	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	大庭 直樹	214
マルチ・メディア	火 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	西村 祐子	215
マルチ・メディア	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	大庭 直樹	216
英会話I	月 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	ロビン、 G. F.	216
英会話I	月 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	ロビン、 G. F.	217
英会話I	火 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	ウェルズ、 J. K.	218
英会話I	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	ウェルズ、 J. K.	219
英会話I	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	ソルタ、 P. N. F.	220
英会話I	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	ソルタ、 P. N. F.	221
英会話I	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	レーン、 C. M.	222
英会話I	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	レーン、 C. M.	223
英会話I	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	ピアス、 D. M.	224

英会話I	金 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	ピアス、 D. M.	225
英会話I	土 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	レイン、 R. V.	226
英会話I	土 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	ラッセル、 S. J.	227
英会話II	水 1	全学科（フレB除く）234選	通年	2	ソルタ、 P. N. F.	228
英会話II	土 1	全学科（フレB除く）234選	通年	2	ラッセル、 S. J.	229
英会話II	土 2	全学科（フレB除く）234選	通年	2	レイン、 R. V.	230
英会話III	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ウェルズ、 J. K.	231
英会話III	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ピアス、 D. M.	232
英語LLI	月 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	西村 祐子	233
英語LLI	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	埴 美智子	233
英語LLI	火 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	埴 美智子	234
英語LLI	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	西村 祐子	234
英語LLI	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	外池 一子	235
英語LLI	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	外池 一子	236
英語LLI	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	甲斐 捷子	237
英語LLI	土 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選	通年	2	久保 ひさ子	237
英語LLII	月 3	全学科（フレB除く）234選	通年	2	西村 祐子	238
英語LLII	木 2	全学科（フレB除く）234選	通年	2	高橋 明子	238
英語LLII	金 3	全学科（フレB除く）234選	通年	2	甲斐 捷子	239
英語LLIII	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	甲斐 捷子	239
英語LLIII	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	西村 祐子	240
英語LLIII	土 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	久保 ひさ子	240
ドイツ語外国書講読	火 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選	通年	4	柴野 博子	241
時事ドイツ語	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	堀内 美江	241
上級ドイツ語	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	藪下 紘一	241

外国語

ドイツ語コミュニケーションI	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	小林 ゲアリンデ	242
ドイツ語コミュニケーションII	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	小林 ゲアリンデ	242
ドイツ語IA(選)	火2	全学科(フレB除く)選	通年	2	松岡 晋	243
ドイツ語IB(選)	金2	全学科(フレB除く)選	通年	2	井村 行子	243
ドイツ語II(選)	木5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	井村 行子	244
フランス語外国書講読	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選	通年	4	前田 祝一	244
時事フランス語	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	桑田 禮彰	245
上級フランス語	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	小玉 齊夫	245
フランス語コミュニケーションI	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ラリア・三倉、M.	246
フランス語コミュニケーションII	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ラリア・三倉、M.	246
フランス語IA(選)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	出口 雅敏	246
フランス語IA(選)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	前田 祝一	247
フランス語IB(選)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	桑田 禮彰	247
フランス語II(選)	木5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	桑田 禮彰	248
中国語外国書講読	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選	通年	4	佐藤 普美子	248
時事中国語	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	塩旗 伸一郎	249
上級中国語	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	児島 弘一郎	249
中国語コミュニケーションI	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	岩崎 皇	250
中国語コミュニケーションII	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	曹 泰和	250
中国語IA(選)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	吉田 建一郎	251
中国語IA(選)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	宮本 厚子	251
中国語IB(選)	土2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	蘭 明	252
中国語II(選)	木5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	三田村 圭子	252
スペイン語外国書講読	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選	通年	4	齋藤 明美	253

時事スペイン語	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	齋藤 明美	253
上級スペイン語	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	上野 勝広	254
スペイン語コミュニケーションI	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ナバロ、ホ ワンJ.	254
スペイン語コミュニケーションII	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ナバロ、ホ ワンJ.	254
スペイン語IA (選)	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	亀山 晃一	255
スペイン語IB (選)	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	齋藤 明美	255
スペイン語II (選)	木 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	荻野 雅司	256
ロシア語外国書講読	金 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選	通年	4	廣田 英靖	256
時事ロシア語	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	木村 英明	257
上級ロシア語	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	クロチコフ、 Y.	257
ロシア語コミュニケーションI	月 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	安德 ニーナ	258
ロシア語コミュニケーションII	月 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	安德 ニーナ	258
ロシア語IA (選)	火 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	クロチコフ、 Y.	259
ロシア語IB (選)	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	木村 英明	259
ロシア語II (選)	木 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	クロチコフ、 Y.	260
朝鮮語IA (選)	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	宋 美玲	260
朝鮮語IB (選)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	宋 美玲	261
朝鮮語II (選)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	宋 美玲	261

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	禅1必				
担当者名	いせむら さだお 伊勢村 定雄				

講義のねらい

アメリカの同世代の学生達の暮らしを通して、英語の発音のみならず英語表現などを身につける。

講義の内容・授業スケジュール

主としてテキストに沿って進めるので、受講生は事前にテキストの進め方及び目次については目を通しておくこと。

進め方の詳細は初回に説明するが、簡単にやり方と予定を示す：

授業各 Unit (テキストによる) ごとに、[本文の音読 + 訳読 → 長いダイアログ → One - Point Memo → 短いダイアログ → ダイアログのテスト] というサイクルで行なうので、各自そのつもりで準備をすること。なお、4月は説明他で授業に慣れてもらうためテストはせず、ダイアログのテストは、二人～4人で行う。

日程は：5月 - 2回、6月 2回、7月 - 1回、{ペーパーテスト} (夏休み) 10月 - 2回、11月 - 2回、12月 - 2回の計11回を予定。

かつ、7月にはペーパーテストも1回実施する予定。

履修上の留意点

辞書持参、予習不可欠。

成績評価の方法

ダイアログのテスト + ペーパーテスト (7割) + 出席状況 (回数) (1割) + 予習及び出席態度 (2割) = 100点

教科書

『アメリカの学園生活』、N. Harren, S. Isemura, K. Inoue 著 (英光社) 1800円。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	禅1必				
担当者名	吉江 ^{よしえ} ^{まさお} 正雄				

講義のねらい

英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

H.G.Wellsの“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。

履修上の留意点

予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。

成績評価の方法

前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。

教科書

H.G.Wells 著 “A Short History of the World”（ウェルズの簡約世界史）（こびあん書房）教室で販売する。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	禅1必				
担当者名	近藤 ^{こんどう} ^{まほり} 真彫				

講義のねらい

英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

最新の英字新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を、単語や表現に注意しながら読んでいきます。その上で、英語での意見の表現法を学びながら、記事内容について自分の意見を述べる練習をします。

履修上の留意点

必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験の成績（50％）と通常の授業での課題（50％）を総合して評価します。

教科書

授業の第一回目に指示します。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	仏1必				
担当者名	伊勢村 ^{いせむら} 定雄 ^{さだお}				

講義のねらい

音読とダイアログの暗唱により、英語の発音と表現を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 4月 ガイダンス（2回目から授業開始）
〈本文音読・訳読→ダイアログ音読・訳読→練習→ダイアログテスト〉のサイクル
で授業はすすめる。
- 5月 (ダイアログ) オーラルテスト (1回)
- 6月 オーラルテスト (2回)
- 7月 オーラルテスト (3回)
- 9月 後期のガイダンス及び授業開始
(後期から〈2度/3時間〉の割合でオーラルテストとなる)
- 10月 オーラルテスト (4回)
- 10月 オーラルテスト (5回)
- 10月 オーラルテスト (6回)
- 11月 オーラルテスト (7回)
- 11月 オーラルテスト (8回)
- 12月 オーラルテスト (9回)
- 12月 オーラルテスト (10回?)

外国語

履修上の留意点

予習は必ずすること！ 辞書は持参のこと。

成績評価の方法

主にオーラルテストによる。他出席状況及びその態度。

教科書

伊勢村定雄、Dennis R.Kogg 『アメリカン・ライフを英語で』（北星堂書店）1,900円

参考書等

なし

その他

上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。演習形式。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
担当	仏1必				
担当者名	<small>まきの まさひで</small> 牧野 正秀				

講義のねらい

文章表現の場合でも、リスニング、スピーキングの場合にしても、それなりの基礎は常に復習再確認が必要です。発音、語法、読解力はもとより多くの英文に積極的に接するようにしなければなりません。その上で、コミュニケーションの道具としての実力をつけたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

独習だけでは、誤解や思い込みから自分流の知識に左右される場合があります、そこを何か客観的な手段に訴えてみる必要があります。その場が毎回の授業です。演習なので必ず個人を指名して発表してもらいます。今まで学んできた基本的な知識を復習再確認しながら勉強します。

履修上の留意点

活発な授業が出来るように、積極的な態度を期待します。今日は自分の発表ではないのだと言わんばかりに雑談したり、居眠りを決め込まないように。自学自習の時間が、授業より圧倒的に多いので必ず下調べをして教室に臨んでください。指名されたら必ず発表すること。

成績評価の方法

前、後期の試験結果に、出席状況（3分の2以上の出席が必要）、授業中の発表や予習の度合いといった平常点を加味して総合的に単位を認定します。

教科書

村松美映子『!Cultures! Interviews with people from around the world』（桐原書店）950円
ISBN4-342-77290-6 C9082

外国語

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
担当	仏1必				
担当者名	<small>まきの てるよし</small> 牧野 輝良				

講義のねらい

英文を理解するのに必要な英文の構造、語句等を年間を通じ、しっかりと学習すること。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをよく読み、あわせてよりよく英文を理解するために、ドリルとして英文法の問題を課する。

履修上の留意点

指名された学生は答えられるように予習して出席すること。

成績評価の方法

授業中の発表、提出物、3～5課毎の小テスト、期末テスト及び2/3以上の出席等を総合して評価する。

教科書

『基本英文法』（成美堂）1,600円 ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	英語IA〔基礎英語特別クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考1必				
担当者名	大庭 <small>おおば</small> 直樹 <small>なおき</small>				

講義のねらい

基本的な文法書をテキストにして、ことばのしくみを学んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

1年間で、英語は、語彙さえ調べれば読みこなせる、というレベルまで到達できるようにしたい。クラスでは、日本語と英語を比較・検討しながら違いと類似点を話題にしていきたい。

履修上の留意点

毎回、細かい指示を出すので、その指示にしたがって学習すること。

成績評価の方法

二回の定期試験を行うが、成績は平常点を重視する。つまり、クラスに積極的に参加する姿勢と、個々の学生の達成度を重視する。そのためには、毎回、クラスに参加することは当然のことである。

教科書

テキストは教場で指示する。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	禪1 必				
担当者名	吉川 直澄 <small>きつかわ なおすみ</small>				

外国語

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、英語で書かれた論説文の正確な読解力を身に付ける。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読みすすめると同時に、インターネットからダウンロードした参考資料を使用する。
履修上の留意点	きちんと予習をしておくこと。
成績評価の方法	出席(評価の30%)、授業参加度・授業内提出物(30%)、前期後期試験(40%)を総合的に検討の上、評価する。
教科書	「英文読解術」(ちくま新書) ¥700-ISBN 4-480-05645-9

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	禪1 必				
担当者名	鈴木 美貴子 <small>すずき みきこ</small>				

講義のねらい	リスニングと読解によって、英語力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに従う。随時こちらで用意したTOEICの練習問題を読む。
履修上の留意点	予習必須。必ず辞書持参。
成績評価の方法	出席状況、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。
教科書	『リスニングで学ぶ現代の社会事情』(成美堂、2000円) ISBN4-7919-1039-7 C1082

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	禅1必				
担当者名	大瀨 利春 <small>おおのち としはる</small>				

講義のねらい 英語のリスニング力、リーディング力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール はじめに15分程度リスニングの練習を行い、そのあとで教科書の本文を読み進めていく。毎回最低一回はすべての学生が発言する機会をもうけたい。プリント等も適宜使用する。

履修上の留意点 英和辞書持参のこと。予習を行うこと。

成績評価の方法 前、後期二回の試験成績をベースにしつつ、出席状況、授業態度などの平常点も考慮し、総合的に評価する。

教科書 『The World at a Glance 世界事情拝見』（南雲堂）ISBN4-523-17525-X

外国語

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	仏1必				
担当者名	尾形 重政・田中 保 <small>おがた しげまさ ななか たもつ</small>				

講義のねらい 入学時の文法力を利用して、基礎から徐々に高度な構文の理解と文章の段落・大意を把握する力を培う。

講義の内容・授業スケジュール 授業はテキストにそって進めますが、補助教材（プリント）も利用します。発表形式によって行います。

履修上の留意点 必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法 前期の試験・授業時の発表・後期の試験・出席状況等を総合的に検討して評価します。

教科書 前期は、第1回目の授業時から毎回予習してこられるように、プリント・宿題等を事前に配布します。
後期は、最初の授業のときに教室で指示しますので、必ず出席して下さい。

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
担当	仏1必				
担当者名	おおぶち としはる 大淵 利春				

講義のねらい

英語のリスニング力、リーディング力の向上を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに毎回15分程度のリスニングの練習を行い、その後にテキストを読み進めていく。

履修上の留意点

予習をすること。辞書を忘れずにもってくること。

成績評価の方法

前、後期2回のテストの結果を50%、平常点（出席状況、授業への取り組み方など）を50%として評価する。

教科書

『英語ニュースで読む現代社会2007』（金星堂）1800円

外国語

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
担当	仏1必				
担当者名	きつかわ なおずみ 吉川 直澄				

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英文の正確な読解力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読みすすめると同時に、インターネットからダウンロードした参考資料を使用する。

履修上の留意点

きちんと予習をしておくこと。

成績評価の方法

出席（評価の30%）、授業参加・授業内提出物（30%）、前期後期試験（40%）を総合的に検討して評価する。

教科書

「英文読解術」（ちくま新書）¥700-ISBN 4-480-05645-9

科目名	英語IB〔基礎英語特別クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏1年				
担当者名	吉沢 栄治郎 <small>よしざわ えいじろう</small>				

講義のねらい

エッセイ、評論などを中心に、抜粋ではありますが中文形式でよんでいきます。参考訳も掲げますが、いちど自分で辞典をひきながら和訳してみるとよいでしょう。物の見方や考え方が様々あることに気付くのではないのでしょうか。また、こうしたものを手掛りに、自分で題を決めて文章を書いてみるのも一案です。

履修上の留意点

辞典を持って、随時、引くことです。

成績評価の方法

ペーパーテストと出席状況を見て評価します。

教科書

使用しません。

英 語 II A

〈英語 II Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅2年				
担当者名	太田 <small>おおた みちこ</small> 美智子				

外国語

講義のねらい	コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。
履修上の留意点	必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。
成績評価の方法	平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。
教科書	『The World at a Glance』(南雲堂)

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅2年				
担当者名	大淵 <small>おおふち としはる</small> 利春				

講義のねらい	英作文の演習を通して、英語表現力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	授業のはじめに15分程度のリスニングの練習を行い、その後テキストの問題を進めていく。
履修上の留意点	予習をしてくること。辞書を忘れないこと。
成績評価の方法	前、後期2回の試験を50%、平常点(出席状況、授業への取り組み方など)50%として評価する。
教科書	『コミュニケーションのための口語英作文』(成美堂) 1600円

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	仏2年				
担当者名	やじま なおこ 矢島 直子				

講義のねらい	平易な英語のリスニングができるようにすること。
講義の内容・授業スケジュール	聞き取りを徹底的に勉強します。必要な場合は文章の説明をします。進度は学生次第です。
履修上の留意点	どんどん当てて、問題に答えてもらい、意味を取ってもらいます。十分予習してきて下さい。1回目の授業から出席すること。
成績評価の方法	平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。
教科書	Sean Mahoney, 『新TOEICテストリスニングのための基礎演習』、(金星堂) ¥1,300、ISBN 978-4-7647-3837-9

外国語

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	仏2年				
担当者名	えだ さちこ 江田 幸子				

講義のねらい	このクラスでは、読む、聞く、書く、の三要素を重点的に学習します。今日的なトピックを扱った簡素な英語文を多様な分野に渡って読みます。そこで使われている基礎的な英語構文を使えるようにします。英語文は英文を書くためのお手本として読みますのでテキスト中の使用頻度の高い単語句は徹底的にマークして覚えます。そしてそれ等の構文、単語句を用いて短い英文を書く練習を行います。 準備としてはまず各章の英語文を日本語に訳したノートを各自作ります。その日本語から原文の英語が書けるようにします。その上で重要な構文や表現方法を用いて応用英作文を实践します。
成績評価の方法	一年間を通して最低5回テストを行い、平均点60点以上に欠席回数5回迄を以って合格点とします。欠席が5回以上になった人は、試験の平均点が70点以上を以って合格とします。欠席が5回以上の人は英語の実力で評価します。
教科書	『Skills for better Writing : 構造で書く英文エッセイ』著者 : Emma Andrews (南雲堂) ¥1900

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	仏2年				
担当者名	佐藤 <small>さとう あやこ</small> アヤ子				

講義のねらい

英語でコミュニケーションをするとき、それぞれのシチュエーションでどのような英語表現が重要か、英語で議論する上でどのようなファンクションが大切かを学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに沿って進めます。授業前に前回に行った授業の単語テストを行います。

履修上の留意点

予習、復習はもちろんのこと、毎回単語テストがあります。従って欠席すると総合点が減ります。

成績評価の方法

日常の小テスト、及び前後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教科書

『English Writing for Global Communication ーグローバル社会の英語作文ー』
(金星堂) 1950円(税別)
ISBN 978-4-7647-3834-8 C1082

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語 II B	開講	通年	単位	2
配当	禅 2 年				
担当者名	まるこ てつお 丸小 哲雄				

講義のねらい

日本文化としての「縮み志向」の本質を捉えつつ、基礎英語で表現できることを目指したい。また速読ができるようにパラグラフの構成のあり方とそのコメント力の涵養に努めます。表現者の主体的な考え方の幅を拡げたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

リスニング・タイムをウォーミングアップとして、リーディング・タイムで日本文化論を読みながら、自己表現できるように英語発信型の能力も涵養してゆきます。レポート提出も課題とします。

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- ・リーディングとリスニングのテキスト：
 - 1) 『The Compact Culture』(英宝社) ISBN4-269-17012-3
 - 2) 『The Half-Edition of English through the New Media』(朝日出版) ISBN978-4-255-15437-4

参考書等

随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事をコピーも配布します。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	禅2年				
担当者名	太田 <small>おおた ゆきこ</small> 由紀子				

講義のねらい

聴解力と読解力を養う。それを可能にするべく単語力、構文理解力を高める。また扱う資料を通して英語圏の文化についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞する。それと平行して彼の自伝を読む。映画鑑賞については英語字幕にする場合と日本語字幕にする場合とあるが、これにより読解力と聴解力を養う。映画の粗筋（英文）も読む予定だが、映像と音声で展開された物語の要約に触れることで英語の理解力を高めたい。そして映画に関係の深い箇所を彼の自伝 My Autobiography から抜粋して読む。これについては音声テープもついているので利用する。いずれの作業においても英文法の確認作業をする。

履修上の留意点

毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

成績評価の方法

授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

教科書

随時、プリントを配布する。

参考書等

安井稔 『英文法総覧』（開拓社）、江川泰一郎 『英文法解説』（金子書房）
 Charles Chaplin. My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction)
 チャールズ・チャップリン 『チャップリン自伝』 中野好夫訳（新潮文庫 上下巻に分冊。下巻は絶版）

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	仏2年				
担当者名	太田 <small>おわた</small> 由紀子 <small>ゆきこ</small>				

講義のねらい

聴解力と読解力を養う。それを可能にするべく単語力、構文理解力を高める。また扱う資料を通して英語圏の文化についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞する。それと平行して彼の自伝を読む。映画鑑賞については英語字幕にする場合と日本語字幕にする場合とあるが、これにより読解力と聴解力を養う。映画の粗筋（英文）も読む予定だが、映像と音声で展開された物語の要約に触れることで英語の理解力を高めたい。そして映画に関係の深い箇所を彼の自伝 My Autobiography から抜粋して読む。これについては音声テープもついているので利用する。いずれの作業においても英文法の確認作業をする。

履修上の留意点

毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

成績評価の方法

授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

教科書

随時、プリントを配布する。

参考書等

安井稔 『英文法総覧』（開拓社）、江川泰一郎 『英文法解説』（金子書房）
Charles Chaplin. My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction)
チャールズ・チャップリン 『チャップリン自伝』 中野好夫訳（新潮文庫 上下巻に分冊。下巻は絶版）

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	仏2年				
担当者名	高野 <small>たかの</small> 秀夫 <small>ひでお</small>				

講義のねらい

Natural Speed の英語の読みと聞き取り、平易な英文の作成、作品の内容の理解に努める。

講義の内容・授業スケジュール

- ① Natural Speed で英語の読み、聞く能力を高める。
- ② 教科書を読み進める。

神への信仰を失い、親友、恋人そして仲間にも裏切られた主人公、サイラス・マーナーは、住み慣れた都会からラヴィロー村に移る。金を貯めることが人生の唯一の楽しみになり、ついに、天涯孤独な守銭奴となる。16年後その金が盗まれ、再び絶望の淵をさ迷う。その時、たまたま、迷い児、エッピーが家に転がり込んで来る。サイラスはその児を育てながら、美しい自然のなかで暮らす村人の温かな心に触れ、生きることの素晴らしさを知る。そして可愛い娘に成長したエッピーと幸せに暮らす。

履修上の留意点

教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

中間、期末筆記試験、平常点（出席点、レポート等）

教科書

授業時に指示する。

科目名	英語ⅡB	開講	通年	単位	2
配当	仏2年				
担当者名	前田 脩 <small>まえだ かつむ</small>				

講義のねらい	絵画鑑賞と英文読解により、イギリス、西欧文化の一端に触れてもらいます
講義の内容・授業スケジュール	内容把握が正確にできるように丁寧に読み進めてゆきます。できる限り全員が参加できるように留意します。
履修上の留意点	授業の予習が大切です。積極的に参加してください。
成績評価の方法	日常の発表を重視し、前期後期の試験を含め、総合的に評価します。
教科書	「絵画の鑑賞法」(松柏社) 1850円 ISBN4-88198-460-8

〔ドイツ語〕

科目名	ドイツ語IA	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	杉本 <small>すぎもと</small> 正俊 <small>まさとし</small>				

講義のねらい

初めて習う外国語であるドイツ語に、文法という観点からアプローチしてみる。一年の授業を通じてドイツ文法の全体が概観できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

指定する教科書に従って授業を進めるが、発音に関しては、独自のプリントを用意する。

履修上の留意点

なるべく予習不用な授業を心掛けるが、必要最少限の課題は必ずしっかりやってもらう。授業内容は十分に理解することが必要。重要な項目は反復して説明し、折にふれて復習する。又、学生からの質問を歓迎する。

成績評価の方法

成績は、期末テストの他、日常の小テストや課題を見て評価するが、学生のドイツ語への関心や取り組み方などをあわせて考慮する。授業中のまちがった解答は、必ずしもマイナスに評価しない。

教科書

教科書：『ステップバイステップ15』
著者：新妻孝一 兼子安弘 渡辺敏一
発行所：（東洋出版株式会社）¥1900

外国語

科目名	ドイツ語IB	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	数下 <small>やぶした</small> 絃一 <small>こういち</small>				

講義のねらい

家でCDを何回も聴いて下さい。そしてまねて下さい。教室ではあてて訳してもらい、文法的な事は説明します。

成績評価の方法

7月、12月の試験+平常点。

教科書

春日・松澤、『魔法使いの旅』（同学社）¥2500+税。

科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
担当	禅仏英経A法A2年				
担当者名	柴野 博子				

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達がドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。12月には、ドイツ文学の名作（例えばヘッセ）を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章+1』（三修社）2,500円

外国語

科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
担当	禅仏英経A法A2年				
担当者名	本橋 右京				

講義のねらい

リライト版でグリム童話を読みます。ドイツ語初級文法を確認・復習しながら、ドイツ語の理解と読解力を養います。

講義の内容・授業スケジュール

比較的平易な表現を通してドイツ語に慣れて行きましょう。初級文法では十分時間をかけることができなかった項目は、その都度プリントで補足します。

履修上の留意点

しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

Wundt・本橋 『グリム童話で学ぶドイツ語 PartII』（郁文堂）

参考書等

『グリム童話集』の翻訳がたくさん出版されています。

科目名	ドイツ語II B	開講	通年	単位	2
配当	禅仏経A法A2年				
担当者名	飯塚 公夫				

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。映画を見ながら文章を読むことで、文章が生きてくることを体験すること。

講義の内容・ 授業スケジュール

おおよそのスケジュール①前期前半：一年の文法の復習と未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）②前期後半：練習問題と平行してテキストの読解③後期：テキストの読解（テキストは昨年作られた『最後の列車』というドイツ映画のノベライゼーションです。アウシュヴィッツへ送られる最後のユダヤ人移送者の物語です。DVDが出ると思いますので、映画を見ながら、いくつかの場面をピックアップしてその部分を訳していくこととなります。）

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験及び平常点（＝発表点）

教科書

Bernd Philipp/Renate Wiechmann「Der letzte Zug」(ISBN:3-7466-2311-1)。購入に関しては、ドイツから直接取り寄せなければならないため、学内での購入は事務的に不可能なので、自分で洋書店かアマゾンかで購入してください。もちろんこちらでもコピーを用意します。

〔フランス語〕

科目名	フランス語IA	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	あしはら けん 菅原 眷				

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

藤田裕二『新・彼女は食いしん坊！ 1』（朝日出版社）

外国語

科目名	フランス語IB	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏2年				
担当者名	はまさき せつお 浜崎 設夫				

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教科書

内藤『新カイエ・ドゥ・フランセ』（駿河台出版）

参考書等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科目名	フランス語II A	開講	通年	単位	2
配当	禪仏英経 A 法A2年				
担当者名	小玉 齊夫 <small>こたま なりお</small>				

講義のねらい

既に初級文法をある程度はマスターした人を対象に、フランス語を聞きとり、話し、書く能力をいっそう高めることを目的とします。「短期セミナー」に参加しようと考えている人は、ぜひ、取得するように希望します。

講義の内容・授業スケジュール

個々の場面に応じた実際的なフランス語を、話し、聞き、書く練習が繰り返されると思ってください。

履修上の留意点

初級文法の教科書はつねに授業に持ってくること。「分からないこと」は、授業時間中に分からせるように努めること。それだけでなく早く進むので、予習復習に時間をかけること。出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのような授業にしていきたいと思っています。

成績評価の方法

ふだんの授業への参加の度合い（提出物も多いはずですが）、それと、後期の試験で判定します。

教科書

高橋 他著 『エクспレシオン 1』（第三書房、1500円）
ISBN978-4-8086-2165-0 C1085

参考書等

『和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	フランス語II A	開講	通年	単位	2
配当	禪仏英経 A 法A2年				
担当者名	遠山 博雄 <small>とおやま ひろお</small>				

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章やスケッチを読み、発音すること。口語的な有用表現を覚えること。後期はフランスの社会や時事問題についての知識をフランス語を通じて学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に精読していきます。リスニングも行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で調べて取り組むこと。発音をおろそかにしないこと。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。その中にリスニングも含まれます。

教科書

澤田直他著 『アミカルマン』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01093-3

科目名	フランス語II B	開講	通年	単位	2
配当	禪仏経 A 法A2年				
担当者名	菅谷 暁 <small>すがや さとる</small>				

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教科書

ポームルー著 『セレクション・時事フランス語1997-2002』（朝日出版社）1,890円

その他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けて乗り切るということは絶対に不可能である。

外国語

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	布施 ^{ふせ} 直子 ^{なおこ} 下出 ^{しもいで} 宣子 ^{のぶこ}				

講義のねらい

初級段階の習得。

講義の内容・授業スケジュール

「声調」および「ピンイン」の学習により発音の方法を学んだのち、語法の学習に入る。話せる日常会話の表現を増やしていく。

履修上の留意点

IA・IBで同じ1冊の教科書を用い、語法とドリルというように担当分野を分けて、二人の教員が担当する。発音の占める重要性は大きく、発音ができれば中国語がおもしろくなる。大きな声でとりくんでほしい。

成績評価の方法

各学期で中間・期末試験をする。出席状況、テスト成績、授業への積極性を総合して評価する。

教科書

揚凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社）2,300円＋税

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	本間 <small>ほんま ゆかり</small> 由香利				

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール 単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。

履修上の留意点 練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法 出席を重視し、平常点（授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。

教科書 揚凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社）2,300円＋税

参考書等 授業の中で紹介する。

外国語

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	工藤 <small>くどう さとる</small> 早恵 張 <small>ちやう いとう</small> 涓涛				

講義のねらい 中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール 一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。
音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ読んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点 必ず中国語IA・IB（火曜第4時限 工藤、土曜第1時限 張）とセットで履修すること。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法 定期試験＋小テスト＋平常点－欠席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。
欠席は年間3回を超えると10点ずつ原点。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

教科書 相原・陳・飯田『一年生のころ（改訂版）』（朝日出版社）2,625円

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	小栗山 恵 <small>おくりやま けい</small> 徳間 佳信 <small>とくま よしのぶ</small>				

講義のねらい

発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。とくに読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容・授業スケジュール

IAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、IBではその定着のために問題演習を行う。

履修上の留意点

休まず出席し、大きな声で発音して下さい。

成績評価の方法

試験の成績、出席状況、授業中の取りくみ、提出物等により総合的に評価する。

教科書

相原茂『語学三十六景』（東方書店）2400円

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	佐藤 普美子 <small>さとう よみこ</small>				

講義のねらい

中国語の発音のしかた、初級段階での基本文法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

一人の教員が関係させて授業を進めます。発音の基礎をマスターした後、基本的語彙・表現を身につけます。

履修上の留意点

とにかく大きな声を出しましょう。そして、欠席しないこと！

成績評価の方法

小テスト（前後期各2回）、学期末テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社、2,415円）

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	しおはた しんいちろう 塩旗 伸一郎				

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

北京ロケによる最新ビデオを楽しみながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。
音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

IAとIBが連動するので、必ずセットで履修すること。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。IAとIBは連続した通年授業だが、便宜上、前期の成績をIAに、後期の成績をIBに反映させる。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。
前期、火曜と土曜を合わせて欠席3回を超えると、1回につき10点ずつ減点する。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』(朝日出版社) 2,625円

外国語

科目名	中国語IIA	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経A法A2年				
担当者名	あきもと たすく 秋元 翼				

講義の内容・授業スケジュール

初級の文法の復習をしながら、最初は「矛盾」や「塞翁が馬」のような故事を易しい文で読んでいく。前半では読解力の基礎を養い、後半では中国人のために書かれた文を辞書を引きながら読む段階へと進む。

履修上の留意点

使用する教科書の文章は比較的短いので暗記する努力をして欲しい。暗記は語彙を増やすばかりでなく、読解力を養うためにも大いに役立つであろう。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁著『読む中国語』朝日出版社、2200円

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	禪仏英経 A 法A2年				
担当者名	児島 弘一郎 <small>こじま こういちろう</small>				

講義のねらい

中国語Iで学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、中国の生活習慣に関するテキストを精読します。基礎的な読解力を養いつつ、身近な事柄について適切に表現できるようになることが目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの訳読と練習問題は受講者を随時指名して進め、発音の矯正、単語の解説、文法事項の整理、構文・文脈の把握などを行ないます。日中の生活習慣、考え方の違いなどについての理解も深めます。

履修上の留意点

毎回の出席と予習・復習は不可欠です。有効な勉強法については、教場で指導します。また、辞書をこまめにひく習慣を身につけてください。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

張継濱・小川文昭『中国ってどんな国？—生活風景点描—』（白水社）2000円CD付。

参考書等

辞書や中国理解に資する参考書などは、教場で紹介します。

その他

語学はコツコツやるよりほかに上達の方途はありません。毎回の授業に、真摯かつ謙虚に臨んでください。

外国語

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	禪仏英経 A 法A2年				
担当者名	李 雲 <small>り うん</small>				

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

阪口直樹等『ストラクチャー—構造から学ぶ入門中国語』（朝日出版社）2,415円

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
担当	禅仏英経 A 法 A2 年				
担当者名	岩崎 皇				

講義のねらい

中国語の文章を読むことを通して、文法知識の確認と会話等にも使える語彙量を増やすことが目標です。テキストは中国を紹介するエッセイです。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めますが、訳すだけでは、中国語そのものを覚えることがなかなかできません。書くこと、聞くこと、音読することで練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

張継濱、小川文昭『中国ってどんな国？』（白水社）2,100円

外国語

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
担当	禅仏経 A 法 A2 年				
担当者名	橋本 幸枝				

講義のねらい

正確な発音がしっかり定着すること。いろいろな場面における基本的な会話ができるようになること。平易な中国語を聞いて理解できるようになること。

講義の内容・
授業スケジュール

まず発音が更に定着するよう本文の音読をする。教科書の会話文を覚え、生徒同士会話するチャンスを多く設ける。また、教科書の練習問題に添ってリスニングの練習をする。2週間に1課の目安で進めていく。

履修上の留意点

欠席しないように。課題をしっかりとやってくること。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。

教科書

陳浩・梁月軍『中国語会話ステップアップ』（郁文堂）2,415円

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	禅仏経A法A2年				
担当者名	梅田 雅子 <small>うめだ まさこ</small>				

講義のねらい

一年時に学習した文法内容を整理・復習しながら、聞き取り能力の向上と発音の練習を重点的に行う。知らない単語でも、ピンインを見て正確に発音できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1：文法事項などの確認と練習。
 - 2：本文・新出単語の発音練習と意味の確認。
 - 3：会話や問答の練習。
 - 4：練習問題の答え合わせ。
 - 5：本文の暗記と発表。(二人一組で本文の練習を行い、暗記の後、発表する。その際、適宜、発音の確認と矯正を行う。特に読み間違いやすいピンインに注意すること。)
- ★2回の授業で1課進む予定。
★時々、今までに習った単語の聞き取り小テストを行う。

履修上の留意点

- 3 / 4 以上の出席が必要。
- 予習復習必須。
- 辞書 (日中・中日) 持参。
- 添付のCDを何度も聞くこと。
- 授業中は恥ずかしがらずに、大きな声を出すよう心がける。

成績評価の方法

平常点 (出席・授業態度・小テスト) 40%、前期試験：30%、後期試験：30%

教科書

『中国語明明白白』(東方書店) ISBN 4-497-20024-8

参考書等

日中・中日辞典を持ってくる。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

その他

外国語の練習は、カラオケの練習に似ています。実際の正しい発音を聞いていないと、なかなか正確に発音できません。CDをたくさん聞いてください。

また、暗記というと、大変そうに思う人が多いですが、前年度の学生さんを見ていると、若くだけあってみな15分ほどで覚えてしまっています。難しく考えず、大きな声で練習しましょう。

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	禅仏経A法A2年				
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>				

講義の内容・授業スケジュール

全15課の課文を通し、中国の現在の状況を学んでいく。テキストには文化的、社会的、経済的な視点から見たテーマが取り上げられている。

成績評価の方法

年数回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

村松恵子・董紅俊『中国語中級テキスト China Now』(白帝社) 2400円

〔スペイン語〕

科目名	スペイン語IA	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	かめやま こういち 亀山 晃一				

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けをしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

外国語

科目名	スペイン語IB	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	おぎの まさじ 荻野 雅司				

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

参考書等

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（弘学舎）

科目名	スペイン語IIA	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経A法A2年				
担当者名	大岩 功				

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

科目名	スペイン語IIA	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経A法A2年				
担当者名	真下 祐一				

講義のねらい

一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書

東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』（朝日出版社）

科目名	スペイン語II B	開講	通年	単位	2
配当	禅仏経A法A2年				
担当者名	大岩 功 <small>おおいわ いさお</small>				

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習しながら、簡単な文章を読んでいます。その後、さらに新しい文法項目の学習と平行して、少しずつ複雑な文章の読解にチャレンジします。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、授業中に適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社)
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキナ語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです、これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	ロシア語IA	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	佐野 ^{さの} 朝子 ^{あさこ}				

外国語

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語ⅠB	開講	通年	単位	2
配当	禅1年 仏1年				
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖				

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに重点をおき、後期はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語ⅡA	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経A法A2年				
担当者名	すぎやま ひでこ さとう かずこ 杉山 秀子・佐藤 和子				

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

『やさしいロシア語読本』（杉山秀子他著）（大学書林）、一年次に渡した文法表。

参考書等

露和辞典

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	ロシア語II B	開講	通年	単位	2
配当	禅仏経A法A2年				
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>				

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。
さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。

科目名	英文講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	林 明人				

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席、④発表で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

教員が作成したものを uses。

外国語

科目名	英文講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	矢島 直子				

講義のねらい

現在イギリスで日常使われている英語を学びます。2006年2月にロンドンで上演された戯曲を読みます。残念ながら、芝居は見えていません。

講義の内容・
授業スケジュール

本を読み、意味を取っていきます。その際、どういう事を伝えようとしているのか、想像力を働かせて読み取ること。現代チャキチャキの言葉で書かれていますから、見た目は易しくても、内容を理解するのは難しいです。できれば、1年間で最後まで読み終えたいです。

履修上の留意点

ほとんど毎回当てて、読んで意味を言ってもらいますから、必ず1回の授業の全範囲を予習してこること。辞書の文例まで読まないで、意味が分からないことがあります。1回目の授業から必ず出席してください。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

Laura Wade, 「Other Hands」 Oberon Modern Plays, £ 8.99, ISBN 1-84002-650-2.

科目名	英文講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	まきの てるよし 牧野 輝良				

講義のねらい	英語の長文の内容理解に努める。
講義の内容・授業スケジュール	英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。
履修上の留意点	テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳ができるようによく自習しておくこと。
成績評価の方法	授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。
教科書	『西欧文明をどう理解するか』(南雲堂) 1,600円+税 ISBN4-523-03656-X

外国語

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	たかの ひでお 高野 秀夫				

講義のねらい	今や、日常生活のなかに real time で入って来る世界のニュースを捉える学修は欠かせない。この時事英語の授業では、できるだけ新しい英語ニュースの教材で、時々刻々と変わる国内外の動向を異文化の視点で捉え、国際社会の理解に努め、英語力増強を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	教科書では、時事英語 (Current English) の特徴“最初の部分で全文の内容が捉えられるように書かれている”を読み込んで生きた英語の理解に努める。
履修上の留意点	毎時間、英語での質疑応答があるので予習は欠かせないこと。英語で世界の動きを捉える習慣を身に付けること。
成績評価の方法	前、後期末テスト、平常点 (出席点、レポート等)
教科書	<ul style="list-style-type: none"> • TV News Watching 21 Approaches (北星堂) • An Introduction to Media English (北星堂) • プリント

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	はやし あきと 林 明人				

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。
尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

教員が作成したものを用品です。

参考書等

『Sanseido's Dictionary of News English』（三省堂）

外国語

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	きしもと しげかず 岸本 茂和				

講義のねらい

1980年以降のアメリカ社会でどんなことが起こってきたか。それを解く鍵のことばが、“racism”（人種差別主義）・“sexism”（性差別主義）・“political correctness”（政治的妥当性）・“multiculturalism”（多文化主義）などだ。すこしむつかしいかもしれないが、読みごたえのあるいい文章だ。できるだけ読みすすみたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。
「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのももつとだが、時事関係の文書については随時プリントを配布する。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくること。電子辞書も可。予習は必須。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。欠席が授業日数の3分の1を越えたばあいは「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの<美德>』（朝日出版社）定価1,359円＋税

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

講義のねらい 新聞、雑誌、ニュース等の英語のヒヤリングと読解。

講義の内容・授業スケジュール 講義は、主として、二つの部分からなる。第一の部分では、ニュース英語のヒヤリングやディクテーションをする。第二の部分では、新聞、雑誌、ニュース等の英語を正確に読む練習をする。

履修上の留意点 授業は、徹底した演習形式をとるため、学生の予習を前提にして、進める。できるだけ多くの学生に、順不同に当て、積極的に参加してもらうために、受講学生を70人以下に制限する。受講希望者が70人を越えた場合は、最初の授業で、抽選を行う。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法 前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回前後の提出を予定。授業中の発表等に関しては、できるだけ多くの学生に当てるように気をつける）。出席率が平常授業（前期・後期試験は除く）の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻は2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

教科書

- 『統・英字新聞用語速習法』 マクミラン 1600円
ISBN4-89585-524-4
- 『読んで学んで英字新聞』 英宝社 1600円
ISBN978-4-269-190302 C1082
- プリント

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	やじま なおこ 矢島 直子				

講義のねらい アメリカ、イギリスの新聞を読めるようになってもらいたいです。

講義の内容・授業スケジュール 英字紙の電子版を編集した教科書の中から記事を読んでもらい、意味を取っていきます。必要な場合は、文法・構文の説明をし、全体を把握してもらうようにします。進み具合は、学生次第です。

履修上の留意点 毎回どんどん当てて読んでいってもらいますから、辞書を引いてしっかり予習してきて下さい。必ず1回目の授業から出席すること。

成績評価の方法 平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書 佐藤公雄『オンラインニュースで学ぶ世界情勢』成美堂、¥1,800円 ISBN 4-7919-1043-5。

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞（せりふ）を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は46名しか入れないLL教場を使用するので、46名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験は全評価の40%（前期試験が20%、後期試験が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表等は60%とする。課題は10回程度、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 『映画総合台本 ノッティングヒルの恋人』 松柏社
- 『イデオム書き取り練習帳』 鶴見書店
- 『L.A.ビート、ビデオで見るロサンジェルス』 朝日出版社
1800円 ISBN4-255-15322-1 C1082

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	おおば なおき 大庭 直樹				

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。

第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。

第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。

第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。

第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらおう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい

英語による欧米の学部レベルの授業を体験させ、英語によるプレゼンテーション能力、聞き取り、理解力、読解力、作文能力などを総合的に高めるクラス。前半、後半ともそれぞれ8回程度アメリカシアトル市のワシントン大学とテレビ会議システムでつなぎ、インターアクティブなレクチャーを進める。テレビ会議を行わない週には英語でレクチャー内容の復習、予習などを行う。講義は社会科学系のテーマで、現代日本社会論、日米のNPO比較、NPOにおけるインターンシップの詳細などである。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：米国ソーシャルワークとコミュニティビルディングの歴史をワシントン大学側がレクチャー（計4回）。日本現代社会論（社会福祉政策、公益法人とNPO、現代若者文化、ジェンダーなど）を西村がレクチャー（計4回）。（授業はワシントン大学ソーシャルワーク学部学生と共同聴講）。隔週でテレビ会議に備え、前回レクチャーの復習と次回レクチャーの予習を教場授業で行う。

9-12月：現代日本社会論のレクチャーをテレビ会議システムで8回にわたりワシントン大学に配信。ここで本授業受講者はテーマを現代社会論の中から決めてそれぞれ15分程度のプレゼンテーションを行う。

履修上の留意点

受講資格は最低TOEIC650（TOEFL500）レベル以上であること。第一回授業でスクリーニングを行う。英語圏への留学希望者などで英語力アップをめざす学生は積極的に受講してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席点、発表など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

授業で指定。

その他

本学ではじめてのテレビ会議によるインターアクティブな日米共同授業であり、本学とワシントン大学の交流プロジェクトの一環となる授業である。この授業とは別にこの授業の受講者に限り、夏季はシアトル市で実際にNPOのインターンシップに参加できる。また、冬季はこの授業を受講しているワシントン大学学生が日本のNPOでの研修に参加する。

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	おおば なおき 大庭 直樹				

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。

第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。

第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。

第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。

第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ロビン, G. F.				

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY STUDENT BOOK 1 WARREN WILSON ROGER BARNARD ISBN-10 9620056655 10 digit

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ロビン, G. F.				

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・
授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY STUDENT BOOK 1 WARREN WILSON ROGER BARNARD ISBN-10 9620056655 10 digit

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

外国語

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%
Tests : 25% (one test each semester)
Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政宮A放1234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

講義のねらい

Introduction and Class Goals: English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・
授業スケジュール

Class Contents: Fifteen units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1: Introductions / Classroom Language
- Unit 2: Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3: Locations / Telephoning (1)
- Unit 5: There is ... There are... / Quantities
- Unit 6: Have..., Want..., Would like..., / Shopping (1)
- Unit 7: Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9: Present Continuous / telephoning (2)
- Unit 10: Fashion / Shopping (2)
- Unit 12: Present Simple / Occupations
- Unit 13: Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14: Transportation / Work & School
- Unit 15: The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

Class Regulations and Prerequisites: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

Student Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Textbook and Materials: **Communicate: book 1a** / David Paul / Macmillan Language-House, ¥1,230, ISBN 0-435-26119-3.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

講義のねらい

Introduction and Class Goals: English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

Class Contents: Fifteen units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1: Introductions / Classroom Language
- Unit 2: Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3: Locations / Telephoning (1)
- Unit 5: There is ... There are... / Quantities
- Unit 6: Have..., Want..., Would like..., / Shopping (1)
- Unit 7: Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9: Present Continuous / telephoning (2)
- Unit 10: Fashion / Shopping (2)
- Unit 12: Present Simple / Occupations
- Unit 13: Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14: Transportation / Work & School
- Unit 15: The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

Class Regulations and Prerequisites: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

Student Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Textbook and Materials: **Communicate: book 1a** / David Paul / Macmillan Language-House, ¥1,230, ISBN 0-435-26119-3.

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	レーン, C. M.				

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・
授業スケジュール

(If the above is too detailed then please use the below instead)

During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy or unable to try then they might find this class difficult.

成績評価の方法

(ア) Attendance 20%
 (イ) Participation during class 50%
 (ウ) Homework 10%
 (エ) Individual presentation 10%
 (オ) Group presentation 10%As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

A good dictionary
 A file to keep work sheets together-A4 size

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	レーン, C. M.				

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール

(If the above is too detailed then please use the below instead)
 During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy or unable to try then they might find this class difficult.

成績評価の方法

- (ア) Attendance 20%
- (イ) Participation during class 50%
- (ウ) Homework 10%
- (エ) Individual presentation 10%
- (オ) Group presentation 10%

教科書

- A good dictionary
- A file to keep work sheets together-A4 size

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

Program Content:

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning English, but using the English you already know. The program should enable you to perform very simple activities such as foreign travel, chatter with foreigners, and effective communication in practical circumstances. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns is a long-range effort to improve your qualifications. There will be intensive practice in composition as well.

講義の内容・
授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1	addressing people	CLASS 16	consumption
CLASS 2	addressing people	CLASS 17	courtship
CLASS 3	social hierarchy	CLASS 18	courtship
CLASS 4	social hierarchy	CLASS 19	adolescence
CLASS 5	self expression	CLASS 20	adolescence
CLASS 6	self expression	CLASS 21	social classes
CLASS 7	gift-giving	CLASS 22	social classes
CLASS 8	gift-giving	CLASS 23	candor
CLASS 9	informality	CLASS 24	candor
CLASS 10	informality	CLASS 25	authority
CLASS 11	news coverage	CLASS 26	authority
CLASS 12	news coverage	CLASS 27	employment
CLASS 13	personal freedom	CLASS 28	employment
CLASS 14	personal freedom	CLASS 29	politicians
CLASS 15	consumption	CLASS 30	politicians

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.* Your final grade depends 70% on your classes performance, in every class. Records are kept of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Students are graded according to improvement during the year; an "A" is possible for anyone.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as out textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

Program Content:

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning English, but using the English you already know. The program should enable you to perform very simple activities such as foreign travel, chatter with foreigners, and effective communication in practical circumstances. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns is a long-range effort to improve your qualifications. There will be intensive practice in composition as well.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1	addressing people	CLASS 16	consumption
CLASS 2	addressing people	CLASS 17	courtship
CLASS 3	social hierarchy	CLASS 18	courtship
CLASS 4	social hierarchy	CLASS 19	adolescence
CLASS 5	self expression	CLASS 20	adolescence
CLASS 6	self expression	CLASS 21	social classes
CLASS 7	gift-giving	CLASS 22	social classes
CLASS 8	gift-giving	CLASS 23	candor
CLASS 9	informality	CLASS 24	candor
CLASS 10	informality	CLASS 25	authority
CLASS 11	news coverage	CLASS 26	authority
CLASS 12	news coverage	CLASS 27	employment
CLASS 13	personal freedom	CLASS 28	employment
CLASS 14	personal freedom	CLASS 29	politicians
CLASS 15	consumption	CLASS 30	politicians

外国語

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.* Your final grade depends 70% on your classes performance, in every class. Records are kept of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Students are graded according to improvement during the year; an "A" is possible for anyone.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	レイン, R. V.				

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation skills.

講義の内容・
授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one-minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4
publisher: Longman
date: 2003
ISBN 0-13-183937-3
APPROX, 45 COPIES OF TEXTBOOK ARE NEEDED FOR THIS CLASS

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ラッセル, S. J.				

講義のねらい

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive-style learning will be a feature of the classes so, good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive intention to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

English Firsthand Book 1 ISBN 962-00-5345-1
Published by Longman

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

講義のねらい

Aims and Objectives: English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・
授業スケジュール

Course Contents: A textbook with 12 units and the instructors worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered in this course are:

Unit 1: Personal information / Talking about likes and dislikes

Unit 2: Friends & Friendship / Personal experiences

Unit 3: Romantic relationships / Dating

Unit 4: Shopping

Unit 5: Summer vacations / Domestic & foreign Travel (1)

Unit 6: Jobs / Job interviews

Unit 7: Opinions / Reasons for opinions

Unit 8: Music / Pop groups

Unit 9: Personality / Strengths & Weaknesses

Unit 10: Money & Budgets / Prices & Numbers

Unit 11: Responses in various situations / Stories

Unit 12: Plans for the future

履修上の留意点

Registration Requirements & Class Rules: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years, and have passed English Conversation I. Students must be willing and able to take a class where all teaching is done in English, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

成績評価の方法

Grading and Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on a student's attitude towards the class and class performance throughout the year (40%). The End-of-term exam will normally be a ten-minute one-to-one interview with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used.

Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+ 10%) or two absences (+ 5%) throughout the year.

教科書

Textbook: **Face To Face: English for Today's Generation**, Dale Fuller & Corey Fuller, Macmillan LanguageHouse. Student's Book 1 (¥2,100 + tax).

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	ラッセル, S. J.				

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive intention to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8
Published by Longman

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	レイン, R. V.				

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation-giving skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses.

The second half of the class is devoted to students giving one-minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: Side by Side, 3rd Edition, **BOOK 4**
publisher: Longman
date: 2003
ISBN 0-13-183937-3

科目名	英会話III	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

講義のねらい

English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak.

講義の内容・授業スケジュール

First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Your first semester exam will be based on speaking ability and you will be marked accordingly.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Your final exam will be an interesting and creative dialogue that you and your partner write. It will be performed in front of everyone.

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.

成績評価の方法

Attendance : 50%
 Tests : 25% (one test each semester)
 Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz; class participation is important)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

科目名	英会話Ⅲ	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

This is the highest level of English conversation practice offered by the university; accordingly we will present the most difficult material possible to speed your success in English fluency.

講義の内容・
授業スケジュール

Free conversation is urged at all occasions. Topics of a very wide variety will be introduced by practice dialogues which you will work through in dialogue or group. When applicable, we will exchange our own opinions, orally, about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, which you are already capable of conducting; practice is to amplify your present ability. 2) Conversation on a semi-abstract level, which will be accomplished through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. This type of conversation is to accelerate your fluency in conducting intelligent conversation in English. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue, with subsequent free exchange of opinions. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation. Academic conversation prepares many of you for overseas university study.

履修上の留意点

Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.

成績評価の方法

Three absences per semester permitted. Tests are purely didactic; they are not a disciplinary tool to monitor whether you are studying. Grading is likely to be generous, as anybody who qualifies for a class like this is evidently sincere and self-motivated; using grades as a whip is unnecessary. Classes proceed closely according to the textbook; coming to class without the textbook counts as an absence.

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現を学習。フラッシュカードを使って基本表現を覚えつつCDで発音とイントネーションを修正しながら聞き取り力を増強する。ペアワークをおこなう。
9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明、簡単な英語のプレゼンテーションを繰り返しおこない、英語で話すことになる。

履修上の留意点

全員コンピュータIDを取得しておくこと。(総合情報センターで取得可能)。

成績評価の方法

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。

教科書

Essential Listening 3 (Macmillan)、フラッシュカードとCD (別配布)

参考書等

授業中に提示する。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	はなわ みちこ 埴 美智子				

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に使い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

‘Experience America!’ - An Authentic DVD English Language Text - (金星堂) ¥2,300

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	はなわ みちこ 埜 美智子				

- 講義のねらい** PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。
- 履修上の留意点** 表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。
- 成績評価の方法** 日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
- 教科書** 'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text - (金星堂) ¥2,300
- 参考書等** その都度黒板に板書し、案内する。
- その他** いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

- 講義のねらい** 基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。
- 講義の内容・授業スケジュール** 4-7月：基本的な会話表現を学習。フラッシュカードを使って基本表現を覚えつつCDで発音とイントネーションを修正しながら聞き取り力を増強する。ペアワークをおこなう。9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明、簡単な英語のプレゼンテーションを繰り返しおこない、英語で話すことになる。
- 履修上の留意点** 学生への要望：学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。
- 成績評価の方法** 出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。
- 教科書** Essential Listening 3 (Macmillan)、フラッシュカードとCD (別配布)
- 参考書等** 教場で指定する。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	どのいけ かすこ 外池 一子				

講義のねらい

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後比較的短いモノログやダイアログ、英語のニュースなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. テキストに従って、以下の項目を学習します。

- (a) 個音（母音、子音）の識別
- (b) 連結
- (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
- (d) 脱落・同化
- (e) リズム、イントネーション

2. 実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを身につけていきます。

履修上の留意点

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。
また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	とのいけ かずこ 外池 一子				

講義のねらい

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後比較的短いモノローグやダイアログ、英語のニュースなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. テキストに従って、以下の項目を学習します。
 - (a) 個音（母音、子音）の識別
 - (b) 連結
 - (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
 - (d) 脱落・同化
 - (e) リズム、イントネーション

2. 実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを身につけていきます。

履修上の留意点

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。
また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	甲斐 捷子				

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点

ビデオ、CDとも、図書館の視聴覚室で視聴できます。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス2, 000円

参考書等

American Accent Training 2nd ed. Barrons

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	久保 ひさ子				

講義のねらい

海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習点と小テストの合計点

教科書

マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-800程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 8-12まで。
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業。

履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダーのなかに入れる。受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など。）

教科書

テキスト：New Headway Pre-intermediate (Oxford Univ. Press.)

参考書等

使用ビデオ：New Headway (elementary), および (pre-intermediate)、その他。

その他

前年度LL2の同じ授業をとった学生でも聴講できる。このためテキストは1-7を飛ばし、UNIT8から後半部を集中的にとりあげる（次年度は1-7を用いる）。

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	たかはし あきこ 高橋 明子				

講義のねらい

ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるよう練習を重ねていきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じてやや専門的なテーマのスピーチや映画などの教材を学習していきます。TOEICのリスニング・セクションの問題の練習もします。

履修上の留意点

毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。

成績評価の方法

平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書

『CNN：ビデオで見る世界のニュース（8）』（朝日出版社）2,000円+税
ISBN978-4-255-15432-9

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	甲斐 捷子				

講義のねらい

日常の卑近な問題から現代の諸問題まで、ディスカッションできるところまで、英語の運用能力を高めることが、この授業の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

全12章のうち、6章を前期で、残り6章を後期でクリアする予定です。

履修上の留意点

特にLLの授業ですので、遅刻、欠席をしないようお願いします。

成績評価の方法

一応の目安として、クイズ30%、前期試験30%、後期試験40%、とします。

教科書

アメリカ口語教本 中級用 WilliamS. Clark 著 研究社 2, 600円

外国語

科目名	英語LLIII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	甲斐 捷子				

講義のねらい

日常の卑近な問題から、現代の諸問題までディスカッションできるところまで、英語の運用能力を身につけることがこの授業の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期6～7章、後期6～7章の予定で進みます。

履修上の留意点

LLの授業につき、特に遅刻、欠席をしないようお願いします。

成績評価の方法

一応の目安として、クイズ30%、前期試験30%、後期試験40%とします。

教科書

アメリカ口語教本 上級用 WilliamS. Clark 著 研究社 3, 000円

科目名	英語LLIII	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルIIIはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLII同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルIIを終了し、英検準一級程度（TOEICレベル650以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月：教科書のUnit 8-12まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。9-12月：教科書の前半部分を使い、多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返す。ビデオの英語による概略説明も続ける。TOEICの模擬テストなども行う。

履修上の留意点 大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルIIIは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLLIIの内容とよく比較して検討してほしい。

成績評価の方法 平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教科書 New Headway Upper Intermediate. (Oxford Univ. Press)

その他 最初と最後にTOEICの模擬などを授業で行い、到達度をチェックする。

科目名	英語LLIII	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	くぼ ひさこ 久保 ひさ子				

講義のねらい 英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール テキストを、聞きとり、書きとり、解答し、再生し反復練習する。

履修上の留意点 実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法 試験と授業実習の合計点

教科書 World Times of Japan, Michigan Action English Step 6

科目名	ドイツ語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選				
担当者名	柴野 博子				

講義のねらい

他国の文化を理解し、またそれを通して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことだと思います。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んでいきます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、ドイツあるいは日本の文化についても、理解を深めることができればと思っています。

成績評価の方法

年1回の試験と平常点で行います。

教科書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡しします。

科目名	時事ドイツ語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	堀内 美江				

外国語

講義のねらい

ドイツ語圏のインターネットや雑誌、テレビやラジオなどを、少しでも理解できるようになると、あなたの世界はぐんと広がります。この授業では、さまざまなドイツのメディアを使うための学習をしていきます。

ドイツの国技サッカー、ドイツ料理にウィーン菓子、ドイツの観光名所、さらにドイツで今話題になっていることなどをテーマに、ドイツ語の世界を楽しみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

テーマごとに、まず用いられる語いを学び、必要な文法的な知識を復習します。その後、自力で情報を見つけたり、読み取ったりする練習をしていきます。映像などの視覚的資料もできるかぎり紹介しながら、生のドイツを体験していただきたいと思っています。

履修上の留意点

PC教室をしばしば使います。学内で用いられるPCのアドレスを取っておいてください。皆さんの様子を見ながらゆっくりと授業を進めていきますので、リラックスして参加して下さい。辞書は毎回携帯のこと。

成績評価の方法

前後期それぞれ二回の小レポートと出席点による総合評価を行ないます。

教科書

プリント配布

科目名	上級ドイツ語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	藪下 紘一				

講義のねらい

小人数で辞書を使って読んでいきます。毎回あたります。予習を忘れない様に。

成績評価の方法

評価は7月と12月の試験+平常点で決めます。

教科書

ヨーゼフ・ロート：美の勝利、白水社、¥950。

科目名	ドイツ語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	小林 ^{こばやし} ゲアリンデ				

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

外国語

科目名	ドイツ語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	小林 ^{こばやし} ゲアリンデ				

講義のねらい

ドイツ語を1年（ILまたは他のドイツ語科目）で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拓けることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオを使用する。

科目名	ドイツ語ⅠA（選）	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	松岡 晋 <small>まつおか すすむ</small>				

講義のねらい

週一回、一年間の授業でドイツ語の初級文法をマスターすることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

ドイツ語のアルファベット、発音規則の説明から始めて、冠詞、動詞の現在時制、過去時制、完了自制等々という具合にゆっくりと文章構造と表現様式の理解を深めてゆきます。補助的に適宜ネイティブ・スピーカーの発音を収録したCDを用いることも考えております。ともかくゆっくりと、皆さんとともに先へ進んでゆくつもりです。

履修上の留意点

文法の学習は積み重ねですから、定期的出席が前提条件です。また、初回の授業のさいに中型の「独和辞典」を何種類か紹介いたしますので、そのうちの一つを入手し、以降つねに持参ください。

成績評価の方法

期末試験（7月）、学年末試験（1月）以外に何度か小テストを行いません。そのほかに平常点（出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など）を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は同等であると考えてください。

教科書

未定

その他

実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を収めたプリントを何度か配布いたします。

外国語

科目名	ドイツ語ⅠB（選）	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	井村 行子 <small>いむら ゆきこ</small>				

講義のねらい

ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に沿って進めます。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤／小林／新倉／松尾『Dialog ーベーシック版』（郁文堂）

科目名	ドイツ語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	井村 行子				

講義のねらい	ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。
講義の内容・授業スケジュール	最初に復習を行った後、前期に少なくとも3課まで、後期はそれ以降に進める予定です。
成績評価の方法	前期と後期の筆記試験の成績によります。
教科書	近藤/小林/新倉/松尾『Dialog ーステップアップ版』(郁文堂)
その他	最初に『Dialog ーベーシック版』のSzene4と5を1年次の復習を兼ねて使いますが、もっていない場合にはコピーを用意しますので、こちらは購入する必要はありません。

外国語

科目名	フランス語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選				
担当者名	前田 祝一				

講義のねらい	初級フランス語を履修済の人たちを対象とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに従って、細かくフランス語を味読してゆきますが、最初は初級レベルで学習した事柄の再確認・復習を主とし、のちに新たに一層レベルを上げた言語の特性を、修得できればと考えています。
履修上の留意点	この科目は履修者の主体性を尊重する選択科目ですが、誠実な、ねばり強い姿勢を期待しています。
成績評価の方法	平常点を主とし、最終的にはペーパーテストとします。
教科書	中地編、ル・クレジオ『パヴァーナ』(朝日出版社) 1300円

科目名	時事フランス語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	桑田 禮彰 <small>くわた りあき</small>				

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他『ヴァリエテ・フランセーズ2007』(朝日出版社) 本体1,900円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	上級フランス語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	小玉 齊夫 <small>こたま なりお</small>				

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験の3級あるいは準2級に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養っていくつもりです。1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していきます。来年3月に行われる「短期セミナー」に参加を希望される方は、現在の自分のフランス語能力など気にせず、積極的に、この授業をとるようにして下さい。「短期セミナー」に参加した人たちも歓迎です。放っておくと、「実力」はすぐ落ちてしまいますから。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価します。

教科書

阿南・モラン 共著 『パシヨネマン2』(第三書房、2400円) ISBN978-4-8086-2185-8

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	フランス語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ラリア・三倉 ^{らりあ・みくら} , M.				

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』
第三書房 ISBN 4-8086-2136-3

外国語

科目名	フランス語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ラリア・三倉 ^{らりあ・みくら} , M.				

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE著BIENVENUE EN FRANCE TOME 1 (Didier HATIER)
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	フランス語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	出口 雅敏 ^{でぐち まさとし}				

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	フランス語ⅠA（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	前田 祝一 <small>まえだ のりかず</small>				

講義のねらい

フランス語の言語としての特性を理解してもらうこと。そして、少しでも使いこなせるようになること。

講義の内容・
授業スケジュール

日常的な基本語・文型を身につけて、少しずつ積み重ね、言葉の世界を広げ、深めてゆく。つまり、毎日が新しいことの学習です。

履修上の留意点

したがって、毎日が新しいことの学習であり、それらが理解できていることが、次の回の出発点ですから、欠席しないで持続させること。それが終着点での満足感になるはずです。

成績評価の方法

平常点としますが、ペーパーテストも随時行ないます。

教科書

内藤・玉田著『フランス語へのパスポート（改訂版）』（白水社）1,800円

科目名	フランス語ⅠB（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	桑田 禮彰 <small>くわた のりあき</small>				

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・
授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

林田遼右著『パリ散歩』（朝日出版社）2,600円＋税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	フランス語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	桑田 <small>くわた のりあき</small> 禮彰				

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2007』(朝日出版社) 本体1,900円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	中国語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選				
担当者名	佐藤 <small>さとう よみこ</small> 普美子				

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品(主として詩歌、エッセイ、短篇小说)を読んでいます。

講義の内容・
授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章(の一節)を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	時事中国語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	しおはた しんいちろう 塩旗 伸一郎				

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、見出し&リードの速読と記事精読の2種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。
ピンインのルビを振るソフトの導入により、生の記事にピンインをつけてテキストにする。

講義の内容・授業スケジュール

「速読」篇は、その場で声に出して読み、大意を掴む。「精読」篇は、文を構造的に捕える練習を積む。
併せて、ニュースの聴き取り、単語の構造分析クイズ、中国語入力・検索の体験学習などを行なう。

履修上の留意点

精読教材は予習が不可欠。
教材等、授業に関する情報は下記URLに掲示するので常時チェックすること。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取し、上記URLに掲示。

参考書等

辞書は『現代漢語詞典』（中国商務印書館）、『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。
これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。

その他

PC教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

科目名	上級中国語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	こじま こういちろう 児島 弘一郎				

講義のねらい

実用的な中国語表現の習得を目指すと同時に、各種検定試験への対策を行ないます。頻出する基本構文・語彙を反復学習しつつ、聴き取り・翻訳・作文などの訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール

中国でのインタビューを中心に編集された音声教材を使用し、自然なスピードで話された中国語に毎回触れてもらいます。はじめは慣れないと思いますが、教員が丁寧に補助しながら何度も繰り返すので、心配は無用です。

履修上の留意点

毎回の授業が貴重な訓練の場となるので、出席を怠らないこと。予習は不要ですが、教員が示した方法による復習をしっかりと行って下さい。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

楊達・南勇『リスニング中国語I』（朝日出版社、2200円、CD付）。

参考書等

辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他

検定試験の受験を予定していない学生も、もちろん歓迎します。

科目名	中国語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	いわさき ひろし 岩崎 皇				

講義のねらい

コンピュータ教場の機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。聞き取りは会話の前提となる能力であり、もっとも大事なものです。まずは、これまで習ったことを聞いて分かるようにすることが、直接の目的になります。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には、テキストに沿って聞き取りの練習を行っていきませんが、必要に応じて他の音声教材も使います。授業の合間に、中国のテレビ番組などの映像も見ます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。欠席した場合は、そのつど課題を提出してもらいます。未提出が3回を越えるときは単位取得ができません。ただし、課題提出は授業に全く取って代わることはできないので、欠席が7回を越えてはいけません。

卒業年次生は就職活動等を考慮して、欠席回数を10回まで許容しますが、課題にかんしては上と同じです。

なお、これまで中国語を勉強したことのない人、および中国語を母語とする人は履修しないでください。

成績評価の方法

履修上の留意点にある条件を満たした上で、毎回の授業への取り組み、および前期1回、後期1回のテストで評価を行います。

教科書

楊達他著「新・聞こえる中国語」(南雲堂) 2,940円

外国語

科目名	中国語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	そう たいわ 曹 泰和				

講義のねらい

簡単な会話の習得。ヒヤリングの力の向上。初級文法の復習

講義の内容・授業スケジュール

会話とヒヤリングを中心にして授業を行う。日常会話や基本文型を繰り返し練習する。

履修上の留意点

積極的に会話の練習に参加すること。なお、中国語コミュニケーションIを履修しなくても、この授業は履修できる。2年生から4年生まで履修可。IA・IB既習程度

成績評価の方法

出席、授業態度、テストで総合評価する。

教科書

竹島金吾 監修 竹島 毅著『中国語さらなる一步』(白水社) 2,200円+税

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	中国語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	吉田 <small>よしだ たていちろう</small> 建一郎				

講義のねらい

中国語の基礎力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

発音の基礎であるピンインを習得した上で、短い会話文を題材として基本的な語彙と表現を学んでいきます。

履修上の留意点

大きな声を出して積極的に発音練習に参加しましょう。携帯電話の使用、私語、内職などは、真剣に学習に取り組んでいる他の学生にとって極めて迷惑なので絶対に行わないでください。

成績評価の方法

平常点と定期試験により評価します。

教科書

南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,205円

科目名	中国語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	宮本 <small>みやもと あつこ</small> 厚子				

講義のねらい

中国語の基礎を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点

毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。

教科書

プリント配布。

その他

詳細は開講時に説明する。

科目名	中国語IB (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	らん 明				

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一カ月(4回に分け)において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』(朝日出版社) 2,835円

外国語

科目名	中国語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	みたむら けいこ				

講義のねらい

基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。
- ②教科書の進度にしがたって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法

前・後期の中間期末試験(全4回)と平常点で総合評価する。本文の暗記も点数に加算する。

教科書

塚本慶一『2年生のコミュニケーション中国語』(白水社) 2200円

参考書等

授業開始時に説明する。

科目名	スペイン語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選				
担当者名	齋藤 明美 <small>さいとう あけみ</small>				

講義のねらい

様々な分野の親しみやすく簡単なスペイン語の文章を辞書の力を借りながら内容を理解する力をつけます。講読を通して基礎文法の復習と語彙力の増加を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の興味関心に考慮しながら、スペイン語圏に関する平素なテキストや代表的な文学作品の一節にチャレンジし読解力をつけます。また外国人スペイン語初級学習者用に作成された短編小説の翻訳にも挑戦します。

履修上の留意点

学習の効率を上げるためには毎回の予習・復習が大切です。内容を正確に理解するために意味が分かるまでとことん辞書を引きましょう。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題そして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定

外国語

科目名	時事スペイン語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現堂A34選				
担当者名	齋藤 明美 <small>さいとう あけみ</small>				

講義のねらい

初級文法および基本語彙を復習しながら、スペイン語圏の政治・社会、文化、芸術、スポーツ、文化についての簡単なテキストを理解できるようにします。また日本の文化・慣習について外国人に簡単に紹介できる能力をつけます。

講義の内容・授業スケジュール

様々な媒体のテキストの読解を通してスペイン語圏の文化・生活様式の理解を深めつつ、スペイン語を使った情報収集能力を高めます。また平素なテレビ・ラジオ番組を随所利用し基礎的なヒアリング力を向上させます。自分の考えを簡単にスペイン語で表現できる力を伸ばします。

履修上の留意点

時事スペイン語を理解するためにはしっかりした文法の知識そして豊富な語彙力が不可欠です。受身にらず興味関心ももてるテーマの一つでも見つけ、辞書をたよりに食欲に語彙や慣用表現を増やす努力をしていきましょう。またインターネット等を積極的に活用して日ごろからスペイン語に慣れましょう。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。

教科書

学生の興味関心や学習状況に応じてその都度具体的なテーマを指定します。

科目名	上級スペイン語	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	うえの かつひろ 上野 勝広				

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

前期末・学年末試験の結果（60%）と平常点（40%）を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	スペイン語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ナバロ, ホワンJ.				

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español』
テキスト及びVTR教材

科目名	スペイン語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ナバロ, ホワンJ.				

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español 上級編』
テキスト及びビデオ教材

科目名	スペイン語ⅠA（選）	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	かめやま こういち 亀山 晃一				

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	スペイン語ⅠB（選）	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	さいとう かけみ 齋藤 明美				

講義のねらい

基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。

講義の内容・授業スケジュール

文法に関しては初級文法の復習をしながら直接法の習得を目指します。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、スペイン語圏で安心して生活できるコミュニケーション能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点

レベルが上がれば上がるほど、文法や語彙習得するためには多大な時間と努力が必要です。自ら楽しみながら勉強するコツを見つけましょう。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題そして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定

科目名	スペイン語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	荻野 <small>おぎの まさじ</small> 雅司				

講義のねらい

スペイン語Iで学習したものを更に広く深く学ぶ事で、実際に使えるスペイン語を習得することを第一の目的とします。さらに、学期が終る頃には、通常のスペイン語IIの一段上のレベルが身に付いている事を狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Iで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外にテープ、ビデオ、更に広くスペイン文学作品の抜粋を含めた多様なプリント類を併用します。これにより、生きたスペイン語と同時に、例えばその片鱗だけでも、スペイン語本来の持つ美しさにも触れる様にします。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、特別な事情がある場合を除き、可能な限りコンスタントに出席出来る学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著「新・何を話しましょうか」
(弘学舎)

その他

出来るだけ詳しい西和辞典(例、小学館「西和中辞典」等)を用意したい。

科目名	ロシア語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選				
担当者名	<small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖				

講義のねらい

1～2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なのは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけでなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

参考書等

『露和辞典』

その他

状況に応じて、PC教場の新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	時事ロシア語	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>				

講義のねらい 1991年のソ連邦崩壊からおよそ15年を経たロシアは、2期目に入ったプーチン政権下で、豊かな天然資源を基盤に着実な経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点 各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法 試験は行わず、平常点で評価する。

教科書 プリントを配布する。

科目名	上級ロシア語	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい 会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 平常点で評価します。

教科書 教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	ロシア語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	安徳 ^{あんたく} ニーナ				

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S,KHAVRONINA著「RUSSIAN AS SPEAK IT」(ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

外国語

科目名	ロシア語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	安徳 ^{あんたく} ニーナ				

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話します。

科目名	ロシア語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディ・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語IB (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	木村 英明				

講義のねらい

ユーラシア大陸にまたがる広大なロシアは、100に及ぶ民族を抱えた歴史的、文化的に多様な国家です。ソ連崩壊後の長い混迷を経て、現在は再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用したいと思います。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	ロシア語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	朝鮮語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	宋美玲 <small>ソン ミリョン</small>				

講義のねらい

朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席・授業への参加度および、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

IA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)1,800円+税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

科目名	朝鮮語I B (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small>				

講義のねらい

朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席・授業への参加度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

IB：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（読んで書こう1）』（白帝社）2,400円＋税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	朝鮮語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small>				

講義のねらい

基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。プリント資料による読解・作文の練習とドラマなどの聞き取り練習を通して実践的な習得を目指す。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての人は朝鮮語Iのほうを受講すること。
受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円
金美仙著『韓国語用言 活用と用言』（三修社）2,500円＋税

《再履修クラス》

〔英語〕

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	濱口 眞木				

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、基本的な文法・構文を再確認しつつ、総合的な英語の運用能力をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめていく。また、英語力の確認と向上を図るため、小テストもおこなう。

履修上の留意点

授業は平常点を重視するので、必ず予習をして授業に参加してください。

成績評価の方法

出席や発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価とします。

教科書

前期・Focus on Communication 1「基本文型からコミュニケーションへ」
 後期・Focus on Communication 2「音の理解からコミュニケーションへ」
 朝日出版社 ￥1,400-ISBN978-4-255-15442-8・978-4-255-15443-5

外国語

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	松堂 啓子				

講義のねらい

基礎的な文法を確認しながら、短い英文を書けるようにする。また、リスニング力の強化も併せて行う。

履修上の留意点

単位取得には、三分の二以上の出席が必要である。

成績評価の方法

試験の結果、課題等を含めて総合的に評価する。

教科書

『Three-line Writing in English』成美堂 ￥1800 ISBN4-7919-1041-9

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いわい ひろみ 岩井 洋美				

講義のねらい

基本文法を復習すると同時に語彙と表現を増やし、自分の事や身近な事をライティング、スピーキングの両面でやりとりすることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に進めていきます。口頭での質疑応答、聞き取り、英作文の練習問題を行います。スピーキングや復習テストをクラス内で随時行う予定です。

履修上の留意点

欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。出席とやる気のある授業態度を最も重視します。8回以上の欠席、4回以上連続の無断欠席をした者は単位は取れません。

成績評価の方法

出席、授業態度の平常点100、前・後期試験各100、スピーキングテスト復習テスト100、合計240点以上で単位取得とします。

教科書

1回目の授業までに大学教科書売り場で購入して置いてください。

外国語

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	まさの てるよし 牧野 輝良				

講義のねらい

英文構造の理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間リーダの部分を読み、その後日本語に訳し提出すること。

履修上の留意点

かならず出席し、指名されたら和訳が出来るように予習しておくこと。

成績評価の方法

3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。

教科書

田本 & Sanada 著『基本英語表現』（成美堂）1,600円
ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	くまさわ かずあき 熊沢 和明				

講義のねらい

英語の基礎的な口語運用能力を確認し、コミュニケーション能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

平易なコミュニケーション能力開発用教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点

英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書

『NEW ACTIVATOR』（金星堂）

その他

土曜3限

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	はなわ みちこ 埴 美智子				

講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Appreciating European Culture—生まれ変わるヨーロッパ—』
（成美堂）1,800円

参考書等

その都度黒板に板書し案内する。

その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	丸小 哲雄				

講義のねらい

広告制作のしくみとそのイデオロギーを捉えることは広告の解読になる。同時に人々の欲望を管理している広告を読み解くことは、消費者として喪失している主体性を回復することでもある。

講義の内容・授業スケジュール

リスニングとリーディングによって読込みと思考を養い、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者に別途評価します。

教科書

- ・リーディングとリスニングのテキスト
- 1. Decoding Advertisements 英宝社
- 2. Daily Life Listening 英宝社 ISBN4-269-44041-4 C1082

参考書等

参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

外国語

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	近藤 真彰				

講義のねらい

英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

最新の英字新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を、単語や表現に注意しながら読んでいきます。その上で、英語での意見の表現法を学びながら、記事内容について自分の意見を述べる練習をします。

履修上の留意点

必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験の成績（50％）と通常の授業での課題（50％）を総合して評価します。

教科書

授業の第一回目に指示します。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おかもと まこと 岡本 誠				

講義のねらい

日本人の学生が弱点としている聴く力を養成したく、聴いて書いていく、つまり原稿を書き上げていく作業を行う。つまり、Writingを聴く力を前提にしてやろうというわけである。

講義の内容・
授業スケジュール

なにを聴くか、その材料はこちらから提供するが、英語の慣用的な表現がどのようないきさつで日常の言語生活に定着したのか説明したものである。原稿を書き上げたら、その独特の表現を自分でも使えるようにしてほしい。

履修上の留意点

辞書必携。着帽禁止。ケータイは off。

成績評価の方法

発表状況・出席状況・遅刻状況・テストの結果等の総合評価。

教科書

特定のものは使用しない。

外国語

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いわはら やすお 岩原 康夫				

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらおう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

Cultivating Writing Skills（朝日出版）2000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	くまさわ かずあき 熊沢 和明				

講義のねらい	英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。
履修上の留意点	英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。
成績評価の方法	出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。
教科書	『今日の問題二つの見方 Opposite Opinions on News Topics』Brian Powle 著 長阪 朱美 編 1785円

外国語

科目名	英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	たかみ まさこ 高見 陽子				

講義のねらい	英文を速く的確に読むための基礎を身につけることを主な目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	音読やリスニングを通して英語のリズムに慣れることと、精読とは異なる「理解しながら読む」方法に慣れること、この二点を軸に英文を読みこなすための基礎的な練習をします。英文を読む際は、まず全体に目を通して要点と話の流れを把握してから、もう一度詳しく読み直して一回目の読解内容を確認します。
履修上の留意点	必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	全授業回数数の3分の2以上の出席が必要です。前・後期末試験の結果をベースに、小テスト・レポート等の結果と授業中の取り組みなどの平常点を加味して、総合的に評価します。
教科書	テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	菅原 典子 <small>すがわら のりこ</small>				

講義のねらい

比較文化論的観点に立ち日米の文化や考え方の違いについて学びながら、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書

Simply America, Simply Japan 『ちょっと日米比較』 Jim Knudsen、石井隆之、金澤順一、木村博是、樋口忠彦、松田聡太郎、村松秀紀 南雲堂 定価1470円（税込） ISBN4-523-17308-7

科目名	英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	佐藤 江里子 <small>さとう えりこ</small>				

講義の内容・授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。

成績評価の方法

定期試験（50％）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50％）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書

『大学生のための初級英語』（南雲堂）¥1900+税

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おちあい かづあき 落合 和昭				

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前期試験が20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

教科書

『音の理解からコミュニケーションへ』 朝日出版社 1400円

ISBN978-4-255-15443-5

『初めてのビジネス英語、大学からビジネス・ワールドへ』 金星堂 1800円

ISBN4-7647-3655-1

外国語

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	たかやなぎ ふみえ 高柳 文江				

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

簡潔な文章のReadingだけではなく、Listeningにも重点がおかれます。章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により更なる理解を深めるよう構成されています。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が必須です。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）40%

教科書

第1回目の授業にて通知します。

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	山岸 ^{やまがし} 二郎 ^{じろう}				

講義のねらい

英文の基本構造を理解すると共に運用力の向上に努める。

講義の内容・授業スケジュール

文型を意識しながら英文を読み、それをテープで聴きリズムに慣れる。授業ではこの訓練に集中する。音声によるアプローチは、英語再入門には効果的学習法である。

履修上の留意点

ノートを用意する。短文を暗誦して書き留める。随時小テストで学習内容を確認し、その定着を計る。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。小テスト、発表、レポート、テスト等総合して評価する。

教科書

『Focus on communication (1)』（朝日出版社）

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	太田 ^{おおた} 由紀子 ^{ゆきこ}				

講義のねらい

聴解力と読解力を養う。それを可能にするべく単語力、構文理解力を高める。また扱う資料を通して英語圏の文化についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞する。それと平行して彼の自伝を読む。映画鑑賞については英語字幕にする場合と日本語字幕にする場合とあるが、これにより読解力と聴解力を養う。映画の粗筋（英文）も読む予定だが、映像と音声で展開された物語の要約に触れることで英語の理解力を高めたい。そして映画に関係の深い箇所を彼の自伝 My Autobiography から抜粋して読む。これについては音声テープもついているので利用する。いずれの作業においても英文法の確認作業をする。

履修上の留意点

毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

成績評価の方法

授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

教科書

随時、プリントを配布する。

参考書等

安井稔 『英文法総覧』（開拓社）、江川泰一郎 『英文法解説』（金子書房）
 Charles Chaplin. My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction)
 チャールズ・チャップリン 『チャップリン自伝』 中野好夫訳（新潮文庫 上下巻に分冊。下巻は絶版）

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	竹村 ^{たけむら} 恵都子 ^{えつこ}				

講義のねらい

主として Speaking や Writing の英語運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを中心に、テープも利用しながら演習形式で授業を進めます。

履修上の留意点

遅刻・欠席をせず、予習を含め、積極的な授業参加をすること。

成績評価の方法

前期・後期の試験を主として、授業時の発表及び出席率などを総合的に評価します。

教科書

未定

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	山口 ^{やまぐち} 晃 ^{あきら}				

講義のねらい

IAを土台にして、さらに豊かな表現ができるようになってほしい。そのため、同じことが様々に表現できることを授業の中で感じとってほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

IAのとき以上に複合的な文脈を把握する練習をしたい。表現のためのものになる思考を深める工夫をしたい。

履修上の留意点

語学の授業なので、出席は重視する。発表には加わってもらおう。遅刻は授業のさまたげになるので、注意してほしい。

成績評価の方法

出席回数、授業での発表、レポート、テストの四つを総合的に考えて評価する。

教科書

プリントを配布する。辞書は毎回かならず持ってくること。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	みねさ ともゆき 三幣 友行				

講義のねらい

英語IAで学んだことを基礎にして、英語による意思伝達能力の向上をはかることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって英語の口語表現を学んでいく。

成績評価の方法

前期試験、後期試験、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。

履修上の留意点

予習を前提として授業をすすめる。

教科書

未定

その他

詳しいことは初回の授業で説明する。

外国語

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	さわだ まゆみ 澤田 真弓				

講義のねらい

毎回興味深いエッセイを取り上げて簡単な英語表現を学び、リスニングやリーディングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書

Blake Baxter 著、大橋久利 編 『The Culture of Clothes 世界の衣生活』（成美堂）
1,600円 ISBN4-7919-1258-6

科目名	英語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	前田 脩 <small>まえだ おさむ</small>				

講義のねらい

英文になれ、やさしい英語による表現を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

比較的短い英文を読み、その英文に沿った英語表現とリスニングをおこないます。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること、求められた英語表現レポートは必ず提出してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期と後期の試験結果を総合的に評価します。

教科書

「エンジョイ・イングリッシュ」朝日出版 1700円 ISBN4-255-15390-6 C1082

科目名	英語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	外池 一子 <small>とほいけ かずこ</small>				

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基礎的な英語の力（読む・書く）があることを確認します。（e-learning教材を使用する場合があります。）後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。

履修上の留意点

コンピューター教室を使用する場合がありますのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましい。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。（e-learning教材使用の場合、教材費4,000円）

その他

日ごろから新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分の身の周り・日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、それらについて自分の意見を持つよう心がけてください。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	こども たけし 古富 猛				

講義のねらい

日本人が何年も英語を学校で時間をかけて学んでいるのに、スピーキングが苦手であるのは周知の通りである。私自身もネイティブ・スピーカーとの会話に四苦八苦している。これからの学生さんはもっと語学をやらざるを得ないであろう。異文化との接触はストレスにもなるが、好奇心を捨てない限り、これほどおもしろいものはない。自らの心を鎖国状態にして、メリットは何もない。よって何とか身につける指針だけでも示したいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

やはり日本人はリーディング能力を生かすべきだと痛感している。多読用のテキストを選び、パターン・プラクティスこそが、英語を身につける第一歩と心がけてもらいたい。

履修上の留意点

授業は予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席と発表を日常の評価として、平常点とし、前・後期の筆記試験で総合的に評価を出します。

教科書

教場にて、追って指示します。

外国語

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	いいぬま よしなが 飯沼 好永				

講義のねらい

英語の基本的な文法事項を確認しながら、自分の考えを表現できる英語力を身に付けることを目指します。

履修上の留意点

予習を忘れずに、積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書

『The Real World Today New Edition』桐原書店 ￥750 ISBN4-342-41200-4

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	おがさき としいちろう 岡崎 寿一郎				

講義のねらい

子供は6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二、三年で高度な抽象能力を獲得します。それ故、英語の学習にあっても、基本的な文法の理解から出発します。文の五型・日本語の文法概念にはない冠詞・前置詞の理解と修得を徹底し、練習問題の活用を通して、ラディカルな文章表現能力の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの正確な理解のため、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価の出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価。

教科書

柳瀬正人註 『イギリスの諺、さまざま』 太陽社 ¥1,200

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	おおぶら としはる 大瀨 利春				

講義のねらい

英語IBの内容を発展させ、さらなるリスニング力、リーディング力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに15分程度のリスニングの練習を行い、そのあとで教科書の本文を読み進めていく。毎回最低一回はすべての学生が発言する機会をもうけたい。プリント等も適宜使用する。

履修上の留意点

英和辞書持参のこと。予習を行うこと。

成績評価の方法

前、後期二回の試験成績をベースにしつつ、出席状況、授業態度などの平常点も考慮し、総合的に評価する。

教科書

『English in the Media 英語ニュースで読む現代社会2007』（金星堂）ISBN978-4-7646-3841-6

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	佐藤 <small>さとう あやこ</small> アヤ子				

講義のねらい

英語のパラグラフの読み方を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

毎回プリントを配り、そのプリントに沿って授業を進めます。授業前に前回に行った授業の単語テストを行います。

履修上の留意点

毎回単語テストがありますので復習が必然です。従って欠席すると総合点が減ります。

成績評価の方法

日常の小テスト、及び前後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教科書

当分の間、プリントを使用します。

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	<small>あんざい かおる</small> 安齋 薫				

講義のねらい

Listening 能力の向上とともに、さらに多くの量を読めるようにする

講義の内容・授業スケジュール

毎回発表形式を取り入れながらテキストを進めていく。

履修上の留意点

予習をしてくること。

成績評価の方法

出席状況（3分の2以上の出席が原則）、前期後期試験、レポートから総合的に評価する。

教科書

『English with Hit Songs』成美堂 ¥1700 ISBN4-7919-4581-6

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	<small>しばた こうたろう</small> 芝田 興太郎				

講義のねらい

「読解力の増進は多読から」。平易な英文に絶えず親しみ、語学力を高めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って読んでゆく予定。随時、別の読み物を加えたい。

履修上の留意点

自宅学習が欠かせない。辞書必携。

成績評価の方法

授業の始めと終りに行なう小テスト。出席率、積極性、礼儀を総合的に判断。

教科書

Lori Howard 著『Read All About It Book2』（OXFORD）

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	矢島 直子 <small>やじま なおこ</small>				

講義のねらい

大学中級程度の英文を読めるようにすること。

講義の内容・授業スケジュール

英文を読んで、時に文法、構文の説明をしながら、理解できるようにしていきます。練習問題も解きます。進度は学生次第です。

履修上の留意点

毎回どんどん当ててやってもらいますから、必ず予習すること。1回目の授業から出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

竹下裕子、他、「世界の多様な英語1」、松柏社、¥1,900、ISBN 4-88198-599-X

外国語

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	相馬 美明 <small>そうま よしあき</small>				

講義のねらい

「英語II Bの授業内容」
IBの英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC・TOEFLのリスニング・セクションの問題などにも触れ、聴解力を高めていく。

成績評価の方法

出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度などを総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	本間 俊一 <small>ほんま としかず</small>				

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。
パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円
ISBN4-7647-3717-5

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	手島 敬子 <small>てしま けいこ</small>				

講義のねらい

「英文読解力向上」をテーマに、短時間に効率よく、また適切に英文の内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

授業は予習を前提に進めていきます。教室以外でも積極的に学習に取り組んで下さい。英和辞典、必ず持参。

成績評価の方法

前期・後期試験、課題、授業への参加度、出席状況などにに基づき総合的に評価します。

教科書

William M. Balsamo 著『New Issues for Global Change and Challenges』金星堂 ¥1500
ISBN4-7647-3820-1

〔ドイツ語〕

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	本橋 右京				

講義のねらい

伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確かなものとしします。

履修上の留意点

予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	志真 斗美恵				

講義のねらい

さまざまな理由でもう一度ドイツ語1Aを履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確かなものにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

文法の説明だけでなく、CDを使い、聞き取り、書き、話すことを繰り返しておこないます。さらに、授業で習った知識を、その場で確かなものとするため、毎回できるだけ多くの練習問題に取り組んでいきます。

履修上の留意点

欠席をするとわからなくなるのは当然ですが、とりわけドイツ語の文法は、積み重ねが大事です。必ず出席してください。

成績評価の方法

前期・後期試験および平常点で総合的に評価します。

教科書

- 1) 入谷・河野・小林・小松・佐原
- 2) ようこそベルリンへ！ -独検4級対応-
- 3) 同学社
- 4) 2500円
- 5) ISBN4-8102-0726-2 C1084

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	みなみ はるつ 南 はるつ				

講義のねらい 比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って前期は発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞について、後期は形容詞、助動詞、複合動詞、過去形・現在完了形、関係代名詞について学習します。

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書 高橋・城間著『お洒落なドイツ語』（朝日出版社）

参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

外国語

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いむら ゆきこ 井村 行子				

講義のねらい ドイツ語文法の基礎を復習します。

講義の内容・授業スケジュール 基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。

履修上の留意点 何はともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法 前期と後期の学期末に筆記試験を行います。

教科書 諏訪田清『ドイツ語文法18課』（同学社）

科目名	ドイツ語I A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	すざもと まさとし 杉本 正俊				

講義のねらい

この授業は、学生がドイツ語の知識を全く無い事を前提に、あらゆる観点からドイツ語への入門を行う。ただ文法事項は正しく理解しながら進んで行く。

講義の内容・授業スケジュール

指定する教科書に従って授業を行うが、発音に関しては別にプリントを用意する。

履修上の留意点

なるべく予習不要な、楽しい授業を心掛けるが、必要な課題は必ずしっかりとやってもらおう。授業内容は十分に理解することが必要であり、重要な項目は反復して説明し、折にふれて復習する。

成績評価の方法

成績は、期末テストの他に、日常の授業への取り組み方を特に重視する。授業中のまちがった解答は必ずしもマイナスの評価にはならない。自分の考えを発表することが大切である。

教科書

教科書 ステップバイステップ15
著者：新妻孝一 兼子安弘 渡部敏一
発行所：東洋出版株式会社 ￥1900

外国語

科目名	ドイツ語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いづか きみお 飯塚 公夫				

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・内容の読み取りが中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解という手順でやっていきます。

履修上の留意点

一年の語学は続き物ですので、途中抜けたときは、その分は自分でやっておいてもらわないと、ついていけなくなると思います。その場合は責任は当人にありますから、心してください。「やる気」もさることながら、「根気」がないと一年持ちませんよ。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点（＝発表点）。

教科書

宇佐美幸彦他著「ドイツめぐり（ユーロ版）」（朝日出版社）2,400円

科目名	ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おかもと ときこ 岡本 時子				

講義のねらい

初歩の簡単なドイツ語を理解したり使ったりする運用能力をつけることが主たる目標だが、併せてドイツ語圏の文化や歴史についても学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は現在時制の単文と格を中心に、後期は複合時制や複文まで拡大させて学習する。

履修上の留意点

授業は前回の内容の上に組み立てて行うので、休まず出席すること。

成績評価の方法

期末試験の結果、出席、学習意欲等を総合して評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

必要に応じて授業中に指示する。

その他

火曜5限

科目名	ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	すかもと まさとし 杉本 正俊				

講義のねらい

この授業は、学生にドイツ語の知識が全く無いことを前提に、あらゆる観点から、ドイツ語への入門を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

指定する教科書に従って授業を進めるが、発音に関しては独自のプリントを用意する。

履修上の留意点

なるべく予習不要な、又楽しい授業を心掛けるが、必要最少限の課題は必ずしっかりとやっ
てもらう。授業内容は十分に理解することが必要。重要な項目は反復して説明し、折にふれて
復習する。

成績評価の方法

成績は、期末テストの他に、日常の授業への取り組み方を特に重視する。授業中のまちがっ
た解答は必ずしもマイナスの評価にならない。自分の考えを発表することが大切である。

教科書

教科書 楽しいドイツ語トレーニング
著者：太田隆士 明石真和 櫻井千絵
発行所：三修社 ￥2100

科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おかもと ときこ 岡本 時子				

講義のねらい

初歩の簡単なドイツ語を理解したり使ったりする運用能力をつけることが主たる目標だが、併せてドイツ語圏の文化や歴史についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は現在時制の単文と格を中心に、後期は複合時制や複文まで拡大させて学習する。

履修上の留意点

授業は前回の内容の上に組み立てて行うので、休まず出席すること。

成績評価の方法

期末試験の結果、出席、学習意欲等を総合して評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

必要に応じて授業中に指示する。

その他

土曜3限

科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	もり こうせい 森 公成				

講義のねらい

ドイツ語IAとIBを基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

早川東三、Michael Muenzer 共著 『新・ドレーガー失踪事件』（第三書房）2,100円

科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	本橋 右京				

講義のねらい 初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書 橋本・Neuberger 『楽しく学ぼうドイツとドイツ語』 (三修社)

科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	南 はるつ				

講義のねらい ドイツ語IA及びIBで学んだことを基礎として、難解な文法項目の基礎を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール 形容詞、関係代名詞、受動態、接続法について教科書に沿って学習していきます。それに関連した比較的容易な問題を解きながら、同時に読解力も身につけましょう。その際必要があれば今まで学習した項目についても復習します。

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 前期試験、後期試験、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書 南道子他著『ドイツ語の上にも一年』(同学社) 2300円

参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

〔フランス語〕

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	前田 祝一 <small>まえだ のりかず</small>				

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

教科書

西南学院大学編『大学生のフランス語－文法・読本・練習－』（白水社）1,700円

外国語

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	芦原 睿 <small>あしはら けん</small>				

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	小玉 齊夫				

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいく予定です。出来れば、各課終了時にまとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。

成績評価の方法

上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。出席は、するのが当然、というより、学生の「権利」です。

教科書

内藤 著 『新カイエ・ドゥ・フランセ』（駿河台出版社、2200円）ISBN978-4-411-00820-6

参考書等

辞書については初めの授業時に説明します。

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	菅原 猛				

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

「基礎入門タブロー・グラメール」久富 健著（朝日出版社） ¥2,200
ISBN4-255-35137-6 C1085

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	谷川 <small>たにかわ</small> かつる				

講義のねらい フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・授業スケジュール 文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

履修上の留意点 出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法 前期・後期試験、および小テストなど。

教科書 『街かどのフランス語―新訂版』、瀬戸秀一他著（朝日出版社）2100円

参考書等 授業中に紹介する。

その他 全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

外国語

科目名	フランス語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	菅谷 <small>すがや</small> さとる				

講義のねらい 初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点 休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書 藤田著『新・彼女は食いしん坊! 1』（朝日出版社）2,625円

科目名	フランス語Ⅱ〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	今関 アン				

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス旅行で困らない最低限のコミュニケーション能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

CDの聞き取り、単語調べ、その場での会話練習、練習問題など。

履修上の留意点

2/3の出席は最低条件である。なお教科書も携行せず、漫然と椅子に座って出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出をもって初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2/3以上の出席（25%）＋夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』（白水社）の実力テスト（25%）＋前・後期定期試験（50%）

教科書

内村瑠美子著『フランス語でサバイバル!』（白水社）2,000円

参考書等

仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』（白水社）（7月中に大学内紀伊國屋書店で購入）
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』（白水社）1,500円

外国語

科目名	フランス語Ⅱ〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	伊藤 なお				

講義のねらい

フランス語の基礎を学習し、実用に適した知識を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

必要な文法事項を解説しながら、日常会話と練習問題によってフランス語表現の習得と定着を図ります。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、発音には力を注ぎます。また簡単な文章の読解にも取り組みます。テキストの文化・社会紹介欄をもとにフランスがどのような国かについての知識も得られるようにしましょう。

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

フランソワ・ルーセル、丸川 誠司 『トーム・アン』（第三書房）本体2,000円

科目名	フランス語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	谷川 <small>たにかわ かおる</small> かおる				

講義のねらい → フランス語の基礎をゆっくり勉強しなおします。フランス語とフランス文化に親しみつつ、フランス語会話を習得します。

講義の内容・授業スケジュール → 毎週、重要な基本文法の解説の後、それがきちんと活用できるよう練習問題や暗唱に取り組んでもらいます。

履修上の留意点 → 出席重視。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法 → 前期・後期の試験に、毎週行う小テストの点を加味し、総合的に評価します。

教科書 → 『フランス語でサバイバル』（白水社）2,000円

外国語

科目名	フランス語II A〔再クラス〕 フランス語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	畑中 <small>はたなか ちあき</small> 千晶				

講義のねらい → 易しいフランス語で書かれた笑い話を読みながら、読解力を伸ばしていく。日本語に訳すことよりも、内容を素早く的確に把握する読み方ができるようになることを目指す。また、読解と連動させて、語彙・文法・コミュニケーションなどの力も総合的に伸ばしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール → 初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点 → 毎回、辞書を持参してください。

成績評価の方法 → 前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題など）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書 → リリアンヌ・ラタンジオ、村松定史著
『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへー（CD付）』
駿河台出版社 2004年 2500円

科目名	フランス語II A〔再クラス〕 フランス語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営 A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	沼倉 広子				

講義のねらい

初級文法の基本項目を復習しながら読む、書く、力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

日常会話文、インタビュー、アンケート、メール文、時事文など変化に富んだ文体に触れつつ、フランスの日常生活に対する興味を深める。

履修上の留意点

出席はとらないが、毎回練習問題を提出させるので休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する。

教科書

パシヨネマン 2 阿南婦美代 セシル・モラン著 第三書房
2400円 ISBN978-4-8086-2185-8 C1085

科目名	フランス語II A〔再クラス〕 フランス語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営 A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	前田 祝一				

講義のねらい

中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しずつ読み進めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点

フランス語IA・IBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教科書

数江編『合本・愉快的なコント』（第三書房）2000円

〔中国語〕

科目名	中国語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	児島 <small>こじま</small> 弘一郎 <small>こういちろう</small>				

講義のねらい

外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む、書く、話す、聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行ないますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。

講義の内容・授業スケジュール

開講後しばらくは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、正しい発音を身につけることが最も重要な課題となります。

履修上の留意点

毎回の授業が貴重な訓練の場ですから、積極的に参加して下さい。有効な自宅学習の方法も指導しますので、十分に復習を行ない、今年こそ単位を取得しましょう。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって、総合的に評価します。

教科書

加藤阿幸ほか『総合現代中国語—会話と閲読—』（中国詩文研究会発行、東方書店出版、1800円、CD付）。

その他

新たな気持ちで取り組めるよう、こちらもいろいろ工夫します。一緒に楽しんで勉強しましょう。
月曜5限

科目名	中国語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	本間 <small>ほんま</small> 由香利 <small>ゆかり</small>				

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では先に進むのではなく、確実に発音ができること、語順を理解し定着させることを目的とします。

履修上の留意点

必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点（授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。

教科書

方如偉・王智新・鏡屋一『《新版》中国語10課』（白水社）2,100円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	中国語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	あまの せつ 天野 節				

講義のねらい

発音、基礎的な文法、構文を修得し、簡単な会話練習をし、中国語の基本を身につけること。

履修上の留意点

遅刻、早退、欠席をせず、予習、復習をすること。

成績評価の方法

出席点（30％）＋課題の提出あるいは小テスト（10％）＋前後期計2回の期末テストの平均点（60％）。

教科書

荒川清秀著『[改訂版] 簡明中文システム15』（同学社2200円税別）

参考書等

授業の中で提示する。

外国語

科目名	中国語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	こじま こういちろう 児島 弘一郎				

講義のねらい

外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む・書く・話す・聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行ないますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。

講義の内容・
授業スケジュール

開講後しばらくは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、正しい発音を身につけることが最も重要な課題となります。

履修上の留意点

毎回の授業が貴重な訓練の場ですから、積極的に参加して下さい。有効な自宅学習の方法も指導しますので、十分に復習を行ない、今年こそ単位を取得しましょう。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって、総合的に評価します。

教科書

夏宇継『大学生の中国語―基礎からステップアップ―』（金星堂、2200円、CD付）。

その他

新たな気持ちで取り組めるよう、こちらもいろいろ工夫します。一緒に楽しんで勉強しましょう。
金曜1限

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	張 渭涛 <small>ちやう いたう</small>				

講義のねらい

ビデオに沿って、現代北京の風情と中国伝統文化を鑑賞しながら、初級文法、文型、語彙を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

2回に1課のペースで進む。教場での会話を多く取り入れながら、初級中国語と中国理解の礎を築いていきたい。

履修上の留意点

中国語と中国事情についての知的好奇心と興味を持って楽しく勉強しましょう。

成績評価の方法

四分の三以上の出席が前提。
平常点30%、中間試験30%、期末試験40%の三項目で総合評価を行う。

教科書

相原茂、李貞愛『北京コレクション』入門篇
朝日出版社 本体2,500円 税別

外国語

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>				

講義の内容・
授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは会話を中心とした本文、文法、練習問題から成っており、バランスの取れた学力向上を目指す。

成績評価の方法

年数回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,100円

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	蘭 明 <small>らん めい</small>				

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一カ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

科目名	中国語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年				
担当者名	梅田 雅子 <small>うめだ まさこ</small>				

講義のねらい 物語の講読を通して、一年次の学習を基礎に、語彙・基礎文法・読解力の向上を図る。

講義の内容・授業スケジュール
 1：本文の発音と、意味の確認。
 2：本文中の文法項目の確認。
 3：練習問題の答え合わせ。
 ★文法項目は本文にあわせて、適時復習する。

履修上の留意点 3/4以上の出席が必要。予習復習必須。辞書持参。特に、その場で辞書を引かせるので、辞書は必ず持ってくること。

成績評価の方法 平常点（出席・授業態度・小テスト）40%、前期試験：30%、後期試験：30%

教科書 八木章好編著『漢語趣話—文法中心の中級読本』（白帝社）1,890円
ISBN4-89174-411-1

参考書等 中日辞典を教室に持ってくること。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

外国語

科目名	中国語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年				
担当者名	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>				

講義のねらい 中国語の文章を読むことを通して、文法知識の確認と会話等にも使える語彙量を増やすことが目標です。テキストは中国を紹介するエッセイです。

講義の内容・授業スケジュール 授業はテキストに沿って進めますが、訳すだけでは、中国語そのものを覚えることがなかなかできません。書くこと、聞くこと、音読することで練習していきます。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書 張継濱、小川文昭『中国ってどんな国？』（白水社）2,100円

科目名	中国語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年				
担当者名	大久保 ^{おおくぼ} 明男 ^{あきお}				

講義のねらい	中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関することを紹介したり、ビデオを見たりする予定。
履修上の留意点	積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。
成績評価の方法	出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
教科書	尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』(白水社)

科目名	中国語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	李 ^り 雲 ^{うん}				

講義のねらい	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	関中研「中国語@キャンパス」(会話編) 朝日出版社 2,300円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。 水曜4限

科目名	中国語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	李 雲				

講義のねらい	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	関中研「中国語@キャンパス」(会話編) 朝日出版社 2,300円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。 水曜5限

科目名	中国語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	蘭 明				

講義のねらい	基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。
履修上の留意点	授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。
成績評価の方法	出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。
教科書	董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語2』(朝日出版社) 2,835円

〔スペイン語〕

科目名	スペイン語ⅠA・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書

土井裕文他著『スペイン料理はいかが？』同文社

参考書等

推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『やさしいスペイン文法』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	さいとう あけみ 齋藤 明美				

講義のねらい

初級文法の復習を通し、スペイン語やスペイン語圏に関する生活・文化などに対する関心を育てる。スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

直接法現在などの初歩文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点

遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定

科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	かめやま こういち 亀山 晃一				

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当たって役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

外国語

科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おおしわ いさお 大岩 功				

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書

大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
長文読解用の教材については、適宜プリントを用意する。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	荻野 恵 <small>おぎの めぐみ</small>				

講義のねらい → スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法 → 成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書 → 荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	佐藤 麻里乃 <small>さとう まりの</small>				

成績評価の方法 → 試験は行わず、毎回の授業内で行う課題により評価する（このため出席は必須である）。

教科書 → 宮本博司『簡単なスペイン語18課』大学書林

参考書等 → 西和辞典（出版社は不問）

科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	齋藤 明美 <small>さいとう けいみ</small>				

講義のねらい → 基礎文法の復習を通し、スペイン語やスペイン語圏に関する生活・文化などに対する関心を育てる。スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール → 直接法現在形、過去形や命令形など基礎文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点 → 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法 → 毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。

教科書 → 未定

科目名	スペイン語II A〔再クラス〕 スペイン語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書

中川清、児玉悦子著『皆のスペイン語』（弘学社）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	スペイン語II A〔再クラス〕 スペイン語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	かみやま こういち 亀山 晃一				

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当たって困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

〔ロシア語〕

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	杉山 ^{すぎやま} 秀子・廣田 ^{ひろた} 英靖 ^{ひでやす}				

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点を置き、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	佐野 ^{さの} 朝子 ^{あさこ}				

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらなと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に取りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>				

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
 会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	安德 ニーナ <small>あんどく</small>				

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	ロシア語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	ロシア語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年				
担当者名	<small>おおすけ ふみかず</small> 大須賀 史和				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年				
担当者名	安徳 ^{あんどく} ニーナ				

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

4. 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

全曜日・1時限	※山口	室内球技
	秋田	サッカー
	森本	ジョギング
	佐藤	卓球
	村松	ハンドボール
	末次	ダブルダッチ

※は、科目の主担当者

保健体育

「生涯スポーツ実習 I～IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日				
1時限										
2時限	渡辺	前期・基礎	大石	前期・応用	田中	前期・基礎	村松	前期・応用	牧野	前期・応用
		室内球技		ミニサッカー		フットサル		卓球		バスケットボール
		後期・基礎		後期・応用		後期・基礎		後期・応用		後期・応用
		室内球技		ミニサッカー		フットサル		卓球		バスケットボール
3時限	渡辺	前期・応用	大石	前期・基礎	田中	前期・基礎	鈴木	前期・応用	牧野	前期・応用
		室内球技		簡化太極拳		フットサル		卓球		バスケットボール
		後期・応用		後期・基礎		後期・基礎		後期・基礎		後期・基礎
		室内球技		簡化太極拳		フットサル		卓球		バスケットボール
4時限	大石	前期・応用			鈴木	前期・応用	木	前期・応用		
		簡化太極拳				バドミントン				
		後期・応用				後期・応用				
		簡化太極拳				バドミントン				

4. 保健体育科目

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習（室内球技）	金 1	禅 1 必 仏 1 必	通年	2	山口 良博	315
健康・スポーツ実習 （ダブルダッチ）	金 1	禅 1 必 仏 1 必	通年	2	末次 美樹	316
健康・スポーツ実習 （ジョギング）	金 1	禅 1 必 仏 1 必	通年	2	森本 葵	317
健康・スポーツ実習（サッカー）	金 1	禅 1 必 仏 1 必	通年	2	秋田 浩一	318
健康・スポーツ実習（卓球）	金 1	禅 1 必 仏 1 必	通年	2	佐藤 政之	319
健康・スポーツ実習 （ハンドボール）	金 1	禅 1 必 仏 1 必	通年	2	村松 誠	320
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（室内球技）	月 2	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	通年	2	三幣 晴三	321
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（室内球技）	月 3	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	通年	2	三幣 晴三	321
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（室内球技）	月 4	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	通年	2	三幣 晴三	321
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（室内球技）	火 3	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	通年	2	田中 佳孝	322
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（室内球技）	水 4	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	通年	2	田中 佳孝	322
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（トレーニング）	特 4	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	集中授業	2	秋田 浩一	323
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（太極拳）	特 4	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	集中授業	2	大石 武士	324
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（卓球）	特 4	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	集中授業	2	村松 誠	325
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（室内球技）	特 4	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	集中授業	2	山口 良博	326
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（卓球）	特 4	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	集中授業	2	鈴木 淳平	327
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（ソフトボール）	特 4	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	集中授業	2	高橋 俊介	328
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（トレーニング&太極拳）	特 4	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	集中授業	2	光永 吉輝	329
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（室内球技）	特 4	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 営 A 放 GM234 年	集中授業	2	村松 誠	330
生涯スポーツ実習I （前期・基礎）（室内球技）	月 2	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 経 商 現 法 A 政 営 A1 選	半期	1	渡辺 一郎	331
生涯スポーツ実習II （前期・基礎）（室内球技）	月 2	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 経 商 現 法 A 政 営 A2 選	半期	1	渡辺 一郎	331
生涯スポーツ実習III （前期・基礎）（室内球技）	月 2	禅 仏 国 英 地 文 環 境 歴 日 外 考 社 福 心 経 商 現 法 A 政 営 A3 選	半期	1	渡辺 一郎	331

生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	渡辺 一郎	331
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	渡辺 一郎	331
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	渡辺 一郎	331
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	渡辺 一郎	331
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	渡辺 一郎	331
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	渡辺 一郎	332
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	渡辺 一郎	332
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	渡辺 一郎	332
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	渡辺 一郎	332
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	渡辺 一郎	332
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	渡辺 一郎	332
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	渡辺 一郎	332
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	渡辺 一郎	332
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	333
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	333
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	333
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	333
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	333
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	333
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	333
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	333
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	334
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	334

生涯スポーツ実習III (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	334
生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	334
生涯スポーツ実習I (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	334
生涯スポーツ実習II (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	334
生涯スポーツ実習III (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	334
生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	334
生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	335
生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	335
生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	335
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	335
生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	335
生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	335
生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	335
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(簡化太極拳)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	335
生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	田中 佳孝	336
生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	田中 佳孝	336
生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	田中 佳孝	336
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	田中 佳孝	336
生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	田中 佳孝	336
生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	田中 佳孝	336
生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	田中 佳孝	336
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	田中 佳孝	336
生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	田中 佳孝	337

生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(フットサル)	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	田中 佳孝	337
生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(フットサル)	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	田中 佳孝	337
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(フットサル)	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	田中 佳孝	337
生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(フットサル)	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	田中 佳孝	337
生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(フットサル)	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	田中 佳孝	337
生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(フットサル)	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	田中 佳孝	337
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(フットサル)	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	田中 佳孝	337
生涯スポーツ実習I (前期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	村松 誠	338
生涯スポーツ実習II (前期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	村松 誠	338
生涯スポーツ実習III (前期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	村松 誠	338
生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	村松 誠	338
生涯スポーツ実習I (後期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	村松 誠	338
生涯スポーツ実習II (後期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	村松 誠	338
生涯スポーツ実習III (後期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	村松 誠	338
生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	村松 誠	338
生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	鈴木 淳平	339
生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	鈴木 淳平	339
生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	鈴木 淳平	339
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	鈴木 淳平	339
生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	鈴木 淳平	339
生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	鈴木 淳平	339
生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	鈴木 淳平	339
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	鈴木 淳平	339

生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	牧野 茂	342
生涯スポーツ演習I (シーズン基礎)(ゴルフ)	特 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	シーズン	2	佐藤 政之 他	343
生涯スポーツ演習I (シーズン応用)(ゴルフ)	特 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	シーズン	2	佐藤 政之 他	343
生涯スポーツ演習II (シーズン基礎)(スキー・スノーボード)	特 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	シーズン	2	山口 良博 他	345
生涯スポーツ演習II (シーズン応用)(スキー・スノーボード)	特 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	シーズン	2	山口 良博 他	345
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎)(テニス)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	集中授業	1	江口 淳一	346
生涯スポーツ実習 (集中前期・応用)(テニス)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	集中授業	1	江口 淳一	346
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎)(ゴルフ)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	集中授業	1	三幣 晴三	347
生涯スポーツ実習 (集中後期・応用)(ゴルフ)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	集中授業	1	三幣 晴三	347
健康・スポーツ論 1	金 4	禅仏 1 選	半期	2	佐藤 政之	348
健康・スポーツ論 2	火 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	半期	2	大石 武士	349
健康・スポーツ論 2	水 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	半期	2	三幣 晴三	350
健康・スポーツ論 2	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	半期	2	村松 誠	351
健康・スポーツ論 2	金 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	半期	2	牧野 茂	352

科目名	健康・スポーツ実習(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	禪1必 仏1必				
担当者名	山口 ^{やまぐち} 良博 ^{よしひろ}				

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム
- 4時限目：ハーフコート3対3、ゲーム
- 5時限目：ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：ゲーム(リーグ戦)
(バレーボール)
- 7時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム
- 8時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム
- 9時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム
- 10時限目：ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：ゲーム(リーグ戦)
(バドミントン)
- 12時限目：ラケットティング、クリアー、スマッシュ、シングルのゲーム
- 13時限目：ドライブ、ヘアピン、シングルのゲーム
- 14時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技点(20点)、態度点(10点)、60点以上を合格とする。

科目名	健康・スポーツ実習(ダブルダッチ)	開講	通年	単位	2
配当	禅1必 仏1必				
担当者名	末次 ^{すえつぐ} 美樹 ^{みき}				

講義のねらい

ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ビデオ学習
- 3時限目：短縄を使って練習
- 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6時限目：5回跳び・10回跳び
- 7時限目：ターナーの回転・スピード
- 8時限目：ビデオ学習
- 9時限目：連続跳び
- 10時限目：応用
- 11時限目：応用
- 13時限目：応用
- 14時限目：応用
- 15時限目：応用

履修上の留意点

服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（裸足でも良い）

成績評価の方法

授業率70%、総合評価30%で行う。

科目名	健康・スポーツ実習(ジョギング)	開講	通年	単位	2
配当	禅1必 仏1必				
担当者名	森本 ^{もりもと} 葵 ^{あおい}				

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー）
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：12分間走
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	健康・スポーツ実習(サッカー)	開講	通年	単位	2
配当	禅1必 仏1必				
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一				

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
- 2 時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング(グランダー)
- 3 時限目：インサイドキック、練習ゲーム
- 4 時限目：浮玉のトラッピング1、リーグ戦1
- 5 時限目：インステップキック、リーグ戦2
- 6 時限目：インフロントキック、リーグ戦3
- 7 時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4
- 8 時限目：浮玉のトラッピング2、リーグ戦5
- 9 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦6
- 10 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦7
- 11 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦8
- 12 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦9
- 13 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 14 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手のものがよい。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

そ の 他

雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦

注) 運動服装は雨天でも持参すること。

科目名	健康・スポーツ実習(卓球)	開講	通年	単位	2
配当	禅1必 仏1必				
担当者名	佐藤 ^{さとう} 政之 ^{まさゆき}				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科目名	健康・スポーツ実習(ハンドボール)	開講	通年	単位	2
配当	禅1必 仏1必				
担当者名	村松 <small>むらまつ まこと</small> 誠				

講義のねらい

ハンドボール競技の面白さを体験するため、ゲームを中心とした展開を行なう。パスキャッチ、シュートなどの基礎技能の習得から、2対1、2対2などのグループ戦術まで高めていく。また、ルールと審判法を理解し、グループで協力してゲームが運営できることを目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：コートとの準備とパスキャッチ
- 3 時限目：ジャンプシュート
- 4 時限目：基本的なルールとリードアップゲーム
- 5 時限目：チーム分けとミニゲーム
- 6 時限目：ランニングパスとミニゲーム
- 7 時限目：速攻2対1とミニゲーム
- 8 時限目：リターンパスとミニゲーム
- 9 時限目：1対1の突破とミニゲーム
- 10時限目：速攻法とミニゲーム
- 11時限目：ゴールキーピングとミニゲーム
- 12時限目：審判法とミニゲーム
- 13時限目：リーグ戦
- 14時限目：リーグ戦
- 15時限目：実技テストとリーグ戦

履修上の留意点

服装は動きやすいものとし、運動靴を用意すること。必ず爪を短く切っておくこと。また、金具類、ネックレス、ピアスなどは、身につけないこと。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、ゲームへの貢献、実技テストを加味して評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内でボールを使ったトレーニングを行なう。また、ハンドボールのビデオ鑑賞や詳細なルールにより、ハンドボール競技の理解を深める。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	三常 ^{みねさ} 晴三 ^{はるみ}				

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、フットサル、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓球(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン(ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目：〃(ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目：〃(ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 14 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：フットサル(ルール説明、キックの基本Ⅰ、キーパーなしゲーム)
- 3 時限目：〃(キックの基本Ⅱ、キーパーなしゲーム)
- 4 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅰ、ゲーム)
- 5 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅱ、ゲーム)
- 6 時限目：〃(ゲーム)
- 7 時限目：〃(ゲーム)
- 8 時限目：〃(ゲーム)
- 9 時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修すること。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史日外考社福心堂A放GM234年				
担当者名	田中 <small>たなか</small> 佳孝 <small>よしたか</small>				

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃 (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：フットサル (ルール説明、キックの基本I、キーパーなしゲーム)
- 10 時限目：〃 (キックの基本II、キーパーなしゲーム)
- 11 時限目：〃 (ボールコントロールの基本I、ゲーム)
- 12 時限目：〃 (ボールコントロールの基本II、ゲーム)
- 13 時限目：〃 (ゲーム)
- 14 時限目：〃 (ゲーム)
- 15 時限目：〃 (ゲーム)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃 (ソフトバレーの概要とルール)
- 4 時限目：〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目：〃 (ゲーム)
- 6 時限目：〃 (ゲーム)
- 7 時限目：〃 (ゲーム)
- 8 時限目：〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃 (ゲーム)
- 13 時限目：〃 (ゲーム)
- 14 時限目：〃 (ゲーム)
- 15 時限目：〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球で使うラケットは、貸与する。
遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。成績評価を受ける為には2/3以上の出席日数が必要。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(トレーニング)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	秋田 浩一 <small>あきた こういち</small>				

講義のねらい

基礎的な体力要素がある筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用方の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(太極拳)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション
：重心の移動・腹式呼吸運動
- 1日目午後：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 2日目午前：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷脇
- 2日目午後：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 3日目午前：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 3日目午後：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・転身左ドン脚
- 4日目午前：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 4日目午後：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 5日目午前：第八組 転身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 5日目午後：総合・テスト

保健体育

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：ダブルスゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

- 30分以上の遅刻は認めない。
- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心営A放GM234年				
担当者名	山口 良博 <small>やまぐち よしひろ</small>				

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	鈴木 淳平 <small>すずき じゆんぺい</small>				

講義のねらい

1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技能を身につける。
2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
- 2日目：サーブとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
- 3日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
- 4日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
- 5日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。

成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、受講態度、技術・体力などから総合的に評価する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
 - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ソフトボール)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心堂A放GM234年				
担当者名	高橋 俊介 <small>たかはし しゅんすけ</small>				

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目
午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの補球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目
午前：ゲーム
午後： "
- 第3日目
午前： "
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目
午前： "
午後： "
- 第5日目
午前： "
午後： "

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニホームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(トレーニング&太極拳)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心宮A放GM234年				
担当者名	みつなが よしてる 光永 吉輝				

講義のねらい

この講義では午前には、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)まで学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目
午前：オリエンテーション・体力測定
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組(3式)
- 2日目
午前：カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定
午後：第一組、第二組(3式)
- 3日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組(2式)
- 4日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合
- 5日目
午前：体力測定
午後：総合(1~11式)、テスト

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング場で行うので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月17日(火)~21日(土)、(後期)1月5日(土)~9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00~12:00、13:00~15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート 2 対 1、ゲーム (1 次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート 3 対 2、ゲーム (1 次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート 4 対 3、ゲーム (1・2 次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート 3 対 3、ゲーム (2 次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2 次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。ボールを扱う競技においては手のつめを短く切ること。体育館専用シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点) の配分で評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
- (4) 申込方法：『生涯スポーツ実習』と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）(室内球技)	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎				

講義のねらい

半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 3時限目～6時限目：総合練習、ゲーム
- 7時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 8時限目～11時限目：総合練習、ゲーム
- 12時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 13時限目～15時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的のスポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（室内球技）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎				

講義のねらい

半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 3時限目～6時限目：総合練習、ゲーム
- 7時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 8時限目～11時限目：総合練習、ゲーム
- 12時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 13時限目～15時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウェア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（簡化太極拳）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒巻肘
- 5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身撒ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名	生涯スポーツ実習I (前期/後期・応用) (ミニサッカー) 生涯スポーツ実習II (前期/後期・応用) (ミニサッカー) 生涯スポーツ実習III (前期/後期・応用) (ミニサッカー) 生涯スポーツ実習IV (前期/後期・応用) (ミニサッカー)	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	おおいし たくし 大石 武士				

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 10時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

- 1) 定員：35名
- 2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳）	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身撒ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（フットサル）	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>たなか よしたか</small> 田中 佳孝				

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
- 5時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6時限目：ゲーム
- 7時限目：ゲーム
- 8時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。
成績評価を受けるには2/3の出席日数が必要。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科目名	生涯スポーツ実習I (前期/後期・基礎) (フットサル) 生涯スポーツ実習II (前期/後期・基礎) (フットサル) 生涯スポーツ実習III (前期/後期・基礎) (フットサル) 生涯スポーツ実習IV (前期/後期・基礎) (フットサル)	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>たなか よしたか</small> 田中 佳孝				

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術I、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術II、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術I、ゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術II、ゲーム
- 6 時限目：ゲーム
- 7 時限目：ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。成績評価を受ける為には2/3の出席日数が必要。

そ の 他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（卓球）	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A4選				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：ダブルスゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の实技テストは行なわない。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（卓球）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法 A 政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法 A 政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法 A 政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法 A 政営A4選				
担当者名	<small>すずき じゆんぺい</small> 鈴木 淳平				

講義のねらい

1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技能を身につける。
2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営をクラスの仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
- 3時限目：サービスとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
- 4時限目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
- 5時限目～：総合練習、ゲーム、リーグ戦

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行う。
3. スポーツウェア（上下）、体育館用のシューズ着用で受講する。

成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、受講態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	生涯スポーツ実習I(前期/後期・応用)(バドミントン) 生涯スポーツ実習II(前期/後期・応用)(バドミントン) 生涯スポーツ実習III(前期/後期・応用)(バドミントン) 生涯スポーツ実習IV(前期/後期・応用)(バドミントン)	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	鈴木 <small>すずき しゆんぺい</small> 淳平				

講義のねらい

バドミントンを生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。シングルス、ダブルス等のゲームを通じて技術・戦術を習得し、試合の運営、マナーやエチケット等も学んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット、シングルス・ゲーム
- 4 時限目：半面での簡易ゲーム、シングルス、ダブルス・ゲーム
- 5 時限目： "
- 6 時限目： "
- 7 時限目： "
- 8 時限目～15時限目：総合練習・ゲーム

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期/後期・応用)(バスケットボール)	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>まきの しげる</small> 牧野 茂				

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期/後期・基礎)(バスケットボール)	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	まきの しげる 牧野 茂				

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科目名	生涯スポーツ演習I (シーズン基礎) (ゴルフ) 生涯スポーツ演習I (シーズン応用) (ゴルフ)	開講	シーズン	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	佐藤 政之 他				

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション：
 - 1回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
 - 2回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月17日(火) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月10日(月)
講義：9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
実技：13:00~17:30 打撃練習
※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月11日(火) 実技・講義：11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則I、その他
 - 3日目 9月12日(水) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則II
 - 4日目 9月13日(木) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月14日(金) 実技・講義：8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習I(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 実習日程：平成19年9月10日(玉川校舎)・9月11日~14日(現地：3泊4日)
- 場所：

宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田
286-0121 千葉県成田駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
- 定員：40名
- 集合解散：
 - (1) 集合 9月10日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場
9月11日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月14日(金) 午後12時30分：予定 ダイナミック成田
- 受講料：35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)
- 納入期間：平成19年5月21日(月)~6月2日(土)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門(第2研究館9館資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
- 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）によって2単位が認められる。
成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

科目名	生涯スポーツ演習II(シーズン基礎)(スキー・スノーボード) 生涯スポーツ演習II(シーズン応用)(スキー・スノーボード)	開講	シーズン	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	山口 良博 他				

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション1回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 1月9日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 1月29日(火)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 1月30日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 1月31日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月1日(金)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月2日(土)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

保健体育

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 実習日程：平成20年1月29日(火)~2月2日(土)の4泊5日(現地集合解散予定)
- 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グランド 電話(0195)73-5019
- 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成19年5月21日(月)~6月2日(土)
- 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス） 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス）	開講	集中授業	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	江口 淳一				

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、その価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 3日目午後： " " （戦術と応用）
- 4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月17日（火）～21日（土）
7月17日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

科目名	生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）	開講	集中授業	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	みねさ はるみ 三幣 晴三				

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

- (1) 実施期間：1月5日（土）～9日（水）
1月5日午前10時に玉川校舎集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

科目名	健康・スポーツ論 1	開講	前期	単位	2
配当	禅仏1選				
担当者名	佐藤 ^{さとう} 政之 ^{まさゆき}				

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に成人病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 " : 現代生活と健康 (食生活と健康)
- 3 " : " (食生活と栄養)
- 4 " : " (運動不足と成人病)
- 5 " : " (平均余命と寿命の伸び)
- 6 " : " (健康のための生活習慣)
- 7 " : " (喫煙・飲酒)
- 8 " : " (ストレス社会と健康障害)
- 9 " : " (ストレスと健康測定)
- 10 " : 現代生活と運動 (健康づくり運動)
- 11 " : " (スポーツマンのトレーニング)
- 12 " : " (スポーツマンの運動処方)
- 13 " : " (スポーツ医学の一般知識)
- 14 " : " (スポーツと環境・条件)
- 15 " : まとめ

成績評価の方法

「レポートテスト」の提出3回

教科書

教科書は使用しない。配布プリントにて授業を進める。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カツサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	三幣 <small>みねさ はるみ</small> 晴三				

講義のねらい

健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいを持って生きる上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が営々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何かI
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何かI
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論I
- 10時限目：同 II
- 11時限目：同 III
- 12時限目：同 IV
- 13時限目：同 V
- 14時限目：健康のまとめ
- 15時限目：スポーツ論のまとめ

履修上の留意点

毎時限配布するプリントを重視して進める。

成績評価の方法

出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。

教科書

特に指定するものはない。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。

教科書

特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	<small>まきの しげる</small> 牧野 茂				

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か（2）
- 4 時限目：健康とは何か（3）
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養・休養（1）
- 11時限目：日常生活と健康（2） "・"・"・"（2）
- 12時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康
- 13時限目：感染症について（1） インフルエンザ、結核
- 14時限目：感染症について（2） 性行為感染症
- 15時限目：筆記試験

成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「健康科学—知っておきたい予防医学—」（丸善）1,900円
「ライフスタイルと健康の科学」（不昧堂出版）2,400円
他は、講義のなかで紹介する。

II 專 門 教 育 科 目

Ⅱ. 専門教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
禅学序説	禅1必	通年	4	熊本英人	359
仏教学序説	仏1必	通年	4	吉村誠	360
仏教学序説	仏1必	通年	4	池田魯参	360
坐禅Ⅰ	禅2必	通年	4	角田泰隆 岩永正晴	361
坐禅Ⅰ	仏2必	通年	4	永井政之 晴山俊英	362
坐禅Ⅰ	禅仏3・4選 禅仏(再クラス)	通年	4	石井清純 松田陽志	363
坐禅Ⅱ	禅・仏3・4選	通年	4	石井清純 松田陽志	363
宗典	禅2必	通年	4	晴山俊英	364
宗典	仏2必	通年	4	岩永正晴	364
宗典	仏2必	通年	4	松田陽志	365
禅学研究Ⅰ				休講	
禅学研究Ⅱ	禅2・3選必 仏2・3選	通年	4	晴山俊英	365
禅学研究Ⅲ	禅2・3選必 仏2・3選	通年	4	永井政之	366
禅学研究Ⅳ	禅2・3選必 仏2・3選	通年	4	石井清純	367
仏教研究Ⅰ	仏2・3選必 禅2・3選	通年	4	奥野光賢	367
仏教研究Ⅱ	仏2・3選必 禅2・3選	通年	4	岡本一平	368
仏教研究Ⅲ	仏2・3選必 禅2・3選	通年	4	四津谷孝道	368
仏教研究Ⅳ				休講	
インド仏教史	禅・仏2・3選必	通年	4	池田道浩	369
パリー仏教史	禅・仏2・3選必	通年	4	奥平龍二	370
チベット仏教史	禅・仏2・3選必	通年	4	四津谷孝道	371
中国仏教史	禅・仏2・3選必	通年	4	吉村誠	372
朝鮮仏教史	禅・仏2・3選必	通年	4	石井公成	372
日本仏教史	禅・仏2・3選必	通年	4	飯塚大展	373
中国禅宗史	禅・仏2・3選必	通年	4	石井修道	373
日本禅宗史	禅・仏2・3選必	通年	4	佐藤秀孝	374
禅籍講読Ⅰ	禅3・4選必 仏3・4選	通年	4	程正	374
禅籍講読Ⅱ	禅3・4選必 仏3・4選	通年	4	佐藤秀孝	375
禅籍講読Ⅲ	禅3・4選必 仏3・4選	通年	4	岩永正晴	376
禅籍講読Ⅳ	禅3・4選必 仏3・4選	通年	4	松田陽志	377

仏典講読Ⅰ	仏3・4選必 禪3・4選	通年	4	片山一良	378
仏典講読Ⅱ	仏3・4選必 禪3・4選	通年	4	吉村誠	378
仏典講読Ⅲ	仏3・4選必 禪3・4選	通年	4	池田魯参	379
仏典講読Ⅳ	仏3・4選必 禪3・4選	通年	4	飯塚大展	379
宗教史	禪・仏1・2・3・4選	通年	4	池上良正	380
インド仏教文化史	禪・仏1・2・3・4選	通年	4	金沢篤	380
中国仏教文化史	禪・仏1・2・3・4選	通年	4	永井政之	381
日本仏教文化史	禪・仏1・2・3・4選	通年	4	袴谷憲昭	382
日用經典	禪・仏1・2・3・4選	通年	4	飯塚大展	383
禪学概論				休講	
仏教概論				休講	
中国古典語初級	禪・仏1・2・3・4選	通年	4	吉村誠	383
インド哲学史	禪・仏2・3・4選	通年	4	金沢篤	384
中国哲学史	禪・仏2・3・4選	通年	4	前川亨	384
西洋哲学史	禪・仏2・3・4選	通年	4	中村友太郎	385
インド仏教思想史	禪・仏2・3・4選	通年	4	松本史朗	385
中国仏教思想史	禪・仏2・3・4選	通年	4	伊藤隆壽	386
原始仏教	禪・仏2・3・4選	通年	4	片山一良	386
真宗学概論	禪・仏2・3・4選	通年	4	石上和敬	387
浄土学概論				休講	
真言学概論				休講	
日蓮教学概論	禪・仏2・3・4選	通年	4	庵谷行亨	388
新宗教概説	禪・仏2・3・4選	通年	4	津城寛文	389
神道概論				休講	
外国語仏書講読	禪・仏2・3・4選	通年	4	四津谷孝道	389
外国語禪書講読	禪・仏2・3・4選	通年	4	石井清純	390
禪学特講Ⅰ	禪・仏2・3・4選	通年	4	程正	390
禪学特講Ⅱ				休講	
禪学特講Ⅲ	禪・仏2・3・4選	通年	4	マクレイ、J.R.	391
禪学特講Ⅳ	禪・仏2・3・4選	通年	4	下室覚道	391
仏教特講Ⅰ				休講	
仏教特講Ⅱ	禪・仏2・3・4選	通年	4	飯塚大展	392
仏教特講Ⅲ	禪・仏2・3・4選	通年	4	林鳴宇	392
仏教特講Ⅳ	禪・仏2・3・4選	通年	4	金子宗元	393
仏教伝道概説				休講	
仏教伝道研究				休講	
青少年問題研究	禪・仏2・3・4選	通年	4	讀岐真佐子	394
青少年指導演習	禪・仏2・3・4選	通年	4	西村寛子	395
宗教法概説	禪・仏2・3・4選	通年	4	石井研士	396
漢詩作法	禪・仏2・3・4選	通年	4	須山長治	396
書道	禪・仏2・3・4選	通年	4	綾部宏行	397
現代と仏教				休講	
宗教学概論	禪・仏2・3・4選	通年	4	津城寛文	398

キリスト教概論	禪・仏2・3・4選	通年	4	挽地茂男	399
イスラム教概論	禪・仏2・3・4選	通年	4	青柳かおる	400
哲学概説	禪・仏2・3・4選	通年	4	飯田亘之	401
宗教哲学	禪・仏2・3・4選	通年	4	河谷淳	402
現代哲学概説	禪・仏2・3・4選	通年	4	久保陽一	403
仏教民俗学	禪・仏2・3・4選	通年	4	須藤寛人	404
宗教教育	禪・仏2・3・4選	通年	4	小山一乗	405
心理学概論	禪・仏2・3・4選	通年	4	間島英俊	406
パーリ語初級	禪・仏2・3・4選	通年	4	片山一良	407
パーリ語上級	禪・仏2・3・4選	通年	4	古山健一	407
サンスクリット語初級	禪・仏2・3・4選	通年	4	金沢篤	408
サンスクリット語上級	禪・仏2・3・4選	通年	4	金沢篤	408
チベット語初級	禪・仏2・3・4選	通年	4	松本史朗	409
チベット語上級	禪・仏2・3・4選	通年	4	松本史朗 木村誠司	409
中国古典語上級				休講	
ラテン語	禪・仏2・3・4選	通年	4	上野勝広	410
仏教文献学	禪・仏2・3・4選	通年	4	野沢佳美	411
中国文学	禪・仏2・3・4選	通年	4	佐藤浩一	412
禪美術	禪・仏2・3・4選	通年	4	村松哲文	413
仏教美術	禪・仏2・3・4選	通年	4	村松哲文	414
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	飯塚大展	415
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	池田練太郎	415
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	池田魯参	416
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	石井公成	416
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	石井修道	417
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	石井清純	418
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	伊藤隆壽	418
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	岩永正晴	419
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	大谷哲夫	420
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	奥野光賢	420
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	片山一良	421
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	金沢篤	421
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	熊本英人	422
演習Ⅱ	禪・仏4選				

演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	佐藤秀孝	423
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	角田泰隆	424
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	程正	425
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	永井政之	425
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	袴谷憲昭	426
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	晴山俊英	426
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	松本史朗	427
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	松田陽志	427
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	村松哲文	428
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	吉津宜英	428
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	吉村誠	429
演習Ⅱ	禪・仏4選				
演習Ⅰ	禪・仏3必	通年	4	四津谷孝道	429
演習Ⅱ	禪・仏4選				

科目名	禅学序説	開講	通年	単位	4
配当	禅1必				
担当者名	熊本 ^{くまもと} 英人 ^{えいじん}				

講義のねらい

禅学科1年次生の必修科目であるこの講座は、これから4年間、禅を中心に仏教を学び、研究し、そして、禅に対する自分の問題意識と研究成果を卒業論文として提出するための第一である。

禅学とは、単に禅についての知識や坐禅の実践を身につけるだけのものではない。禅が、仏教の歴史の中で、その一つの要素としてどのように意味付けられていったか。その禅が中国に伝わってどのような教えとして展開したか。そして、それが、中国と日本で、仏教はもとより、文化や社会にどのような影響を与えたか。そういった総合的な理解から、あらためて禅について考えるための序説、すなわち、これから本格的に禅を研究するための前置きであり、基礎作業である。

講義の内容・授業スケジュール

まず、大学で禅や仏教について研究するための基礎的な方法を身につけてもらう。そのうえで、禅と、仏教全般についての基礎知識を概説する。さらには、禅を研究していく上での課題がどこにあるかを自ら探し出すための問題提起をしたい。

履修上の留意点

禅学科1年次生の必修科目であるから、修学上必要な事務連絡や、大学生生活上の注意事項なども示すので、極力出席すること。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

テキストおよび参考資料は、必要に応じてコピーで配布する。

参考書等

水野弘元著『仏教要語の基礎知識』（春秋社）1,680円
石川力山編著『禅宗小事典』（法蔵館）2,520円

科目名	仏教学序説	開講	通年	単位	4
担当	仏1必				
担当者名	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>				

講義のねらい

この講義では、仏典の講読を通じて、仏教を学問として研究する際の基礎知識を学ぶ。取り上げる経典は、原始経典、般若経典、浄土経典、法華経、華嚴経、如来蔵経典、唯識経典、密教経典である。講義はインド仏教の歴史的展開に沿って進めるが、中国や日本における仏教の受容についても随時言及するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) ブッダの生涯 (2) ブッダの観たもの (3) ブッダ最初の説法 (4) 仏教の実践教義 (5) 業と輪廻 (6) 真理の言葉 (7) ブッダ最後の旅 (8) ブッダ観の展開 (9) インドとギリシアの対話 (10) 大乘仏教の興起 (11) 無我から空へ (12) 空をめぐる対話 (13) お盆の話
(後期) (1) お彼岸の話 (2) 阿弥陀仏の信仰 (3) 浄土への憧憬 (4) 一つの乗り物 (5) 永遠のブッダ (6) 菩薩とは誰か (7) 法界と衆生心 (8) 仏性とは何か (9) 如来蔵の譬え (10) 心が世界を作る (11) 大乘仏教の総合 (12) 密教の出現 (13) 即身成仏の世界

履修上の留意点

授業は講義形式なので、ノートの準備すること。講義内容は仏教の理解が次第に深まるように構成してあるので、欠席をしないようにすること。

成績評価の方法

出席状況およびレポートを総合して評価する。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

授業中に随時紹介する。仏教辞典を購入する場合は『岩波仏教辞典』を推奨する。

専門教育

科目名	仏教学序説	開講	通年	単位	4
担当	仏1必				
担当者名	池田 魯参 <small>いけだ ろさん</small>				

講義のねらい

仏教を学ぶための基礎知識や基礎課題を修得すること。主要な課題についてどのような人たちがどのようにに関わり、仏教の歴史や文化が形成されたのかを広く学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、釈尊の生涯とその教えの特色を中心に講義を進める。
後期は、仏教が中国や日本など世界の国々に受容されていった歴史を明らかにし、仏教の諸学派、諸宗派の特色や問題点を考察する。

履修上の留意点

理解できないところがあったら授業中にどんどん質問すること。遠慮は要らない。

成績評価の方法

出席、質問等の授業態度、期末試験等を総合的に評価する。

教科書

水野弘元『釈尊の生涯』(春秋社) 1,500円
水野弘元『仏教要語の基礎知識』(春秋社)

参考書等

授業の中で課題毎に順次、紹介する。

科目名	坐禅	開講	通年	単位	4
配当	禅2必				
担当者名	つのだ たいりゆう いわなが しょうせい 角田 泰隆・岩永 正晴				

講義のねらい

仏教学・禅学は、共に坐禅に基づく智慧の宗教の知的営為である。しかしこれは、単に相対的知解の究明にのみ終始するのではなく、その究極は不曾染汚の行持である坐禅の、不断の実修にこそ、その重心があることを忘れてはならない。無偏無党の坐禅なくして正遍知による見極めはありえない。従って、坐禅が、常に学問する者の上に正しく位置づけられて行くのでなければ、真の仏教学・禅学とは言えない。かかる道元禅師の正伝の坐禅を実修して、自他の見を超えた無所得無所悟の仏法を行持することに勤めて行く。

講義の内容・授業スケジュール

全時間、坐禅実習・経行・講義を行い、前期は『正法眼蔵坐禅儀』と『経行軌』について、後期は『普勧坐禅儀』について講じ、道元禅師正伝の仏法を明らかにする。

履修上の留意点

仏教を学ぶ者の基本であるから、自らの節度ある生活を心掛け、実習に臨んでは次のことを堅く守ること。

- (1) 新学期最初の授業は、坐禅堂における進退・作法と席次など必要事項を指示するので、必ず出席すること。
- (2) 時間厳守：始鈴10分前に全員入室し、坐禅に入る。遅刻・早退は全て欠席とする。
- (3) 私語・懈怠の厳禁：坐禅堂のある禅研究館の四階では、一切の私語をせず、毎時間、懈怠を戒めて真摯に精励すること。
- (4) 威儀厳正：仏制に順じて虚飾を避け、正服を基本に清楚な服装を心掛け（暑季は白のYシャツ可）、堂内の進退は作法に随い、身のすまいを正して厳粛に勤めること。
- (5) 直堂の当番：直堂を、毎時間2名（前策と後策）ずつ勤めるが、当番に充った者は、責任をもって、予め講本の作法をよく読んで理解し、前回の担当者からよく習って進退・作法を確認して行うこと。無責任なため叱責されるなど、全員に迷惑をかけぬよう注意すること。

成績評価の方法

- (1) 全時間の「3分の2」以上の出席と、毎時間、真摯に実習したかを点検し、総合判断して評価を決める。
- (2) 追試・再試等による救済措置は、全く無い。

教科書

『坐禅講本』（更生社）2,266円

参考書等

『坐禅用心記』『普勧坐禅儀不能語』

その他

授業は、40分間の坐禅、10分間の経行、40分間の講義の形式で行う。

科目名	坐禅I	開講	通年	単位	4
配当	仏2必				
担当者名	永井 政之・晴山 俊英				

講義のねらい

仏教学・禅学は、共に坐禅に基づく智慧の宗教の知的営為である。しかしこれは、単に相対的知解の究明にのみ終始するのではなく、その究極は不曾染汚の行持である坐禅の、不断の実修にこそ、その重心があることを忘れてはならない。無偏無党の坐禅なくして正遍知による見極めはありえない。従って、坐禅が、常に学問する者の上に正しく位置づけられて行くのであれば、真の仏教学・禅学とは言えない。かかる道元禅師の正伝の坐禅を実修して、自他の見を超えた無所得無所悟の仏法を行持することに勤めて行く。

講義の内容・授業スケジュール

全時間、坐禅実習・経行・講義を行い、前期は『正法眼蔵坐禅儀』と『経行軌』について、後期は『普勧坐禅儀』について講じ、道元禅師正伝の仏法を明らかにする。

履修上の留意点

仏教を学ぶ者の基本であるから、自らの節度ある生活を心掛け、実習に臨んでは次のことを堅く守ること。

- (1) 新学期最初の授業は、坐禅堂における進退・作法と席次など必要事項を指示するので、必ず出席すること。
- (2) 時間厳守：始鈴10分前に全員入室し、坐禅に入る。遅刻・早退は全て欠席とする。
- (3) 私語・懈怠の厳禁：坐禅堂のある禅研究館の四階では、一切の私語をせず、毎時間、懈怠を戒めて真摯に精励すること。
- (4) 威儀厳正：仏制に順じて虚飾を避け、正服を基本に清楚な服装を心掛け（暑季は白のYシャツ可）、堂内の進退は作法に随い、身のすまいを正して厳粛に勤めること。
- (5) 直堂の当番：直堂を、毎時間2名（前策と後策）ずつ勤めるが、当番に充った者は、責任をもって、予め講本の作法をよく読んで理解し、前回の担当者からよく習って進退・作法を確認して行うこと。無責任なため叱責されるなど、全員に迷惑をかけぬよう注意すること。

成績評価の方法

- (1) 全時間の「3分の2」以上の出席と、毎時間、真摯に実習したかを点検し、総合判断して評価を決める。
- (2) 追試・再試等による救済措置は、全く無い。

教科書

『坐禅講本』（更生社）2,266円

参考書等

『坐禅用心記』『普勧坐禅儀不能語』

その他

授業は、40分間の坐禅、10分間の経行、40分間の講義の形式で行う。

科目名	坐禅I	開講	通年	単位	4
配当	禅仏34選 禅仏（再クラス）				
担当者名	石井 清純・松田 陽志				

講義のねらい

道元禅の実践。

講義の内容・
授業スケジュール

実習時間は、すべて坐禅・経行（きんひん）の実習となる。経行の後は、『坐禅用心記』を講じる。

この時限は、再履修者（編入生も含む）を対象とした「座禅I」（必修）及び「座禅II」（選択）を合併したものである。実習要領および履修に当たっての心構えは、すべて正規の「坐禅I」に同じ。

履修上の留意点

科目の性格上、遅刻は一切認められない。
実習に臨むに際しては、服装・言動など常に厳粛・整齊なるを厳しく要求するので、これらのことを予めよく承知しておくこと。
なお、学年度最初の実習では、席次（単）の決定や必要な諸注意を行うので履修するものは必ず出席すること。

成績評価の方法

授業実施回数に対する出席回数をもって機械的に判定する。レポート提出等による救済措置も行われないので注意すること。
また、坐禅堂の内外における服装や態度に著しく適正を欠くと思われる場合や、講本の忘失などは厳しく減点の対象とする。

教科書

『坐禅講本』（更正社）

科目名	坐禅II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏34選				
担当者名	石井 清純・松田 陽志				

講義のねらい

道元禅の実践。

講義の内容・
授業スケジュール

実習時間は、すべて坐禅・経行（きんひん）の実習となる。経行の後は、『坐禅用心記』を講じる。

実習要領および履修に当たっての心構えは、すべて「坐禅I」に同じ。

履修上の留意点

科目の性格上、遅刻は一切認められない。
実習に臨むに際しては、服装・言動など常に厳粛・整齊なるを厳しく要求するので、これらのことを予めよく承知しておくこと。
なお、学年度最初の実習では、席次（単）の決定や必要な諸注意を行うので履修するものは必ず出席すること。

成績評価の方法

授業実施回数に対する出席回数をもって機械的に判定する。レポート提出等による救済措置も行われないので注意すること。
また、坐禅堂の内外における服装や態度に著しく適正を欠くと思われる場合や、講本の忘失などは厳しく減点の対象とする。

教科書

『坐禅講本』（更正社）

科目名	宗典	開講	通年	単位	4
配当	禅2必				
担当者名	はれやま しゆんえい 晴山 俊英				

講義のねらい

道元禅師の教えの特徴は只管打坐にあるとまとめられることが多いが、その教えが記されている宗典を実際に読んでいる学生は少ないのではないだろうか。また、たとえ読んでみたとしても、『正法眼蔵』などは一読して理解できる書ではない。そこには一般的言語感覚という壁が大きく立ちはだかっているからである。言い換えれば仏の眼差しが散りばめられているのである。この講義を通してそうした仏法ないし曹洞宗の立場を理解され、おのおのが人生の糧とし得れば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

最初に釈尊・道元禅師・瑩山禅師両祖の簡単なプロフィールを紹介し、次に宗典と呼ばれる典籍を一通り説明する。その後、『伝光録』や『正法眼蔵』を中心に実際に内容を読み込んでいくこととなる。

履修上の留意点

仏教学と禅学、そして宗学の立場の違いを確認すること。

成績評価の方法

課題（場合によっては小テスト）の状況と、出席状況、授業中の態度によって評価する。

教科書

その都度配布する。

参考書等

講義の中で適宜指示する。

科目名	宗典	開講	通年	単位	4
配当	仏2必				
担当者名	いわなが しょうせい 岩永 正晴				

講義のねらい

曹洞宗で両祖と仰ぐ道元禅師と瑩山禅師の主著について概説し、その内のひとつの巻と章を講読する。

講義の内容・授業スケジュール

先ず両祖の主著である『正法眼蔵』と『伝光録』の成立・伝播・研究等について概説する。その上で、『伝光録』「第五十一祖（道元禅師）章」を講読しつつ両祖の御伝記に触れ、次に『正法眼蔵』「道得」の講読を行う。

履修上の留意点

必修科目なので安易に欠席することなく、積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験（1回）と平常の出席点によって成績評価を行う。

教科書

テキストはコピーしたものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第1・2巻（春秋社刊）、『瑩山禅』第1～4巻（山喜房仏書林刊）。その他は講義の中で必要に応じて紹介する。

科目名	宗典	開講	通年	単位	4
配当	仏2必				
担当者名	まつだ ようじ 松田 陽志				

講義のねらい

曹洞宗の両祖である道元禪師と瑩山禪師の行実（伝記）とその教えを概説・講読する。特に曹洞宗の宗旨とは何かを考えるために、道元禪師の思想内容にかかわる重要な事項や典籍について重点的に講義する。

講義の内容・授業スケジュール

道元禪師の伝記・著作資料・思想内容の三分類によって資料を配付する。その中で『正法眼蔵』などを初めとする重要な宗学文献を取り上げ講読する。また瑩山禪師の『伝光録』などによって、後の人々が道元禪師の教えをどのように理解受容したのかについても考察する。学術的研究の視点や解釈を知ること、曹洞宗・道元禪師の教えがいかに考察されてきたかという研究史についても解説する。

履修上の留意点

授業で講義する内容は、ほんの一部に過ぎない。また両祖にかかわる知識や術語を習得することだけがこの目的ではない。配布資料は、自分がこれから曹洞宗学について考える契機として活用するためのものである。講義を通じて、一冊でも多くの曹洞宗・道元禪師に関わる書籍を読むことを希望する。

成績評価の方法

毎回の出席点と共に、レポートと年度末試験によって評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリントにしたがって講義する。

参考書等

配布資料の中で、随時紹介する。

科目名	禅学研究II	開講	通年	単位	4
配当	禅23選必 仏23選				
担当者名	はれやま しゆんえい 晴山 俊英				

講義のねらい

ある教団の宗教生活の実践を考えると、その教団の約束事を確認し、次いでその約束事が存在する意義を探るのが正攻法であろう。そこで道元禪師ないし曹洞宗で用いられる清規と戒律をみることとなるが、この講義を通して、表面的と思われる威儀作法が、実は根底で宗学と密接に関わっていることを理解されたい。

講義の内容・授業スケジュール

道元禪師の撰と思しき清規・戒律文献のポイントを追いかけながら、過去や他宗派、および現状との比較を少しく眺めていく。

履修上の留意点

何故そうするのか、という点を考えられたい。

成績評価の方法

受講者が多い場合は期末試験に出席の状況を加味した評価を、少人数の場合はレポートの提出による評価を考えている。

教科書

その都度配布する。

参考書等

講義の中で適宜指示する。

科目名	禅学研究Ⅲ	開講	通年	単位	4
担当	禅23選必 仏23選				
担当者名	ながい まさし 永井 政之				

講義のねらい

この授業では、主として中国禅宗教団の変遷について、残された資料を利用しつつ考えます。達磨によって伝えられたという禅宗ですが、その歴史は中国的思考を背景に、さまざまに変化します。社会的影響も少なくありません。禅僧だからといって社会と無縁で生きたわけでもありませんし、まして寺院に在住するとなればなおさらです。

中国には現代的な意味での「教団」はありませんでしたが、それなりのグループはありましたし、彼らが激動する時代の中で政治や経済・社会とどのような関わりを持ったか、さらに内部では求道の生活を維持するためにどのような努力を払ったかを知ることは、禅思想をより立体的に捉えることに大いに役立つものと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業の内容としては、まず西暦前後の仏教初伝の時代を導入とし、仏教教団が中国社会でどのように受け入れられていったかを考えます。破仏についても論ずる必要があるでしょう。ついで唐、宋、元、明代における禅宗教団の成立や発展、衰退について具体的に考え、最後に日本曹洞宗の展開についても触れたいと思います。

履修上の留意点

授業には流れがありますから、休まず出席してください。

成績評価の方法

期末に試験を行い、出席を加味して評価します。

教科書

教科書はありません。授業中に必要な資料のコピーを配布します。

参考書等

鎌田茂雄『中国仏教史』（岩波書店）
永井政之『中国禅宗教団と民衆』（内山書店）
塚本善隆『魏書釈老志』（平凡社）
佐藤密雄『律蔵』（大蔵出版）
その他、適宜指示します。

科目名	禅学研究IV	開講	通年	単位	4
配当	禅23選必 仏23選				
担当者名	石井 清純 <small>いしい きよすみ</small>				

講義のねらい

本講義は、禅の歴史について学ぶものである。中国の菩提達磨から日本近代に到る禅の歴史について、特に思想史に焦点を当て、各時代の資料を読み進めることによって、その展開の跡形を解説してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は中国禅について学ぶ。菩提達磨から六祖への展開、五家の思想、宋代禅の特徴について、それぞれに灯史や語録の特徴的な部分をピックアップして読み進める。
後期は日本を中心に、伝来した中国禅の日本的展開の諸相について、語録などを読み進めながら解説する。

成績評価の方法

前期に2回、後期に1回の小テストを実施する。それらの結果と期末試験での得点を併せて成績を評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

伊吹敦『禅の歴史』(法蔵館)
竹貫元勝『新日本禅宗史』(禅文化研究所)
石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所)

科目名	仏教研究I	開講	通年	単位	4
配当	仏23選必 禅23選				
担当者名	奥野 光賢 <small>おくの みつよし</small>				

講義のねらい

仏教研究Iは仏教の教理思想に焦点を当てて、その再検討を試みる科目である。今年度は天台大師智顛述とされる『修習止観坐禅法要』(『天台小止観』)の講義を通じて天台止観、仏教の禅定思想を考察することを目標とする。『天台小止観』は中国や日本の禅宗の禅定思想を考える上でも重要な著作であるのでしっかりと読んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講初回からしばらくは天台大師智顛の伝記および天台教学一般に対する概説的説明を行う。かかる予備知識を得た上でただちに講義に入る。

履修上の留意点

履修希望者は準備する資料の関係上、開講初日にならず出席すること。受講して内容上疑問に感じたことはどしどし質問して欲しい。そうした意欲ある方の受講を望みたい。

成績評価の方法

レポートと学年末試験によって評価する。

教科書

大正藏経46巻 p462-473を各自コピーすること。また授業で使用するテキストはコピーを配布する。

参考書等

参考書は授業において適宜指示する。

科目名	仏教研究II	開講	通年	単位	4
担当	仏23選必 禅23選				
担当者名	おかもと いっぺい 岡本 一平				

講義のねらい

仏教の展開において「行」=「修行」は常に重要な実践徳目として位置づけられてきた。この講義の目的は、仏教における「行」の諸相を題材にして、中国や日本の仏教思想史を考えることにある。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、浄影寺慧遠(523～597)の『大乘義章』「因法」の中に説かれる項目、「発菩提心」「五戒」「六波羅蜜」「十種供養」「三十七道品」のような仏教の基本的な実践徳目を扱う。後期は、日本で展開される法然の「念仏」や日蓮の「題目」などの実践徳目を紹介したい。

履修上の留意点

一方的な講義にしたくないので、受講者は恥ずかしがらずに、疑問に感じたことは何でも質問していただきたい。

成績評価の方法

平常点と学年末のレポート(400字×5～10枚)によって判断する予定。

教科書

特に無し。プリントを配布する。

参考書等

櫻部建・小谷信千代訳『俱舍論の原典解明 賢聖品』(法蔵館)
辻森要修訳註『国訳一切経』和漢撰述部・諸宗部10～13『大乘義章』(大東出版社)
法然『選択本願念仏集』(岩波文庫)
日蓮『観心本尊抄』(岩波日本思想体系『日蓮』所収)

科目名	仏教研究III	開講	通年	単位	4
担当	仏23選必 禅23選				
担当者名	よつや こうどう 四津谷 孝道				

講義のねらい

「聖と俗」、これは宗教というものを考えていく上で極めて重要な問題である。もう少し具体的に言えば、聖なるものは、俗なるものを超越するか、或はその中に内在するか等によって、その宗教における救済のあり方が決定される。この授業においては、それに関するいくつかの局面を検討してゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、「仏法と王法」というテーマの下で、特にインド・チベット等に焦点を当てて、この課題に取り組んでいくことにしたい。

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

年度末の試験によって評価する。

教科書

特になし。

参考書等

授業において、随時言及する。

科目名	インド仏教史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏23選必				
担当者名	池田 ^{いけだ} 道浩 ^{みちひろ}				

講義のねらい

仏教は世界各地に伝播していったが、全ての仏教者の視線の先には常に釈尊の姿があり、インド仏教の歴史が前提として存在する。インド仏教史を理解することは、他の地域の仏教を学ぶうえでも極めて重要であると思われる。

インドでは釈尊の教えに対する異なった解釈が多数成立し、各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返した。このような見解の相違が生じた原因には、生活習慣や地域風土の違いも密接に関連している。釈尊在世時にデーヴァダッタのグループが教団を離れたのも、教団の根本分裂も、基本的には生活の仕方の対立が原因とされている。大乘仏教の実像はまだ明らかではないが、ある特定の地域から異なった形態の仏教が発生したことも指摘されている。

論争の歴史とその背景を学習することで、各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教の歴史にそって、以下の順序で進める予定である。(1) 仏教成立以前、(2) 釈尊の生涯とその思想、(3) 原始仏教の教団、(4) アビダルマ仏教、(5) 大乘仏教の成立と展開(6) 中観派と瑜伽行派の思想、(7) 密教、(8) 仏教の衰退。

履修上の留意点

教科書を使用するが、記載されていないことを多く述べる。欠席が重なると授業の流れを理解することは困難になる。また、欠席の多い者には評価を与えない。

成績評価の方法

出席と定期試験によって評価を行う。

教科書

佐々木教悟・高崎直道 [ほか] 『仏教史概説：インド篇』(平楽寺書店) 2,100円

参考書等

平川彰 『インド仏教史』上・下(春秋社) 各2,940円。その他、講義中に随時紹介する。

科目名	パーリ仏教史	開講	通年	単位	4
配当	禪仏23選必				
担当者名	おくないち <small>りゆうじ</small> 奥平 龍二				

講義のねらい

本授業は、紀元前3世紀にインドからスリランカに伝えられ、そこで大成したパーリ語を三蔵聖典用語とする「上座部仏教」(南方上座部仏教)が11～14世紀に東南アジア大陸部の諸民族(モン、ミャンマー、タイ、クメール及びラーオなど)に伝えられた歴史的経緯、その仏教の地域的特徴及び、今日もなお、多くの人々の篤い信仰を集めている要因等を「地域研究」の立場から明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

<前半> 序論：(1) 東南アジア地域概況、(2・3) 同地域の歴史・文化的枠組及び文献紹介、(4・5・6) 上座部仏教のスリランカ布教とその仏教史概観、(7) 上座部仏教の東南アジア大陸部伝来とその特徴、(8～10) ミャンマー、(10～12) タイ・ラオス、(13・14) カンボジア、(15) その他の地域(ベトナム・インドネシア・シンガポール)の仏教史概観。
<後半> (16) 東南アジア大陸部における仏教の受容と変容-総説、(17～22) ミャンマ仏教の事例(修行形態、出家者と在家者、女性と仏教修行、仏塔信仰、民間信仰、宗教観等)、(23) 東南アジア大陸部仏教史の日本仏教史との比較的特徴、(24・25) 東南アジア仏教の最近の動向、(26) 総括。

成績評価の方法

年2回のレポートに受講姿勢を加味し総合的に評価する。

教科書

教科書は使用せず、「講義要旨」及び必要に応じ資料を配布する。授業は講義形式で進めるが、ビデオ等の感想や意見に対しコメントや質疑応答を可能な範囲で行う。

参考書等

石井米雄『タイ仏教入門』(めこん)
同編『講座：仏教の受容と変容』
同監修『ブッダ：大いなる旅路2』(NHK出版)

科目名	チベット仏教史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏23選必				
担当者名	四津谷 孝道 <small>よつや こうどう</small>				

講義のねらい

チベット仏教は、長い間アジアの一辺境地の特殊な仏教であると理解されてきた。しかし、近年の仏教研究においては、チベット仏教の理解が如何に重要であるかが見直されつつある。授業では、仏教研究においてチベット仏教が有するその重要性を様々な角度から闡明にしてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

思想的な側面と文化史的な側面から、チベット仏教の形成、その変遷、そして現状を解説していく。授業は、以下のスケジュールに合わせて進めていく。

オリエンテーション
チベット建国神話
前期伝播時代の概観
吐蕃王国史の流れ
仏教の国教化
仏典翻訳とチベット語
サムイェの宗論（1）
サムイェの宗論（2）
吐蕃王国の滅亡
東・西チベットにおける仏教復興
西チベットにおける仏教復興
密教（1）
密教（2）
後期伝播時代の概観・中観派
中観自立派と中観帰謬派
カギユ派の思想と歴史
サキャ派の思想と歴史
ツォンカパ
ゲルク派の思想と歴史
ニンマ派の思想
リメ思想
転生ラマ（1）
転生ラマ（2）
チベット動乱
チベットと日本人（1）
チベットと日本人（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

チベット / フランソワーズ・ポマレ著 後藤淳一訳： 創元社

参考書等

山口瑞鳳：『チベット』（全二巻）（東洋叢書3）（東京大学出版会）
松本史朗：『チベット仏教哲学』（大蔵出版）

科目名	中国仏教史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏23選必				
担当者名	吉村 誠				

講義のねらい 中国仏教の歴史を、仏教伝来から現代に至るまで概説する。漢民族は仏教という外来の思想・文化をどのように受容したのか。また、韓国や日本が手本とした中国独自の仏教はどのように形成されたのか。政治・社会・教理・信仰など、さまざまな角度から考察したい。

講義の内容・授業スケジュール (前期) (1) 仏教の中国伝播 (2) 後漢の仏教 (3) 魏晉の仏教 (4) 仏教受容の背景 (5) 五胡十六国の仏教 (6) 鳩摩羅什の翻訳 (7) 東晉の仏教 (8) 南朝の仏教 (9) 儒教・道教との交渉 (10) 北朝の仏教 (11) 諸学派の興起 (12) 隋の仏教 (13) 天台と三論
(後期) (1) 唐の仏教 (2) 玄奘の翻訳 (3) 唯識と華嚴 (4) 教相判釈 (5) 律と密 (6) 三階と浄土 (7) 禪 (8) 宋の仏教 (9) 大蔵経の出版 (10) 遼・金・元の仏教 (11) 明・清の仏教 (12) 中華民国以後の仏教 (13) まとめ

履修上の留意点 授業は講義形式なので、ノートを準備すること。

成績評価の方法 出席状況とレポート・試験などを総合して評価する。

教科書 鎌田茂雄『新中国仏教史』大東出版社、2500円

参考書等 鎌田茂雄『中国仏教史』岩波全書
野上俊静・他『仏教史概説中国篇』平楽寺書店
その他、授業中に随時紹介する。

専門教育

科目名	朝鮮仏教史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏23選必				
担当者名	石井 公成				

講義のねらい 仏教伝来から現代に至るまでの朝鮮仏教について概説し、インド、中国、日本、ベトナムなどの仏教との共通点と違いを考える。

講義の内容・授業スケジュール 仏教伝来の状況と、朝鮮仏教の精華である新羅仏教の教理、禪宗の展開などに重点を置き、資料を読みながら通説を批判的に検討してゆく。日本に残された関連文献を活用する。本年度は特に一休禪師のように自在に活動して恋愛物語や漢詩を残した金時習と秀吉軍侵略時に奮戦した松運惟政に重点を置く。

履修上の留意点 仏教漢文の訓練という点も考慮し、漢文の基礎力がつくようにわかりやすく説明してゆくと、ほとんど毎回、漢文文献をあてられて読むことになるため、自分から積極的に漢文に取り組もうとする姿勢がないとついてこれないだろう。

成績評価の方法 平常点と秋のレポートによる。

教科書 授業内容に応じて関連論文の一覧を配布する。

参考書等 鎌田茂雄『朝鮮仏教史』(東京大学出版会) 2,400円

科目名	日本仏教史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏23選必				
担当者名	いいつか ひろのぶ 飯塚 大展				

講義のねらい	日本仏教史の枠組みを概説する
講義の内容・授業スケジュール	<p>講義予定・内容は以下の通り。</p> <p>①東アジアにおける仏教の伝播と冊封体制 ②律令体制下の仏教（国家仏教の成立） ③国家仏教の変容（八宗体制、摂関体制の形成と貴族仏教の隆盛、国家祈禱と私的修法） ④院政期の仏教（末法意識と浄土教、王法と仏法、神国思想） ⑤中世仏教史の枠組みについて（顕密体制論と官僧・遁世僧体制モデル） ⑥個別テーマ（都市と仏教、葬送・墓制、女性と仏教、禅律僧） ⑦幕藩体制下の仏教（江戸幕府の宗教政策、寺檀制度、地域社会と仏教） ⑧近代天皇制下の仏教（明治期仏教政策、仏教近代化の展開、国家主義の進展と仏教）</p>
履修上の留意点	日本仏教史用のノートを準備すること。
成績評価の方法	夏期レポートの提出と年度末テストにより評価する。
教科書	教科書は用いない。適宜レジュメを配布する。
参考書等	講義の始めに参考書を紹介する。

科目名	中国禅宗史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏23選必				
担当者名	いしい しゅうどう 石井 修道				

講義のねらい	この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方、折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。
講義の内容・授業スケジュール	プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。
履修上の留意点	教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。
成績評価の方法	夏期休暇後に提出された教科書の感想文（400字詰め5枚程度）のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。
教科書	石井修道『道元禅師正法眼蔵行持に学ぶ』（禅文化研究所）2，415円
参考書等	石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円 『禅学大辞典』（大修館書店）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科目名	日本禅宗史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏23選必				
担当者名	佐藤 秀孝 <small>ととう ひでたか</small>				

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学II』（更正社）2,600円
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
 その他、日本禅宗に関する諸文献

科目名	禅籍講読I	開講	通年	単位	4
配当	禅34選必 仏34選				
担当者名	程 正 <small>てい せい</small>				

講義のねらい

禅籍特講Iは、中国初期禅宗の文献を適宜取り上げて講読し、それぞれの禅思想の特色を明らかにするものである。

講義の内容・授業スケジュール

取り扱う禅宗文献は、主に初祖とされる菩提達磨から、五家の成立以前までのものとする。具体的には、『二入四行論』『絶観論』『修心要論』『六祖壇教』などの禅籍を順次取り上げて、解題を行ってから、それぞれの思想的特色を講義していきたい。

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価にいれるので欠席しないこと。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出欠点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜に紹介する。

科目名	禅籍講読II	開講	通年	単位	4
配当	禅34選必 仏34選				
担当者名	佐藤 ^{さとう} 秀孝 ^{ひでたか}				

講義のねらい

この講義は中国禅宗でも宋代以降の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して宋代以降の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。南北朝時代の菩提達磨を初祖とする中国禅宗は、唐代に独自の発展を遂げて祖師禅として定着し、唐末五代には中国禅の五家（仰・臨済・曹洞・雲門・法眼の五宗）が起こり、北宋時代には臨済宗が黄龍・楊岐の二派に分かれている。宋代の禅宗には、頌古などの禅文学の興隆や、公案参究の看話禅の隆盛、五山十刹などの官寺機構の制度化、さらに日本への禅宗の伝来など、究明すべき興味深い課題が多い。そうした諸問題を踏まえながら、最初に宋代の禅宗と禅籍について講義形式で概観し、その後に『碧巖録』『宏智禅師語録』『大慧正法眼蔵』などの当該の禅籍を講読していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

漢文の語録・文集であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教科書

授業の折に当該のものをコピーなどにて配布する。

参考書等

筑摩書房『禅の語録』シリーズの『輔教篇』『雪竇頌古』『信心銘・証道歌・十牛図・坐禅儀』『大慧書』『無門関』『禅関策進』など。

科目名	禅籍講読Ⅲ	開講	通年	単位	4
担当	禅34選必 仏34選				
担当者名	岩永 <small>いわなが</small> 正晴 <small>しょうせい</small>				

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度も、前年度と同様に、道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められており、曹洞宗旨を学ぶための基本的な典籍とみなされてきた。この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に望んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験と出席点によって成績評価を行う。

教科書

コピーし製本したものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第7巻（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、大本山永平寺編『学道用心集の参究』（国書刊行会）、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』（大東出版）等。その他は参考書リストを配布して必要に応じて紹介する。

科目名	禅籍講読Ⅳ	開講	通年	単位	4
配当	禅34選必 仏34選				
担当者名	まつだ ようじ 松田 陽志				

講義のねらい

この講義では、日本禅宗の後期、特に江戸時代曹洞宗の文献を講読する。曹洞宗の宗学研究において江戸時代は、それまでの曹洞宗の宗義・宗旨の内容・意義や教団としての枠組みが見直され、新たな意義付けや体制の構築が要請された時期である。その動きの大きな柱に、いわゆる宗統復古運動といわれる宗義の全面的見直しと、具体的な嗣法制度改革の展開がある。

そこでこの講義では宗統復古運動における嗣法制度改革運動を伝える諸文献を講読する。具体的には、一連の経緯をまとめる『宗統復古志』を中心にしながら、運動の中心者の円山道白の『洞門衣衲集』等の関連典籍を講読する。

また、嗣法制度改革以後、その内容と理念を厳しく批判する天桂伝尊や面山瑞方らの所説とその宗学的意義についても、実際の著述文献の読解を通して検討していく。

江戸時代の和刻本をコピーして用いることで、訓点などによる基本的訓読法に慣れることもこの講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前期は中世の永平寺・總持寺の住持制度の確立過程や、江戸幕府の宗門統制の状況までを講義し、その上で「宗統復古」というスローガンが生まれる宗学的背景や嗣法制度の状況について基本的理解を深める。

後期からは『宗統復古志』などの関係文献を講読することで、嗣法制度改革運動の経緯をたどる。円山らの改革者が「宗統復古」の名の下に、何を問題とし、何を提起したのかを把握する。

『洞門衣衲集』における円山の主張と、実際の宗統復古運動の経過を、関係文献の読解を通じて理解する。

履修上の留意点

江戸時代の和刻本などの漢文の訓読法や基本的専門用語などを修得するため、資料にできるだけ書き込み、更に辞書などで読みと意味を確認すること。

成績評価の方法

出席点と年度末の定期試験による。

教科書

授業の前に資料および文献をコピーして配布する。

参考書等

鏡島元隆監修・曹洞宗宗学研究所編『道元思想のあゆみ』3（吉川弘文館）
『永平寺史』（大本山永平寺）
その他、随時紹介する。

科目名	仏典講読I	開講	通年	単位	4
配当	仏34選必 禪34選				
担当者名	片山 <small>かたやま いちろう</small> 一良				

講義のねらい

仏典には仏典の読み方がある。形式によるもの、内容によるものである。パーリ仏典を中心に、関係する漢訳の大乗仏典、禪の語録を講読し、仏教の理解を深めることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は仏典を全体的に、後半は個別的に扱い、講読する。

履修上の留意点

従来の「仏典」に対する先入見を除き、「仏経」を読んでほしい。

成績評価の方法

レポート、および年度末テストによる。

教科書

コピーを随時配布する。

参考書等

片山一良訳『パーリ仏典・長部』（全6巻）（大蔵出版）
大蔵経学術用語研究会編『仏典入門事典』（永田文昌堂）

専門教育

科目名	仏典講読II	開講	通年	単位	4
配当	仏34選必 禪34選				
担当者名	吉村 <small>よしむら まこと</small> 誠				

講義のねらい

如来蔵・仏性思想の綱要書『大乘起信論』を講読する。『大乘起信論』は大乗仏教のさまざまな教義を、理論と実践の両面から手際よく要約した書物である。馬鳴（アシヴァゴーシャ、1-2世紀頃）造、真諦（パラマルタ、499-569）訳と伝えられるが、成立についてはインド撰述説や中国撰述説などがあり、いまだ決着がついていない。確かなことは、本著が6世紀の中国に突如として出現し、以後の東アジア仏教に絶大な影響を与えたという事実である。講義では『大乘起信論』を通読し、本書の造論意趣について考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1）『大乘起信論』の概要 （2～13）『大乘起信論』を読む一心真如と心生滅—
（後期）（1～12）『大乘起信論』を読む一生滅門から真如門へ— （13）まとめ

履修上の留意点

本書の漢文は難解である。毎回予習して訓読できるようにしてこくこと。また、意味の分からない語句は辞書で調べておくこと。

成績評価の方法

出席と予習の状況、およびレポートを総合して評価する。

教科書

池田魯参『現代語訳大乘起信論—仏教の普遍性を読み解く—』大蔵出版、2500円

参考書等

平川彰『仏典講座22 大乘起信論』大蔵出版
宇井伯寿・高崎直道『大乘起信論』岩波文庫
その他、授業中に随時紹介する。

科目名	仏典講読Ⅲ	開講	通年	単位	4
担当	仏34選必 禅34選				
担当者名	池田 魯参 <small>いけだ ろさん</small>				

講義のねらい

栄西（1141～1215）の『興禅護国論』を読む。書名に明らかなように本書は「禅を興こし国を護る」ことを主張する論文であるが、日本仏教として禅を布教することの歴史的意義を解明した書として著名である。栄西が考えた禅仏教はどのような形のものであったのかを明らかにし、やがて道元の正伝の仏法を生み出す背景を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教漢文の読解力をつけることをねらい、本書の原文を最初から読み下し文にして解読していく。慣れたところで、受講生に当番を決めて順次、演習形式で読んでもらう。

履修上の留意点

問題点は先ず自分で調べる。解らなかつたら授業中に質すこと。

成績評価の方法

出席率、受講態度、当番に当たった際の準備や発表態度、期末試験等を総合的に評価する。

教科書

『大正新修大蔵経』80巻所収本コピー

参考書等

授業の中で逐次紹介する。

科目名	仏典講読Ⅳ	開講	通年	単位	4
担当	仏34選必 禅34選				
担当者名	飯塚 大展 <small>いづか ひろのぶ</small>				

講義のねらい

無住道暁の『沙石集』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

講義予定・内容は以下の通り。
 ①無住道暁の伝記
 ②無住道暁の著作
 ③『沙石集』の解説
 ④『沙石集』の読解（巻十本末全十三話の講読）

履修上の留意点

原典講読の為、ノートを準備し、預め翻字しておくこと。

成績評価の方法

年度末レポート試験にて評価する。

教科書

教科書は用いない。レジメを適宜配布する。

参考書等

参考書は、講義の初めに紹介する。

科目名	宗教史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏1234選				
担当者名	いけがみ ましまさ 池上 良正				

講義のねらい

全体のテーマは「死者の救済史」。身近な死者を安らかで平穏な状態へ導きたいという願いは、人類社会には普遍的にみられる。本講義では、日本の民衆宗教史を中心に、仏教・キリスト教・イスラームに代表される「世界宗教」が、身近な死者に働きかけようとする人々の実践を、どのように扱ってきたのか、という問題を考えてみる。とくに日本の仏教文化のなかで育てられた「死者供養」という観念・実践の様式に注目する。さらに、他の宗教文化圏における類似の現象を視野に入れた、「比較死者供養論」への展望なども探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、日本文化の特質のよういわれている「死者の身近さ」が、どのような宗教史的な経緯のなかで形成されたのか、という問題を考えてみる。後期は、キリスト教圏・イスラーム圏には、日本の「死者供養」のような観念や実践はあったのか、あったとすれば、それが十分に育たなかったのはなぜなのか、といった問題にも目を向けてみたい。

履修上の留意点

とくに専門的な予備知識は要求しないが、高校卒業程度の日本史・世界史・倫理の知識は必要となる。

成績評価の方法

出席状況と年度末の筆記試験を総合的に判断する。

教科書

池上良正『死者の救済史』（角川書店）、1,600円、ISBN4-04-703354-5。

科目名	インド仏教文化史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏1234選				
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤				

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	中国仏教文化史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏1234選				
担当者名	永井 政之 <small>ながい まさし</small>				

講義のねらい

中国仏教の発展展開を全体的に論ずることは決して容易なことではない。いまに残る膨大な資料によって語られる綿密な思想構築の世界がある一方、資料として残らない、言葉をかえるなら資料を残しえない人々に受容された仏教の世界もまた事実として存在したからである。後者に支えられることによって、前者が歴史に残りえたと言っよいかも知れない。

そしてこのような歴史的事実を「事実」として複眼的に捉えるところから、中国仏教研究はなされるべきであると、私は考えている。

このように仏教を「複眼的まなざし」で捉えようとするとき、「葬儀」は一方の重要な柱となる。「葬式仏教」という言葉は、現代ではすでに「負のレッテル」を貼られて通用しているが、実態としては葬儀と関わったが故に、仏教は中国、あるいは日本において広まったとも言えるし、むしろ問題とすべきは「葬儀」のありようが、執行者においても、またそれを受容した民衆においても、十全に理解されていないことかもしれない。そのような問題意識を持って、この授業をすすめて行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに葬儀をめぐるブッダの発言、戒律における規程を概観します。ついで南北朝における神滅神不滅の議論を通して、仏教が基本的に説く「無我」の論理と、中国人の死後観がどう結びついたかを考えます。ここでは後の仏教の葬送儀礼に強い影響を与えた儒教の葬送儀礼についても触れたいと思います。

また禅僧がとった葬送にたいする態度をとともに、禅宗の清規における葬送儀礼を紹介し、今日の葬送儀礼の成立や意味するところを考えます。

履修上の留意点

毎回、必要なプリントを配布し、積み上げるように授業を進めますから、まじめに出席してください。

成績評価の方法

出席、レポート、期末試験の結果を総合して評価します。

教科書

教科書はありません。必要なプリントを配布します。

参考書等

参考文献として以下を挙げておきます。

圭室諦成『葬式仏教』大法輪閣

曹洞宗総合研究センター『葬祭－現代的意義と課題－』（曹洞宗宗務庁）

科目名	日本仏教文化史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏1234選				
担当者名	袴谷 憲昭 <small>はかまのりあき</small>				

講義のねらい

仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てて示せば、次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 仏教伝来以前の文化
- 1 文化構造の解釈 2 日本古来の文化
- 第1章 中国朝鮮の影響下の仏教文化
 - 1 呉音漢音と文化 2 美術中の仏教観
 - 3 自利利他の問題 4 太子信仰の背景
- 第2章 南部の学問仏教と民衆の文化
 - 1 大仏建立の理念 2 学問仏教の実際
 - 3 勧進聖と修験道 4 仏教と神祇信仰
- 第3章 日本独自の文化形成と仏教観
 - 1 大乘戒壇の設立 2 一乗三乗の論争
 - 3 密教と祈禱仏教 4 本覚思想の定着
- 第4章 中世の仏教信仰の確立と変容
 - 1 浄土信仰の諸相 2 法華信仰の諸相
 - 3 禅宗と五山文学 4 神仏習合の諸相
- 第5章 近世と近代の社会文化と仏教
 - 1 鉄砲と吉利支丹 2 幕府の宗教政策
 - 3 江戸文化と仏教 4 維新と廃仏毀釈
- 結 現代社会と仏教文化
 - 1 近代より現代へ 2 戦後と民主主義

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変化もありうる。

教科書

袴谷憲昭著『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

その他

必要購読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

科目名	日用經典	開講	通年	単位	4
配当	禪仏1234選				
担当者名	いいつか ひろのぶ 飯塚 大展				

講義のねらい

『焦了記』（『首楞嚴經抄』）の読解

講義の内容・授業スケジュール

講義予定
①室町時代における『首楞嚴經』の受容について
②『焦了記』巻一の講読

履修上の留意点

原典講読の為、ノートを準備し、本文を予め翻字しておくこと。

成績評価の方法

年度末試験によって評価する。

教科書

教科書は用いない。レジュメを適宜配布する。

参考書等

参考書は講義の初めに紹介する。

科目名	中国古典語初級	開講	通年	単位	4
配当	禪仏1234選				
担当者名	よしなら まこと 吉村 誠				

講義のねらい

東アジアでは漢訳仏典が「聖典」とされ、漢文（中国古典語）によって仏教が受容されてきた。注釈書、歴史書、高僧の著作なども、ほとんどが漢文で書かれている。したがって、東アジアの仏教を知るには、何よりもまず「漢文」が読めるようになる必要がある。この講義では、漢文の読み方を基礎から丁寧に指導する。受講者は仏典や名文を読みながら、辞書の引き方や漢文法の基本を、自然にマスターすることができるだろう。「お経」の意味を自力で解説する楽しみを味わってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、初めに基礎文法を解説し、次いで有名な仏典や詩文を講読する。中国で仏教の入門書として読まれた『四十二章経』、東アジアで流行した大乘經典（『般若心経』『維摩経』『法華経』など）、仏教にまつわる伝記や説話（『高僧伝』『搜神記』など）の要文を読む予定である。

履修上の留意点

毎回予習をして、休まず出席する。語学の習得には学習の継続が不可欠である。

成績評価の方法

出席や予習の状況、レポートなどを総合して評価する。一過性のテストは行わない。

教科書

プリントを使用する。漢和辞典は必携のこと。『新字源』（角川書店）、『漢語林』（大修館書店）、『漢辞海』（三省堂）を推奨する。他に文法書の購入も指示する。

参考書等

授業中に随時紹介する。

科目名	インド哲学史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤				

講義のねらい 仏教を産んだインドのヴェーダ体制の内実を探り、宗教・哲学の変遷を概観する。

講義の内容・授業スケジュール 定評ある以下の教材に沿って、ヴェーダ時代より中世に到るまでの主だったトピックを通史的に概説する。併せて、インド哲学研究の方法論・問題点なども検討する。

履修上の留意点 日頃よりインドに関心の目を向け、主体的に常になにがしかの問題意識をもって授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法 数回のレポートと年度末の筆記試験など。

教科書 早島鏡正他著『インド思想史』（東京大学出版会）

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

専門教育

科目名	中国哲学史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	まえかわ とおる 前川 亨				

講義のねらい 中国の思想・哲学・宗教について、その基本的な知識を伝授し、東アジア世界の歴史や文化に関する知見を深めるための材料を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール 本年度は中国哲学史の前半（先秦時代から唐代まで）を扱う。儒教・仏教・道教それぞれの教義と、それが中国社会に占める位置の検討が中心となるであろう。

履修上の留意点 受講者には、継続的な出席と積極的な参加協力を求める。卒業年次生などで欠席しなければならない事由がある場合には、予め申し出ること。欠席が余りに目立つ場合には、名簿から名前を抹消する。遅刻も避けること。東アジアの社会・文化・思想・宗教など様々な分野に関心のある諸君の受講を歓迎する。

成績評価の方法 前期・後期それぞれにレポートを提出してもらおう。欠席が目立つ場合には減点の対象とし、甚しい場合には、レポートが提出されても不可とする。

教科書 特に必要としない。資料を配布する。

参考書等 授業内に適宜紹介する。

その他 できるだけ多くの知識を提供するため、講義の形式をとるが、受講者の意見を徹しながら進めていく。受講者からの積極的な問題提起を歓迎する。

科目名	西洋哲学史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	中村 友太郎 <small>なかむら ともたろう</small>				

- 講義のねらい** 古代および中世の西洋哲学史を展望しつつ、なるべくその流れのうちに登場する思想家たちの思索の核心に触れることを志向したい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は古代ギリシア哲学の系譜に即して、(1) 古代哲学の始まり、(2) ソクラテス以前の思想家たち、(3) ソフィストとソクラテス、(4) プラトンの哲学、(5) アリストテレスの哲学、(6) ストア学派、(7) 新プラトン主義、を扱う。後期は中世キリスト教の哲学の展開をあつづける。1) キリスト教哲学の起源、2) アウグスティヌスの思想、3) 12世紀の初期スコラ学、4) 13世紀の知的高揚、5) トマス・アクイナスの哲学、6) 14世紀の後期スコラ学、7) 中世の神秘思想と近代への移行。
- 履修上の留意点** 「哲学」philosophia の名に値する知的営みの根本は、自ら問いかけ思考しつづけることにあるので、その歴史的研究に際しても、主体的・積極的な取りくみが不可欠である。
- 成績評価の方法** 毎授業時間のリアクションペーパーおよび前後期それぞれの課題レポートないしは筆記試験の成果を総合的に評価する。
- 教科書** 開講時に打合わせのうえ指示するが、今年度は、基本図書として 熊野純彦『西洋哲学史・古代から中世へ』(岩波新書・2006年)を各自で通読することをすすめる。
- その他** 討論のチャンスはぜひ持つようにしたい。

科目名	インド仏教思想史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	松本 史朗 <small>まつもと しろう</small>				

- 講義のねらい** インド仏教の思想的展開を概説することによって、仏教思想の特質を明らかにするのが、本講義のねらいである。
- 講義の内容・授業スケジュール** 講義の内容・スケジュールは、ほぼ次の通りである。(a) 仏教成立以前のインド思想(ヴェーダ・ウパニシャッド・ジャイナ教)、(b) 原始仏教の思想(縁起説・四諦説・無我説等)、(c) 部派仏教のアビダルマ哲学、(d) 大乘經典の思想(『般若経』『華嚴経』『法華経』『涅槃経』等の思想)、(e) 中観派の空思想、(f) 如来蔵思想、(g) 瑜伽行派の唯識思想、(h) 仏教論理学の思想。
- 履修上の留意点** 厳正な試験を行なうので、安易な気持ちで履修することは、避けられたい。
- 成績評価の方法** 年度末の試験により、成績を評価する。
- 教科書** 早島鏡正他著『インド思想史』(東京大学出版会)

科目名	中国仏教思想史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	伊藤 隆壽 <small>いとう たかし</small>				

講義のねらい	中国仏教思想の形成について、仏教と中国の伝統思想である儒家思想や道家思想との交流の視点から講義する。
講義の内容・授業スケジュール	1. 仏教伝来以前の中国思想 2. 仏教の基本思想 3. 中国での仏教理解のあり方 4. 中国仏教思想の諸相
履修上の留意点	仏教のみならず中国伝統思想についても関心を持ち、自主的に参加し学習してほしい。
成績評価の方法	年度末の試験による。
教科書	コピー資料を配布する。
参考書等	伊藤隆壽『中国仏教の批判的研究』(大蔵出版)、その他授業中に適宜紹介する。

専門教育

科目名	原始仏教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	片山 一良 <small>かたやま いちろう</small>				

講義のねらい	原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何か、を原始仏典の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。
講義の内容・授業スケジュール	前半は仏伝を紹介しつつ、縁起・四諦の教え、あるいは無常・苦・無我の三相による見方について講じる。後半は原始仏典を読み、とくに中道(八正道)、戒律などの実践について講じる。全体として、智慧と慈悲の教えを「法」と「律」の立場から考えるものである。
履修上の留意点	従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始経典を直接に読むことを勧めたい。
成績評価の方法	レポート(夏期)および年度末テストによる。
教科書	とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	真宗学概論	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	石上 <small>いづかみ</small> 和敬 <small>かずのり</small>				

講義のねらい

本講義のねらいは、親鸞の生涯と彼が明らかにした仏教思想に関する基礎的な知識を教授することにある。ただし、親鸞の生涯と思想を理解するためには、彼を取り巻く時代状況や、彼にいたるまでの仏教思想史についての知識もある程度必要となる。本講義では、親鸞理解の前提となるそれらの説明にも意を配りながら、親鸞の生涯とその思想を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は大別して4部構成とする。第一部は、親鸞の生涯について、時代背景なども織り交ぜながら基礎知識を教授する。第二部は、親鸞思想の前提となる浄土三部経の概要について説明する。第三部は、親鸞思想に大きな影響を与えた、インド・中国・日本の七人の祖師たちの思想について紹介する。そして、第四部として、本願、信心などの親鸞思想の核心について概説する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

出席率や授業態度などから判断する平常点と、期末試験の成績を主な評価対象とする。

教科書

村上速水『親鸞教義とその背景』（永田文昌堂、1987）

参考書等

授業中に指示する。また、必要資料はプリントなどで配布する。

科目名	日蓮教学概論	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	おれたに <small>ぎようこう</small> 庵谷 行亨				

講義のねらい

日蓮教学の基本的事項を体系的に学習する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1、日蓮教学の本質と課題
日蓮教学の位置づけ
- 2、日蓮教学の概念
- 3、日蓮教学の本質
- 4、日蓮教学の課題
- 5、日蓮聖人の思想系譜
法華思想の伝承
- 6、釈尊と法華経
- 7、天台大師と法華経
- 8、伝教大師と法華経
- 9、日蓮聖人の法華経観
日蓮聖人の仏教受容
- 10、日蓮聖人の法華経受容の特色
- 11、日蓮聖人の教義
法華経の信心
- 12～13、五義
- 14、観心
- 15～19、一念三千
- 20～25、三大秘法
- 26～、弘経の方軌

履修上の留意点

受講生各自が主体的に意欲を持って講義に臨んでいただきたい。必ず予習・復習をして着実に学習を進めていただきたい。

成績評価の方法

試験・レポート・学習態度等による総合評価。

教科書

庵谷行亨著『日蓮聖人教学の基礎』一、千円＋税、ISBN4-7963-0711-7。『日蓮聖人教学の基礎』二、千円＋税、ISBN4-7963-0712-5。『日蓮聖人教学の基礎』三、千円＋税、ISBN4-7963-0713-3。『日蓮聖人教学の基礎』四、千円＋税、ISBN4-7963-0714-1。山喜房佛書林。

参考書等

立正大学日蓮教学研究所編『日蓮宗読本』平楽寺書店。日蓮宗勸学院監修『宗義大綱読本』日蓮宗新聞社。宮崎英修編『日蓮辞典』東京堂出版。

その他

講義。

科目名	新宗教概説	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	つしろ ひろふみ 津城 寛文				

講義のねらい

近代日本宗教史において「新宗教」と総称されるものを、全体像と、さまざまな局面において理解することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

新宗教の定義、時代的特徴、系統的特徴（神道系、仏教系、キリスト教系、その他）、系譜ごとの特徴（天理教系、大本系、霊友会系、その他）、代表的・典型的新宗教の概要、現代の新宗教、海外の新宗教、スピリチュアリティ運動・文化、新宗教の研究史、などのトピックを論じます。

履修上の留意点

儒教、仏教、キリスト教、イスラム教なども、発生時には新宗教であったことを念頭におき、近現代の新宗教を真摯な研究対象と考えて、宗教としての長所・短所を理解するよう、つとめてください。

成績評価の方法

出席、随時の小レポート、年度末レポートの総合。

教科書

とくに用いません。関連図書は随時紹介。

参考書等

井上順孝他編『新宗教事典』弘文堂、1990年（改訂版、本文編1994年、資料編1996年）。

その他

講義形式。希望により、後半部でゼミ形式を取り入れます。

科目名	外国語仏書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	よつや こうどう 四津谷 孝道				

講義のねらい

この講義では、外国語で著された仏教に関する研究論文を読解することを通して、欧米の研究者の優れた仏教理解に触れることばかりでなく、語学力の向上も目指す。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、Damien Keown の Buddhist Ethics (A very short Introduction) を読んでいきたい。

履修上の留意点

授業においては、受講生にテキストを翻訳してもらおう。各回においてはさほど多く進むつもりはないが、その分だけ予習・復習を綿密にしてもらいたい。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

上記（最初の授業の際に配付する）

参考書等

授業において、随時紹介する。

その他

特になし。

科目名	外国語禪書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	石井 清純				

講義のねらい

昨年度に引き続き、鈴木大拙の Zen and Japanese Culture を読む。これにより、禅・仏教用語の英語表記の方法や、大拙自身の日本文化論の特徴について学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「Zen and the Art of Tea part 2(禅と茶の湯〈その2〉)」を読む。講義ごとに読み進める部分の資料を配付する。

履修上の留意点

禅・仏教用語は一般の英和辞典では検索できないので、参考書に示した仏教専門用語の辞書を用意していただきたい。

成績評価の方法

前期末レポートおよび年度末の筆記試験によって評価する。また学期中に随時課題を科す。

教科書

Zen and Japanese Culture (禅と日本文化) by D.T.Suzuki, Princeton Univ. Press (講義時に該当部分をプリントにて配布)

参考書等

Japanese-English Buddhist Dictionary (大東出版社)
日英禅語辞典 (The Japanese-English Buddhist Dictionary) (山喜房)

その他

鈴木大拙著、北川桃雄訳『禅と日本文化』(岩波書店)をはじめ数種の日本語訳が出版されているが、それは、改訂前の旧版のものであるため内容に大幅な移動がある。特に、本年度講読部分は参考にならない部分も多いので注意すること。

科目名	禅学特講I	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	程 正				

講義のねらい

禅学特講Iは、中国初期禅宗における祖統説の変遷という角度から、その成立の歴史を講義するものである。祖統説とは、禅僧たちが主張する釈尊より自身に及んだ正法の伝承系譜のことで、今日では西天(=インド)二十八祖、東土(=中国)六祖説がその定説となっている。しかし、初期禅宗には様々な宗派があり、それらの宗派に所属する禅僧達は、自派を優位に立たせるために様々な祖統説を主張していたのである。本講義では、初期禅宗文献を用いて、こうした様々な祖統説の出現の背景に留意しながら、それらの内容を吟味することによって、中国禅宗の成立の歴史にアプローチしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

敦煌遺書から出現した初期禅宗文献を主とし、これに『全唐文』などに収録されている伝世資料を織り交ぜながら進んでいきたい。

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。前後に関連性の強い内容構成となっているので、欠席しないことが重要。合わせて中国禅宗史、中国語を履修することが望ましい。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出欠点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜に紹介する。

科目名	禅学特講III	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	マクレイ, J. R.				

講義のねらい

初心者のための中国初期禅宗の紹介。

講義の内容・授業スケジュール

具体的内容は、禅の出現と成長、実践の諸形態、伝説と歴史の交錯、禅の中国文化・社会との融合など。講義では、できるだけビデオや写真を使用する。また、講義資料をウェブで配布する。西洋的な宗教学の方法論も取り入れるが、授業やディスカッション、また宿題の提示などはすべて日本語で行う。

成績評価の方法

期末試験の点数に、授業時間内の発言および提出物を加味して評価する。

教科書

講義時に指示する。

参考書等

講義時に指示する。

科目名	禅学特講IV	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	下室 覚道 <small>しむむろ かくどう</small>				

講義のねらい

道元禅師は多くの経典や禅籍から引用し、それに基づき『正法眼蔵』などを書き著されている。本講義では、特に中国禅籍からの引用状況を考察することによって、中国禅者の動向や道元禅師の引用意図などを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『正法眼蔵』における曹洞の伝統系譜に連なる菩提達磨、曹溪慧能、石頭希遷など有名な祖師の語録からの引用をピックアップし、それらの祖師の人となりを見、そして道元禅師の拈提を見ることによって禅師の解釈を学んでいきたい。その他、臨済の南岳懷讓、馬祖道一、また、雲門や法眼などについても探っていきたい。
本年度は昨年度に引き続き『正法眼蔵』「行持（下）」を読み進めていく。

成績評価の方法

授業の出席状況、レポート、年度末試験により評価する。

教科書

プリントを随時配布する。
『正法眼蔵』「行持」の巻を各自持参すること。また随時必要な資料を配布する。

参考書等

『道元引用語録の研究』（春秋社）
石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）

科目名	仏教特講II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	飯塚 大展 <small>いづか ひろのぶ</small>				

講義のねらい	室町時代後期から江戸時代前期に成立した葬祭関係史料の読解を行なう。
講義の内容・授業スケジュール	『諸回向清現』『無常引導集』及び禅宗相伝史料である切紙の講読。
履修上の留意点	原典講読の為、ノートを準備し、本文を予め翻字しておくこと。
成績評価の方法	年度末レポート試験によって評価する。
教科書	教科書は用いない。レジュメ配布。
参考書等	参考書は講義の初めに紹介する。

科目名	仏教特講III	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	林 鳴宇 <small>りん めいう</small>				

講義のねらい	引き続き南宋代に成立した短編の典籍である『重編諸天伝』を解説する。編者の行霊法師は、漢訳の典籍だけを頼りに、しかし、時に想像を加えながら、仏教經典に頻繁に取上げられる天界の諸神、諸天の姿や伝記を、中国仏教の視点から編集した。 中国の仏教界が、インドから伝来した仏教を、如何にして理解し消化したのかは、中国仏教史における大きな問題である。『重編諸天伝』に記された諸天の伝記を手がかりとして、中国仏教の思想上における仏教諸神に対する認識の変化、後世への影響などを考察するのが、本講義のねらいである。
講義の内容・授業スケジュール	通期では、『重編諸天伝』に記された諸天の様相、そして行霊の理解、更には中国社会における受容などについて講義する。 前期では、『金光明経』の諸天、大梵天、帝釈天、四天王、金剛密迹、摩醯首羅、散脂大将などの伝記を講義する予定である。 後期では、大弁天、功德天、韋駄天、地神、樹神、鬼子母天、摩利支天、日天、月天、竜王、閻魔などの伝記を講義する予定である。
履修上の留意点	講義内容に関心を有し、且つ継続して講義を参加できる者を対象者とする。受講にあたっては、『重編諸天伝』の原文や、諸經典の相関例文を解説する予習が必要となる場合がある。
成績評価の方法	前期と後期の課題レポートによって評価する。
教科書	刊本『重編諸天伝』のコピー及び関連資料を配布する。
参考書等	『続藏経』第一五〇冊所収『重編諸天伝』（藏経書院或いは新文豊） 佐和隆研『仏像図典』（吉川弘文館） 林鳴宇『宋代天台教学の研究』（山喜房仏書林） その他の参考文献は、授業中に適宜紹介する。

科目名	仏教特講Ⅳ	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	かねこ しゆげん 金子 宗元				

講義のねらい

中観派と唯識派との間で繰り広げられた幾多の論争の本質と意義を把握することを通して、インド大乘仏教の思想史的展開を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

主に、中期中観派と後期中観派の学匠の著作より当該箇所の記述を引用した資料を配付し、それに基づいて講義する。採り上げる内容は、二諦説を巡る議論、五大論証因に基づく無自性論証、ダルマキールティによって大成された認識論と論理学、有形象唯識説・無形象唯識説を巡る議論等を予定している。

履修上の留意点

特に無し。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

授業に必要な資料は、授業において随時配付する。

参考書等

松本史朗；『縁起と空－如来蔵思想批判－』大蔵出版（1989年刊）
松本史朗；『チベット仏教哲学』大蔵出版（1997年刊）
松本史朗；『仏教思想論 上』大蔵出版（2004年刊）
その他、講義で採り上げたテーマに関連する参考図書・文献があれば随時紹介していく。

科目名	青少年問題研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	讃岐 真佐子 <small>さぬき まさこ</small>				

講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶことを目的とする。現代は不適応状態や問題が長引く傾向にあり、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型へ、さらに言語で訴えるよりも身体症状として現す等、様々な変化が見られるように思う。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもち、どのような人と出会うかが決定的に重要な意味をもつと思われる。この講義ではこのような問題意識を基に、この時期の青少年に起こり得る諸問題を、発達や事例に則して生き生きと学んでみたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 青少年に生じ得る「問題」をどう把握するのか——その二面性について
- II. 青少年にいかに出会っていけるのか——臨床心理学に基づくカウンセリングを中心として
- III. 事例を通して、不登校、友人関係（いじめ）、非行などのテーマ毎に学ぶ
- IV. 人間の誕生から青春期に至るまでの心の発達の諸相
- V. いくつかの症状（対人恐怖、無気力、身体症状等）について
- VI. 心の健康に関する諸知識

履修上の留意点

授業は講義中心となるだろうが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらい、受講生同士のフィード・バックも考えていきたい。出席状況（授業態度を含む）も重視する。

成績評価の方法

出席状況、定期試験、受講態度

教科書

必要な資料は適宜配布する。

参考書等

岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）
 河合隼雄著『カウンセリングを語る（上下）』（創元社）
 河合隼雄著『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）
 河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（輸出版）
 河合隼雄著『子どもの宇宙』（岩波新書386）
 小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』心理臨床の実際2（金子書店）
 季刊『仏教——特集癒し』No. 31（法蔵館）

科目名	青少年指導演習	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	にしむら ひろこ 西村 寛子				

講義のねらい

現代の青少年についての具体的な理解と、その関わり、コミュニケーションについてのスキルを学ぶことを柱を中心に行っていく。実習を通して自己理解と青少年への理解を深め、相互的なかわり、援助へのスキルが促進されるように取組んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 《前期》
1. 青少年へのかかわりー自らのこころと体をほぐし、関わり易い環境づくりの実習。
 2. コミュニケーション・関わりの実習を通し、自己理解を促進し指導・援助の基礎を学ぶ。
 3. 青少年期を発達的に概観して学ぶ。
- 《後期》
4. カウンセリングマインドを学ぶー話を聴く、共感性、「私」のものがたり理解。
 5. 事例を通して学ぶー不登校、いじめ、虐待、反社会行動等。
 6. まとめ

履修上の留意点

演習、実習を多く取り入れていく参加型の授業であるので、参加していく気持ちが重要である。毎回質問や感想を「メモ用紙に」記入提出してもらい、それらを生かした相互的な授業にしていくつもりである。

成績評価の方法

出席状況と、夏休み前、期末の年2回のレポート。

教科書

必要な資料はプリントで配布する。

参考書等

河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）
 山下一夫『カウンセリングの知と心』（日本評論社）
 河合隼雄『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）
 河合隼雄『昔話の深層』（福音館書店）

科目名	宗教法概説	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	いしい けんじ 石井 研士				

講義のねらい

宗教・宗教団体をめぐる法的環境の変化は著しい。オウム真理教事件を契機にて宗教法人法は改正され、今また公益法人の改正が宗教法人にも及ぶことが想定されている。こうした法的環境の変化の背景には、日本人の宗教意識・宗教行動の変化が存在し、日本人の宗教団体への関心の減少が存在する。法律の条文の解釈に終始するのではなく、基礎的な考え方と、背景となる社会構造の変動と宗教との関係に踏み込んで理解に努めたいと思う。できるだけビデオ映像を利用したい。

講義の内容・授業スケジュール

戦後の社会変動を理解しながら、信教の自由、政教分離、宗教団体の公益性等、幅広く宗教と法律とをめぐらる問題を扱う。

前期は、明治以降の社会変動と日本人の宗教行動・意識の変容を扱いながら、憲法における宗教の扱い、宗教法人、宗教法人法の枠組みの理解を勧める。

後期は、海外との法制度における宗教・宗教団体の扱いの相違、信教の自由、政教分離の具体的な裁判・問題を扱う。

成績評価の方法

レポートの提出。授業時に数回小論文を課し、評価の一部に加える。

教科書

日本人の宗教性・宗教意識の変化に関してはテキストを用いる。法制度の変化、裁判等に関してはプリントを用いる。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	漢詩作法	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	すやま ちやうじ 須山 長治				

講義のねらい

漢詩を学習してゆく。詩は志の之く所なり、といわれる。ものに感じて心が動き、志となったものを言葉にあらわす、すばらしい世界である。李白や杜甫といった唐代の詩人たちの作品を鑑賞しながら、一般的な知識（文学史や韻・平仄等）も確認してゆき、詩が「言志」といわれる所以を考察していきたい。さらに禅僧の偈頌も取り上げ、楽道歌や悟りの歌（投機の偈）・遺偈などにも対象を広げていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

唐詩を中心に学習する。具体的には『三体詩』や『唐詩選』を使って講義を進めてゆく。禅の偈頌は『祖堂集』や『景德伝灯録』に散在するものを取り扱う。いずれも鑑賞が主となるが、漢詩の細かい作法をもとに作詩にも言及したい。

履修上の留意点

積極的にノートをとる姿勢を求める。
漢和辞典を持参すること。

成績評価の方法

出席を重視し、学年末の試験によって評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

村上哲見『三体詩』一～四 中国古典選（朝日新聞社）
前野直彬『唐詩選』上中下（岩波文庫）
『祖堂集』（中文出版 or 禅文化研究所）
『景德伝灯録』（新文豊出版 or 禅文化研究所）

科目名	書道	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	あやべ ひろゆき 綾部 宏行				

講義のねらい

「書道」は素晴らしい東洋文化である。文学であり美学であり、「道」としての精神性も求められる。その「書道」を、講義と実習により追求してゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

－前期－

1. 書道入門
2. 自分の名前を書こう（全員に手本を書きます）
3. 行書入門
4. 草書入門
5. 楷書入門
6. 実用書入門

－後期－

1. 王羲之を学ぼう
2. 顔真卿を学ぼう
3. 空海を学ぼう
4. 墨跡を学ぼう
5. 書と禅
6. 書道史と書論

履修上の留意点

実習科目であるので、半紙が書ける程度の道具を準備されたい。（道具は手持ちのものでかまいません。また初回に丁寧に説明しますので、ない者でも大丈夫です。）

成績評価の方法

成績は、提出物（書作品）や、レポート、出席等の平常点等を勘案して評価する。

教科書

特にテキストはなし。

その他

本講座では必ずしも上手な書のみを期待しない。自分なりに味わいのある書を心がけて欲しい。

科目名	宗教学概論	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	つしる ひろふみ 津城 寛文				

講義のねらい

宗教学という学問の姿勢、前提、方法、希望を踏まえ、宗教と現世（社会）の関係、宗教と超越（神仏、他界）の関係を、総合的に考えたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

概論篇として、比較宗教学の立場、宗教研究の方法、宗教の諸機能、など。
「宗教と社会」篇として、政教関係、市民宗教、公共宗教、など。
「宗教と他界」篇として、神秘主義、シャーマニズム、スピリチュアリズム、オカルティズム、など。

履修上の留意点

「1つの言語しか知らない者は、言語がわからない」という名言を踏まえ、諸宗教の比較、宗教の諸局面から、自分の宗教的・社会的立場を主体的・客観的に反省する、比較宗教学の態度を涵養してください。

成績評価の方法

出席、随時の小レポート、年度末レポートの総合。

教科書

マックス・ミュラー『人生のタベに』（Max Muller, Life and Religion）春秋社、2520円、4393291530
津城寛文『＜公共宗教＞の光と影』春秋社、3045円、439329193X
津城寛文『＜霊＞の探究－近代スピリチュアリズムと宗教学』春秋社、2625円、4393291948

参考書等

随時紹介。

その他

講義形式。

科目名	キリスト教概論	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	挽地 ^{ひきち} 茂男 ^{しげお}				

講義のねらい

ヨーロッパ精神は二つの源流、すなわち、ギリシア思想とキリスト教に遡ると言われる。ヨーロッパの長い文化と伝統を理解しようとする時、その根底に流れるキリスト教の理解を欠くことができない。本講はこのキリスト教を理解の対象とする。しかし対象に接近する仕方は様々である。一つの宗教を理解しようとする場合一般に宗教を構成する4つの要素を中心に考えることができる。すなわち宗教の根幹をなす神観、人間観、世界観を形成している。(1) 宗教思想(ビリーフ・システム)。これはそれぞれの宗教のもつ伝承や神話や経典・教義の中心に流れている。この宗教思想を原理として実践される。(2) 宗教儀礼。この象徴な行為の体系である儀礼は、集団の成員間に連帯感を高め、メンバーとしての自覚をもたらす。このように形成される。(3) 宗教集団(教団)は宗教的な意味によって結ばれた一つの社会的グループである。宗教集団はそれぞれに独自のビリーフ・システムや儀礼的な行動様式とともに成員組織や物的施設を有している。(4) 宗教体験はこのような宗教集団の集団的営みの内外で、集団的なものとして、また個人的なものとして経験される。実際はこの人間の内的な体験こそ、宗教現象の根本にあるものであって、それが外的に表現される場合、宗教思想、儀礼、教団といった形式をとるとも言える。

本講はこれら4つの側面から、他宗教との対比を重視しつつ、キリスト教の成立と展開、その思想と文化をとらえようとするものである。よって概ね以下のような計画にそって授業が進められる。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1	キリスト教研究の射程	1) 宗教研究の立場と分野(1)
2	"	2) 宗教研究の立場と分野(2)
3	"	3) 宗教の構成要素(1)
4	"	4) 宗教の構成要素(2)
5	聖書の思想	1) 聖書の虚無思想
6	"	2) 神の言の思想
7	"	3) 罪と救済の思想
8	"	4) 「赦し」の思想
9	"	5) キリスト教における愛の思想
10	"	6) 隣人愛の思想
後期 1	聖書と文学	1) 史的イエスとキリスト(1)
2	"	2) 史的イエスとキリスト(2)
3	"	3) 遠藤周作のキリスト論(1)
4	"	4) 遠藤周作のキリスト論(2)
5	"	5) 映画「深い河」を見る(1)
6	"	6) 映画「深い河」を見る(2)
7	"	7) ドストエフスキーと聖書(1)
8	"	8) ドストエフスキーと聖書(2)
9	キリスト教思想と倫理の基礎	1) 生への畏敬と倫理
10	"	2) キリスト教的死生観

専門教育

履修上の留意点

必ず聖書を購入し、授業で指示される当該箇所を参照すること。この講義では、キリスト教の根幹を形成する聖書に親しむことが、キリスト教理解の重要な一部として要求される。

成績評価の方法

試験と出席率

教科書

挽地茂男『キリスト教入門A』、『キリスト教入門B』(DTP出版)
『旧・新約聖書』(版はいずれのものでもよい)

参考書等

挽地茂男『図解雑学キリスト教』(ナツメ社)
金子晴勇『キリスト教思想史入門』(日本基督教団出版局)
木田、山内、土岐編『聖書の世界』(自由国民社)

その他

授業の進め方—講義を中心とするが、講義中数回ビデオ・フィルムを教材として用いる。

科目名	イスラム教概論	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	青柳 <small>あおやぎ</small> かのる				

講義のねらい

現代の国際社会における平和的共存、異文化理解、宗教間対話といった諸問題を考える上で、16億人以上の信徒を持ち、世界中に広がっているイスラームに関する正しく客観的な理解は必要不可欠です。この講義では、イスラームの宗教的側面、思想について理解を深めることを目標とします。イスラームと関わりの深い中東の歴史、政治、思想について基本的知識を持つことも目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容の予定ですが、若干変更する場合があります。

〔前期〕 イスラームに関する文献紹介 イスラーム以前のジャーヒリーヤ時代 預言者ムハンマドの生涯 イスラームの教義（六信五行） コーランとハディース（ムハンマドの言行録） シーア派とイランの歴史 イスラームにおける婚姻、女性、セクシュアリティ

〔後期〕 スーフィズム（イスラーム神秘主義） イスラーム世界のギリシア文明 中東の民族と宗教 聖地エルサレム イスラーム法 イスラーム原理主義 パレスチナ問題（中東近現代史）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

期末試験（またはレポート）、出欠を兼ねた授業中の提出物（感想文、質問など）により、総合的に評価します。試験（またはレポート）では、イスラームに関して興味のあるテーマを自分で決め、参考文献を読み、調べて明らかになったことに対して自分の見解を書いていただく予定です。

教科書

青柳かのる『面白いほどよくわかるイスラーム』日本文芸社2007年（1400円）。

参考書等

青柳かのる『イスラームの世界観ーガザーリーとラーズィー』明石書店2005年。 中村廣治郎『イスラームと近代』岩波書店（叢書現代の宗教13）1997年。 中村廣治郎『イスラーム教入門』岩波書店（岩波新書538）1998年。 ※詳しくは、第1回目の授業で文献リストを配布します。

科目名	哲学概説	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	飯田 巨之 <small>いいた くのぶき</small>				

講義のねらい

生命の操作が大幅に可能となった時代にそれがどこまで許されるとすべきか、人間の尊厳を軸にすえて議論するのが本講のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

生命操作とその問題；IVF、胚研究、遺伝子操作他。
人間の尊厳概念とその歴史；ストア派の思想、キリスト教における神の似姿と人間の尊厳、ルネッサンスにおける人間の尊厳の概念、パスカルとF. ベーコンにおける人間の尊厳概念の展開。
カント哲学における人間の尊厳概念。
人間の尊厳、生命の神聖性と生命の操作。

履修上の留意点

教師の側からの一方通行ではなく学生諸君にも発言してもらいながら対話方式で授業を行うのでテキストを前もって読んでおくことが大切。

成績評価の方法

(1) 最終回の論述テスト、(2) 出席状況、(3) レポート、(4) 授業中の質問、コメント等による授業への参加度により総合的に評価を行う。

教科書

特に定めない。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
金子著『ヨーロッパの人間像』（知泉書館）
高橋編『ヒトの生命と人間の尊厳』（九州大学出版会）
<http://www.fine.chiba-u.ac.jp/>

その他

一方通行でない授業にしたい。

科目名	宗教哲学	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	かわたに あつし 河谷 淳				

講義のねらい

宗教 (religion) が「信じる」ことであり、他方で、哲学 (philosophy) が「知を愛する」ことであって場合によっては既存の世界観を「疑う」ことであるとするならば、両者は互いに対立するものように見えるかもしれない。だが、古代ギリシア以来の西洋思想史を概観してみるならばそうした理解は必ずしも正しいとは言えない。宗教哲学とはそうした信と知が交錯する地点に位置づけることができるようなものである。本講義では、宗教という世界についての語り方を哲学的アプローチによって考えることにしたい。

授業では主に西洋の宗教哲学（とりわけキリスト教的哲学）を題材として取り上げはするものの、特定の宗教の教義についての解説を目指すというわけではなく、むしろ、「信じる」という人間の営みがどのような地平において成立しているのかについて西洋哲学の側から考えるところに本講義の目的はある。また、それと併せて、西洋哲学史の概略や認識論・存在論・倫理学についての基本的な哲学用語についても理解を深めてもらえるよう配慮したい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では次のようなテーマを取り扱う。

前期：信と知の関係

- (a) 神話と哲学：ギリシア神話と哲学の始まりとしてのギリシア哲学
- (b) 信念形成と合理性：テルトゥリアヌス・「パスカルの賭」・ヒュームの奇跡論
- (c) 神義論：完全善の神とこの世の悪とは両立するのだろうか

後期：神と「私」と天使

- (d) 神の存在証明：宇宙論的証明・目的論的証明・存在論的証明
- (e) 倫理と宗教の相補的關係：カント倫理学と宗教哲学
- (f) 「天使」の哲学：天使の存在可能性と心の独立存在可能性

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

上枝美典『「神」という謎－宗教哲学入門－』（世界思想社）

科目名	現代哲学概説	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ よういち</small>				

講義のねらい

現代の哲学は、おおむね、近代の哲学をもとに、或るものはそれを継承し、徹底させ、他のものはそれを批判し、克服しようとしている。そこで、近代の哲学の歩みをその大筋において捉え、それに対する現代の諸々の考え方を取り上げることにする。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 近代哲学 (デカルトからカント、ヘーゲルまで)
(後期) マルクス主義、実証主義と分析哲学、ニーチェ、現象学と解釈学 (デイルタイ、ハイデガー、ガダマー) など

履修上の留意点

ノートをよく取ると同時に、自分の問題に引きつけて考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

出席数、試験 (前期と後期) などによって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円

参考書等

渡辺二郎『現代の哲学』(日本放送出版協会) 1,800円
久保陽一『ドイツ観念論への招待』(日本放送出版協会) 2,800円

科目名	仏教民俗学	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	すどう ひろと 須藤 寛人				

講義のねらい

葬儀や、先祖崇拜、位牌・仏壇といったものを通して、多くの日本人は仏教と接していると思われます。このような日常的な仏教との接点を手がかりとして、仏教が日本人のあいだに浸透していった経緯を、本講義では考察したいと思います。また仏教的な営みの背景にある民俗の意味と歴史とを考察することによって、仏教との新しい接し方のきっかけになればと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

a. 先祖崇拜 今日日本仏教における寺院の主たる活動が、葬儀と追善供養からなっている。追善供養は、先祖祭祀という民族的背景のもとに成り立っていることから、先祖崇拜の考察は重要なテーマであると考えられる。b. 葬送儀礼 葬式は、多くの日本人にとって最も「仏教的」なことを感じさせる出来事である。しかし、そこで何が行われているかは、多くの場合は、一般の人に知らされていないし、また意味も解らないで葬儀を行っている僧侶も多いと思われる。本講義では、民俗的事例をあげながら、葬式の歴史と構成とを明らかにし、そこにどのような意味があるのかを考える。c. 日本の民俗 日本でみられる多くの民俗的事例を紹介・解説する。日本のシャーマニズムや、各地の祭、都市伝説・噂・怪談などにも触れる予定である。また授業内容に応じてタイムリーな話題もとりあげたい。以上の三点を本講義の軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思ひます。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないで下さい。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中は着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートを20%、学期末の定期試験80%とし、出欠状況を加味して総合的に評価します。

教科書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

参考書等

授業の流れに応じて、適宜、紹介したいと思います。

科目名	宗教教育	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	こやま かずのり 小山 一乗				

講義のねらい

用語「宗教教育」の教授概念には現今、宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派信仰教育、対宗教安全教育、宗教的寛容教育の五があり、論者は、先入観的に、いずれか一の義で解釈し、他は棄却してしまっているという傾向が重大問題としてある。当事態を解説・講義する。当事態の史的背景にある宗教教育改革を企図する対日米国占領政策のねらいに、米国流の宗教教育施策があったこと、また、日本国憲法20条の規定不備や教育基本法9条の補完規定の不徹底に起因する事後の紆余曲折事態が宗教教育論を迷走させた経緯を解説し講義をする。時宜的には教育基本法改正（論議）を俎上に載せる。その上で、あらためて「宗教の定義」の諸相を概観する。関係法規は宗教の定義を他に委ねている。

本講義は、決して、或る特定の宗教・宗派を価値ありとして判定して促進したり、または、価値なしと判定してそれを抑制したりするというそのような内容・方法を専らに考えるというような、とかくありがちないわゆる宗派信仰への導入をのみ考えるという狭義の宗教教育を構想する講義ではない。端的には自覚的寛容の態度育成の方途を構想する。種々の宗教と称されている現象事例を取り上げる。

具体的には、身振り・音声・文字等の各教材、マルチメディア等を用いて、様々な題材を取りあげる。いわゆる神仏習合を彷彿とさせる広義の伊勢音頭、各地の民謡、歌謡曲、唱歌、数え歌、演歌、浪曲、説話、写真、古典音楽、詩、書など様々なジャンルの現象を観る。日常の実際生活の深層・表層面で、宗教的事柄が隠れたカリキュラム又は顕れたカリキュラムとして、人間形成に関与している諸相を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

予定は、前期では、用語「宗教教育」の教授概念5類型、宗教的情操教育の成立をめぐる対立的2見解、学校教育法にみえる用語考「目的-目標」、「判断-批判力」、「選択-決定」、教育観の分類：「開発-注入」「本覚-始覚」、「宗教の様々な分類」、「宗教の定義集」、あなたの定義を考える端緒、日本国憲法・教育基本法・初期社会科学習指導要領の相互補完関係（教育基本法第9条立法制定審議の推移の検証）、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実宗教教育と宗教科教育（教育職員免許法に規定）との差異検討（←だれでもの国語教育と、誰でもではない国語科教育との比較からの援用論）後期は、命題「法は風土の産物」（モンテスキュー『法の精神』）考、世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法各国の宗教教育、これからの宗教教育の教授概念検討（不均衡是正）政策・法律論議「何を教えることができないのか」の禁止事項教授概念論議、「何を教えることができるのか」の肯定的事項。シェフラーの教授概念検討（意図的用法・成功的用法、行動的解釈・非-行動的解釈、事実に言明文・規範的言明文、宗教教育の指導計画（児童生徒の疑問態、国内外の種々の歌、種々の年中行事（節分、雛祭り、七夕など）、合格祈願、日常用語になった仏教用語（挨拶・会釈・我慢・玄関・工夫・覚悟・油断・娑婆等）、医療現場のターミナル・ケア等、通過儀礼（入学式、卒業式、入社式、成人式、結婚式、等）等考察。最終回：まとめ

専門教育

履修上の留意点

宗教教育という用語への偏見・先入観をいったんは払拭して欲しい。教場の一時的移動指示掲示に注意すること。宗教学、宗教人類学等の関連授業科目を積極的に受講することを是非すすめたい。

成績評価の方法

レポート（夏季休暇後及び学年末提出、その他中間で適宜にレポート提出を求める）。出席を尊重する。

教科書

教材は適宜プリントを配布する。

参考書等

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』（大法輪閣、¥1,600）

その他

講義形式で実施する。資料整理用のA4版ファイル表紙を用意すること。詳細は授業にて。

科目名	心理学概論	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	ましま ひでとし 間島 英俊				

講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるでしょう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われます。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
 - 2 発達—自己から自己へのタイムトラベリング
 - 3 “こころ”のゆきづまり
 - 4 人と人との絆（家族と社会）
 - 5 みること・きくこと
 - 6 学ぶこと・考えること
 - 7 ここを動かす・行動を起こす
 - 8 人・仲間とかかわる
 - 9 ことばとコミュニケーション
- これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定でいます。

成績評価の方法

基本的には12月最終講義にて行う試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも補助的に評価されます。

教科書

根本・小島編著『理解とふれあいの心理学』（ミネルヴァ書房）2,300円

参考書等

講義内にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。

科目名	パーリ語初級	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	かたやま いちろう 片山 一良				

講義のねらい

パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は文法全体について講義し、後期は小部経典『自説』(Udāna)を講読する。

履修上の留意点

習得に丁寧であることが望まれる。

成績評価の方法

年度末テスト、および平常点による。

教科書

コピーにて配布する。

参考書等

水野弘元『パーリ語辞典』(春秋社)

その他

随時、テープ等を使用する。

科目名	パーリ語上級	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	ふるやま けんいち 古山 健一				

講義のねらい

この授業では、高度なパーリ語の文法及び語彙に関する知識を実践的に習得することで、パーリ伝統仏教の理解に不可欠なパーリ註釈文献の読解力を養うことを目指し、また、ローマ字本以外のテキスト(特にミャンマー第6回結集版)を使用しつつ読解を進めていくことで、異字本の参照能力を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

『ダンマパダ(法句)』の註釈書『ダンマパダ・アッタカター』(第2章「不放逸品註」以下)を、H.C.Norman校訂のパーリ文献協会(PTS)版のテキストを傍らに置きつつ、ミャンマー第6回結集版テキストにより講読する。前期はパーリ語の初級文法のおさらいと第6回結集版の正しいローマナイズに力点を置き、後期は文献の読解を通して上級文法を実践的に習得することに力点を置き、授業を進める。

履修上の留意点

パーリ語初級を履修済みであることが望ましいが、初級での学習事項を再確認する機会を設けつつ進めていくので、初心者でも履修は可能である。なお、演習形式の授業のため予習は必須である。

成績評価の方法

夏休みの提出課題と学年末試験の合計点数により評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

水野弘元『増補改訂パーリ語辞典』(春秋社)、4725円、ISBN439310156-1; 水野弘元『パーリ語文法』(山喜房佛書林)、3150円、ISBN4796300104

その他

授業方法は演習形式。使用する原典テキスト等はプリントで配布する。

科目名	サンスクリット語初級	開講	通年	単位	4
担当	禅仏234選				
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤				

講義のねらい 仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。

講義の内容・授業スケジュール 定評ある下記の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際の・基礎的な力を養う。

履修上の留意点 予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法 平常点と期末・年度末の筆記試験。

教科書 J・ゴンドラ著『サンスクリット語初等文法』（春秋社）

参考書等 辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

専門教育

科目名	サンスクリット語上級	開講	通年	単位	4
担当	禅仏234選				
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤				

講義のねらい 仏教などのインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の上級篇。

講義の内容・授業スケジュール 定評ある下記の教本をテキストに、サンスクリット語に関係の深いデーヴァナーガリー文字に習熟し、サンスクリット文法を改めて確認すると共に、サンスクリット文解読のための実際の力を養う。演習形式。

履修上の留意点 サンスクリット語初級程度の修了者であることが望ましい。

成績評価の方法 成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

教科書 ランマン著『サンスクリット読本』（Charles R.Lanman, A Sanskrit Reader）OUP

参考書等 辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

科目名	チベット語初級	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	まつもと しろう 松本 史朗				

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの（チベット人の著作）を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

授業の中で指示する。（授業初回に必ず出席すること）

科目名	チベット語上級	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	まつもと しろう きむら せいじ 松本 史朗・木村 誠司				

講義のねらい

チベットの仏教思想を理解するため、チベット人による著作を講読する。

講義の内容・授業スケジュール

『チャンキャ学説綱要書』等の学説綱要書やツォンカパの著作等を順次に講読する。

履修上の留意点

チベット語初級を修了しているか、チベット語文法を修得し、チベット文の読解能力があることが、受講には必要である。

成績評価の方法

平常点によって成績を評価する。

教科書

初回の授業で指示する。

参考書等

松本史朗著『チベット仏教哲学』（大蔵出版、1997年）、四津谷孝道著『ツォンカパの中観思想』（大蔵出版、2006年）

科目名	ラテン語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	うえの かつひろ 上野 勝広				

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、基礎文法の要点を順次説明してゆきます。必要に応じてテキストにない文例も補充し、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。
前期は序論から第12課まで、後期は第13課から第24課までを学習します。

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。

1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。

成績評価の方法

年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（60％）に平常点（40％）を合わせて評価します。

教科書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参考書等

辞書と共に初回の授業で紹介します。

科目名	仏教文献学	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	のぞわ よしみ 野沢 佳美				

講義のねらい

本講義では、中国で編纂された仏教経典の一大叢書である大蔵経（一切経）の歴史とそれを取り巻く諸問題を取り上げます。

仏教が中国に伝えられて以降、様々な仏典が翻訳・書写され、その集成されたものが大蔵経です。当初大蔵経は書写されましたが、やがて印刷されるようになると、その巻数も膨大なものになり、また大蔵経の種類も次第に増えていきます。本講義では、そうした大蔵経の成立とその編纂経緯などを眺めながら、今日までアジア各国に伝えられた各種大蔵経の意義などを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、中国における大蔵経編纂の概観をおこない、おもに宋～元代以降の印刷大蔵経の変遷と周辺諸国への伝播などを取り上げます。

後期では、明代以降の大蔵経を取り上げ、とくには明初の南蔵・北蔵・嘉興蔵などの各大蔵経の編纂経緯、仏典入蔵問題などを取り上げ、その問題点などを考えていきます。

履修上の留意点

本講義では大蔵経編纂の流れを基軸とし、これに個々の大蔵経を取り巻く諸問題を取り上げますので、継続した出席が必要となります。中途半端な気持ちで履修しないことを望みます。

成績評価の方法

出席状況と前期末・後期末のレポート提出にて評価します。

教科書

とくには定めません。随時プリントを配付します。

参考書等

『大蔵経－成立と変遷－』（百華苑）1989年再刊
 竺沙雅章『宋元仏教文化史研究』（汲古書院）2000年
 竺沙雅章「大蔵経編纂」（『大谷大学通信』50号）2000年
 椎名宏雄『宋元版禅籍の研究』（大東出版社）1993年
 野沢佳美『明代大蔵経史の研究』（汲古書院）1998年

その他

授業は講義が中心となりますが、その都度意見を求めることがあります。また、必要に応じてビデオの鑑賞、博物館・図書館見学も考えています。

科目名	中国文学	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	佐藤 浩一 <small>さとう こういち</small>				

講義のねらい

唐詩や漢文といった、中国の古典文学について講義します。仏教とのかかわりを持つ文学作品についても、折々に触れてゆきます。各作品の魅力に触れつつ、その意義について一緒に考えてゆきましょう。
なおこの授業では、漢文訓読についても講義します。少しづつ訓練を重ねて、文献を読む上で必要な訓読のルールを身につけていって下さい。

講義の内容・
授業スケジュール

4・5月は、長い歴史をもつ中国文学の全体の流れを、通史的に講義します。
6月以降は、全体の流れで紹介した具体的な作品を読んでゆきます。
後期からは、特に唐代文学を中心とした授業を行う予定です。

履修上の留意点

毎回かならず簡単な質問をします。また、出席を重視します。夏休み明けにレポート提出を予定しています。漢和辞書は必携。中国語履修の必要はありません。

成績評価の方法

教場試験・出席状況・提出物などを、総合的に勘案して評価します。

教科書

尹夏清『図説中国文明史（6）隋・唐開かれた文明』（創元社）

参考書等

『新明解漢和辞典』『全訳漢辞海』（ともに三省堂）

科目名	禅美術	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234選				
担当者名	むらまつ てつみ 村松 哲文				

講義のねらい

禅宗では、はじめ偶像を崇拜せず、自己の内面に仏性を悟ることを旨としていた。そのため仏像や仏画などが制作されることはなかったが、宋代になると僧侶たちが余暇に水墨画を描くようになり、これが宮廷の庇護を受けるなどして職業画家まで出現するようになる。描かれた題材は、山水・花鳥・祖師などで、これらを総称して禅絵画という。日本では、留学僧によって鎌倉時代に禅絵画が伝わり、ついには日本独自の水墨画を完成させた。本講義では、絵画を中心に話を進めるが、彫刻や墨蹟、庭園などについても触れてゆきたい。そして、作品に見え隠れする制作者の宗教性と美意識を考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義ガイダンスと宋代の社会と仏教（1～3）
 北宋の絵画（4～7）
 南宋の絵画（8～11）
 元の絵画（12～15）
 鎌倉時代の絵画（16～19）
 室町時代の絵画（20～23）
 枯山水の庭園（24～25）
 頂相彫刻（26～28）
 禅宗の建築と美意識（29～30）

履修上の留意点

講義内容を留めるのみならず、講義の際に映すスライドなどもしっかり観察すること。また美術館・博物館に行き、実物を観察する機会を多くつくること。

成績評価の方法

定期試験、出席率、レポートなどで総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科目名	仏教美術	開講	通年	単位	4
担当	禅仏234選				
担当者名	むらまつ てつふみ 村松 哲文				

講義のねらい

日本の仏教美術について、歴史的な背景と照らし合わせながら概観する。一つのモチーフが時代によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。

また本講義では、美術作品から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。なおインド・中国・朝鮮半島の仏教美術については「総合I(3) 仏教と芸術」で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

仏教美術の世界 (1)
飛鳥時代の仏像 (2~7)
白鳳時代の仏像 (8~10)
天平時代の仏像 (11~15)

〔後期〕

平安時代の仏像 (16~20)
鎌倉時代の仏像 (21~25)
仏教美術の荘厳 (26~30)

以上は予定で、適時仏教美術関係の展覧会について解説を予定している。

履修上の留意点

美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。

成績評価の方法

定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	いいつか ひろのぶ 飯塚 大展				

講義のねらい	『狂雲集』の読解
講義の内容・ 授業スケジュール	①一休宗純の伝記と著作 ②『狂雲集』の講読
履修上の留意点	ゼミ発表担当者は予めレジュメを作成し配布しておくこと。
成績評価の方法	担当者の発表とその内容に関する質疑応答を中心に演習をすすめる。
教科書	教科書は用いない。テキストは随時配布する。
参考書等	参考書は、演習説明とともに行ない、テーマ毎に随時紹介する。
その他	ゼミ形式。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	いけだ れんたろう 池田 練太郎				

講義のねらい	古来、仏教における入門的な論書として重んじられてきた世親（Vasubandhu）の著作『阿毘達磨俱舍論』（Abhidharmakosabhasya）を、サンスクリット語の原典と玄奘による漢訳を用いて講読する。この講読を通して、仏教の重要な術語や概念を理解するとともに、仏典を正確に読解する力を身につけ、仏教に関わる諸問題について自ら考察する姿勢を養いたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期には玄奘訳『俱舍論』を中心に講読し、後期にはサンスクリット語テキストによって同書を講読する。
履修上の留意点	毎週当番制で和訳を附してもらいが、当たっていない者も必ず予習をして授業に臨んでほしい。
成績評価の方法	授業における平常点によって評価する。
教科書	テキストは最初の授業のさいに説明する。
参考書等	関連する問題について発表してもらおうことも考えている。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	池田 魯参 <small>いけだ るさん</small>				

講義のねらい

天台教学思想を介して仏教の根本思想を学ぶ。

『摩訶止観』は中国隋代の天台智顛（538～597）によって講説され、当時の南北の地で活躍した仏教者たちの実践理論を踏まえ、独自の仏教理解を提示する。我が国では平安時代以後の日本仏教の展開において極めて重要な役割をはたした。禅宗の展開においても本書の学説は常に意識されている。我が道元も『摩訶止観』やその注釈書である『摩訶止観輔行伝弘決』などから種々の考えを参照している。多くの注釈研究書があるので、本書の仏教観を多角的に検討し、仏教思想の現代的意義を究明したい。

講義の内容・授業スケジュール

漢文で書かれた仏教教理学のテキストを読解できる学力を養うために、根気よく難字難語・専門用語などを一字一句辞書を使って調べて頂き、勉強の成果を当番を決めて発表してもらう。できたらその発表事項について問題点を質疑応答してもらう。

成績評価の方法

毎時限、休まず出席すること、演習の当番に当たったときは全力を傾注して責任を果たすこと、授業中に積極的に質疑応答をすること、等の平常の授業態度を見て評価する。

教科書

池田魯参『詳解摩訶止観』現代語訳編・定本訓読編・研究注釈編全三巻（大蔵出版刊）から講読箇所を適宜コピーして渡す。

参考書等

関口真大校注『摩訶止観』上下巻（岩波文庫）。
『天台大師全集』所収『摩訶止観』会本全五巻。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	石井 公成 <small>いしい こうせい</small>				

講義のねらい

ベトナム禅の歴史書である『禅苑集英』を読み、ベトナム禅の特色について考える。その際、中国側の史料との比較検討を通じて史料批判を行ない、史実と伝承の区別に努める。

講義の内容・授業スケジュール

漢文の原文と Cuong Tu Nguyen の英訳、Zen in Medieval Vietnam: A Study and Translation of Thien Uyen Tap Anh とを対比して読み、正確な読解を行う。関連する中国の禅文献を随時参照する。

履修上の留意点

初めはこちらで説明するが、慣れてきたら、毎回、数行ずつ訳読を担当してもらい、場合に応じて、中国の禅文献との比較も行ってもらおう。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

『アジア仏教史・中国編4 東アジア諸地域の仏教』川本邦衛「ヴェトナム仏教」（佼成出版社、1976年）

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	石井 修道				

講義のねらい

演習のテキストとして禅の究明に欠かせない『景德伝燈録』を選んだ。1004年に完成した『景德伝燈録』は、それ以前の禅とは何かを知る上でも必読の本であるし、それ以降の禅を学ぶ上には欠くべからざる指針の本である。また、道元禅師が暗記するまで読まれたことは間違いないので、道元禅師の研究をする上でも必読の本である。

講義の内容・授業スケジュール

『景德伝燈録』30巻は、世に「一千七百の公案」と呼ばれる。この演習はその一つ一つを丁寧に読む。なお今年度は巻16以降の青原系の著名な禅者を読む。

履修上の留意点

元版の序文によると、367,917字で刻まれたという。それを編集し、書写し、さらに一字一字を刻した人の苦勞を思う時、まず我々はその一字一字を辞典を使用して確かめることから出発し、意味を考え、そして意図を探りたいものである。一年間で学べる分量はわずかであるが、禅者一人一人を禅宗史の上でどのように学問的に追求したらよいかを学んで、他の研究に応用できるように身につくまでまなびたい。

できる人は中国語の発音まで調べてくること。

成績評価の方法

演習は当番が担当する。また、その年度内に読んだ禅者の中から興味ある人を一人選び、その伝記と思想の特色をレポートに書いて最終授業の時に提出する。400字詰5枚程度（ワープロ可）。

教科書

『景德伝燈録』（中文出版社 京都）2,880円

参考書等

入矢義高監修『景德伝燈録三』『同 四』（禅文化研究所）各8,500円
入矢義高監修『禅語辞典』（思文閣出版）9,785円
石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	石井 清純 <small>いしい きよすみ</small>				

講義のねらい

近年、インターネットの発達と漢字表記の発展により、仏教・禅の研究においてもコンピュータネットワークの重要性が飛躍的に増大した。それは具体的には世界各国による仏教典籍のオンライン供給という形として現れている。

本演習は、前期中にコンピュータオペレーションの基礎を学び、後期には、それを利用して、ネット上の仏教情報の検索、収集、分析方法の演習を行ってゆく。

講義の内容・授業スケジュール

前期中に、まず、コンピュータ機器に関する基礎知識と基本操作を身につけ、オンライン資料の使用法に慣れることを目的に授業を進める。

その後、チームを作成、仏教関係の課題について関連情報を検索・収集し、結果をコンピュータを用いて発表してもらう。

履修上の留意点

講義やプレゼンテーションは、すべてコンピュータを用いるので、パソコンの基本操作を必ず身につけてもらわなければならない。できれば、個人で自由に使用できるパソコンを保有していることが望ましい。

成績評価の方法

演習中の発表内容をもって評価する。

参考書等

講義中に適宜指示する。

専門教育

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	伊藤 隆壽 <small>いとう たかし</small>				

講義のねらい

中国への仏教伝来は、2世紀ころから本格化するが、それはインドや中央アジア出身の仏教者が次々に中国にやって来て、仏典を紹介したことに始まる。彼らは、どこでどのような仏教を学び、いかにして中国にやって来たのであろうか。その一端を、6世紀に撰述された慧皎の『高僧伝』を読むことにより明らかにしよう。

講義の内容・授業スケジュール

『高僧伝』巻1の「訳経篇」を読み、解説する。

履修上の留意点

漢文に慣れるために、当番を決めて予習してもらうので、主体的積極的な学習を期待する。

成績評価の方法

平常点とレポートによる。

教科書

大正蔵50巻所収のテキストは、コピーを配布する。

参考書等

開講時に紹介する。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	いわなが しょうせい 岩永 正晴				

講義のねらい

江戸時代中期の曹洞宗僧侶が著わした『正法眼蔵』注釈書を対象として演習を行う。各注釈書の背景にある教養や、注釈態度・目的などの調査分析を通して古人の参究の成果を学ぶと共に、演習参加者自身の研究に必要な知識や方法を修得して貰いたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

今年度も前年度に引き続き、『正法眼蔵』参究の初学者がまず始めに参照すべき書として伝承されてきた『正法眼蔵聞解』（斧山玄トツ述）を中心に演習を行う。

履修上の留意点

大学での学習・研究の中でも、演習が担う役割は極めて大きいと考えるので、積極的に参加して貰いたい。また我々は仏教を学ぶのであるから、私も含めた参加者全員が互いに協力し励まし合って学んで行きたい。

成績評価の方法

平常の参加態度と、学年末提出のレポートで評価する。

教科書

『正法眼蔵註解全書』所収本の必要箇所をコピーして配布する。

参考書等

『永平正法眼蔵蒐書大成』17（大修館書店）・鏡島元隆『道元禅師とその門流』（誠信書房）・河村孝道『正法眼蔵の成立史的研究』（春秋社）など。但し以上は入手が困難であろうから、図書館を活用して貰いたい。その他は随時紹介する。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	大谷 哲夫				

講義のねらい

『永平広録』(10巻)は、道元禅師の弟子たちが編纂した禅師の語録であり、禅師の主著である『正法眼蔵』以外では、特に禅師晩年の宗旨吐露の大演法はまさにここに極まるので、その現代的意義を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、祖山本『永平広録』を底本とし、それに円山本『永平広録』を対比し、現今経眼しうる江戸期の宗学者の注解をも考究し、伝灯宗学の立場をも併せ勘案しながら、そこに展開される正伝の仏法の真意義を基礎的に順次参究する。

履修上の留意点

指定する演習部分を事前に熟読してくること。

成績評価の方法

年間二度のレポート提出と出席。

教科書

祖山本『永平広録』・円山本『永平広録』。
演習箇所は適宜にコピーし配布する。

参考書等

『道元禅師 おりおりの法話』(曹洞宗宗務庁)
『祖山本 永平広録 考註集成』(上下二巻 大蔵出版)
『円山本 永平広録 考註集成』(全一卷 一穂社)
『永平広録注解全書』(上中下索四巻 鴻盟社)
その他の必要文献は適宜コピーし配布する。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	奥野 光賢				

講義のねらい

経自らが「諸経の王」と称しているように、あまたある大乘經典の中で東アジア世界に最も流布した經典が『法華経』である。本演習では鳩摩羅什訳『妙法蓮華経』を中国・日本で著された各種法華経注釈書にも目を配りながら講読し、法華思想の考究に及びたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講から数回程度は予備知識確認のため概説的授業を行なう。以後、直ちに講読に入る。今年度は「序品」から読む予定。

履修上の留意点

授業への主体的参加を望みたい。

成績評価の方法

純然たる演習科目なので平常点のみによって評価する。

教科書

授業で用いるテキストは配布するが、岩波文庫本『法華経』全3冊を所持しておくことが望ましい。

参考書等

参考書はあまたある。それらは授業において適宜指示するが、さしあたっては次の2書をあけておく。①田村芳朗『法華経』(中公新書)、②菅野博史『法華経入門』(岩波新書)

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	かたやま いちろう 片山 一良				

講義のねらい

釈尊によって説かれた原初の教えを「原始仏教」と呼ぶ。その基本的な教えを正しく理解し、いわゆる「大乘仏教」の根本的思想を把握するための足がかりを築きたい。

講義の内容・
授業スケジュール

聖典語とされるパーリ語で書かれた原始仏典を読む。本年はその最古層に属する『如是語』を選び、五蘊、縁起、中道などについて、またその教えをめぐる文化的背景を考える。

履修上の留意点

受講者はパーリ語初級程度の知識をそなえていることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は各自の課題に基づく発表により行なう。

教科書

テキストはPTS本 (Itivuttaka) を使用。(コピー配布)

参考書等

南伝大蔵経第23巻、その他。

その他

授業は講読・討論を主とする。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤				

講義のねらい

仏教の成立・展開にも大きく関わった、インドの思想史・文化史的背景を何う種々文献資料や、いわゆる正統バラモン哲学の基礎的な文献資料を原典で読む。

履修上の留意点

テキストなど詳しいことは、教場にて適宜指示するが、受講者は、サンスクリットの初級程度の知識を有していることが望ましい。また、自分の個人的学問的関心を常時鋭化し、文献渉猟と言葉によるプレゼンテーション技術の習得を心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	熊本 英人				

講義のねらい

日本の仏教と近代について考える

講義の内容・
授業スケジュール

明治維新を境に、仏教とそれを取り巻く環境は大きく変わった。日本の仏教、寺院は、どこが変わりどこが変わらなかったのか。近世の寺請制度と仏教批判、明治維新期の神仏分離を初めとする混乱、そして、近現代において、仏教はどのように社会と関わってきたか。近代仏教を視点に、僧侶や寺院のあり方について考えてみたい。ここでは、曹洞宗の例を中心に、様々な文献を使って読み解いていく。

テキストについては、受講者の興味も考慮して選択する。

履修上の留意点

適宜、小レポートを課す。

成績評価の方法

平常点及びレポート。

教科書

テキストおよび参考資料は、必要に応じてコピーで配布する。

参考書等

演習の中で随時紹介する。

その他

演習IIについては、卒業論文の指導にも配慮して講座を進める。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	佐藤 秀孝 <small>さとう ひでたか</small>				

講義のねらい

日本禅宗の草創期の禅僧、とくに鎌倉・南北朝時代に活躍した道元禅師から瑩山禅師やその弟子たちに至る初期曹洞宗教団の祖師方の伝記資料その他を読み進めたい。具体的には江戸時代の僧伝や禅宗灯史が成立する以前の、より素朴な中世撰述資料などをテキストとして演習する。演習を通して資料の読解力を養うだけでなく、禅僧たちの生きざまを通して彼らが目指した禅宗叢林のありかたなど、中世禅宗の息吹きを感じてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに初期曹洞宗に関して、歴史的な概要や現存する史資料について口述し、その後、特定の伝記資料について演習する。その際、学生が輪番形式で割り当てられた箇所について書き下し文と語句の説明と訳文を作って資料を発表してもらう。

履修上の留意点

資料の多くが漢文ないし漢字仮名交じり文で表現されており、しかも独特の禅宗用語や中世用語が用いられていることから、漢文（とくに禅宗漢文）や日本禅宗史の素養を深めておいて欲しい。

成績評価の方法

担当した演習箇所の内容と出席日数を換算して成績を評価するが、授業時間内の態度や意気込みなども総合的に加味したい。

教科書

特定の教科書は使用しない。『三大尊行状記』や古写本『建撕記』などの内容を、『曹洞宗全書』『史伝下』や『続曹洞宗全書』『寺誌・史伝』その他当該資料よりプリントして配布する。

参考書等

大久保道舟『道元禅師伝の研究』や竹内道雄『道元』（人物叢書）など道元禅師に関する研究書、東隆真『瑩山禅師の研究』など瑩山禅師に関する研究書。『永平寺史』など初期の曹洞宗に関する研究書。

その他

演習では毎時間、担当者を割り当てて調べてきた成果を発表してもらい、それを教員が改めて内容を検討していく。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	つのだ たいりゆう 角田 泰隆				

講義のねらい

道元禅師の歴史的研究（道元禅師の伝記並びにその時代の諸研究）、書誌〔文献〕的研究（著作の成立等に関する研究）、思想的研究（著作の内容に関する研究）の研究方法を見につける。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に、道元禅師に関する研究の研究方法について概説し、その後、道元禅師の主著『正法眼蔵』の研究をする。今年は「摩訶般若波羅密」巻を読む。『正法眼蔵』の研究方法について学んだ後、前期は、図書館を利用しての自主研究の時間とし、研究ノートを作成してもらう。この間は、図書館あるいは研究室にて個々に指導する。後期は、演習形式で「摩訶般若波羅密」巻を読む。

履修上の留意点

研究ノートの作成方法については、授業にて詳細を説明するが、用語の意味調べ、出典調べ、訳文の作成等、根気よく研究することが必要となる。また、図書館での自主研究では、静粛に学習するよう特に留意していただきたい。

成績評価の方法

研究ノートを提出していただき、それによって評価する。

教科書

なし

参考書等

授業において紹介する。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	てい せい 程 正				

講義のねらい

この講義は、中国初期禅宗史を研究するための基礎的な知識と技能の習得をそのねらいとする。本年度は、『二入四行論』の輪読を行う予定である。『二入四行論』とは、中国禅宗の始祖と仰がれる菩提達摩の禅法とされる「二入四行」を巻首にもつ、一万字以上からなる長篇の初期禅宗語録のことである。このテキストを読むことによって、草創期の中国禅宗の禅思想の核心を明らかにしていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には、柳田聖山氏の校訂したテキストと近年椎名宏樹氏によって全文を紹介された天順本『菩提達摩四行論』とを比較しながら、それをワープロに起こし、書き下し、引用に関しては出典を探し、内容を理解するという作業を繰り返し行う予定である。最初の二、三回は『二入四行論』に関する従来の研究成果などの紹介に当て、その後は、テキストを適量分量に区切って参加者全員に配分し、参加者は輪番でそれぞれの担当箇所について資料を作成し発表を行う予定である。

履修上の留意点

それぞれ担当する内容については、発表資料の作成などの予習が不可欠である。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。合わせて中国禅宗史、中国語を履修することが望ましい。

成績評価の方法

授業における発表、期末の課題レポート、出席点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

柳田聖山『達摩の語録』（禅の語録1）（筑摩書房）1969年
柳田聖山『ダルマ』（人類の知的遺産16）（講談社）1981年

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	ながい まさし 永井 政之				

講義のねらい

北宋を代表する禅者の一人、慧洪（1071～1128）の著わした『林間録』を読みます。北宋を代表する禅者の一人である慧洪は、その生涯において4度の下獄を経験するほどの波乱の人生を送ります。一方、その著作『石門文学禅』は「五山文学」の世界に大きな影響をあたえました。かくしてその評価はさまざまとなりますが、彼が「あるべき教え」と「人」を模索し続けたことは疑いありません。その集約が『林間録』にあります。

時には皮肉を込め、時には慨嘆しつつ語られる北宋禅の世界は、「灯史」に限定されない生き生きとした様相そのものを語っているのではないのでしょうか。

成績評価の方法

評価は当番に当たった際の発表や、ふだんの履修態度を総合的に評価します。

教科書

テキストは江戸時代の木版本をコピーして使用します。返り点や送りがなも付されているので、比較的読みやすいと思います。

参考書等

参考書については授業中に適宜指示しますが「漢和辞典」は必ず用意してください。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	はかまや のりあき 袴谷 憲昭				

講義のねらい 日本における仏教の教義展開の把握。

講義の内容・授業スケジュール 法相宗の基本典籍『成唯識論』の演習講読。

履修上の留意点 よく下調べをしてくること。

成績評価の方法 平常点。

教科書 新導本『成唯識論』、購入できない学生のためにはコピーを用意する。

参考書等 唯識三箇疏およびそれらの関連書。

その他 必要なものは適宜指示する。

専門教育

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	はかせやま しゆんえい 晴山 俊英				

講義のねらい まずは基礎的な辞書類の選び方・使い方を習得し、自らの手で疑問を解決できるようにする。最終的には受け身の学問から攻めの学問へ転ぜられたい。

講義の内容・授業スケジュール 曹洞宗禅戒諸資料を読む。いわゆる仏教全体の中にあって禅宗の戒律思想は頗る特異で、教家のそれと比較し難いとされる。しかし幸いにも江戸期の先学が禅戒について詳細に議論をする中で随所に教学的考察を試みている。この点を念頭に置きつつ、本演習では道元禅師ないし曹洞宗における戒律思想を探るべく曹洞宗関係を中心に諸資料を参究していく。

履修上の留意点 4年次生には、前期末より卒業論文中間報告をして貰う。

成績評価の方法 出席の状況ならびに平常点によって評価する。

教科書 適宜指示する。

その他 夏季休業中にゼミ合宿を行なう。その他、演習説明会（個人）で配布した資料に授業の進め方や注意事項が記載してあるので、目を通しておくこと。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	まつもと しろう 松本 史朗				

講義のねらい

インドの大乗仏教の基本的概念・教理を理解するために、初期瑜伽行派の重要なテキストである『菩薩地』を、サンスクリット語（梵語）の原典で読む。

講義の内容・
授業スケジュール

原典を履修者に和訳してもらう。

履修上の留意点

テキストは、サンスクリット語なので、サンスクリット語初級を修了した程度の語学力を要する。

成績評価の方法

成績評価は、出席を含む平常点による。

教科書

テキストなどの詳細は、教場で指示する。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	まつだ ようじ 松田 陽志				

講義のねらい

江戸時代はさまざまな論点から曹洞宗学の枠組みの全面的な見直しが行われるが、主要な論点の一に、〔偏正〕五位説の解釈とその位置づけがある。五位説は中国曹洞宗の洞山良价やその法嗣の曹山本寂によって説かれたとされ、江戸時代の宗学者にとっても道元禅師の『正法眼蔵』研究と共に、曹洞宗の宗義を検討する重要な論点となった。江戸時代の五位説解釈の内容を具体的な文献の読解によって検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

取り上げる文献については、受講者と相談しながら決めていくが、基本的には江戸時代における、五位説解釈をめぐる様々な論議の出発点となった永覚元賢の『洞上古轍』がとりあげる『参同契』もしくは『宝鏡三昧』の註釈を読解し、その内容を検討する。

『洞上古轍』の刊行をうけ、江戸期の曹洞宗学者は『参同契』『宝鏡三昧』の註釈を続々と撰述刊行する。これらの宗学者の註釈も同時に読解しながら、これらの註釈中に示される〔偏正〕五位説の研究史や具体的解釈や議論の内容についても解説する。

履修上の留意点

図書館や辞書を積極的に利用して、自分の頭で文献を読み内容を考察することを基本的姿勢としてほしい。自分で納得するまで考えること。

成績評価の方法

出席及び学習態度・発表内容による。

教科書

必要となる文献資料をコピーして配布する。

参考書等

図書館などの利用方法を含めて、随時紹介する。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ	開講	通年	単位	4
担当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	村松 哲文				

講義のねらい

本演習は、禅美術・仏教美術の研究を志す学生を対象とする。美術史を研究してゆく上で必要なことは、漢文読解の能力と美術品観賞の眼力である。授業では、『歴代名画記』あるいは『魏書』釈老志などを輪読しながら、適時受講者による発表を行ってもらおう。また、美術館・博物館の見学を通じて美術品の基礎的な観賞法をトレーニングしてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

発表では、各自担当分の読み下しと現代語訳を用意してくること。また輪読の合間に、受講者が興味を抱いている研究課題について随時報告をしてもらう。

履修上の留意点

美術品の観賞は経験がものを言うので、時間のゆるす限り実物を観る機会を多くつくること。

成績評価の方法

発表内容と出席率などによる総合評価。

教科書

プリントで配布する。

参考書等

『歴代名画記』（岩波文庫）
『歴代名画記』（平凡社東洋文庫）

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ	開講	通年	単位	4
担当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	吉津 宜英				

講義のねらい

東アジアにおける中道思想論
仏教の実践の原点は『律蔵』『大品』での五比丘への説法、初転法輪に見られるように苦楽の二辺を離れた中道にあると思う。また釈尊が重要な場面で強調した自洲と法洲の水平対等のあり方も中道の内容を規定する姿勢と考える。ところで大乘になると空が強調され、一切の法の階層性が空じられて、例えば「生死即涅槃」「煩惱即菩提」に類する相即観が説かれる。そのような相即観は「不二」とも表現され、例えば吉蔵の三論教学には「不二中道」の用例も見える。中道に不二の意味を読み込むことは中道の原意から逸脱すると考える。東アジアの諸教学に中道の諸形態を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

最初に私が演習の趣旨を総合的に説明する。各自はそれぞれ自分のテーマを設けて、年間1・2回、約15分前後の小発表を行ってもらいたい。それをめぐって、質疑応答し、問題点を掘り下げたい。

履修上の留意点

出来るだけ積極的に演習の討議に参加してもらいたい。

成績評価の方法

小発表の内容と、毎週の質疑応答に積極的に参加することを評価の第一のポイントにする。次に1月15日締め切りで10枚（400字原稿用紙換算、ワープロも可）以上の小論文の提出を求める。小発表と小論文のテーマは異なってもよい。以上の小発表と小論文、そして質疑応答への積極的な参加を総合的に勘案して評価する。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>				

講義のねらい

唯識思想とは、あらゆる存在はただ心のあらわれにすぎないとみて、自己の心のありかたを変革して悟りに到達しようとする教えである。この思想は4-5世紀頃にインドで大成し、中国における独自の発展を経て、東アジア仏教の基礎学となった。

この演習では、唯識の綱要書である『成唯識論』を講読する。『成唯識論』は世親（Vasubandhu 4-5世紀）の『唯識三十頌』に対する十大論師の注釈を、玄奘（602-664）が編集・翻訳したものである。東アジアにおいて唯識の聖典として学ばれてきた本書を、解説を加えながら精読したい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は『成唯識論』巻三、初能変（アーラヤ識に関する議論）の部分を読み進める。卒業論文の研究指導も随時行う。

履修上の留意点

本書の漢文は難解であるため、本文とともに書き下し文を配布する。それを参考に予習して訓読できるようにしていただくこと。また、意味の分からない語句は、辞書で調べておくこと。

成績評価の方法

出席と予習の状況を総合して評価する。試験は行わない。

教科書

『新導成唯識論』の該当部分をコピーして配布する。参考書等は授業中に随時紹介する。

参考書等

授業中に随時紹介する。

専門教育

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	禅仏3必 禅仏4選				
担当者名	四津谷 孝道 <small>よつや こうどう</small>				

講義のねらい

この演習では、大乘仏教における、特に中観思想における「空」について検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

『般若経』において説かれた「空」に論理的な根拠を与え、中観思想の礎を築いたのは、龍樹（ナーガールジュナ、紀元2-3世紀）という人物である。当演習では、この龍樹を開祖とする中観派の思想を中心に、大乘仏教を広い視野で考察してみたい。

今年度はインド思想全体を視野に入れ、「沈黙」をテーマに「空」とは何かを探ってみたい。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

年度末のレポートによって評価する。

教科書

特になし。

参考書等

授業において、随時言及する。

その他

聴講は、原則として認めない。

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

〔フレックスA時間帯（月～金の1～5時限、土の1～4時限）に開講される他学部履修科目〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
上代文学研究Ⅰ	他（国）禅仏英地文環境歴日外 考社福心営A34選	通年	4	中嶋真也	439
中古文学研究Ⅰ	他（国）禅仏英地文環境歴日外 考社福心営A34選	通年	4	桜井宏徳	440
中世文学研究Ⅰ	他（国）禅仏英地文環境歴日外 考社福心営A34選	通年	4	櫻井陽子	440
近世文学研究Ⅰ	他（国）禅仏英地文環境歴日外 考社福心営A34選	通年	4	近衛典子	441
近代文学研究Ⅰ	他（国）禅仏英地文環境歴日外 考社福心営A34選	通年	4	榎本正樹	441
比較文学	他（国）禅仏英地文環境社福心 営A GM34選	通年	4	木村朗子	442
西洋思想史	他（国）禅仏英地文環境社福心 経A商営A GM34選	通年	4	柴野博子	442
演劇概論	他（国）禅仏英地文環境社福心 営A GM34選	通年	4	森井直子	443
日本民俗学	他（国）禅仏英地文環境社福心 経A商営A GM34選	通年	4	谷口貢	444
イギリス文学特講Ⅰ				休講	
イギリス文学特講Ⅱ	他（英）禅仏国地文環境歴日外 考社福心営A GM34選	通年	4	高野正夫	445
イギリス文学特講Ⅲ	他（英）禅仏国地文環境歴日外 考社福心営A GM34選	通年	4	岡崎寿一郎	446
イギリス文学特講Ⅳ	他（英）禅仏国地文環境歴日外 考社福心営A GM34選	通年	4	川崎明子	446
イギリス文学特講Ⅴ	他（英）禅仏国地文環境歴日外 考社福心営A GM34選	通年	4	増田恵子	447
イギリス文学特講Ⅵ	他（英）禅仏国地文環境歴日外 考社福心営A GM34選	通年	4	丸小哲雄	448
アメリカ文学特講Ⅰ	他（英）禅仏国地文環境歴日外 考社福心営A GM34選	通年	4	東雄一郎	449
演劇特講(イギリス・アメリカ)	他（英）禅仏国地文環境歴日外 考社福心営A GM34選	通年	4	落合和昭	450
時事英語	他（英）禅仏国地文環境歴日外 考社福心経A商営A34選	通年	4	サンダース、L. P.	450
人口地理学	他（地文）禅仏国英歴日外考社 福心経A商営A GM34選	通年	4	山内昌和	451
文化地理学	他（地文）禅仏国英歴日外考社 福心経A商営A GM34選	通年	4	小田匡保	452
現代地理学特論				休講	
日本史特講Ⅶ【〔近代〕】	他（日）禅仏国英地文環境社福 心経A商営A GM34選	通年	4	熊本史雄	453

他学部
履修科目

東洋史特講Ⅲ【〔近世史〕】	他(外) 禅仏国英地文環境社福 心営A G M34選	通年	4	杉山清彦	453
西洋文化史	他(外) 禅仏国英地文環境社福 心経A商営A G M34選	通年	4	石田恵子	454
考古学特講Ⅲ				休講	
産業・職業社会学				休講	
マス・コミュニケーション論	他(社) 禅仏国英地文環境歴日 外考経A商営A34選	通年	4	川本勝	454
社会福祉発達史	他(福) 禅仏国英地文環境歴日 外考心経A商法A政営A G M34 選	通年	4	堀千鶴子	455
日本経済史	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政G M34選	通年	4	渡邊恵一	456
農業政策	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福営A34選	通年	4	溝手芳計	457
日本経済論	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考法A政G M34選	通年	4	小林正人	458
中国経済論	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政営A G M34選	通年	4	小杉修二	459
アメリカ経済論	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政営A G M34選	通年	4	瀬戸岡紘	460
EU統合論	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福政営A G M34選	半期	2	廣田愛理	461
現代西欧経済論	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福政営A G M34選	半期	2	廣田愛理	461
ロシア・東欧経済論				休講	
財務会計論	他(商) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政G M34選	通年	4	小栗崇資	462
会計監査論	他(商) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政G M34選	通年	4	森田佳宏	463
管理会計論 a	他(商) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政34選	半期	2	石川祐二	464
管理会計論 b	他(商) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政34選	半期	2	石川祐二	464
貿易論	他(商) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政営A G M34選	通年	4	古沢紘造	465
経済法	他(法A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心営A G M34選	通年	4	若林亜理砂	466
国際政治学	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営A G M 34選	通年	4	小堀訓男	467
ヨーロッパ政治史	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営A G M 34選	通年	4	浦田早苗	467
地方自治法	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商営A34選	通年	4	富井幸雄	468

比較政治学	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM 34選	通年	4	三竹直哉	469
現代国家論	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM 34選	通年	4	大塚桂	470
経営労務論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政GM34選	通年	4	鹿嶋秀晃	471
国際経営論				休講	
商業史	他(営A) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選	通年	4	山田勝	472
保険経営論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政GM34選	通年	4	石名坂邦昭	473
財務会計論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選	通年	4	渡邊恵一郎	474
経営分析論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商法A政GM 34選	通年	4	片桐伸夫	475
税務会計論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選	通年	4	高木克己	476
経営情報論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商法A政34選	通年	4	岩渕匠	477
情報理論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商法A政34選	通年	4	西村和夫	478
経営統計	他(営A) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商法A政34選	通年	4	長国強	479
医療宗教学	他(放) 禅仏国地文環境歴日外 考社福心営A34選	半期	2	吉津宜英	480
医療経済学	他(放) 禅仏国地文環境歴日外 考社福心経A商営A34選	半期	2	永山くに子	481
メディア・コミュニケーション概論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選	半期	2	西岡洋子	482
ネットワークコミュニケーション論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選	半期	2	菅谷実	483
情報メディア産業論 I	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選	半期	2	福家秀紀	484
比較メディア制度論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選	半期	2	西岡洋子	485
都市とメディア	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選	半期	2	高媛	485
グローバルアート政策論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選	半期	2	川崎賢一	486
グローバル創造都市論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政34選	半期	2	川崎賢一	486
情報保護と社会	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選	半期	2	苗村憲司	487
異文化コミュニケーション				休講	

女性史				休講	
文化概論				休講	
国文学特殊研究				休講	
古典戯曲演劇				休講	
メディアと表現				休講	
時事英語				休講	

〔フレックスB時間帯（月～金の6、7時限、土の3～7時間）に開講される他学部履修科目〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
商学総論	他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営A34選	通年	4	大吹勝男	488
社会思想史 a				休講	
社会思想史 b				休講	
国際経済論	他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A34選	通年	4	徳永俊明	489
商業政策				休講	
アジア経済論				休講	
社会政策	他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考心営A34選	通年	4	光岡博美	490
マーケティング	他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営A34選	通年	4	曾我信孝	490
経営管理論 a	他（経B）禅仏国英地文環境社 福心GM34選	半期	2	岩波文孝	491
経営管理論 b	他（経B）禅仏国英地文環境社 福心GM34選	半期	2	岩波文孝	492
中小企業論	他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営A34選	半期	2	吉田敬一	493
中小企業政策論	他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営A34選	半期	2	吉田敬一	494
人口論	他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営AGM34 選	通年	4	森岡仁	495
人的資源管理論 a	他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営A34選	半期	2	堀龍二	496
人的資源管理論 b	他（経B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政営A34選	半期	2	堀龍二	497
法思想史	他（法B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選	通年	4	高橋洋城	498
日本法制史				休講	
西洋法制史	他（法B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選	通年	4	北野かほる	499
経済法	他（法B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心営A34選	通年	4	荒井登志夫	500
国際関係論	他（法B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選	通年	4	三船恵美	501
地方自治法	他（法B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選	通年	4	富井幸雄	502

国際紛争解決法	他（法B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選	通年	4	王志安	503
倒産処理法	他（法B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選	通年	4	鈴木貴博	504
アメリカ経営学	他（営B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商法A政34選	通年	4	宮城徹	505
経営財務論	他（営B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選	通年	4	高田光明	506
経営組織論	他（営B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商法A政34選	通年	4	日野健太	507
公益企業論				休講	
管理会計論	他（営B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選	通年	4	猿山義広	508
会計監査論	他（営B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選	通年	4	阿部一人	509
日本経済論	他（営B）禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A政34選	通年	4	羽鳥茂	510
インド・チベット仏教演習				休講	
中国仏教演習				休講	
仏教思想演習				休講	
仏教文学演習				休講	

科目名	上代文学研究I	開講	通年	単位	4
担当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選				
担当者名	なかじま しんや 中嶋 真也				

講義のねらい

現存、日本最古の歌集『万葉集』を精読し、古代の歌の様相を探求していく。総じて日本古典において、「住吉」といえば「松」というように、地名は特定の景物と結び付けて捉えられることが少なくない。それは「歌枕」と称される。このことばは平安以降の和歌の説明に用いられ、『万葉集』研究には極力用いないというのが現状である。しかし「歌枕」認識はそれまでに詠まれた歌々の蓄積があってこそ誕生するものである。『万葉集』の歌々が「歌枕」と無縁ではありえないのである。そのような後代の受容を意識しつつ、『万葉集』において、地名と景物がどのような表現を織り成しているのかを見届けることを、この講義の目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

最初は『万葉集』の概説を行なう。全20巻に及ぶ『万葉集』の歌の所収状況や、現在4つの区分で説明される作歌の時期などの説明を丁寧に行なう。『万葉集』を読んだ経験は各人によって差があろうが、初学者にも十分配慮する。その上で、具体的な地名を詠んだ歌を取り上げ、どのような景物とともに、どういった表現を成り立たせているのかを見ていく。本年は『万葉集』を生み、育んだ大和国(今の奈良県)の地名を中心に取り上げる予定である。

履修上の留意点

毎回の授業で、できるだけ多くの歌を取り上げ、かつ精読していくつもりだが、各人が一層の興味を持って、さまざま読みを深めてほしい。また、そのような熱心な学生の意見や要望は、積極的に授業に生かしていきたい。講義というスタイルだが、主体的な受講を切に希望する。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、学期末試験などを軸に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

科目名	中古文学研究I	開講	通年	単位	4
担当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心堂A34選				
担当者名	さくらい のりひろ 桜井 宏徳				

講義のねらい

『源氏物語』以後、平安時代後期から中世にかけての王朝物語・歴史物語の展開をたどり見ることを通じて、物語文学の多彩なあり方について考える。

講義の内容・授業スケジュール

『無名草子』の物語批評を糸口として、さまざまな王朝物語・歴史物語を紹介し、物語の本文にも触れながら、その特質や文学史上の位置づけについて講義する。

履修上の留意点

講義では多くの物語を取り上げるので、その中から各自の興味・関心に即した作品を選び、原文を読んでみてほしい。

成績評価の方法

①レポート ②出席状況 ③その他によって総合的に評価する。

教科書

桑原博史校注『無名草子』〈新潮日本古典集成〉(新潮社、1976年) 2,310円

参考書等

授業時に適宜紹介する。

その他

授業は講義形式とする。また、適宜プリントを配布する。

他学部履修科目

科目名	中世文学研究I	開講	通年	単位	4
担当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心堂A34選				
担当者名	さくらい ようこ 桜井 陽子				

講義のねらい

軍記物語、そして『平家物語』について、文学史上における意味・意義・問題点について講義し、次に作品の内容を紹介する。

その上で、『平家物語』の多くの登場人物の中から、巻十を中心に平維盛と平重衡に焦点をあてて諸章段を読む。死に立ち向かう人間の苦悩・覚悟・悲しみなどを読み解きながら、『平家物語』は何を描写し得たのか、何を切り落としたのかを考える。諸本による相違に目を配ることによって、『平家物語』の多面的な問題に触れる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1～5 軍記物語にはどのような特徴があるか。
- 6～10 『平家物語』にはどのような特徴があるか。
- 11 『平家物語』巻十の位置づけ。平維盛と平重衡の説明。
- 12～ 『平家物語』諸章段を読む。

履修上の留意点

講義ノートを作成しておくこと。

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	近世文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選				
担当者名	このえ のりこ 近衛 典子				

講義のねらい	上田秋成の読本『雨月物語』を読む。
講義の内容・授業スケジュール	単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説や日本の古典作品の精読、本文との比較検討などを通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。
履修上の留意点	出席重視。
成績評価の方法	出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。
教科書	鷲山樹心編『講読雨月物語』(和泉書院)
その他	講義

科目名	近代文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選				
担当者名	えのもと まさき 榎本 正樹				

講義のねらい	90年代以降にデビューした新しい作家の作品を網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマや表現、モチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探ります。
講義の内容・授業スケジュール	現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの技法、周辺メディアとの関連などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、あらゆるジャンルの小説ジャンルを対象とします。 今年度の授業では、昨年(2006年)映画公開された現代日本文学を原作とする映画を、原作と比較しながら解説する小特集的なテーマを設定します。小川洋子『博士の愛した数式』、群ようこ『かもめ食堂』、江國香織『間宮兄弟』、恩田陸『夜のピクニック』、村山由佳『天使の卵』、山田詠美『風味絶佳』などを取り上げる予定です。 榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報や現場のエピソードなども盛りこんでいきます。
履修上の留意点	現代日本文学、映画、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。
成績評価の方法	学期末提出のレポートの内容をメインに、出席点と授業の参加度を加味し評価します。
教科書	使用しません。取りあげる作品を事前に読んでいなくても理解できる形で、授業は進めます。
参考書等	参考文献等は教室で指示します。
その他	講義形式をとります。資料はプリントで配付します。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト (http://enmt.jp) も参考にしてください。

他学部
履修科目

科目名	比較文学	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境社福心堂AGM34選				
担当者名	木村 朗子 <small>きむら さらこ</small>				

講義のねらい

はじめに比較文学がなにをどのように研究することなのか、また比較文学は、どのような歴史的背景のなかではじまった学問なのかについて確認し、その上で比較文学の方法を実際に用いながらさまざまな文学を実際に検討する。

比較の方法は、異なる国の文学を比較するだけでなく、翻訳の問題、文学を絵画化した場合、映像にした場合などさまざまに可能性がある。授業ではとくに小説を映画化したケースを中心課題として分析を進めながら、比較文学の方法を学ぶ。

成績評価の方法

出席と授業内レポートあるいは学期末のテストによる。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	西洋思想史	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境社福心経A商営AGM34選				
担当者名	柴野 博子 <small>しばの ひろこ</small>				

講義のねらい

カント以後のドイツを中心とする西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し(4・5月)、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話しする予定です(6・7月)。

後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ(9・10月)、ベルクソン、ディルタイ(11月)など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学的一端にも触れたいと思っています(12月)。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

科目名	演劇概論	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境社福心営AGM34選				
担当者名	森井 直子 <small>もろい なおこ</small>				

講義のねらい

「演劇」と言われて思い浮かべるものは、人によって実に多彩である。なぜ、演劇はこれほど様々な顔を持っているのだろうか。明治時代以来現代に至るまでの、日本の演劇の変容を追う。
同時に、それぞれの時代、それぞれの問題意識の中から生まれた戯曲作品の鑑賞も行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 1、日本近代演劇の黎明(2回)
2、明治40年代の演劇(2回)
3、日本近代戯曲の模索(2回)
4、大正戯曲の時代(2回)
5、築地小劇場(2回)
6、政治と演劇(2回)
7、まとめ(1回)
- 後期 1、戦後新劇と戯曲(2回)
2、小劇場運動の隆盛—1960年代(2回)
3、小劇場運動の展開—1970年代(2回)
4、私さがしとメタシアター—1980年代(2回)
5、静かな演劇—1990年代(2回)
6、今日の演劇(1回)
7、まとめ(1回)

履修上の留意点

授業の進行に従い、5、6本の戯曲作品をとりあげます。その戯曲については、あらかじめ読んでから出席することが必要。(扱う作品は、授業の中で指示する。)また、1年のうちに2度、劇場へ行って観劇してもらうので、留意されたい。

成績評価の方法

前期末、後期末の観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式の授業。

科目名	日本民俗学	開講	通年	単位	4
配当	他(国)禅仏英地文環境社福心経A商営AGM34選				
担当者名	たにくち みつき 谷口 貢				

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。「民俗」はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は日本の地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変わり、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。年間の講義予定は以下に掲げる内容で、各2回程度に分けて行う予定である。

- 第1講 民俗の多様性
- 第2講 民俗学の流れと現在
- 第3講 家族生活と住まい
- 第4講 食をめぐる民俗
- 第5講 村と町のなりたち
- 第6講 若者と一人前
- 第7講 婚姻と出産・子育ての民俗
- 第8講 女性・子ども・老人の民俗
- 第9講 葬送儀礼と先祖祭祀
- 第10講 里と海・山のなりわい
- 第11講 祭りと年中行事
- 第12講 民俗宗教の諸相
- 第13講 北海道民俗・沖縄民俗の特徴

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

谷口 貢・松崎憲三編著『民俗学講義－生活文化へのアプローチ』八千代出版、2100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

参考書等

講義内容を発展させるための参考文献は授業の中で紹介していきたい。

科目名	イギリス文学特講II	開講	通年	単位	4
担当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	高野 ^{たかの} ^{まさお} 正夫				

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope などに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された““Lyrical Ballads“”という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていた。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	イギリス文学特講Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心堂AGM34選				
担当者名	おがさき としちろう 岡崎 寿一郎				

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernity という言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イェーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩(モダニズム)、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

他 修 学 部 履 修 科 目

科目名	イギリス文学特講Ⅳ	開講	通年	単位	4
配当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心堂AGM34選				
担当者名	かわさき あきこ 川崎 明子				

講義のねらい

ヴィクトリア朝の小説と文化を紹介します。小説の黄金時代といわれるヴィクトリア朝の著名作家の代表作品を解説します。具体的には、ディケンズ、ブロンテ姉妹、エリオット、ギャスケル、サッカレー等の長編。並行して当時の文化的・歴史的背景を解説します。

講義の内容・授業スケジュール

1 学期中に小レポート1、2回
2 前期・後期末に筆記試験
3 前期・後期末にレポート
レポートは合格点に達するまで書き直し。優秀レポートの口頭発表あり。
レポートと口頭発表は英語・日本語どちらでも可。

履修上の留意点

1 上に挙げた作家一人につき最低一つの作品を、翻訳でよいので通読した上で臨むこと
2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること
3 レポート作成においてはフォーマットを指定するので最低限のワープロの知識を持つこと

成績評価の方法

出席、小レポート、レポート、試験の結果に加え、授業への貢献度により総合的に評価します。

教科書

特になし。

参考書等

川口喬一『イギリス小説入門』(研究社) イギリス小説の流れと特徴を原文入りで易しくまとめた良書。小説研究のヒントも得られます。大学図書館にも入っています。

科目名	イギリス文学特講Ⅴ	開講	通年	単位	4
配当	他（英）禅仏国地文環境歴日外考社福心堂AGM34選				
担当者名	増田 恵子 <small>ますだ けいこ</small>				

講義のねらい

『嵐が丘』や『ジェイン・エア』で知られるブロンテ姉妹について理解を深めます。生い立ちや初期作品、2大作品以外の詩や小説にも触れることで、ブロンテ文学の特徴がおのずと浮かび上がるようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業で説明します。

履修上の留意点

3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

随時指示します。

科目名	イギリス文学特講VI	開講	通年	単位	4
配当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	丸小 ^{まるこ} 哲雄 ^{てつお}				

講義のねらい

日本語の「アート」のインフレ。「英米文学研究」のデフレ。外国文学研究のあり方が問われている。日本語のアートと英語のArtは異質である。アート(art)が「芸術」でも、アーティスト(artist)が「芸術家」でも、ミュージアム(museum)が「美術館」「博物館」でもない。そこで外国文学研究を活性化するには以下の4つの前提がある。一つ目は英米文学を学ぶ受講生にとっては生得でない英語に依存しなければならない宿命的なハンディキャップがあること、二つ目は近代においては日本・日本人・日本語・日本文化(文学)はあたかも一体であると考えていることには錯覚があること、三つ目は世界に共通する美的で倫理的な文学の一致はありえないこと、そして最後の前提は文学テキストの読みに関しての論議のためにはテキストの読み・解釈・批評についてのさまざまな方法論があることです。

本講義は、異文化のズレによる言葉の関いが文学研究を豊かにし、問題意識を高めていく。異質のものに目を放って、自らを更新するという外国文学研究であるとするれば、四角い言葉(英語)と丸い言葉(日本語)の分裂を意識しながら、精読と思考によって言葉を押し詰めることで、自分の言葉を成り立たせる「丸い言葉」(止揚・揚棄)を獲得し、「屁理屈」ではなく、腑に落ちるように「理屈」を言う外国文学研究の講義となります。従って、外国の学者を必要以上に尊敬してはいけません。

本講義は、とりわけ文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、ときに文学テキストの演習を行い、文学テキストの印象や感想に価値を見出せる方法についても講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 自然言語と虚構言語の相違について
- 2) 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
- 3) 文学と批評の基本的用語について
- 4) 文学テキストの基本的要素と文学テキストの機能と力について
- 5) さまざまな批評方法について

・伝統批評、伝記批評、ロシア・フォルマリズム、ニュー・クリティシズム、テーマ批評、受容理論、精神分析批評、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズム、ポストコロニアル批評

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパー(レポート作成)などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

- 1) Elements of fiction by Robert Scholes (英宝社)
- 2) プリント使用: 多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

参考書等

講義の時に随時指示します。

科目名	アメリカ文学特講I	開講	通年	単位	4
配当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	あずま ほういちろう 東 雄一郎				

講義のねらい

アメリカ文学・文化を貫く根本的な問いは、「アメリカ人とは一体何者なのか」、「アメリカとは一体何か(どんな国なのか)」であり、こうした自意識の強さは新奇さや独自性の強調を生みだす。アメリカ文学の(アメリカ芸術一般の)根源的な特徴(根源的衝動に近いもの)は、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調である。国民的な叙事詩の欠落、これは逆に、ホイットマンの『草の葉』に始まる叙事詩的な文学への強い憧れを生み出してきた。つまり、ハート・クレイン、ウィリアムズ、ビートのギンズバーグらのアメリカと自分(詩人)の自我を高らかに歌う詩人たち(預言者的詩人)を生み出してきたのである。この講義では、アメリカの詩、映画、音楽などを取り上げ、アメリカの自意識について多様な考察を試みる。アメリカの詩は、口誦的な詩のジャンルから自然発生的に出発したものではなく、本来が実用的な文学なのである。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、数人の詩人とその作品を取り上げ、精読します。時には作品に関する小レポートを授業内に書いてもらいます。

履修上の留意点

毎回、出欠をとりますので、遅刻をしないように(遅刻者は出席カードに記入できません)。

成績評価の方法

年間2回のレポート(2000字程度)、小レポート、出席点などで総合的に評価します。

教科書

新倉俊一著『アメリカ詩入門』(研究社)2,000円程度

参考書等

開講時に指示します。

科目名	演劇特講（イギリス・アメリカ）	開講	通年	単位	4
配当	他（英）禅仏国地文環境歴史外考社福心堂AGM34選				
担当者名	おろあい かずあき 落合 和昭				

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀の 아일랜드 やイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇）を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-2005)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-), Sam Shepard (1943-), David Mamet (1947-), 아일랜드 では、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John B. O'Connell (1894-1984)、Peter Shaffer (1926-), Harold Pinter (1930-) 等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2000字から4000字）とする。出席率は平常授業（期末試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』 ミネルヴァ書房
- 2) プリント

科目名	時事英語	開講	通年	単位	4
配当	他（英）禅仏国地文環境歴史外考社福心堂A商営A34選				
担当者名	サンダース, L. P.				

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（advertising、TVニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	人口地理学	開講	通年	単位	4
配当	他(地文) 禅仏国英歴日外考社福心経A 商営AGM34選				
担当者名	やまうち まさかず 山内 昌和				

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動、世帯に関する概念や諸指標を理解する必要がある。とくに、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。前期では、各種概念や指標に関する基礎的な学習を中心に行い、後期では、日本の人口問題に関する様々な論点について、人口移動を中心に、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

〔人口分析の基礎〕人口学的方程式、人口構造の把握(性比、年齢構造)
 〔少子化問題と出生の分析〕出生の指標(合計特殊出生率)、出生率の低下とその要因
 〔人口高齢化と死亡の分析〕死亡の指標(生命表、平均寿命)、人口高齢化とその要因
 〔人口移動の概念とデータ〕人口移動の概念、人口移動データとその特徴
 〔世帯の分析〕人口と世帯の関係、世帯データとその特徴、世帯構造の把握
 〔日本国内の人口移動〕戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動
 〔日本人の居住地移動〕地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因
 〔将来人口の推計〕将来人口推計ならびに世帯数の将来推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際、世帯主率法による世帯数の将来推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜指摘する。

科目名	文化地理学	開講	通年	単位	4
配当	他（地文）禅仏国英歴日外考社福心経A商営AGM34選				
担当者名	おだ まさよし 小田 匡保				

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地
8. 村落の宗教組織

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、夏休みレポート、試験（前期・後期の2回、持込不可）によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	日本史特講Ⅶ【〔近代〕】	開講	通年	単位	4
配当	他（日）禅仏国英地文環境社福心経A商営AGM34選				
担当者名	くまもと ふみお 熊本 史雄				

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、その準備過程と条約締結交渉を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

履修科目

科目名	東洋史特講Ⅲ【〔近世史〕】	開講	通年	単位	4
配当	他（外）禅仏国英地文環境社福心営AGM34選				
担当者名	すぎやま きよひこ 杉山 清彦				

講義のねらい

ユーラシア東方における最大最後の帝国であった大清帝国（清朝）は、一般には「最後の中華王朝」「漢化した異民族王朝」として理解されている。しかし、これは漢人（漢民族）中心の歴史観に引きつけられた見方であり、非漢人の満洲人が広大な非漢地を統治した帝国であるという事実を正面から捉えたものではない。本講義では、大清帝国の形成過程と支配構造を、支配層たる満洲人に焦点を当て、ユーラシア史の観点から再構成することをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のような内容を予定している。
〔前期〕元明交替と東北アジア マンジュ国から大清帝国へ 八旗制の支配構造
〔後期〕位階制秩序と辞令・誓書 旗人社会と族譜 ユーラシア国家としての大清帝国

履修上の留意点

講義形式で進め、随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。

成績評価の方法

前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

参考書等

講義中適宜紹介する。全般にわたるものとして、岡田英弘・神田信夫・松村潤『紫禁城の栄光』（講談社学術文庫、2006）を薦める。

科目名	西洋文化史	開講	通年	単位	4
配当	他(外) 禅仏国英地文環境社福心経A商営AGM34選				
担当者名	いしだ けいこ 石田 恵子				

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

科目名	マス・コミュニケーション論	開講	通年	単位	4
配当	他(社) 禅仏国英地文環境歴日外考経A商営A34選				
担当者名	かわもと まさる 川本 勝				

講義のねらい

テレビが誕生してから半世紀がたちます。「もしもテレビが存在しなかったなら、私達のもの考え方、生活の仕方、日本の社会のあり方はどうなっていたでしょう?」といった問いに対して各自の答えが用意できるよう、社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず、コミュニケーションとはなにかを定義し、パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの類型、特質を整理しながら、コミュニケーションと社会生活の関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。人々は現代社会における多様多様化したメディアを利用してどのようなコミュニケーション活動を営んでいるのかを考察する。

後期は、マス・コミュニケーションの受容過程研究の中で明らかにされてきた効果、影響についての理論を紹介しながら、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているのか、問題点は何かについて論じる。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目ですが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、定期試験によって行う。

教科書

用いない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	社会福祉発達史	開講	通年	単位	4
配当	他(福) 禅仏国英地文環境歴日外考心経A 商法A 政営AGM34選				
担当者名	堀 千鶴子 <small>ほり ちづこ</small>				

講義のねらい

我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

1	社会福祉の歴史と人物史	1	13	人物史	4
2	〃	2	14	〃	4
3	慈善・救済の時代		15	〃	4
4	人物史	1	16	社会事業・社会福祉の時代	
5	〃	1	17	人物史	5
6	〃	1	18	〃	5
7	〃	2	19	〃	5
8	〃	2	20	〃	6
9	〃	2	21	〃	6
10	〃	3	22	〃	6
11	〃	3	23	社会事業に生きた女性	
12	〃	3	24	地域の歴史	

履修上の留意点

出席を重視する。テキスト必ず持参。

成績評価の方法

出席(40%)、レポート(60%)

教科書

室田保夫『人物で読む近代社会福祉のあゆみ』(ミネルヴァ書房) 2800円 ISBN4-623-04519-6

科目名	日本経済史	開講	通年	単位	4
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選				
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一				

講義のねらい

いま私たちを取り巻いているさまざまな経済現象や制度は、どのようにして発生し、発展してきたのであろうか。本講義の目的は、歴史的な視点から日本経済を理解することにある。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代の問題とのかかわりについても言及し、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 序. 日本経済史の課題と方法
1. 幕藩制下の経済発展
 2. 幕末開港の歴史的意義
 3. 明治前期の経済政策
 4. 日本産業革命の展開
 5. 第一次世界大戦期の日本経済
 6. 恐慌の時代
 7. 戦時日本経済の展開と崩壊

履修上の留意点

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席すればその分だけ話の前後関係がつながらなくなることに留意されたい。

成績評価の方法

基本的には期末試験の成績で評価する。不定期に「リアクション・ペーパー」を配布し、講義へ取り組む姿勢を平常点としてチェックすることもある。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』(税務経理協会, 2002年)。あらかじめ指示したページ範囲を読んでいることを前提に授業を行う。

その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他

日本史の知識不問、挫折者歓迎。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、どうぞ。

科目名	農業政策	開講	通年	単位	4
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福當A34選				
担当者名	みそて よしかず 溝手 芳計				

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは(2回)
2. 食料問題と食料政策(5回程度)
3. 農産物価格問題と価格・所得政策(5回程度)
4. 農業の特質と現代農業(4回程度)
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－(6回程度)

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』(大月書店)
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』(有斐閣)
F. マグドフ他編(中野一新監訳)『利潤への渴望』第5章(大月書店)
梶井功『新基本法と日本農業』(家の光協会)
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』(ミネルヴァ書房)

科目名	日本経済論	開講	通年	単位	4
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考法A政GM34選				
担当者名	こばやし まさと 小林 正人				

講義のねらい

日本経済の(第二次世界大)戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになった日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」ーとくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高ーをのりこえてきた。しかし長年の平成不況とグローバリゼーションの中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：その国内原因と海外要因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. 日本の経済発展とイノベーション
イノベーションと産業構造の変化
主要産業の発展過程と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本的経営システム／経済システム(欧米諸国との比較)
製品の安全性とPL法
3. 日本の経済発展の総括と展望
IT革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんばんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト(<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>)の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小論文またはレポートの達成度とを総合して評価する。

教科書

なし

参考書等

適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語を調べるための辞典ないし事典を一つは常備してもらいたい(有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などが出版している)。

その他

講義についての質問を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です(有意義な回答のため)。

科目名	中国経済論	開講	通年	単位	4
配当	他（経）禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選				
担当者名	小杉 修二				

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。

また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期にも6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期（1978年—）の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち＝「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。

こうした中国の発展を可能にした要因を考えていくと同時に、産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

他 学 部 履 修 科 目

履修上の留意点

私語、飲食、携帯電話禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』（龍溪書舎 1997年）4000円

参考書等

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ 2002年

科目名	アメリカ経済論	開講	通年	単位	4
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選				
担当者名	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘				

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、
 瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』(時潮社) 2005年
 グリーンバーグ・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』(青木書店) 1994年
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店) 2003年
 をおすすめします。

科目名	EU統合論	開講	半期	単位	2
配当	他（経）禅仏国英地文環境歴日外考社福政営AGM34選				
担当者名	ひろた えり 廣田 愛理				

講義のねらい

本講義は、今日の国際政治経済において大きな影響力を持つEUの制度や政策の歴史と現状について学ぶことで、現在のEUが抱える課題について考えることを目的とします。地域統合の歴史的 precedent としてのEUについて学ぶことは、単に現在の国際経済を理解する助けとなるだけでなく、今日、「東アジア共同体」という課題をめぐる日本とアジアの関係について考察を深める上でも重要であると思われます。

講義の内容・授業スケジュール

講義の主な内容は以下のとおりです：
 ◇両大戦間・戦後復興期の統合構想と運動
 ◇EUの制度的起源：ECSCとEEC
 ◇経済統合の拡大と深化
 ◇通貨統合
 ◇EUの政策と制度
 ◇EUの現在の課題

成績評価の方法

期末試験と平常点（出席、小テストなど）で評価します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書等は必要に応じて講義の際に紹介します。

科目名	現代西欧経済論	開講	半期	単位	2
配当	他（経）禅仏国英地文環境歴日外考社福政営AGM34選				
担当者名	ひろた えり 廣田 愛理				

講義のねらい

本講義では、イギリス、フランス、ドイツといった主要国の個別事例を取り上げつつ、第一次大戦期から今日に至る西欧経済の歩みを辿ることで、西欧社会経済の特徴を捉えることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義の主な内容は以下のとおりです：
 ◇第一次大戦以前の西欧経済
 ◇第一次大戦とボックス・ブリタニカの動揺
 ◇大衆消費社会のはじまり
 ◇世界恐慌と資本主義の“大転換”
 ◇第二次大戦後の西欧経済社会の再編
 ◇福祉国家の成立と展開
 ◇ヨーロッパ経済の分裂から統合へ
 ◇植民地体制の崩壊と南北問題
 ◇資本主義の“黄金時代”
 ◇ブレトン・ウッズ体制の崩壊とヨーロッパ統合の再活性化
 ◇グローバル化の深化と西欧経済

成績評価の方法

期末試験と平常点（出席、小テストなど）で評価します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書等は必要に応じて講義の際に紹介します。

科目名	財務会計論	開講	通年	単位	4
配当	他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選				
担当者名	小栗 崇資				

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表(貸借対照表、損益計算書)の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論(第2版)』(白桃書房)

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考えるー変わる会計と経済』(大月書店)

科目名	会計監査論	開講	通年	単位	4
配当	他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選				
担当者名	もりた よしひろ 森田 佳宏				

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これらの財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、会社法、金融商品取引法、企業会計原則等の関係に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に金融商品取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学基礎または会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配付する。

参考書等

山浦久司『監査論テキスト』（中央経済社）
 友杉芳正『新版スタンダード監査論（第2版）』（中央経済社）
 千代田邦夫『現代会計監査論』（税務経理協会）
 日本公認会計士協会編『監査小六法（平成18年版）』（中央経済社）
 日本公認会計士協会編『監査実務指針ハンドブック（平成19年版）』（中央経済社）

科目名	管理会計論 a	開講	半期	単位	2
配当	他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法 A 政34選				
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二				

講義のねらい

本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、管理会計の基礎的な概念を学ぶことにする。その上で、意思決定に関わる具体的な手法を取り上げることにする。

履修上の留意点

会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

成績評価の方法

前期末の試験により評価する。

教科書

毎回配布するプリントが教科書代わりである。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	管理会計論 b	開講	半期	単位	2
配当	他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法 A 政34選				
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二				

講義のねらい

本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることにする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

伝統的な管理会計研究との相違を明らかにした上で、とくに「リスク・マネジメント」にかかわる会計現象を取り上げ、考察を加えることにする。

履修上の留意点

会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

後期末の試験により評価する。

教科書

石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』(森山書店)

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	貿易論	開講	通年	単位	4
配当	他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選				
担当者名	古沢 紘造				

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるどころまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	経済法	開講	通年	単位	4
配当	他（法A）禅仏国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	わかばやし ありさ 若林 亜理砂				

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科目名	国際政治学	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 営AGM34選				
担当者名	小堀 ^{こほり} 訓男 ^{のりお}				

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	ヨーロッパ政治史	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 営AGM34選				
担当者名	浦田 ^{うらた} 早苗 ^{さなえ}				

履修科目部

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかには時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した2題を出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	地方自治法	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	とみい ゆきお 富井 幸雄				

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	比較政治学	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 営AGM34選				
担当者名	三竹 ^{みたけ} 直哉 ^{なおや}				

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端を紹介するとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2006年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。そうしたことから、2006年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。基本的には、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後方法論の勉強をしたいと思っています。昨年度の授業内容は、下記にある授業用サイトで見ていただけますので、参考にしてください。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。(2006年度の授業は、ゼミのようにやりました。)

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)
また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。欠席したときの授業内容は、各自の責任で補ってください。就職活動であろうが、部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教科書

高根正昭『創造の方法学』(講談社現代新書)
他にも指定する可能性はあります。
ほぼ毎回、授業前までに読んでくるべき課題文献を指定します。読んでいない場合、出席できないことがあります。

参考書等

授業ごとに課題文献を指定します。授業には必ずそれを読んだうえで参加してもらいます。

その他

この文章は2006年12月時点で書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2007年4月に授業用ホームページに掲載します。
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>
URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	現代国家論	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A営AGM34選				
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂				

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革(1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc)がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題 2. 幕末政治過程 3. 幕末政治思想(水戸学、国学) 4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制 6. 大日本帝国憲法 7. 法典整備・司法制度 8. 統帥権・戒厳(令)
9. 地方官官制 10. 自由民権運動 11. 帝国議会 12. 財政制度 13. 教育勅語 14. 国家神道
15. 社会主義運動 16. 大正デモクラシー 17. 天皇機関説 18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済 20. まとめ

成績評価の方法

試験による単位認定 ～中間、期末試験により評価します。
なお、試験は通常の授業時間に実施します。欠試者に対してはレポートを課します。
※追試験は実施しません。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』(法律文化社) 3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』(成文堂)、『明治国家と岩倉具視』(信山社)、『明治維新の思想』(成文堂)

その他

私の研究室は、第2研究館8階(2835)です。電話は3418-9377(直)です。

科目名	経営労務論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選				
担当者名	かしま ひであき 鹿嶋 秀晃				

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか?」といったようなテーマを掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数の大小によって変更する場合もあり。

教科書

テキストは年度途中で指定する予定。

参考書等

津田真激『人事労務管理』(ミネルヴァ書房)1993(定価3,000円程度)、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』(中央経済社)1995(定価2,600円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』(東洋経済新報社)1992(定価3,500円程度)をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

科目名	商業史	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	やまだ まさる 山田 勝				

講義のねらい

大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 〈A〉 生産主導の商業
- (1) 商業史の意義と講義の目的
 - (2) パラダイムの発展
 - (3) 利益と継続性
 - (4) 商品と市場
 - (5) 大衆消費社会の特徴
- 〈B〉 需要主導の商業
- (1) 消費スタイルの変化
 - (2) 充足から満足度重視へ
 - (3) 多様化の要因
 - (4) 「サービス」商品の特徴
 - (5) IT革命と商業経営
 - (6) 生活(文化)の変革と商業

履修上の留意点

教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

山田勝『商業史概論』(創成社) 3,000円(消費税別)

科目名	保険経営論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選				
担当者名	いしなざか くにあき 石名坂 邦昭				

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならず、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名	財務会計論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	わたなべ えいちろう 渡邊 恵一郎				

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理(測定)と表示方法(伝達)を中心的課題とし、またこれに関するわが国の会社法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、純資産
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出(年1回)を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』(中央経済社)

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』(中央経済社)

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名	経営分析論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政GM34選				
担当者名	かたぎり のぶお 片桐 伸夫				

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、
 - 2 「儲け」はどうだろうか(収益性分析)、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか(成長性分析)、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか(社会性分析)、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析(続)」

☆提出日(授業はじめに配布するシラバスに明記)以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

科目名	税務会計論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	高木 克己 <small>たかき かつみ</small>				

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人(株式会社等)を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定(いわゆる別段の定め)が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与(報酬、給料、賞与)の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

他学部履修科目

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

科目名	経営情報論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政34選				
担当者名	いわぶら たくみ 岩渕 匠				

講義のねらい

企業活動を支える経営資源には様々なものがある。この資源をいかに整理して重要なものを取り出すかが企業発展のための鍵となる。
本講義では、最近の情報技術で活用されている資源整理のための手法を解説する

講義の内容・
授業スケジュール

- 1.経営情報学と情報科学の基礎(前期)
 - 1)経営科学における情報(4月～5月)
経営科学における情報についての考え方と、企業における情報の利用方法を整理する
 - 2)情報科学における情報(5月～6月)
一般的な情報に関する考え方、コンピュータでの基礎的な情報処理を学習する
 - 3)情報技術(IT)と情報システム(IS)(6月～7月)
金融情報システムやコンビニなどで利用されているPOSシステムなどの最近の情報技術やシステムについて整理する。また、今後ITとISの展望を考察する。
- 2.経営情報学と情報科学の応用(後期)
 - 1)情報システムの種類(9月～10月)
基礎的な数理モデルを使って多々あるシステムを整理し、その特性を学習する。
 - 2)データの加工(11月～12月)
RDBSを利用したデータの整理方法(SQL文の作成)を学習する。
 - 3)シミュレーション(12月～1月)
実際の経営資源データをコンピュータを利用して整理する技術を学習する

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。

成績評価の方法

前期・後期に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も反映する

教科書

未定

科目名	情報理論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 政34選				
担当者名	にしむら かずお 西村 和夫				

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なCD-ROMの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

[関連科目] → 経営情報論

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	経営統計	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政34選				
担当者名	なが <small>こきよう</small> 長 国強				

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

科目名	医療宗教学	開講	半期	単位	2
配当	他(放) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営A34選				
担当者名	吉津 宣英 <small>よしづ よしひで</small>				

講義のねらい

この科目のねらいを明らかにするためには皆さんが受講する他の科目との比較を行うのが有効かと思ひます。まず「仏教と人間」という科目ですが、これは建学の理念とも関連し、広く宗教への認識を持ってもらった上で、仏教や禅の思想の特色を把握してもらうことを目的にしています。また、「臨床医療人間学」I・IIもこの科目と関連すると思ひます。特にIは生命倫理に焦点を合わせており、IIは医療人の社会性を問題にしています。この医療宗教学はこのIIを宗教的人間観から補完することを目的としています。それは医療人と患者との関係を考えて見ることを意味します。治療する人も治療を受ける人も共に同じ人間であるということは自明なことですが、対等な人間関係を維持することは難しいことでしょう。ただ「人間は必ず死ぬものである」という事実から、仏教などの宗教を援用して、死は医療人にとっても、また患者にとっても決して敗北ではないという観点を示します。また身心一如・生死一如・自他不二の人間観を明らかにし、余裕を持った医療人になってもらう一助としたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

まず様々な宗教や哲学、さらには現代の科学思想の人間観を広く取り上げてみたいと思ひます。皆さんもそれぞれ人間に対する考え方を持っていると思ひますが、皆さんがいずれ治療を行う患者さんはそれぞれ個人的に多様な人間観を持っていると想像します。その人間観を理解した上で、治療の内容を十分に説明し、相互の人間関係を築きながら治療を進めてゆくことは大切だと思ひます。この科目は人間観、人間を見る眼を鍛えるために古典的な宗教の知識や現代の心理学や哲学の知見を提供できると思ひます。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に1月に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

参考書等

講義の中で随時紹介します。

その他

私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請します。授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科目名	医療経済学	開講	半期	単位	2
配当	他（放）禅仏国地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	ながやま くくに子 永山 くくに子				

講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる
 - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
 - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
 - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
 - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
 - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
 - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑩は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
(イ) レポート
(ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 鶴田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川淵孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

その他

履修上の留意点に準じます

科目名	メディア・コミュニケーション概論	開講	半期	単位	2
担当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	にしおか ようこ 西岡 洋子				

講義のねらい

本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション（個人、グループ、マスのレベル）があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション
コミュニケーション・モデル
2. パーソナル・コミュニケーション
人と人とのコミュニケーション
電話コミュニケーション
3. グループ・コミュニケーション
集団・組織のコミュニケーション
地域コミュニティのコミュニケーション
集団行動のコミュニケーション
4. マス・コミュニケーション
マス・コミュニケーションとメディア
マス・コミュニケーション研究
マーケティング・コミュニケーション
5. グローバル・コミュニケーション
6. まとめ

他学部履修科目

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

期末試験、レポート、平常点などで総合的に評価する。

教科書

講義中に指示する。

参考書等

講義中に指示する。

科目名	ネットワークコミュニケーション論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	すがや <small>みのる</small> 菅谷 実				

講義のねらい

社会のコミュニケーション活動を支える情報ネットワークの基礎的知識の修得とネットワークの進化が社会のコミュニケーション活動にどのような影響を及ぼしてきたかを明らかにすることを目的としている。具体的には、人的組織、物理的ネットワーク、情報ネットワークの歴史、仕組み、機能、運営等を明らかにする。

前半は、「ネットワークとコミュニケーション」というテーマで、社会的コミュニケーション活動とネットワークの関係を明らかにする。具体的には、組織とネットワーク、組織コミュニケーション、ネットワーク産業の特質などを論じる。

後半は、「情報ネットワーク発展の歴史」を、各ネットワーク産業ごとに明らかにする。具体的には、郵便、交通、通信、放送、インターネットなどのネットワークの発展過程を論じる。まとめの部分においては、今後、ますます進化が期待されている「ネットワークの融合と社会的コミュニケーション」を取り上げる。具体的には、融合化が進むネットワーク環境のなかで社会的コミュニケーション活動がどのような影響を受け、変容していくかを展望する。

講義の内容・ 授業スケジュール

第1部 ネットワークとコミュニケーション

1. ネットワークと経営
 - 企業経営とは
 - 企業活動にとっての情報基盤の重要性
 - クローズネットワークとオープンネットワーク
2. 企業組織とネットワーク
 - 企業組織
 - 組織コミュニケーション
3. ネットワーク産業の特質
 - ネットワーク産業の構造
 - ネットワーク産業の変容

第2部 情報ネットワーク発展の歴史

4. 郵便制度
 - 物流と情報流を支える流通ネットワーク
 - 郵便サービス
 - 郵便局
 - 民営化
 - 情報ネットワークとしての郵便ネットワーク
5. 交通ネットワーク
 - 貨物輸送
 - 国内旅客輸送
 - 国際輸送
6. 放送ネットワーク
 - 放送ネットワーク種別
 - 放送規制
 - テレビ放送ネットワークの発展
7. 通信ネットワーク
 - 通信事業者の種別
 - 通信ネットワークの構造
 - 制度の変容
8. インターネット
 - 発展の歴史
 - ブロードバンドネットワーク
 - ネットワーク機能

第3部 ネットワークの融合

9. ネットワークの融合
10. ネットワークの高度化と経営環境の変化

履修上の留意点

講義には毎回出席してください

成績評価の方法

平常点と期末テスト

教科書 特に指定しません

参考書等 公益事業学会編『日本の公益事業』白桃書房。
その他 初回講義時に紹介します。

科目名	情報メディア産業論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選				
担当者名	福家 ^{みけ ひでのり} 秀紀				

講義のねらい インターネットの普及により急速な変化をみせる日本のメディア産業の現状と課題を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

・講義の内容

情報メディア産業全体を俯瞰した後、情報通信ネットワークの機能と役割を分析する。しかる後に、電話や放送など旧来型のネットワークと対比させることによって、インターネットの基本的な構造と特徴、ならびにその構造と特徴が社会経済に与える影響と問題点などについて考察する。

・授業スケジュール

①情報メディア産業とは、②情報メディア産業を理解するためのキーワード(1)：ネットワーク、③情報メディア産業を理解するためのキーワード(2)：デジタル化とモジュール化、④電話網と放送網、⑤携帯電話網、⑥インターネットの基礎(1)、⑦インターネットの基礎(2)、⑧情報通信産業、⑨放送産業、⑩ケーブルテレビ産業、⑪新聞産業、⑫コンテンツ産業、⑬まとめ

他
履修
科目
目
部

履修上の留意点 授業中の指示事項が成績評価に反映されるので、授業への出席が単位認定の前提となる。

成績評価の方法 授業中に実施する小テスト、レポート、定期試験を総合的に評価する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4
・湯浅正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7
・その他講義の中で適宜紹介する。

その他 レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用する。

科目名	比較メディア制度論	開講	半期	単位	2
配当	他(GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選				
担当者名	にしおか ようこ 西岡 洋子				

講義のねらい

本講義では、米国を中心に、EU主要国、アジア主要国の放送制度について解説する。また、適宜、日本の場合と比較を行うことで、その特徴および制度形成の背景を理解するとともに、日本の制度への適用の可能性を検討する。

講義の内容・ 授業スケジュール

各国の規制機関、放送制度、放送産業の概要と動向

履修上の留意点

メディア政策論または、同様の講義を受講していることが望ましい。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。

教科書

授業中に指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	都市とメディア	開講	半期	単位	2
配当	他(GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選				
担当者名	こう えん 高 媛				

講義のねらい

都市は、種々のメディアが実践する場であると同時に、メディアによって紡ぎ出されたイメージ群から構成される空間でもある。本講義は、都市とメディアに関する基本的な理論を提示した上で、文学、流行歌、広告、映画、ドラマなどに登場する多様な都市像を具体的に検討しながら、都市とメディアとの関係性を読み解いていこうとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

メディア都市の誕生、メディアが変える都市の風景、メディアのなかの都市像、都市空間のなかのメディア、都市というメディアなどの諸テーマに沿って、ビデオ鑑賞や視聴覚教材を交えながら講義する。

履修上の留意点

講義中に取り上げたトピックについて、討論を行うことがあるので、積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加度、毎回講義の最後に提出してもらうコメントの内容、レポートによって総合的に評価する。

教科書

特に指定しない

参考書等

- ・吉見俊哉『都市のドラマトゥルギー——東京・盛り場の社会史』(弘文堂、1987年)、2,300円、ISBN: 4335550294
- ・前田愛『都市空間のなかの文学』(ちくま学芸文庫、筑摩書房、1992年)、1,600円、ISBN: 4480080147
- ・町村敬志・西澤晃彦『都市の社会学』(有斐閣、2000年)、2,300円、ISBN: 4641121036

その他

講義形式

科目名	グローバルアート政策論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選				
担当者名	川崎 賢一				

講義のねらい

現代文化システムの特徴・機能・可能性、について、文化政策 (cultural policies) 特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。

講義の内容・
授業スケジュール

文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。

履修上の留意点

授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。

成績評価の方法

学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年
佐々木・川崎・河島 (共編)、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2007年

他
修
学
目
部

科目名	グローバル創造都市論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政34選				
担当者名	川崎 賢一				

講義のねらい

文化的グローバリゼーションを推進する中核的なトレンドは、創造都市 (Creative Cities) ないし創造産業 (Creative Industries) である。本講義では、創造都市とは何か、どのように成立し、どのように発展しつつあるかを、具体的な例 (ロンドン・ニューヨーク・東京・香港・シンガポール、など) を例にとり、紹介・説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は講義形式で、3つの内容からなる。創造都市と創造産業の成立とその機能。文化的グローバリゼーションと関連付けて、どのように発展したかについて具体的な例を挙げて説明する。最後に、将来的な可能性と問題点について考察する。

履修上の留意点

授業以外に、創造都市について調べてもらう予定である。

成績評価の方法

学期末テスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平均点・出席点等を加算する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年
佐々木雅幸、「創造都市への挑戦」、岩波書店、2001年
J. Florida, The Rise of Creative Class, Basic Books, 2002

科目名	情報保護と社会	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A商政営A34選				
担当者名	苗村 憲司				

講義のねらい

社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 【第1週】情報化社会における情報の価値とその保護の必要性
- 【第2週～第6週】知的財産権の保護に関する政策と技術
- 【第7週～第11週】情報セキュリティに関する政策と技術
- 【第12週～最終週】グローバル環境における情報保護の課題

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

- 次の2項目を総合して評価する。
1. 授業時間に行うミニテストの成績
 2. 期末試験の成績

教科書

特に定めない。

参考書等

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~naemura/ps/>上に掲載する。

科目名	商学総論	開講	通年	単位	4
担当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選				
担当者名	おおぶき かつお 大吹 勝男				

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論(価値論)・電子マネー
- (2) 生産過程論(労働過程論)
- (3) 流通過程論(資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送)
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論(中抜き論)
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備(学習)をして試験に望んでもらいたいということでもあります。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』(梓出版社)1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』(梓出版社)1,500円

科目名	国際経済論	開講	通年	単位	4
担当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A34選				
担当者名	徳永 俊明 <small>とくなが としあき</small>				

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていくことが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づけている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(2回予定)および学年末レポートで評価します。配分はミニ・レポート40点、学年末レポート60点。(レポート評価のため追試験は行ないません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	社会政策	開講	通年	単位	4
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考心営A34選				
担当者名	光岡 博美 <small>みつおか たくみ</small>				

講義のねらい

最後に私は2006年4月より1年間、琉球大学(沖縄)に留学しました。従って、時間的余裕があれば、現代沖縄の社会・経済問題についても講義したいと考えています。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2~3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	マーケティング	開講	通年	単位	4
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	曾我 信孝 <small>そが のぶたか</small>				

講義のねらい

マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はマーケティング政策のなかの特に製品政策と価格政策に関する本質を学習しながら、それらの政策を企業が展開するにあたってのモラルハザードを指摘していく。そして、それらの実例を上げ(事件性のある事例はもちろんであるが、今日賛美されているマーケティング政策で本来モラルが強く要求されるべき問題も含める)、モラルハザードとなる原因を究明する。前期では、実証的な学習資料として2~3回ビデオ(40分程度)を見てもらう。

後期はマーケティング政策のチャネル政策と促進政策を学習しながら、それらにかかわるモラルの問題を学習し、さらにマーケティングモラルの範疇に含めなければならない問題を追加して、説明していく。特に、これまでマーケティングの範疇には含まれていなかったリスクマネジメントの問題が、大規模な製品回収など顧客保護の面からは重要であることを説明する。後期もマーケティングあるいはマーケティングモラルに関する事例を紹介するため2~3回ビデオ(40分程度)を見てもらう。

なお、講義は全てパワーポイントを使って行う。

履修上の留意点

マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中でも受講を断ることがあります。

成績評価の方法

夏休みの課題および年度末の課題の年2回のレポート(60%程度)と平常点(講義中の小レポートの評価:40%程度)によって評価する。

教科書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

その他

授業方法-講義形式

科目名	経営管理論 a	開講	半期	単位	2
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境社福心34選				
担当者名	いわなみ ふみたか 岩波 文孝				

講義のねらい

現代の経済的・社会的環境が変化しているなかで、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が問題となっている。本講義では、現代の企業管理の構造的特質を解明していくことを目的とする。企業におけるマネジメントの基本的役割、企業管理の発展史を踏まえ、企業管理の現代的課題を考察していく。本講義は、現代企業における株式所有・会社支配・戦略的管理に関連づけてコーポレート・パワーの権能の行使および行使システムの現代的特質を明らかにし、現代の企業管理におけるトップ・マネジメントの構造と機能を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 経営管理論と企業・市場・社会
- 3 市場・社会と企業：国際比較
- 4 アメリカ企業と社会
- 5 アジア企業と社会
- 6 EU社会の変貌と企業
- 7 市場移行と東欧企業
- 8 ロシア企業と社会
- 9 多様化する市場・社会と企業管理の課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

前期末(2007年7月)の定期試験により評価します。

教科書

日本比較経営学会編(2006)『会社と社会』文理閣。

参考書等

仲田正機編著(2005)『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。
細井浩一(2006)『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

科目名	経営管理論 b	開講	半期	単位	2
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境社福心34選				
担当者名	いわなみ ふみたか 岩波 文孝				

講義のねらい

現代の企業管理の構造的特質、特にトップ・マネジメントの経営管理機能の現代的特質を理解することを目的として、現代企業の会社支配・戦略的管理の構造的把握のためにネットワーク・アプローチを試みている。本講義は、コーポレート・パワー行使に対する企業間関係のパーспекティブを導入し、現代企業の株式所有・会社支配・戦略的管理の考察にあたって、企業間関係のパーспекティブを採用し、コーポレート・パワーとしての現代企業のトップ・マネジメント機能の考察を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 現代の企業と社会：社会的責任
- 3 現代社会におけるCSR
- 4 SCRの評価と市場
- 5 企業と社会：コーポレート・ガバナンスのパーспекティブ
- 6 企業と社会：社会ネットワークのパーспекティブ
- 7 企業と社会：非営利組織のパーспекティブ
- 8 企業と社会：グローバル化のパーспекティブ
- 9 持続可能な発展と企業管理の課題
- 10 経営管理論の現代的課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

後期末(2008年1月)の定期試験により評価します。

教科書

日本比較経営学会編(2006)『会社と社会』文理閣。

参考書等

仲田正機編著(2005)『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。
細井浩一(2006)『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

科目名	中小企業論	開講	半期	単位	2
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A 政営A34選				
担当者名	よしだ けいいち 吉田 敬一				

講義のねらい

商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 中小企業の基礎理論、
 I-1 中小企業の法的規定、
 I-2 中小企業の経営類型、
 I-3 中小企業の企業形態、
 I-4 日本型下請構造の特質、
 II 日本型下請システムの形成過程、
 II-1 日本経済復活期の生産分業構造、
 II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化、
 II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立、
 II-4 グローバル化と日本型下請構造の改変、

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学期末試験(ノート持込可)を基準とし、追試験は実施しません。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。

参考書等

『中小企業白書』
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

科目名	中小企業政策論	開講	半期	単位	2
配当	他（経B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選				
担当者名	よしだ けいいち 吉田 敬一				

講義のねらい

この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 復興期の中小企業政策、
- 2 中小企業と不公正取引問題
- 3 高度成長と中小企業近代化政策、
- 4 中小企業政策の大転換、
- 5 経済のグローバル化と中小企業政策

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学期末試験（ノート持込可）を基準とし、追試験は実施しません。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行います。

参考書等

『中小企業白書』
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

科目名	人口論	開講	通年	単位	4
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選				
担当者名	もりおか じん 森岡 仁				

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求する。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題、さらには2005年から始まった人口減少問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものとはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年、2,800円、1033-330172-3177
大淵 寛・森岡 仁『人口減少時代の日本経済』（原書房）2006年、2,800円

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年、4-562-09112-6
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

その他

授業の方法：講義

科目名	人的資源管理論 a	開講	半期	単位	2
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選				
担当者名	ほり 龍二 堀 龍二				

講義のねらい

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的に言えば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。a(前期)では、主にわが国の雇用の変化と新しい働き方の問題を取り上げます。

いま、雇用のあり方は流動化、多様化、階層化という事態を迎えています。まず長期勤続を奨励する従来の雇用政策から従業員の入れ替えがしやすい政策への転換がみられます。次に、いわゆる正社員という雇用形態だけでなく、パート、派遣、契約といった非正規雇用の活用が進展しています。非正規雇用は雇用者全体の3割にも達しています。また、正社員の間でも職種別、地域別、組織別に別々の人事制度を適用する複線化が進められています。さらに、最近では、労働基準法による労働時間規制を適用しない「ホワイトカラー・エグゼンプション」という新しい働き方が検討されています。このような雇用のあり方の変化は、何を背景にして生じているのか、企業の経営戦略とどのように結びついて展開されてきているのか、それが働く者にとってどのような意味を持つのかこうした問題を考察してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下の構成で進める予定ですが、変更されることもあります。また講義の進行は教科書の順序とは異なります。

1. 講義概要の紹介とガイダンス
2. 人事労務管理論から人的資源管理論へ
3. 戦後わが国の雇用問題をめぐる労使紛争
4. 高度経済成長と終身雇用
5. 低成長時代の雇用調整と終身雇用の変容
6. 平成不況下のリストラクチャリングと雇用問題
7. 雇用の流動化
8. 新時代の日本の経営と雇用形態の多様化
9. 非正規雇用の増大
10. パートタイマー問題
11. 労働者派遣法と派遣労働者問題
12. 働き方の多様化と均等待遇問題
13. 労働時間問題とホワイトカラー・エグゼンプション
14. 雇用ルール法制化の動き(労働契約法)
15. 雇用問題の日米比較

履修上の留意点

原則として、a(前期)とb(後期)を合わせて同一年度に履修してください。

成績評価の方法

出席、小レポート(毎回)、前期定期試験を総合して評価します。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	人的資源管理論 b	開講	半期	単位	2
配当	他（経B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選				
担当者名	ほりりゆうじ 堀 龍二				

講義のねらい

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。b（後期）では、主に従業員の働きに対してどのように処遇するかという問題を取り上げます。つまり、人事考課、昇進・昇格、賃金、退職金、福利厚生などに関する諸制度です。

いま、わが国企業は、激しい国際競争を勝ち抜くために競争力強化を求められており、そのなかで競争優位の源泉とされる人的資源の更なる有効活用を追求しています。そこで登場してきたのが、従来の年功主義や能力主義ではなく、成果主義という新たな方針です。この成果主義はかなり普及してきましたが、その具体的制度の導入や実施・運営をめぐる混乱や不満も引き起こしています。本講義は、成果主義に基づいて展開されている、新しい人事考課、昇進・昇格、賃金、退職金、福利厚生の諸制度の実態と問題点を探ることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

以下の構成で進める予定ですが、変更されることもあります。また講義の進行は教科書の順序とは異なります。

1. 講義概要の紹介とガイダンス
2. わが国企業の人事考課の特徴と国際比較
3. 成果主義に伴う人事考課の変化と目標管理
4. コンピテンシー評価
5. 戦後の賃金制度の変遷（属人給と仕事給）
6. 職能資格制度とその変容
7. 成果主義賃金制度の類型
8. 労働費用（総額人件費）
9. 賞与と退職金制度の最近の動向
10. 複線型人事制度の展開
11. 福利厚生制度の変容
12. 成果主義と人材育成
13. 成果主義の問題点
14. 新しい働き方と労働組合
15. 全体のまとめ

履修上の留意点

原則として、a（前期）とb（後期）を合わせて同一年度に履修してください。

成績評価の方法

出席、小レポート（毎回）、後期定期試験を総合して評価します。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。（2,600円＋税）。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	法思想史	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選				
担当者名	たかはし ひろき 高橋 洋城				

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということを知覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される(東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない)。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景的世界像

- [1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する
- [2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する
- [3] アリストテレスの法思想(続)：正義論、政治体制論を中心に考察する
- [4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。
- [5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

- [6] 近代的世界像と社会契約説総説
- [7] ホブズスの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する
- [9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ
- [10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

- [11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる
- [12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。
- [13] 概念法学批判
- [14] 法実証主義の諸形態
- [15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる(定期試験のみを受験するのでもかまわないということ)。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名	西洋法制史	開講	通年	単位	4
配当	他（法B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	北野 <small>さたの</small> かほる				

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般の特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世（1066-1350）
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世（1350-1650）
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

他
学
部
履
修
科
目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備がなくなるので十分注意すること。

科目名	経済法	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A34選				
担当者名	荒井 登志夫 <small>あらい としお</small>				

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール

1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不公正な取引方法 15～17 景品表示法 18～19 第四章規定(一般集中、市場集中) 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。

成績評価の方法

成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

教科書

「経済法」(第5版・荒井大太郎・向田直範)ほか・有斐閣アルマ

参考書等

「独占禁止法(第2版)」(金井貴嗣・川濱昇ほか・弘文堂)
 根岸哲・杉浦市郎『経済法』(法律文化社)
 根岸哲・舟田正之『経済法概説』(有斐閣)
 丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』(法律文化社)
 「経済法」(鈴木満・深雪・尚学社)

その他

レジュメを配布する。六法を必ず持参のこと。

科目名	国際関係論	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	三船 恵美				

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念や理論、国際機構、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義します。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション
2. 国際関係のアクター
3. 国際関係の分析視角
4. 日本の領域と日韓関係
5. 日本の領域と日中関係
6. 国益とパワー
7. 安全保障の概念と類型
8. 人間の安全保障とODA外交
9. 国連と日本
10. 《9・11》以後のアメリカ外交：テロ・WMD・MD
11. 北朝鮮問題と国際関係
12. 日米同盟と米中関係・日中関係
13. 中央アジアをめぐる多国間協議と中露関係：CIS・EAES・SCO・CICA
14. APEC、ARF、「1+10」、東アジア共同体構想
15. AUの枠組み・ルワンダ・ダルフルからみる国連の限界
16. EUの枠組み・EU拡大とその影響
17. イラン問題
18. 地球環境問題をめぐる政治と経済
19. リアリズム
20. ネオ・リアリズム
21. ゲーム理論
22. リベラリズム
23. ネオ・リベラリズム
24. マルキシズム
25. グローバル・ガバナンス論、デモクラティック・ピース論、平和研究
26. #2～9、19～25のクイズ(=小テスト)
27. クイズの解説
28. 総括

履修上の留意点

テストを欠席した場合にレポートは課しません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法

試験(100%)。

教科書

『グローバル社会の国際関係論』山田高敬、大矢根聡編(有斐閣)2,000円 ISBN4-641-17325-7
 天児慧『中国・アジア・日本』ちくま新書、2006年、700円+税。

科目名	地方自治法	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	とみい 伸きお 富井 幸雄				

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成19年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	国際紛争解決法	開講	通年	単位	4
配当	他（法B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	おう しあん 王 志安				

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power pointで講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	倒産処理法	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商政営A34選				
担当者名	鈴木 貴博 <small>すずき たかひろ</small>				

講義のねらい

破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産申立てと破産宣告手続
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 財団再建・取戻権
7. 破産手続の主体
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪

履修上の留意点

民事法関連科目(民法・商法・民事訴訟法など)を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書

徳田和幸『ブレップ破産法』第3版(弘文堂)2005年 1,260円

参考書等

山本和彦『倒産処理法入門』第2版(有斐閣)2005年 2,100円

伊藤真『破産法』第4版(有斐閣)2005年 4,200円

青山善充・伊藤真・松下淳一編『倒産判例百選』第3版(有斐閣)2005年 2,730円

科目名	アメリカ経営学	開講	通年	単位	4
担当	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考福心経A商法A政34選				
担当者名	宮城 徹				

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数(ただし、期末試験日を入れて)から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコン内の授業回数(合計29回)で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2007年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力(パワー)(8)
- IV 戦略(特に提携、グループ、ファミリー)(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル・エージェント理論 (2)
- IX 契約の理論

他
修
科
目

履修上の留意点

テキストにそって講義し、要点を板書するが、受講生は口述を書き留める能力を磨く必要がある。

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会)1997年
 - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』(早大、第20号)1985年
 - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』(千倉書房)1987年
 - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編著『経営学総論』(第2版)(成文堂)1998年
 - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編著『新版・新時代の経営学』(学文社)1993年
 - 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』(千倉書房)1997年
 - 7 宮城徹(単独訳書)『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』(税務経理協会)2005年(A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998)
 - 8 宮城徹(共訳書)『新制度派経済学による組織入門』(白桃書房)1999年(A. Picot u. a., Organisation. Eine okonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997)
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。
- 9 宮城徹「企業文化と組織の経済理論」遠山正朗編著『ケースに学ぶ企業の文化』(敬愛大学学術叢書)(白桃書房)2003

科目名	経営財務論	開講	通年	単位	4
配当	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	<small>たかだ みつあき</small> 高田 光明				

講義のねらい

経営財務論は、企業という組織体の財務活動を研究対象とする学問分野である。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用をいっている。企業は、その活動を営むに際し、原材料などの財貨や労働力を確保しなければならない。そのために元手となる資本を必要とする。資本の調達とは、この元手となる資本を集めることをいう。そして調達した資本で、企業は、原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。

資本の源泉は、それぞれ異なる特徴を持っている。したがって、生産要素の取得を賄うために必要とする資本を、どの源泉からどのくらいずつ調達するかは、企業のその後大きな影響を与える。この授業では、以上の問題意識のもとに、次のスケジュールにしたがって講義を進め、経営財務に関する基礎的知識・基本的考え方を身に付けることを主要目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達方法の特徴
6. 資金調達の基本原則
7. 流動・固定分類法の重要性
8. 資金概念
9. 企業利益の概念
10. 減価償却費の性格
11. キャッシュ・フロー
12. リスクとリターン
13. レバレッジ
14. 資本のコスト
15. 統・資金調達の基本原則
16. 資金調達の手順

成績評価の方法

期末の筆記試験による評価を原則とし、出席点を加味する。

科目名	経営組織論	開講	通年	単位	4
配当	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 政34選				
担当者名	日野 健太 <small>ひの けんた</small>				

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのための基本概念と思考方法を学ぶ。

講義の内容・ 授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。この講義は、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、配慮する。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるようにする。

講義の対象は以下の通り(番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。)

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

履修上の留意点

どうすればうまく学べるか、を意識して欲しい。「自分の言葉でひとにわかるように説明する」ことを意識して講義に参加すること。試験前に困っている友達にノートを貸して、講義の内容を教えてあげられるようになれば完璧。

成績評価の方法

後期の授業開始日に中間試験を行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期試験のウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。中間試験を欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

教科書

金井壽宏『経営組織』(日経文庫)

参考書等

桑田・田尾『組織論』(有斐閣)
 大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』(創成社)
 田尾『モチベーション入門』(日経文庫)
 経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』(中央経済社)などもなにかと重宝である。

科目名	管理会計論	開講	通年	単位	4
配当	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	さるやま よしのぶ 猿山 義広				

講義のねらい

この講義の目的は、日商簿記検定試験や公認会計士試験に出題された計算問題を解きながら、管理会計の考え方や技法を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学系列の演習を受講する学生はできるだけ履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているので、経営学系列の演習を受講する学生も積極的に履修してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義の小テストを除いた授業計画は以下のとおりである。

- 第1回 管理会計の基礎
- 第2回 管理会計と原価計算Ⅰ－原価の意義と分類
- 第3回 管理会計と原価計算Ⅱ－原価計算の手続
- 第4回 管理会計と原価計算Ⅲ－直接原価計算
- 第5回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅰ－損益分岐点分析
- 第6回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅱ－目標利益の達成計画
- 第7回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅲ－プロモーション効果
- 第8回 原価予測
- 第9回 最適セールス・ミックスの決定
- 第10回 経済的発注量(EOQ)の決定
- 第11回 事業部制の管理会計
- 第12回 標準原価計算による原価管理Ⅰ－原価統制の基礎
- 第13回 標準原価計算による原価管理Ⅱ－製造間接費の原価差異分析
- 第14回 予算実績差異分析
- 第15回 標準直接原価計算
- 第16回 活動基準原価計算(ABC)
- 第17回 原価企画
- 第18回 バランスド・スコアカード(BSC)
- 第19回 意思決定会計Ⅰ－不確実性下の意思決定
- 第20回 意思決定会計Ⅱ－設備投資の意思決定

他学部履修科目

履修上の留意点

講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算や公認会計士試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっているので、学習効果を高めるためにも、できるだけ「原価計算論」と併せて履修してほしい。

成績評価の方法

年間で6回から8回行う小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。定期試験は電卓以外の持ち込みは一切不可なので、注意してほしい。ただし、中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

教科書

とくに指定する教科書はないが、計算問題については日商簿記2級工業簿記や日商簿記1級原価計算の過去問題を参考にしてほしい。また、例題や解法のポイントについてのプリントを毎回配布するので、それを保存するようにしてほしい。

参考書等

管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。
櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

その他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。

科目名	会計監査論	開講	通年	単位	4
配当	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	あべ かずひと 阿部 一人				

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的(総論)(1)
 - (1) 監査の必要
 - (2) 監査の意義
 - (3) 監査の対象
2. 会計監査の意義と目的(2)
 - (1) 監査の目的
 - (2) 監査思想の変遷
 - (3) 監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - (1) 証券取引法監査
 - (2) 商法監査
 - (3) その他の監査制度
8. 監査基準(1)
 - (1) 必要性
 - (2) 生成と展開
9. 監査基準(2)
 - (1) 意義
 - (2) 体系
 - (3) 一般基準
 - (4) 実施基準
 - (5) 報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - (1) 監査概念の拡大化
 - (2) 監査保証に程度の差を認める監査概念

他学部
履修科目

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー 改訂版』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円
 田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山根忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

科目名	日本経済論	開講	通年	単位	4
配当	他（営B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	はとり しげる 羽鳥 茂				

講義のねらい

1990年代以降の長期停滞が長引くなかで、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。
 前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。
 後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

教科書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年、3,200円

参考書等

講義の進み具合に応じて適宜紹介します。

その他

数学が必要な時にはできるだけ解説します。意欲ある諸君の出席を期待しています。

IV 「日本語」・「日本事情」科目

IV. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・帰国生)

《日本語科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本語入門Ⅰ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石真理子	515
日本語入門Ⅰ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石真理子	515
日本語入門Ⅱ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石真理子	516
日本語入門Ⅱ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石真理子	516
日本語Ⅰ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野典子	517
日本語Ⅰ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野典子	517
日本語Ⅰ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	517
日本語Ⅰ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	518
日本語Ⅱ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野典子	518
日本語Ⅱ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野典子	518
日本語Ⅱ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	519
日本語Ⅱ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	519
日本語Ⅲ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	520
日本語Ⅲ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	520
日本語Ⅲ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村礼子	521
日本語Ⅲ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村礼子	521
日本語Ⅳ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川守	522
日本語Ⅳ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川守	522
日本語Ⅳ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村礼子	523
日本語Ⅳ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村礼子	523

日本語 V a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川守	524
日本語 V b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川守	524
日本語 V a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	525
日本語 V b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	525
日本語 VI a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川守	526
日本語 VI b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川守	526
日本語 VI a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	527
日本語 VI b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	527

《日本事情科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本事情Ⅰ〔地理〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	高橋健太郎	528
日本事情Ⅱ〔自然〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	清水善和	529
日本事情Ⅲ〔歴史〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	井上桂子	530
日本事情Ⅳ〔思想〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	菅原光	531
日本事情Ⅴ〔社会〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	山田信行	532
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	三竹直哉	533
日本事情Ⅶ〔文学〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	坂口博規	534
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	佐藤美奈子	535
日本事情Ⅸ〔経済〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	小杉修二	536
日本事情Ⅹ〔経営〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	鈴木幸毅	537

科目名	日本語入門Ⅰa	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい ▶ 日本語で短いプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門Ⅰb	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい ▶ 日本語で、さまざまな社会問題についてのプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス。

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門II a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい 日本語で短いプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 日本語中級学習者のためのクラス

成績評価の方法 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門II b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい 日本語で、さまざまな社会問題についてプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 日本語初級学習者のためのクラス

成績評価の方法 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語I a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	<small>きののりこ</small> 佐野 典子				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語I b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	<small>きののりこ</small> 佐野 典子				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

「日本語
日本事情」

科目名	日本語I a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	<small>ただろ ひまこ</small> 多田羅 哲子				

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語I b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>わたら あきこ</small>				

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め・より深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語II a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	佐野 典子 <small>さの のりこ</small>				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

「日本事情」

科目名	日本語II b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	佐野 典子 <small>さの のりこ</small>				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語II a	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 ^{たたら あきこ} 哲子				

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	日本語II b	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 ^{たたら あきこ} 哲子				

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
話し言葉と書き言葉の違いを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	日本語III a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	多田羅 ^{たたら あきこ} 哲子				

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。敬語の使い方、くだけた言い方、改まった言い方、この場合どういえば自然かなど、場面や相手や立場などによって適切に使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語III b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	多田羅 ^{たたら あきこ} 哲子				

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠などについて話し合い、文章にまとめる練習をする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語III a	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子				

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	日本語III b	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子				

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	日本語Ⅳ a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語の基本を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ→Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅳは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順でやっていますので、できれば、日本語Ⅴを取り、次に日本語Ⅵそして最後に日本語Ⅳをとってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名	日本語Ⅳ b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を作り上げるために日本語Ⅳaに引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅳaの続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分から中上級の始めの部分を行っていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅳaの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業態度重視しています。

科目名	日本語IV a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	日本語IV b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	日本語Va	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもろ 石川 守				

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などからじっくりやっていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Vは、日本語VIと日本語IVの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。

履修上の留意点

この日本語V→日本語VI→日本語IVの順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	日本語Vb	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもろ 石川 守				

講義のねらい

日本語 Va に続けて、日本語のしっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点

日本語 Va と同じです。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	日本語V a	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい

読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。期末テストも行う。

教科書

プリント配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語V b	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい

読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事的問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

各自関心のある内容の記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

成績評価の方法

平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。辞書を持ってくること。

科目名	日本語VI a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Vに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語V a、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語V→日本語VI→日本語IVの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。

履修上の留意点

日本語VIは、日本語Vと日本語VIの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりと日本語の基礎を復習したい人は日本語IV、V、VIの三つをとることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名	日本語VI b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語のVIaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・授業スケジュール

日本語VIaの残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の間部分後半になります。

履修上の留意点

この授業は、日本語VIaの次の部分をやっていきます。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	日本語VI a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 ^{たたら あきこ} 哲子				

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語VI b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 ^{たたら あきこ} 哲子				

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本事情I【(地理)】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	<small>たかはし けんたろう</small> 高橋 健太郎				

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、最初に、日本の地理的特徴や、日本人の文化や生活の地域性について説明する。

その後、受講生2-3人で1つの班を作り、班ごとに、日本の各都道府県の地理的特徴について調べ、授業で発表してもらう。

また、駒澤大学の周辺地域、つまり東京近郊地域の特徴や変容を理解するために、大学の外に出て、見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

頻繁に教場で作成してもらう小レポート、班ごとの発表の内容、学外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科目名	日本事情II【〔自然〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	清水 ^{しみず} 善和 ^{よしかず}				

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第I章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第II章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の流れ
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第III章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第IV章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第V章 自然保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した「web版教科書(English version)」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する(漢字にはできるだけ読みがなをつける)。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わした「web版教科書(English version)」を用意する。

科目名	日本事情III【〔歴史〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	井上 桂子				

講義のねらい

本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 19世紀－鎖国政策の中での日本の他国関係
2. 中国商人の「唐風説書」の役割
3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
4. 日米和親条約と中国
5. 明治維新と中国の反応
6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
7. 清末の改革維新と日本との関係
8. 孫中山と日本
9. 民間交流と日中関係
10. 戦争中中国大陸で反戦活動
11. 日中国交正常化への道のり

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

成績評価の方法

出席回数と課題レポートで評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

授業のなかで適宜紹介します。

その他

希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

科目名	日本事情Ⅳ【(思想)】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	すがわら ひかる 菅原 光				

講義のねらい

近代日本の代表的な思想家を取り上げ、その生い立ちを含めた人物像、並びにその思想内容を紹介し、考察するという形で近代日本思想史を学んでいくことが本講義の目的である。講義では、まずは取り上げる思想家達が活躍していた時期の時代的特徴を押さえるところから出発した後、森有礼、福澤諭吉、西周ら、代表的な思想家について学んでいく。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義はおおよそ、以下の項目に沿って行う。

1. ガイダンス
2. 文明開化とは何か？
3. 森有礼の思想
4. 西周の思想
5. 福澤諭吉の思想
6. 田中正造の思想
7. 武士道
8. 教育思想

履修上の留意点

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席回数と、授業態度、授業の最後に実施する小レポートの評価とを合わせ、総合的に評価する。授業回数のうち8割の出席、小レポートにおいて用紙の8割を埋めることが単位取得の最低条件である。20分以上遅刻した学生、授業態度の悪い学生は、出席としてカウントしないので、注意してほしい。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名	日本事情Ⅴ【(社会)】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	やまだ のぶゆき 山田 信行				

講義のねらい

この講義では、主として第2次世界大戦後に日本社会が経験した社会変動をふまえて、日本社会の現在と将来を展望する。適宜ビデオ教材などを使用し、日本社会の様々な問題を理解しやすいようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

主な内容は、以下の通り。カッコ内の回数は、当該の項目が授業に当てられるおおよその回数。

1. 戦後日本の社会変動 (4回)
2. 現代日本の基本的趨勢 (4回)
 - (1) 情報化
 - (2) 少子・高齢化
 - (3) グローバル化
3. 現代日本の社会問題 (4回)
 - (1) 若年者問題－フリーター、ニート
 - (2) 学力低下問題
 - (3) 格差問題

履修上の留意点

ほぼ毎回講義の内容に関するメモを配布するので、それをもとにノートを取るようになってほしい。継続的な出席は、講義の理解を促進する。

成績評価の方法

学期末レポートと平常点による。

教科書

なし。

参考書等

適宜指示する。

その他

希望があれば、その日の要点を英語でも話します。また、英語で発言してもかまいません。

科目名	日本事情VI【〔政治・法律〕】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	三竹 ^{みたけ なおや} 直哉				

講義のねらい

日本の政治について知り、みんなで意見交換します。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎マイノリティ

履修上の留意点

出席と授業参加を重視します。

成績評価の方法

平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。

教科書

指定する予定はありません。

その他

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

科目名	日本事情VII【(文学)】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	<small>さかぐち ひろき</small> 坂口 博規				

講義のねらい

本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本の古代の文学から近代の文学まで、作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識（1）
- 6、古代後期の文学とその美意識（2）
- 7、中世の文学とその美意識（1）
- 8、中世の文学とその美意識（2）
- 9、近世の文学とその美意識（1）
- 10、近世の文学とその美意識（2）
- 11、近代の文学とその美意識（1）
- 12、近代の文学とその美意識（2）
- 13、日本文学の特質

履修上の留意点

第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を概括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

成績評価の方法

レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価（90%）を中心に、受講姿勢（出席状況・関心の度合等々、10%）を加えて評価する。

教科書

必要に応じて適宜プリントを配布する。

参考書等

授業内で紹介する。

科目名	日本事情VIII【〔文化・芸術〕】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	佐藤 ^{さとう} 美奈子 ^{みなこ}				

講義のねらい

「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって、本授業では「日本文化」を明らかにすることを目的にはしません。むしろ、近代日本において「日本文化」がどのように捉えられてきたのか、という問いに重点を置くことにします。それによって、「日本文化」を通して「日本人」がどのようにアイデンティティを形成してきたのかを、明らかにしていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、明治中期に影響力を持った政教社の国粹主義思想を一つの軸として取り上げます。政府の欧米化主義を批判する中で展開された国粹主義思想は、「日本文化」をどのように捉えたのでしょうか。なぜ、そのような思想的潮流が明治半ばに現れたのでしょうか。こういった国粹主義思想の物の見方は、現代日本にどのような影響を与えているのでしょうか。授業ではまず、こういった問いを考えるために必要な基本的知識（幕末から明治にかけての歴史的・社会的背景）を学びます。その上で、国粹主義思想が何を訴えようとしたのか、それはどのような社会的要請と呼応するものであったのか、その後どのような影響を残したのかを考えていくこととします。

履修上の留意点

授業開始後の入室（遅刻）は、授業の妨げとなるためいっさい認めません。また私語等のマナー違反にも厳しく対処することにします。

成績評価の方法

期末試験、及び授業時に実施される小テストの総合点で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合は原則として点数は与えられません。

教科書

特に指定しません。

参考書等

授業時に適宜、紹介します。

その他

講義形式。授業は基本的に日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

科目名	日本事情IX【〔経済〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	小杉 ^{こすぎ} 修二 ^{しゅうじ}				

講義のねらい

日本で学ぶ外国からの留学生の皆さんとともに、主として日本がたどってきた 経済成長というものを理解し、同時に日本語・日本の文化についても理解してもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

経済成長という、経済現象を生物のように扱うこうした用語は何時生まれたのか？ははっきりしたことはわかりませんが産業革命以後であることは間違いのないでしょう。つまり、産業革命以前は超安定社会、あるいは超停滞社会だったのです。経済の拡大は時にはありますが、ごくたまにおきる事柄でした。継続的に1-2%の経済の拡大が起こるようになったのが産業革命です。これでもそれ以前に比べれば、革命的变化だったのです。

経済成長を測る用語に「経済成長率」というのがあります。例の年・%というやつです。これはお金を借りた時と同じ「複利計算」になります。年利20%でお金を100万円借れば、4年でいくらになるでしょう。複利計算では（銀行から借りた時と同じです）、207.36万円になります。180万円と答えた人はお金をうっかり借りないほうがいいでしょう。

20%の成長が何年も続くことは考えなくてもいいでしょうが、7%成長が10年続くと元の数の2倍に増える、というのを知っていれば、いかに複利計算がすごいかがわかるでしょう。そういう経済成長が今世界のあちこちでおきています。日本の高度経済成長期は年率約10%の成長が19年も続きました。それは19年で終わりましたが、もしそれが100年続いていたら、日本経済の規模は最初の1万3800倍というとてもない数値になっていたでしょう。

この授業では、経済成長率とは何か、第2次世界大戦後の日本の経済成長は以下に始まったか、経済成長とはどういうことなのか、それはどんな時に起こるのか、その結果はどのようなのか、成熟経済と経済成長、新たな成長の種、経済成長と心、経済成長と地域環境問題、経済成長と地球規模環境問題等について考えます。

履修上の留意点

出席不良は単位があげられません。

成績評価の方法

出席点と試験による。

教科書

特にありません。

参考書等

特にありません。

その他

ビデオを利用した映像とプリントで行う予定。

科目名	日本事情X【〔経営〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	鈴木 幸毅				

講義のねらい

日本企業の現状と課題について講義し、併せて環境対応の実際について話します。

履修上の留意点

教科書は使用しませんが、必要に応じて参考書は指定します。
講義に際しては、プリントを多く使います。

成績評価の方法

出席を重視します。プリントを音読してもらいます。1回か2回、簡単な課題レポートを提出してもらいます。以上の総合で評価します。

そ の 他

質問（授業中の）を歓迎します。

V 随 意 科 目

V. 随 意 科 目

科 目 名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語（海外演習）	全学科1年次～		2		543
フランス語（海外演習）	全学科1年次～		2		543
中国語（海外演習）	全学科1年次～		2		543
編集実務	禅仏2・3・4年随意	通年	4	長谷川孝	544
書道史	禅仏2・3・4年随意	通年	4	那須隆吉	545
民間信仰論	禅仏英地文環境歴日外考社福心 2・3・4年随意	通年	4	谷口貢	545
日本宗教文化史	禅仏国英地文環境歴日外考社福心 2・3・4年随意	通年	4	小川順敬	546

科目名	英語（海外演習）	開講		単位	2
配当	全学科1年次～				
担当者名					

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春季クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

成績評価の方法

現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

科目名	フランス語（海外演習）	開講		単位	2
配当	全学科1年次～				
担当者名					

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

科目名	中国語（海外演習）	開講		単位	2
配当	全学科1年次～				
担当者名					

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

科目名	編集実務	開講	通年	単位	4
配当	禅仏234年随意				
担当者名	<small>ほしがけ たかし</small> 長谷川 孝				

講義のねらい

編集とは、＜誰かに――何かを――伝える＞過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、取捨選択（評価）し、再構成して、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で、「どう」伝えるかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを考える力、いわば“知的基礎体力”が「実務」の前提として必要です。そのための自分なりの「目のつけどころ」（視点・視角・視野）をつくるなど、“知的基礎体力”を養うことを目指します。また、編集のはたらきは生活の中で誰もが日常的に行っていることなので、それを意識的に適用してみることで「編集力」を育てたいと思います。情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」であるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編修を中心に、企画・取材・原稿の執筆や読み取り・整理、レイアウトなど、実際の知識・技能を取り上げつつ、それに即して「目のつけどころ」や編集をする上での意思や責任などについて考えます。とくに、ものごと・できごと・文章やデータなどから「何か」（そのテーマと意味）をよみとり、感じとり、問い返し、取捨選択して、自分の表現をつくり出す力を養えるよう考えます。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また、授業で「取材」した「自分なりに感じ気づき考えた」こと（つまり「編集」したこと）を、毎時、短い文章にして提出してもらいます（「イケン文」と呼びます）。授業を受け止めるという過程そのものが、編集作業をたくさん含んだプロセスですから、こういう姿勢は「編集の実践」でもあると考えています。

成績評価の方法

自己評価点を重視します。それと、課題作品（B4版2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と、授業で書いた「イケン文」など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

必要により、授業で紹介します。

科目名	書道史	開講	通年	単位	4
担当	禅仏234年随意				
担当者名	那須 <small>なす たかよし</small> 隆吉				

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教科書

伏見冲敬著『書の歴史』(二玄社) 日本書道史のテキストは後期に指示する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	民間信仰論	開講	通年	単位	4
担当	禅仏英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	<small>たにくら みつぎ</small> 谷口 貢				

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』(春秋社)、宮本袈裟雄著『庶民信仰と現世利益』(東京堂出版)の2冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、その都度コピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科目名	日本宗教文化史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	おがわ としゆき 小川 順敬				

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。
われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生き、いかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）
ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。
山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

レポートその他で評価する。

教科書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はその都度紹介することにした。